

京都大学基礎物理学研究所

湯川記念館史料室の史料目録

YHAL Resources Hideki Yukawa (I) – (VIII)

付 湯川秀樹全著作



2007年5月

京都大学基礎物理学研究所

湯川記念館史料室委員会

京都大学基礎物理学研究所

湯川記念館史料室の史料目録

YHAL Resources Hideki Yukawa (I) - (VIII)

付 湯川秀樹全著作

2007 年 5 月

京都大学基礎物理学研究所

湯川記念館史料室委員会

目次

まえがき

史料目録の解説

京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室内規

京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室利用規則

YHAL Resources Hideki Yukawa (I) — (VIII)

湯川秀樹全著作 version 3

付録1 湯川記念館史料室私記 河辺六男・小沼通二

付録2 湯川記念館史料室委員会のこれまでの委員

索引

まえがき

湯川記念館史料室は、京都大学基礎物理学研究所に1979年8月1日に設置された。その目的は、「中間子論その他の基礎物理学の研究活動及びその成果に関する歴史的史料、図書、文献等を収集、整理、保存し、学内外の研究者の利用に供する」とされ、運営に関する事項を審議するため湯川記念館史料室委員会が設置された。

この年の秋に、湯川秀樹先生ご自身もお忘れになっていた中間子論誕生時の計算、原稿などの大量の貴重な史料が、京大理学部で発見された。

それ以来、史料室委員会は

- (1) 史料作成者自身が並べておいた順序を絶対に乱さず、かつ記録する
- (2) 史料に記されていた主題名と、整理の都合上目録作成者がつけた題名は、明確に区別する

という二つの原則をおいて、史料の整理と目録作成を進めてきた。このようにしてまとめた目録は、素粒子論グループの機関誌「素粒子論研究」に、和文、英文どちらでも使えるようにして、これまでに9回発表された。これらの史料については、国内国外の学会で報告された。

史料室委員会は、湯川先生の生誕百年に当たる2007年の機会に、利用者の便宜を考えて、これらの目録を一冊にまとめることとし、あわせて基礎物理学研究所のホームページにも掲載することを決めた。

湯川記念館史料室には未整理のままの史料が残されているので、これらの史料の整理・目録作成・保存が今後の課題となっている。

この機会に、これらの史料整理に当たった最大の功労者である故河辺六男氏(1926-2000)のことを記して、同氏の献身を称えたい。河辺六男氏は、名古屋大学理学部物理学科卒業、九州大学理学部助手を勤められた後、京都大学基礎物理学研究所研究員を経て、大阪医科大学に移られた。定年退職後は、同大学から名誉教授の称号が贈られた。素粒子論、物理学史、ユングの心理学など

広い学識と好奇心、そして類まれな緻密さは高く評価され、湯川先生は科学史についてしばしば河辺氏に協力を求められた。河辺氏が湯川記念館史料室の立ち上げに熱心であったことは、付録の「湯川記念館史料室私記」から見ることができる。YHAL Resources Hideki Yukawa (II) — (VIII)はすべて同氏の手になるものである。また、史料室が取りまとめた『素粒子論研究』の50年(素粒子論研究 100/2 (1999-11) 105-166)も河辺氏の綿密な労作である。2000年1月に、かねて心臓のバイパス手術の経験があった河辺氏は、異常を自覚した夜すぐにタクシーを飛ばして湯川記念館史料室に行き、作業のあと、作業中の仕事と残してあるテーマについて黒板にメモを書き残して帰宅した。永眠は翌日のことだった。

史料室委員会は人類全体にとっての文化財であるこれらの史料が、さらに広く利用されることを希望している。

2007年5月

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室委員会

史料目録の解説

湯川記念館史料室の史料目録は、次のとおり発表されている。

YHAL Resources Hideki Yukawa (I)	素粒子論研究 65/4 (1982-07) 239-269
YHAL Resources Hideki Yukawa (II)	素粒子論研究 70/5 (1985-02) 289-306
YHAL Resources Hideki Yukawa (III)	素粒子論研究 77/4 (1988-07) 161-202
YHAL Resources Hideki Yukawa (IV)	素粒子論研究 90/1 (1994-10) 11-35
YHAL Resources Hideki Yukawa (V)	素粒子論研究 90/2 (1994-11) 65-93
YHAL Resources Hideki Yukawa (VI)	素粒子論研究 91/5 (1995-08) 181-189
YHAL Resources Hideki Yukawa (VII)	素粒子論研究 94/5 (1997-02) 117-203
YHAL Resources Hideki Yukawa (VII続)	素粒子論研究 95/6 (1997-09) 82-95
YHAL Resources Hideki Yukawa (VIII)	素粒子論研究 98/3 (1998-12) 200-206
湯川秀樹全著作 version 3	素粒子論研究 99/3 (1999-06) 115-142

利用規則にしたがって史料室委員会委員長に書面で申し込み、許可された場合、利用することができる。

ここに含まれている史料は、整理がついた順に並べてある。全体のイメージをつかむには、1997年2月に発表された(VII)の199-202ページのAppendix(ここには予定の番号も含まれている 後で変更された項目もある)か、この目録の最後の索引をご覧いただきたい。

それぞれの史料目録についての解説を述べておこう。

解説に出てくるE、F、P、U、N、Z、EDT、PICの意味は以下のとおりである。

E (Envelope)	(湯川が研究論文ごとにまとめておいた大型封筒に入っていた史料)
F (File)	(湯川が保存していたファイルの中の史料)
P (Published Articles)	(発表された研究論文)
U (Unpublished Articles)	(発表されなかった研究論文)
N (Note)	(ノート)
Z (Miscellaneous)	(断片 その他)

EDT (Edited Materials) (史料室委員会が編集した資料)
 PIC (Pictures) (写真)

YHAL Resources Hideki Yukawa (I)

ここには、大型封筒に収めて残されていた6点の史料E、と湯川自身によってファイルされていた4点の史料Fと、史料室委員会が、これまで未公開になっている研究室日誌から編集した3点のEDT、および1981年10月に行われた「湯川秀樹博士追悼行事」の際に展示されたパネルについてのPICが収められている。

(I)には7点の書簡がある。

なお(III)の最後に、(I)の訂正がつけられている。

YHAL Resources Hideki Yukawa (II)

ここには、2点のE、1点のFの史料と、2点のEDTがある。

YHAL Resources Hideki Yukawa (III)

ここには、7点のE、5点のFの史料と、2点のEDT、1点のPICがある。

PICは、1985年の中間子論50周年国際会議の際に製作されたパネルの情報である。

(III)には6点の書簡がある。

F50(191ページ)は、追加拡充されて(IV)の16—20ページに発表されたので、無視してそちらを利用していただきたい。

F51(192ページ)は、追加拡充されて(IV)の21—23ページに発表されたので、無視してそちらを利用していただきたい。

YHAL Resources Hideki Yukawa (IV)

ここにおさめてあるのは、3点のF、1点のNの史料とその他の史料Zが2点である。

F52は、1971年から1978年まで、京都大学定年後の湯川を囲んで開催された「渾沌会」のすべての開催通知の記録である。

Z01は、湯川が保存していた財団法人湯川記念財団、財団法人読売湯川奨学会、財団法人仁科記念財団の記録である。

Z02には、湯川記念館創設の記録を収めてある。

(IV) には 8 点の書簡がある。

YHAL Resources Hideki Yukawa (V)

ここには、13 点の E と、EDT がある。

EDT 070 は、1936 年から 1937 年にかけて湯川が海外の雑誌の Letters to the Editor に書いた 5 点の論文の情報である。このうち掲載されたものは 1 点にとどまっている。

93 ページの Appendix は、既発表と未発表の論文と、史料 E の対照表である。

(V) には 7 点の書簡がある。

YHAL Resources Hideki Yukawa (VI)

ここには、1 点の E と、EDT がある。

EDT 080 はパグウォッシュ会議関係の史料目録である。このうちの Proceedings と Pugwash Newsletter は基礎物理学研究所図書室で利用できる。

(VI) には 5 点の書簡がある。

なお、E31 に対する未発表の E31 Addendum (1998 年 11 月) を (VI) の最後に添付しておく。

YHAL Resources Hideki Yukawa (VII)

ここには、年代順の、著作、講演、未発表論文のリスト Z03-Z08 が収められている。

分類記号については、120-122、199-200、202 ページを参考にいただきたい。

203 ページに訂正表がつけてある。

YHAL Resources Hideki Yukawa (VII 続)

ここには、研究論文の情報をまとめてある。

YHAL Resources Hideki Yukawa (VIII)

1998 年に発表したこの史料目録には、6 点の N と湯川の卒業論文関係の史料 Z10 が含まれてある。卒業論文自体はまだ見つかっていない。

最後の 206 ページは、卒業論文についての史料室委員会補注である。

京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室内規

[昭和55年3月3日協議委員会制定]

第1条 京都大学基礎物理学研究所に、湯川記念館史料室（以下「史料室」という。）を置く。

第2条 史料室は、中間子論その他の基礎物理学の研究活動及びその成果に関する歴史的史料、図書、文献等を収集、整理保存し、学内外の研究者の利用に供する。

第3条 史料室に、その運営に関する事項を審議するため、史料室委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 基礎物理学研究所長（以下「所長」という。）
- 二 基礎物理学研究所の教官のうちから所長の命じた者 若干名
- 三 前2号以外の京都大学の教官のうちから所長の委嘱した者 若干名
- 四 学外の学識経験者のうちから所長の委嘱した者 若干名

2 前項第2号から第4号までの委員の任期は、1年とし再任を妨げない。

第5条 委員会に委員長を置き、前条第1項第1号及び第2号の委員のうちから委員会において選出する。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

第6条 前3条に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

第7条 この内規に定めるもののほか、史料室の利用その他必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、昭和55年4月1日から施行する。

京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室利用規則

第1条 この規則は、京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室内規（昭和55年3月3日制定）第7条の規定に基づき、基礎物理学研究所湯川記念館史料室（以下「史料室」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

第2条 史料室において保管する資料を利用者に供するため、目録及び利用規則を常時史料室内に備え付けるものとする。

第3条 史料室は、次の各号に掲げる閉室日を除き、毎日9時から12時及び13時から16時30分まで開室する。

- 一 土曜日及び日曜日
- 二 国民の祝日（国民の祝日が日曜日に当たるときは、その翌日）
- 三 本学創立記念日（6月18日）
- 四 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

2 史料室の運営上必要があるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に史料室の閉室又は開室時間を変更することがある。

第4条 湯川秀樹博士及び同博士の遺族等から、一定期間公にしないことを条件に寄贈又は寄託を受けている資料については、当該期間が経過するまでの間、当該資料の全部又は一部の利用を制限することがある。

第5条 資料の利用は、閲覧を原則とし、貸出しは行わない。

第6条 史料室に展示されている資料以外の資料を利用しようとする者は、予め別紙様式による特別閲覧願を史料室委員長に提出しなければならない。

第7条 この規則に定めるもののほか、史料室の利用に関し必要な事項は、史料室委員会が定める。

附 則

この規則は、昭和55年6月28日から施行する。

附 則

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

(別紙様式)

湯川記念館史料室資料特別閲覧願

1. 申請者氏名
所属機関名・職名
所在地及び電話番号
自宅住所及び電話番号
2. 利用資料名, カード番号
3. 利用目的〔なるべく具体的に記入して下さい〕
4. 利用期間〔二週間を超えることはできません〕
年 月 日より 年 月 日まで

申請者は資料の利用に際し、史料室利用規則ならびに史料室委員会の指示に従うほか下記の条項を守ります。

- 1) 資料は学術上の目的以外には利用しない。
- 2) 史料室委員会の書面による許諾なしには、資料のいかなる部分をも他に引用しない。
- 3) 学術的見地から正確を期する必要がある場合を除き、資料の内容をいかなる形でも原典以上に敷衍しない。
- 4) 資料の複写物（手書きによる複写を含む）は、史料室委員会の許諾なしにはこれを第三者に入手せしめない。
- 5) 資料の利用によって書かれた申請者（共著者のある場合を含む）の論文あるいは著作が出版された場合には、それぞれ二部ずつを史料室に寄贈する。
- 6) 申請者は資料の保全に責任を負う。

以上の通り誓約しますので、資料の特別閲覧をお願いします。

年 月 日

申請者（自署）

（印）

湯川記念館史料室委員会委員長 殿

YHAL RESOURCES

HIDEKI YUKAWA

Edited by the Committee for
Yukawa Hall Archival Library

Kyoto University, Kyoto 606, Japan

YHAL RESOURCES
HIDEKI YUKAWA

YHAL RESOURCES

HIDEKI YUKAWA (I)

EDITED BY THE COMMITTEE FOR
YUKAWA HALL ARCHIVAL LIBRARY

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室編

JUNE 1982

APPLICATION FORM (CONTINUED)

Statement to be signed by users of the Yukawa Hall
Archival Library, Research Institute for Fundamental
Physics, Kyoto University, Kyoto, Japan

In consideration of the extension to me by the
Chairman of the Committee for the Yukawa Hall Archival
Library (YHAL) of the privilege of using, for scholarly
purposes, archival materials collected in YHAL, I agree
to the following

1. I shall not quote from any of the material to which I am given access without the prior and written permission of the Chairman of the Committee.
2. I shall paraphrase the material only in such detail as is essential to a just expression of its historical and scientific substance.
3. If I am allowed to copy or to have copies made of any of the material, in whole or in part, by any means, including copying by hand, I shall use these copies solely for scholarly purposes.
4. I shall not allow any copied material to pass into the hands of others without the prior and written consent of the Chairman of the Committee.
5. I agree to give credit to the Yukawa Hall Archival Library, Kyoto University, whenever documentary source material from YHAL is quoted, or summarized or otherwise used in a publication.
6. I agree to send two copies of any resulting publications of the research to Yukawa Hall Archival Library, Research Institute for Fundamental Physics, Kyoto University, Kyoto 606, Japan..

Date _____ Signature _____

Name (legible)
Institution _____

Position _____

Address _____

Approved by:

Date: _____

REQUEST FORM FOR PHOTOCOPYING

REQUEST FOR PHOTOCOPYING

In accordance with my application regarding the use of the material in the Yukawa Hall Archival Library as stated on the reverse of this sheet, I make application for photo copies of the following material:

Reference number, author, title, pages	Type of copy, size, quantity, special instructions

Send to:

Name (print) _____

Address _____

Charge to:

Name (print) _____

Address _____

I agree to pay the cost incurred in making the copy requested above.

Approved by: _____	_____
Date: _____	_____

Signature of Applicant _____

Date _____

CLASSIFICATION SCHEME

We use nine letters and figures in total as the code-numbers :

SOURCES OF MATERIALS			ORDER OF MATERIALS			KINDS OF MATERIALS		
E	Envelopes		0	1	0	B	Manuscripts of Books	
F	Files	.	0	2	0	C	Correspondences	
N	Notebooks		0	3	0	D	Laboratory Diary	
Z	Fragments and Others					E	Manuscripts of Essays	
						L	Lecture Notes	
						M	Miscellaneous	
						N	Reports to the Occupation Forces	
						P	Manuscripts of Scientific Papers*	
						R	Proceedings of Research Meetings	
						T	Manuscripts for Talks	
						U	Manuscripts of Unpublished Articles	
						X	Records of University Affairs	

* The numbers of papers are in agreement with those of the "HIDEKI YUKAWA, SCIENTIFIC WORKS", Part I (Iwanami-Shoten, 1979)

CLASSIFICATION SCHEME (CONTINUED)

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL:

E D T O 1 O

Selected Materials
on a particular subject,
which are compiled
by the Committee for YHAL.

P C T

Pictorial Materials:
photographs, sketches,
video-tapes, etc.

A D T

Oral Materials:
recorded audio-tapes of
addresses, lectures and
symposia.

ABBREVIATION AND NOTATIONS

AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research
SP-IPCR	Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
BPMSJ	日本数学物理学会誌 (Nippon-Sugaku-Butsurigaku-Kaishi) [Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan, in Japanese]
PPMSJ	Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan
PSJ	Physical Society of Japan
JPSJ	Journal of Physical Society of Japan
PTP	Progress of Theoretical Physics
a(+b)	The figure a is the total number of leaves, and (+b) stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation or translation into English.

E01 ### P01 INTERACTION OF EL. PARTICLES I, 1934

		leaves
E01 000 P01	An envelope in which the following materials were enclosed The title of envelope: Interaction of El. Particles I, 1934	1
E01 010 P01	CL Collision of N and P (1) [$\frac{d^2\psi(r)}{dr^2} + \frac{2}{r} \frac{d\psi(r)}{dr} + \left\{ \frac{M_p E}{\hbar^2} + \frac{M_p g^2 e^{-\lambda r}}{\hbar^2 r} - \frac{\ell(\ell+1)}{r^2} \right\} \psi(r) = 0$ $\rightarrow \frac{d^2y}{dx^2} + \left(A \mp B \frac{e^{-x}}{x} - \frac{C}{x^2} \right) y = 0, \quad \lambda r \equiv x, \quad r\psi \equiv y, \quad A \equiv M_p E / \hbar^2 \lambda^2, \quad B \equiv M_p g^2 / \hbar^2 \lambda, \quad C \equiv \ell(\ell+1);$ \rightarrow total cross section.]	10(+1)
E01 020 P01	CL Collision of Neutrons and Protons (2) [Differential cross section and numerical calculations]	6
E01 030 P01	CL [Solution of $\frac{d^2y}{dx^2} + \left(A \mp B \frac{e^{-x}}{x} - \frac{C}{x^2} \right) = 0$]	2
E01 040 P01	CL [$\delta \int \left\{ \left(\frac{d\phi}{dx} \right)^2 + C \frac{\phi^{5/2}}{\sqrt{x}} \right\} dx = 0$]	1
E01 050 P01	CL Mass defect of H ² (1)	8(+3)
E01 060 P01	CL Mass defect of H ² (2)	4
E01 070 P01	CL Wave eq. の solution [$(\Delta - \lambda^2)U = 0, \text{ and } = 4\pi\rho'; \quad U = Ce^{-\lambda r}/r$]	5
E01 080 P01	MT [On the Interaction of Elementary Particles (in Japanese) [with the date Oct.27,(1934)]	10
E01 090 P01	AT HIDEKI YUKAWA:"On the Interaction of Elementary Particles" [in Japanese]	1
E01 091 P01	PG 常会講演抜萃 時 自昭和九年十一月十七日午後一時半, 所 於東京帝國大学理学部物理学教室第127号室 .. 7) 湯川秀樹君 On the Interaction of Elementary Particles (10分) [The program of the Regular Meeting of PMSJ at University of Tokyo, P.M.1.30, Nov.17,1934. This program contains seven talks, of which the last one is YUKAWA's. This talk is the first official presentation of his meson theory which appeared on the record.]	1
E01 092 P01	MT 数物講演原稿(10分間) H.Yukawa: On the Interaction of Elementary Particles [The manuscript which was read in the meeting E01 091 P01] [in Japanese]	11(+1)
E01 100 P01	MP On the Interaction of Elementary Particles I, By Hideki Yukawa [The handwritten manuscript with the date Nov.1,1934; this seems to be the first manuscript.] §1.Introduction §2.Field describing the exchange interaction (the 2nd leaf) §3.Quantum accompanying the U-field (the 5th leaf) §4.Theory of β -Disintegration (the 9th leaf) §5.Conclusion (the 13th leaf)	14(+2)

E01 ### P01 INTERACTION OF EL. PARTICLES I, 1934
(CONTINUED)

			leaves
E01 110 P01	MP	On the Interaction of Elementary Particles I, By Hideki Yukawa, (Read Nov.17,1934) [Handwritten 2nd(?) manuscript]	18(+1)
		§1.Introduction	
		§2.Field describing the interaction of elementary particles(the 3rd leaf)	
		§3.Nature of the quanta accompanying the U-field(the 8th leaf)	
		§4.Theory of β -Disintegration(the 13th leaf)	
		§5.Summary(the 17th leaf)	
E01 120 P01	MP	On the Interaction of Elementary Particles I, By Hideki Yukawa, (Read Nov.17,1934) [Handwritten 3rd(?) manuscript]	8
		[First two sections only]	
		§1.Introduction	
		§2.Field describing the interaction of elementary particles (the 3rd leaf)	
E01 130 P01	MP	On the Interaction of Elementary Particles I, By Hideki Yukawa, (Read Nov.17,1934) [Typescript manuscript]	15
E01 140 P01	LT	A letter from MASAMICHI KIMURA to YUKAWA [Notice of receiving the paper P01 on Nov.30,1934 and request of the Abstract of this paper from PMSJ.]	1
E01 141 P01	MP	On the Interaction of Elementary Particles I [Manuscript of the Abstract, typescript]	2

E02 ### P12 ON THE INTERACTION OF ELEMENTARY PARTICLES II, 1937

			leaves
E02 000 P12	An envelope in which the following materials were enclosed. The title of envelope: On the Interaction of Elementary Particles II, 1937		1
E02 010 P12	CL Heavy Quanta の仮説と Cosmic Ray に関する諸実験結果との比較 [The Hypothesis of Heavy Quanta and the Comparison with Experimental Results on the Cosmic Ray, in Japanese] [In this manuscript the article of STREET & STEVENSON (Phys.Rev.51, 1005,1937) was cited. YUKAWA was concerned about the numerical value of the mass of new particle. It might be preparation for the talk in IPCR (E02 020 P12) ?]		6
E02 020 P12	MT 講演原稿 理研にて, Aug. 19, 1937 Heavy Quanta の理論に就て On the Theory of Heavy Quanta (On the Interaction of Elementary Particles II) [This manuscript was read at IPCR on Aug.19,1937. in Japanese]	connected with	7(+1)
E02 030 P12	CL Scattering of Cosmon i)Elastic Scattering by Nuclei ii)Scattering by Orbital Electron iii)Inelastic Scattering by Nuclei [ii) and iii): the titles only]		3
E02 040 P12	CL Collision of Cosmon with Electron		4
E02 050 P12	PG 日本数学物理学会大阪支部常会 (大阪帝大理学部三階大講義室に於て, 昭和11年11月28日(土曜)午後1時30分より) 素粒子の相互作用に就て(Ⅱ) 湯川秀樹君(5分) [The Program of the Regular Meeting of PMSJ Osaka Branch at Faculty of Science, Osaka Imperial University, on Nov.28,1936. This program contains 11 talks, in which the last one was H.YUKAWA: On the Interaction of Elementary Particles II.]		1
E02 060 P12	MT On the Interaction of Elementary Particles II, By Hideki Yukawa, (Read Nov.28,1936) §1.Introduction §2.Interaction of the heavy and the light quanta(the 5th leaf) [Some parts were written in Japanese.]		14(+3)
E02 070 P12	DR Quantization の問題 [The Problem of Quantization, in Japanese.]		6
E02 080 P12	DR On the Interaction of Elementary Particles II [with the date Jan.11,1937 on the 3rd leaf]		7
E02 090 P12	CL Quantization of Charged Quantum		6
E02 100 P12	CL Quantization (2)		5(+1)
E02 110 P12	ME [S.SAKATA's memorandum on the scalar meson theory, in Japanese.] §1 重粒子の場と重粒子の相互作用の一般論 (Scalar Theory) [General Theory of the Interaction between the Heavy Particle and the Field of Heavy Quantum] §2. Matrix Element [the 3rd leaf] §3. 中性子-陽子間の交換力の導来 [the 4th leaf] [Derivation of the Exchange Force between the Proton and the Neutron] §4. 同種粒子間の力 [The Force between Like Particles] [the 6th leaf]		8

E02 ### P12 ON THE INTERACTION OF ELEMENTARY PARTICLES II, 1937
(CONTINUED)

E02 120	P13	PC	A post-card from M.TAKETANI to S.SAKATA, Sept.26,1937 [TAKETANI informed SAKATA of his talk on the magnetic moment of nucleon in the Regular Meeting of PMSJ Kyoto Branch held on Nov.25, 1937]	leaves 1(+1)
E02 121	P12 P13	PG	日本数学物理学会大阪支部常会 (大阪帝大理学部三階大講義室に於て、) 昭和12年9月25日(土)午後1時半より 素粒子の相互作用に於て(Ⅱ) °湯川秀樹君・坂田昌一君(20分) [Program of the Regular Meeting of PMSJ Osaka Branch on Nov.25,1937, at Faculty of Science, Osaka Imperial University. In the 11 talks delivered in this meeting, the 8th was H.YUKAWA & S.SAKATA: On the Interaction of Elementary Particles III]	1
E02 122	P12	ME	[S.SAKATA's memorandum on the "Yukon" field, in Japanese] [Quantization of Yukon Field 1) Scattering of Yukon by a Free Neutron(Compton Effect) 2)Dissociation Probability of a Neutron in Nucleus due to the Yukon 3)Like-Particle Force]	8
E02 130	P12	MP	On the Interaction of Elementary Particles II, By Hideki Yukawa, (Read Nov.28,1936) handwritten [The footnote 10) on the 4th leaf of this manuscript suggests that there might have been a plan in which YUKAWA would write a paper on the formalism of scalar meson theory and SAKATA on theoretical deduction of the magnetic moments of proton and neutron in a seperate paper.] §1. Introduction §2.Quantization of U-Field[the 6th leaf] §3.Interaction of U-Field with the Electromagnetic Field[the 8th leaf]	12(+1)
E02 140	P12	MP	On the Interaction of Elementary Particles II, By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata, (Read Sept.25,1937) [The final version of the manuscript for the paper II(P12), typescript] [There is a note,"send the manuscript on Nov.9 (by express)",on the 1st leaf.]	12(+3)
E02 141	P12	PC	A postcard From PMSJ to YUKAWA dated Nov.10,1937 [Notice on acceptance of the manuscript E02 140 P12]	1(+1)
E02 150	P12	PS	On the Interaction of Elementary Particles II [The proof sheets of the paper (P12) with "Note added in proof"]	9 (+an envelope)

E03 ### P13 ON THE INTERACTION OF ELEMENTARY PARTICLES III

			leaves
E03 000 P13		An envelope in which the following materials were enclosed. The title of the envelope: On the Interaction of Elementary Particles III	1
E03 010 P13	CL	Generalization of Maxwell's Scheme	6
E03 020 P13	CL	Deduction of Static Interaction between the Neutron and the Proton	4
E03 030 P13	CL	Linearization of the U-Field Equation [with the date Dec.1937]	10
E03 040 P13	CL	[$L = \frac{\mu c^2}{2} (\vec{F}^2 - \vec{G}^2 - \vec{K}^2 - \vec{U}^2 + U_4^2)$] [1. Lagrangian 2.Canonical Variables 3.Hamiltonian 4.Gauge Invariance]	8(+1)
E03 050 P13	CL	The Constitution of Deuteron and the Scattering of Neutron by Proton	3
E03 060 P13	DR	On the Interaction of Elementary Particles III [with the date Jan.6, 1937] [§1.] Linear Generalized Maxwellian Equations for the New Field. Vertauschungsrelationen[8th leaf] Supplementary Conditions[14th leaf] §2. Interaction of Heavy Quanta with the Electromagnetic Field [18th and 19th leaf] §3. Linear Field Equations of Proca Type[20th leaf]	22(+1)
E03 070 P13	DR	§4. Interaction of the U-Field with the Heavy Particle	3
E03 080 P13	DR	[Interaction of the Heavy Quanta with the Electromagnetic Field. A sequel to the item 060 §2.?.]	2
E03 090 P13	CL	Interaction of the Neutron and the Proton	10
E03 100 P13	MP	On the Interaction of Elementary Particles III 初稿 by Hideki Yukawa, Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani (Read Sept.25,1937) [with the mention: the first draft and the date Nov.,1937] [The first three sections only and §3 is not finished: §1. Introduction and Summery §2. Linearization of the Equations for the U-Field §3. Interaction of the Heavy Quanta with the Electromagnetic Field] [Handwriting]	5(+1)
E03 110 P13	MP	On the Interaction of Elementary Particles by Hideki Yukawa, Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani (Read Sept.25,1937 and Jan.22,1938) [Almost completed handwriting manuscript: §1.Introduction and Summery (the 1st leaf) §2.Linearized Equations for the U-Field in Vacuum (the 3rd leaf) §3.Representation of U-Field in Vacuum by Normal Coordinates (the 6th leaf) §4.Interaction of the Heavy Quanta with the Electromagnetic Field (the 9th leaf) §5.Magnetic Moments of the Neutron and the Proton(the 14th leaf) §6.Interaction of the U-Field with the Heavy Particle (the 17th leaf) §8.Creation and Annihilation of the Heavy Quanta(the 26th leaf) §7.Deduction of Exchange Force between the Neutron and the Proton (the 30th leaf)]	33(+12)

E03 ### P13 ON THE INTERACTION OF ELEMENTARY PARTICLES III
(CONTINUED)

			leaves
E03 120	P13 MP	On the Interaction of Elementary Particles III by Hideki Yukawa, Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani (Read Sept.25,1937 and Jan.22,1938) [Typescript manuscript of §1 and §7, and handwriting References]	10
E03 130	P13 MP	On the Interaction of Elementary Particles III by Hideki Yukawa, Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani Reprinted from Proceedings of the Physico-Mathematical Society of Japan,3rd Ser. Vol.20,No. , , 1938. [The first and the last leaves are the cover pages. This is a carbon copy of the article P13 submitted to PPMSJ.]	28(+1)
E03 131	P13 LT	[Notice for sending of the first proof of the article P13 from Ayao Amamiya,PMSJ, to Yukawa on April 12, 1938.]	1
E03 132	P13 MP	On the Interaction of Elementary Particles III by Hideki Yukawa, Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani (Read Sept.25,1937 and Jan.22,1938) [This manuscript of the article P13 must have been submitted to PPMSJ and returned to the authors with the first proof. The stamp of PMSJ is on every page.]	26
E03 140	P13 MP	On the Interaction of Elementary Particles III by Hideki Yukawa, Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani (Read Sept.25,1937 and Jan.22,1938) [This is a manuscript of the article P13, which was retyped after submitting the article(E03 132 P13) to PPMSJ and added a handwritten comment on a change of notation by the authors. This manuscript seems have been sent to the editor of PPMSJ as well and returned to the authors with the first proof.]	26
E03 150	P13 DR	Further Remarks on the Nature of the New Particle in Cosmic Ray by Hideki Yukawa [This draft is somewhat heterogeneous.Did Yukawa intend a sequel to the short note: <u>On a Possible interpretation of the Penetrating Component of the Cosmic Ray</u> (Proc.PMSJ , 19, 712, 1937) ? Here the following level scheme is drawn under the title: i) Statistical Properties Fermi Statistics $\text{Proton} \rightleftharpoons \text{Neutron} \rightarrow \text{new particle} \rightleftharpoons \text{new neutral particle} \rightarrow \text{electron and antineutrino}$ This "new neutral particle" was introduced "to explain the absence of "new particle" at sea level", and the mass level of "new neutral particle" was drawn clearly lower than that of "new particle".]	1(+1)
E03 160	P13 PG	1938年1月22日第16回数物学会大阪支部常会(大阪帝大理学部三階大講義室) [3. 素粒子の相互作用に就てⅣ 湯川秀樹君・坂田昌一君(20分)] [The program of the 16th Regular Meeting of Osaka Brnch of PMSJ on Jan.22,1938, in which were contained four talks and #3. H.Yukawa & S.Sakata: On the Interaction of Elementary Particles IV]	1
E03 170	P13 ME	四月四日数物学会. discussion [The memorandum on discussions by S.Sakata at the Discussion Meeting on Nuclear Physics in the Annual Meeting of PMSJ on April 4,1938] [This contains 21 items (in Japanese)] [Cf., E04 021 P13/P14]	3

E04 ### P14 ON THE INTERACTION OF ELEMENTARY PARTICLES IV
MARCH 15, 1938

			leaves
E04 000 P14		An envelope in which the following materials were enclosed. The title of the envelope: On the Interaction of Elementary Particles IV, March 15, 1938.	1
E04 010 P14	ME	Fermi, β -Disintegration中の近似式のDeduction, June 1938, [Deduction of an Approximate Formula in the Fermi's Theory of β -Disintegration; by Y.TANIKAWA, with the date June 1938] [Deduction of Eq. (43) in E.FERMI, ZS.f.Phys. <u>88</u> ,172(1934) and some numerical calculations; in Japanese]	4
E04 020 P14	ME	Problems of the Theory of U-Field. a) Theory of Neutral Heavy Quantum i) General Scheme ii) Interaction with the Heavy and Light Particles b) Interaction between Heavy Particles YUKAWA i) Like Particle Force ii) Ordinary Force between Unlike Particles iii) Problem of the Self-Energy of the Heavy Particle TAKETANI iv) Theory of the Deuteron v) Neutron-Proton Scattering vi) Proton-Proton Scattering c) Interaction between Heavy and Light Particles SAKATA i) β -Disintegration ii) Neutro-Electric Effect d) Interaction of Heavy Quanta with the Electromagnetic Field TAKETANI i) General Scheme, Magnetic Moment, etc. ii) Anomalous Mag. Moment of the Heavy Particles e) Interaction of High Speed Heavy Quanta with Matter KOBAYASI [YUKAWA divided the work among four. Cf. YHAL EDT 010]	1
E04 021 P13 P14	MT	日本数学物理学学会年会原子核討論会講演原稿 U-粒子の理論に就て 昭和十三年四月四日午前九時より、東京帝大理学部数学別館にて ["On the Theory of U-Particle" (in Japanese)] [This manuscript was read on the Discussion Meeting on Nuclear Physics in PMSJ 1938 Annual Meeting on April 4, 1938 at Faculty of Science, Univ. of Tokyo. In this talk YUKAWA reviewed the papers I-III, and then gave the theory of neutral heavy quantum] [Cf. BPMSJ. 12/1,28(1938); YHAL E03.170 P13]	8
E04 030 P14	MT	第六回〔大阪帝大理学部〕理論コロキウム講演(昭和十三年五月七日土曜) On the Interaction of Elementary Particles IV の一部 ["A Part of ' On the Interaction of Elementary Particles IV' ".] [This manuscript was read in a Colloquium on Theoretical Physics at Faculty of Science, Osaka University on May 7,1938] §2.Kernkraefte (the 7th - 8th leaf) §3.Theory of the Deuteron (the 1st - 6th leaf)	9(+1)
E04 040 P14	DR	On the Interaction of Elementary Particles IV, March 1938 §1. Introduction and Summary [not written, only title] §2.Linear Equations for the V-Field [the 2nd leaf] §3.Deduction of Forces between Heavy Particles [the 5th leaf] §4.Theory of the Deuteron [the 7th leaf]	33(+6)
E04 050 P14	CL	Neutron- proton System	5

E04 ### P14 ON THE INTERACTION OF ELEMENTARY PARTICLES IV
MARCH 15, 1938 (CONTINUED)

E04 060 P14	ME	U-粒子の電子へ轉化する確率・中間状態の確率・中性子のSelf-Energy [Decay Probability of the U-Particle into the Electron] [By S.SAKATA, in Japanese] [Results of calculation on the transition probability for $U^- \rightarrow e^- + n$, the probability of intermediate states and the self-energy of neutron]	leaves 6
E04 070 P14	PG	第十八回日本数学物理学会大阪支部常会通知 五月二十八日(土)午後一時三十分ヨリ阪大理学部三階大講義室ニテ [The program of the Regular Meeting of PMSJ Osaka Branch on May 28, 1938, at Faculty of Science, Osaka University.] 素粒子の相互作用(続) [Interaction of Elementary Particles(continued)] A.Nuclear Forces (10 min.) 湯川秀樹君 [H.YUKAWA] B. β -Disintegration (15 min.) 坂田昌一君 [S.SAKATA] C.U-粒子の発生及び勢力損失 (15 min.) 小林 稔君 [M.KOBAYASI] D.Nuclear Magnetic Moment (10 min.) 武谷三男君 [M.TAKETANI] [C.Creation and Energy-Loss of the U-Particle]	1
E04 080 P14	ME	第19回数物例会. 13年7月9日午後1時半 坂田昌一君・谷川安孝君: U-粒子と軽粒子の相互作用 小林 稔君: U-粒子, 光子, 重粒子の相互作用 [YUKAWA's memorandum on the Regular Meeting of PMSJ Osaka Branch on July 9, 1938, S.SAKATA and Y.TANIKAWA: Interaction between U-particles and Light Particles. M.KOBAYASI: Interaction of U-particles with Photons and Heavy Particles.]	1
E04 090 P14	MP	On the Interaction of Elementary Particles IV, By Hideki Yukawa, Shoichi Sakata and Minoru Kobayasi (Read May 28, 1938) §1.Introduction and Summary §2.Linear Equations for the V-Field[the 4th leaf] [The 7th leaf - the 21st leaf were missing] §6.Spontaneous Annihilation of Heavy Quanta	10(+1)
E04 100 P14	ME	U粒子のspin, SpinのQuantisation, U粒子の磁気能率 [Spin of the U-particle, Quantization of Spin, and Magnetic Moment of the U-particle] [By TAKETANI, in Japanese]	22(+4)
E04 110 P14	ME	Constant mag.fieldニヨル transition [Transitions due to a Constant Magnetic Field] [By TAKETANI, in Japanese]	7
E04 120 P14	ME	[Comments on the manuscript of "On the Interaction of Elementary Particles IV", By SAKATA, in Japanese] [§1.Interaction of the U-field with the Light Particle §2.Theory of β -Disintegration §.Revision of §5 §.Revision of §6]	22
E04 130 P14	ME	物質中に於るU粒子の発生及び消滅 [Creation and Annihilation of the U-particle in Matter] [By KOBAYASI, in Japanese]	6(+3)

E05 ### U01 核内電子ノ問題 昭和八年頃
 [PROBLEMS ON THE INTRA-NUCLEAR ELECTRON, CIRCA 1933]

		leaves
E05 000 U01	An envelope in which the following materials were enclosed. The title of the envelope: 核内電子の問題 [Problems on the Intra-Nuclear Electron]	1
E05 010 U01 CL	Preliminary Studies on the Theory of Electrons, Protons and Neutrons 20 [This title and §1.Introduction(not completed, only seven lines) are on the 3rd leaf. The date Mar.14 is on the 11th leaf and the date Mar.15 on the 12th leaf.]	
E05 020 U01 CL	β -ray Disintegration	8
E05 030 U01 DR	On the Problem of Nuclear Electron, By H.Yukawa §1.Introduction [not finished]	1
E05 040 U01 DR	核内電子に関する一考察 [A Comment on the Intra-Nuclear Electron, in Japanese] §1.[Introduction] §2.Electron,Proton 及び Neutron に対する Wave Equation [The Wave Equations for Electron,Proton and Neutron(the 4th leaf)] §3.Lorentz Invariance[the 7th leaf] §4.Interaction of Protons and Neutrons[the 8th leaf]	12
E05 050 U01 DR	[On the Problem of Nuclear Electrons, in English] [§1.Introduction. E05 030 U01 may be the 1st leaf of this draft. The remainder of 1.Introduction in the 030, six lines, is written on the 1st leaf.] §2.Wave Equations for Electrons, Protons and Neutrons[the 1st leaf] §3.Quantization of Wave Equations[the 4th leaf]	5
E05 060 U01 ME	核構造に対する電子の役割 [The Role of Electrons in the Structure of Atomic Nuclei] [in Japanese] 1.Problemstellung 2.[Quantum mechanical Treatment(the 5th leaf)]	5
E05 070 U01 DR	Preliminary Studies on the Theory of Electron,Proton and Neutron 12(+11) [Contents(the 1st leaf). In the Contents is seen the letters §3(no title), but §3 is not found in the following leaves.] Introduction(the 2nd leaf) §1.Wave Equations for Electron,Proton and Neutron(the 3rd leaf) §2.Interaction between Neutron and Proton(the 4th leaf) [in Japanese]	
E05 080 U01 MT	[核内電子の問題に対する一考察] [A Comment on the Problem of Intra-Nuclear Electrons, in Japanese] [昭和8年4月3日 日本数物学会年会(東北帝大)講演: 65 湯川秀樹君(京大):核内電子の問題に対する一考察 の原稿と思われる。(cf.日本数物学会誌第7巻第2号,頁131(1933))] [This manuscript seems to have been read in the Annual Meeting of PMSJ at Tohoku Imperial University, Sendai, on April 3, 1933. (cf.BPMSJ 7, 131,1933; in Japanese)]	4(+1)

E06 ### U02 A CONSISTENT THEORY OF NUCLEAR FORCE AND β -DISINTEGRATION

[This manuscript was sent to the Nature as a letter to the editor
on Jan.18, 1937, but not received.]

				leaves
E06 000 U02		An envelope in which the following materials were enclosed.		1
		The title of the envelope:		
		A Consistent Theory of Nuclear Force and β -Disintegration		
E06 010 U02	DR	A Consistent Theory of Nuclear Force and β -Disintegration [Handwriting draft]		2
E06 020 U02	MP	A Consistent Theory of Nuclear Force and β -Disintegration [Typescript manuscript with many handwriting addenda and the date Jan.15,1937]		4(+1)
E06 030 U02	MP	A Consistent Theory of Nuclear Force and β -Disintegration [Typescript, dated Jan.18,1937]		5
E06 040 U02		[A mistyped and left off sheet]		1

F01 *** ** 談話会及び COLLOQUIUM 原稿, 1934 - 35
 [MANUSCRIPTS FOR SYMPOSIA AND COLLOQUIA, 1934-35]

	leaves
F01 000 A file in which the following materials were kept. The title of file: 談話会及び Colloquium 原稿, 1934-35 [Manuscripts for Symposia and Colloquia, 1934-35]	1
F01 010 U01 MT [Bose Electron] [in Japanese]	14
F01 020 T01 MT [原子核の話][Topics on Atomic Nuclei][in Japanese] 1.Isotopes 2.Mass Defects 3.α線による核の崩壊 [Disintegration of Atomic Nuclei by α-Ray] 4.人工嬗変 [Artificial Transformation of Atomic Nuclei] 5.Neutron 6.Positron Table 1. Isotopes Table 2. Atomic Weights of Elements Table 3. Important Nuclear Reactions	29
F01 030 T02 MT " 相対性量子力学に於ける確率振幅について [On the Probability Amplitudes in Relativistic Quantum Mechanics][in Japanese] [This manuscript might have been read in PMSJ 1934 Annual Meeting(Apr.4,1934). Cf. MPMSJ 8,113(1934)]	6
F01 040 T03 ME Memorandum on FURRY & OPPENHEIMER, On the Theory of Electron and Positive [Electron] Phys.Rev.45,245,343(1934)	14
F01 050 T04 PG Program of Lecture Meeting, Oct.24,1933 " 原子核の話 "[Topics on Atomic Nuclei] [The same contents as those of F01 020 T01 ?]	2
F01 060 T05 MT 水曜会講演, Dec.18,1935.[The lecture in "Wednesday Meeting"] " 近代物理学と常識 "[Modern Physics and Common Sense][in Japanese]	[400字詰原稿用紙] 20
F01 070 T06 MT 第66回物理談話会 Dec.19,1935[The 66th Symposium of Physics Department, Osaka Univ.] "MetalのCrystal Structure" [Crystal Structure of Metals]	3
F01 080 T07 MT 第67回物理談話会, Dec.19,1935[The 67th Symposium of Physics Department, Osaka Univ.] " 金属の凝集力について "[On the Cohesive Forces of Metals][in Japanese]	10
F01 090 T08 ME Memorandum with the date Oct.26,1935 on WEITZSAECKER, Zur Theorie der Kernmassen,ZS.f.Phys.98,431(1935).	11
F01 100 T09 ME Memorandum with the date Nov.7,1935: "Energy Minimum の条件と Self-Consistency の条件" [The Conditions for Energy Minimum and the Conditions for Self-consistency] [in Japanese]	2
F01 110 T10 MT 談話会原稿, Sept.21,1935[Manuscript for the Symposium of Phys,Dep.,Osaka Univ.] "Slow Neutronの Anomalous Scatteringの問題" [Problem on the Anomalous Scattering of Slow Neutron][in Japanese]	5

F01 ### ### 談話会及び COLLOQUIUM 原稿 ,1934-35(続)
 [MANUSCRIPTS FOR SYMPOSIA AND COLLOQUIA,1934-35]
 (CONTINUED)

	leaves
Following two items (F01 120 T11 and F01 130 T12) were written in Japanese for the talks in the Regular Meeting of PMSJ on July 6, 1935: [These two were clipped together]	
F01 120 T11[P03] MT I."On the Theory of Radiationless Transition of the Radioactive Nucleus" By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata	5
F01 130 T12[P03] MT II."On the Theory of β -Disintegration", By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata.	4
Following three items (F01 140, 150 and 160) were written in Japanese for the talk in colloquium on newly published issues of periodicals at the Physics Department, Osaka Univ. These three were clipped together.	
F01 140 T13 MT Memorandum on DIRAC, [with the date May 11,1935]	2
F01 150 T14 MT Memorandum on HEISENBERG,	5
F01 160 T15 MT Memorandum on H.EULER & B.KOCKEL, Ueber die Streuung von Licht an Licht nach der Diracschen Theorie, Naturwiss. <u>23</u> ,246(April 12,1935)	2(+1)
F01 170 T16 MT Memorandum with the date Nov.24,1934 on W.HEISENBERG, Zur Diracschen Theorie des Positrons, ZS.f.Phys. <u>90</u> ,209(1934)	6
F01 180 T17 MT Memoranda with the date Nov.5,1934 on SCHUBIN, On the Theory of Liquid Metal,Phys.ZS.Sowj. <u>5</u> ,81(1934) [leaf 1-11], N.F.MOTT,The Resistance of Liquid Metal,Proc.Roy.Soc. <u>146</u> ,465(Sept.1,1934) [leaf 12-19], KUDAR,Bemerkung zur Quantentheorie der Schmelzwaerme,ZS.f.Phys. <u>79</u> ,529(1932) [leaf 20], H.MOTT, Conductivity of Metals,Proc.Phys.Soc. <u>46</u> ,680(1934) [leaf 21] and some related calculations [leaf 22-24]	24(+6)
F01 190 T18 MT Memorandum on DIRAC, Discussion ^{of} the Infinite Distribution of Electrons in the Theory of Positron, Proc.Camb.Phil.Soc. <u>30</u> ,150(1934)	19(+2)
F01 200 T19 MT 第43回談話会 , Jan.31,1935 [The 43rd Symposium of Physics Department,Osaka University] " 中性子の原子核に対する作用について " [On the Action of Neutron to Atomic Nuclei][in Japanese]	8(+1)
F01 210 T19 DR 第43回談話会 , Jan.31,1935: " 中性子の原子核に対する作用について " [On the Action of Neutron to Atomic Nuclei] [A draft of F01 200 T19][in Japanese]	12

F01 ### ### 談話会及び, COLLOQUIUM 原稿, 1934-35 (続)
 [MANUSCRIPTS FOR SYMPOSIA AND COLLOQUIA, 1934-35]
 (CONTINUED)

	leaves
F01 220 T20 MT Memorandum on CARL STOERMER, Ueber die Probleme des Polarlichte, Ergebnisse der kosmischen Physik, Bd. I, SS. 1-82, G. LEMAITRE & M. S. VALLARTA, Latitude and Azythual Effect of Cosmic Radiation, Phys. Rev. 43, 87; 44, 1(1933) [leaf 4-7; The date: Feb. 18, 1935, is on the leaf 4.] and related calculations [leaf 8-17]	17
F01 230 T21 MT Memorandum with the date Sept. 15, 1934 on Radioactive ElementのSpin について (GAMOW,...) [On the Spins of Radioactive Elements (GAMOW,...)]	14
F01 240 T22 MT Memorandum with the date May 20, 1934 on GAMOW, Ueber den heutigen Stand der Theorie des β -Zerfalls,	18
F01 250 T23 MT Memorandum on FERMI: Neutrino の理論 [Theory of the Neutrino]	16
F01 260 T24 MT Memorandum on BETHE, PEIERLS, Neutrino, Nature <u>133</u> , 689 (May 5, 1934)	2

F02 ### *** 論文原稿 1934 [MANUSCRIPTS OF PAPERS 1934]

			leaves
F02 000 ***	A file in which the following materials were kept. The title of file: 論文原稿 1934 [Manuscripts of Papers 1934]		1
F02 010 P01 MP	The Abstract of the paper I (P01) [typescript] [Cf. E01 141 P01]		1
F02 020 P01 DR	The Abstract of the paper I (P01) [handwriting]		1
F02 030 P01 DR	The Abstract of the paper I (P01) [handwriting]		1
F02 040 P01 DR	The Abstract of the Paper I (P01) [handwriting]		1
F02 050 P12 DR	素粒子の相互作用について II [On the Interaction of Elementary Particles II]		1
F02 060	A table of Mass Defects [handwriting]		2
F02 070	A table of Mass Defects [mimeographed]		3
F02 080 C01 LT	A letter from S.TOMONAGA to YUKAWA [no dated, but it might be in the days from spring to June 20,1933] [In this letter TOMONAGA wrote his unpublished results (at that time) on the calculation of neutron-proton scattering by assuming the Yukawa type potential. See, Y.NISHINA & S.TOMONAGA, "A Note on the Interactions of the Neutron and the Proton", SP-IPCR.30,61(1936) ("Scientific Papers of Tomonaga",Vol.1, Misuzu-shobo, Tokyo,1971, p.56, footnote 1).] [Cf. F03 140]		7(+1)
F02 090 C02 LT	A letter from S.TOMONAGA to YUKAWA [The postmark on envelope is Jan.23,1935]		1+envelope
F02 100 C03 LT	A letter from S.TOMONAGA to YUKAWA [The postmark on envelope is Feb.7,1935]		2+envelope
{ F02 110 P01 CL	Magnetic Moment of Proton		3
{ F02 120 P01 CL	Collision of Neutrons with Protons γ -Ray Disintegration Capture of Neutron by Nucleus Selbstenergie の問題 [Problem of Self-energy] [Cf. E01 010 P01 and E01 020 P01]		4
	[F02 110 and F02 120 were clipped together]		
F02 130	DR Short Note: Note on the Theory of Positron		3
F02 140	DR Note on the Theory of Positron, By Hideki Yukawa [with the date Jan.6,1935]		3(+1)
F02 150	DR On the Theory of Electrons and Positron, By Hideki Yukawa [with the date Nov.27,1934]		6(+1)

F03 ### ### 論文原稿 1935 [MANUSCRIPTS OF PAPERS 1935]

			leaves
F03 000 ###	A file in which the following materials were kept. The title of file: 論文原稿 1935 [Manuscripts of Papers 1935]		1
F03 010	CL $tg k_2 R = -k_2 / \kappa$, $k_2 = 2\pi \frac{1}{h} \sqrt{2m(E+U)}$		1
F03 020	ME Resonance Scattering [with the date April 16,1935] 問題: Neutron の nucleus による scattering 等に対して resonance level がどう効いてくるか [Exercise: What effect has resonance levels on scattering of neutron by a nucleus and like processes ?] [This is the exercise for the undergraduate students in Osaka Imperial University, and in succession the schedule of practice is written] Resonance Scattering に就いて [On the Resonance Scattering] \$1. Central field に於ける scattering \$2. Radiative process [This is Yukawa's correct answer ?]		9
F03 030	MT Nuclear Collision における Resonance の問題, 談話会原稿, [Problem on the Resonance in Nuclear Collisions] [with the date May 4, 1935]		7(+5)
F03 040	ME [The scheme of evaluating the transition matrix element $\left \int \psi_m \dot{u}_n \psi \, dv_1 dv_2 \right ^2 = \left a_{mn} \right ^2$ in the combined system $H=H_1+H_2+V$ of system 1: $\psi = \sum_{n=1}^{\infty} c_n \psi_n$ and system 2: $u = \sum_{\nu=1}^{\lambda} b_{\nu} u_{\nu}$, $H\psi = E\psi$]		7
F03 050	DR On Pair Production by Scattering of the γ -Ray, Hideki Yukawa, read April 1935		6
F03 060	MT Ueber die Wahrscheinlichkeiten von Dreifachenprozessen in der Strahlungstheorie [by S.Sakata, in Japanese] [1935年4月4日, 数物学会年会第三日午後 101. 湯川秀樹君, 坂田昌一君 (阪大理) : ディラックの輻射論に於けるサード, オーダーの現象に就て, (数物会誌第9巻第3号 105頁) This manuscript was read at the annual meeting of PMSJ on April 4, 1935.]		18
F03 070	量子統計力学に於ける非可逆性について (Irreversible Property of Quantum Mechanical Ensemble) [with the date June 13,1935]		6
F03 080	CL [$\rho(x',x'')$]		6
F03 090 P12	MT 素粒子の相互作用について II 数物年会原稿 [On the Interaction of Elementary Particles II] [with the date March 30,1935] [1935年4月4日, 数物学会年会第三日午後 100. 湯川秀樹君 (阪大理) : 素粒子の相互作用に就て, (数物会誌第9巻第3号 105頁) This manuscript was read at the annual meeting of PMSJ on April 4, 1935]		9
F03 091	CL Compton Effect [in Meson Theory] [090 and 091 were clipped together]		3

F03 ### ## 論文原稿 '1935 (続) [MANUSCRIPTS OF PAPERS 1935(CONTINUED)]

			leaves
F03 100 P12 DR	On the Interaction of Elementary Particles II § Quantization of the U-field		7(+1)
F03 101 P12 ME	[The interactions between like particles and between unlike particles]		7
F03 102 P12 ME	[The isospin and the phenomenology of nuclear forces]		5
F03 103 P12 ME	素粒子の相互作用に就て, II [On the Interaction of Elementary Particles II] [with the date March 19] [Defects of the paper I: (1) Only the exchange force was considered. (2) The force between like particles were not into consideration. (3) The correspondant to the spin interaction was left out of consideration. (4) The range parameter λ and the coupling constant g determined from the collision theory and the cosmic ray burst become fairly large, so that the mass of U-particle also large. (5) The interaction between the charged quantum and the electromagnetic field was not investigated.]		3
F03 104 P12 ME	On the Interaction of Elementary Particles §1. Introduction [the defects of the paper I] §2. [The other nuclear forces than the exchange force]		2
F03 105 P12 ME	Fermi effect等の説明としてn-p間に exchange forceよりもっとrangeの長い, しかし近くでは前者に対して negligible な force が作用すると考えては如何。 [How about a new n-p force which is of longer range than that of the exchange force and negligible compared with the latter at a small distance in order to explain the Fermi effect and others ?]		2
[F03 100 - 105 were clipped together, and they were probably prepared in inverse order for the talk F03 090 P12.]			
F03 110	CL Field due to the Moving Electron		3
F03 120	ME Classical Electron Theory に就て [On the Classical Electron Theory]		4
F03 130	CL Scattering of Particle		5
F03 140	ME 朝永振一郎 : The Scattering of Neutrons by Protons [Y.Nishina and S.Tomonaga: A Note on the Interactions of the Neutron and the Proton, SP-IPCR 30(1936),61.] [Cf. F02 080 C01]		8
F03 150	CL Pair Production by Scattering of hard γ -Ray		11(+1)
F03 160	ME Capture of Neutrons (Bethe, Bulletin, Febr., 1935)		4
F03 170	CL Materialization by Scattering of γ -Ray		7(+3)

F04 ### *** 論文原稿 1936 [MANUSCRIPTS OF PAPERS, 1936]

			leaves
F04 000	***	A file in which the following materials were kept The title of file: 論文原稿 1936 [Manuscripts of Papers, 1936]	1
F04 010	MP	量子電気力学 [Quantumelectrodynamics][in Japanese] [200 字詰原稿用紙] § 1. 一般的方法 [\$1. General Method]	6
F04 020	MP	原子核の理論に関する二三の疑問 [Queries on the Theory of Atomic Nuclei][in Japanese] [400 字詰原稿用紙]	11
F04 030	ME	Neutronの衝突; MOTT, Handbuch [der Physik], Bd. 24-1, Kap. 6, S. 833. [Collision of Neutron][in Japanese]	3
F04 040	ME	Neutrinoの問題 [Problems on the Neutrino][in Japanese] [with the date May 14, 1934]	1
F04 050	ME	Theory of Secondary Electron Emission	1
F04 060	ME	Theory of Spin Valency	2(+2)
F04 070	CL	Dirac's Electron in Repulsive Field	5
F04 080	CL	Theory of Internal Conversion by Pair Formation --- Calculation of Perturbation Matrix Elements [with the date Jan. 16]	1
F04 090	MP	[多体問題の相対論的量子力学] [Relativistic Quantum Mechanics of Many-Body Problem] [§] 多体問題に対する非相対律的 Schroedinger の微分方程式 [Non-relativistic Schroedinger Equation for Many-Body Problem] § Method of Division in Many-Body Problem [§] 核構造に関する疑問一束 [Queries on Nuclear Physics] 1. Mass Defects 2. Negative Energy States 3. Repulsiveに働く様なparticlesの binding [The Binding of Particles Interacting Repulsively] 4. Proton による Proton の散乱の実験のないこと [Absence of Experiments on Proton-Proton Scattering] 5. Shower 6. QEDにおけるHamiltonian は systemのenergy を表していない [The Hamiltonian in QED does not represent the energy of system] § Formulation of Quantum Mechanics [§] Relativistic Quantum Mechanis A Scheme of Relativistic Quantum Mechanics --- Introduction § Symbolical Method in Quantum Mechanics of System of Particles § Symbolical Method in Quantum Mechanics of Assembly of Indefinite Number of Similar Particles § Case of Particles with Spin § Particles with Spin or Polarized Wave [§] General Method § [System of Non-relativistic Particles] § [System of Indefinite Number of Similar Particles]	35(+14)

EDT 010 理論物理コロキウム記録, 大阪帝大 1938

[RECORD OF COLLOQUIA ON THEORETICAL PHYSICS,
OSAKA IMPERIAL UNIVERSITY, 1938]

研究室日誌 [Laboratory Diary], April 21,1938 - Oct.15,1938. [N01 010 D01]

[The contents are tabulated in the following table.]

COLLOQUIA ON THEORETICAL PHYSICS, OSAKA IMPERIAL UNIVERSITY, 1938
(YHAL N01 010 D01)

	1937 Assist.Lect. Prof.↓	Mar.38 Lect. ↓	Mar.38 Lect. ↓	Apr.38 Junior Assistant	Post- graduates 1st year	Under- graduate 3rd y.	OCCASIONAL PARTICIPANTS
#1938	YUKAWA (graduated Kyoto U. in 1929)	SAKATA 1933	KOBAYAS I 1933	TAKETANI 1934	OKAYAMA Osaka U. 1938	HAI)	TANIKAWA
1	4.21.Th.	Outline of research plan		Mag.Mom. Self-en.			
2	4.23.Sa.	VAN DER WAERDEN ¹⁾ LAPORTE ²⁾					
3	4.28.Th.	UHLENBECK ³⁾ DIRAC, PROCA ⁴⁾			H-P I ³⁾		HUSIMI
4	4.30.Sa.	DIRAC, PROCA ⁴⁾					
5	5. 5.Th.					H-P I	
6	5. 7.Sa.	Deuteron Problem ^{b)}					
7	5.12.Th.				H-P I		HUSIMI
7*	5.14.Sa.	Creation of U-ptl.c)					
8	5.19.Th.	Theory of β -decay ^{d)}			absence		
9	5.21.Sa.			SIEGERT ⁵⁾ LAMB-SCHIFF ⁶⁾ continued			
10	5.26.Th.						KOMATSU
11	6. 4.Sa.	KEMMER ⁷⁾ MAJORANA ⁸⁾ RACAH ⁹⁾					
12	6. 9.Th.					JORDAN-WIGNER ¹⁰⁾	
13	6.11.Sa.	KEMMER ¹¹⁾ FROHLICH-HEITLER ¹²⁾					
14	6.16.Th.					FRNKEL W.M. ¹³⁾	
15	6.18.Sa.			FROHLICH-HEITLER-KEMMER ¹²⁾		absence	
16	6.23.Th.				H-P I		
17	6.25.Sa.			Spin of U-particle ^{e)}			
18	6.30.Th.					H-P I	
19	7. 2.Sa.	Absorption of U-ptl.c)			LANDAU-RUMER ¹⁴⁾		
20	7.14.Th.			absence		H-P II ¹⁵⁾	
21	7.18.M.			Mag.mom. of N. ^{e)}		H-P II	HUSIMI
22	7.25.M.	HEITLER ¹⁶⁾		β -decay			
23	SUMMER VACATION 9.10.Sa.	DIRAC ¹⁷⁾					KOMATSU
24	9.15.Th.	NORDHEIM ¹⁸⁾ NORDHEIM		9.13 ~ 1939 April: arrested by the Special Political Police			
25	9.22.Th.				BETHE ¹⁹⁾ N.P.-B.		
26	9.29.Th.				BETHE		
27	10. 6.Th.				BETHE		
28	10. 8.Sa.	HEISENBERG ²⁰⁾					
29	10.15.Sa.					BETHE	

1938.1.22. PMSJ Osaka Br. Regular Meeting.
1938.3.15. received paper III
1938 Mar. 1st manuscript of paper IV.
1938.4.4. PMSJ Annual Meeting.

* YUKAWA's miscounting

1938.5.28 PMSJ Osaka Br. Regular Meeting

1938.7.9. PMSJ Osaka Br. Regular Meeting

1938.8.2. received paper IV

References for the Table "OSAKA IMPERIAL UNIVERSITY, 1938"

- 1) VAN DER WAERDEN: *Gött.Nachr.* 1929, 100.
 - 2) O.LAPORTE and G.E.UHLENBECK: *Application of Spinor Analysis to the Maxwell and Dirac Equations*, *Phys.Rev.* 37(1931), 1380.
 - 3) W.HEISENBERG und W.PAULI: *Zur Quantendynamik der Wellenfelder*, *Z.f.Phys.* 56(1929), 1.
 - 4) J.PROCA: *Jour. d. Phys.* 7(1936), 347; 9(1938), 61.
 - 5) A.J.F.SIEGERT: *Note on the Interaction between Nuclei and Electromagnetic Radiation*, *Phys.Rev.* 52(1937), 787.
 - 6) W.E.LAMB and L.I.SCHIFF: *On the Electromagnetic Properties of Nuclear System*, *Phys.Rev.* 53(1938), 651.
 - 7) N.KEMMER: *The Charge-Dependence of Nuclear Force*, *Proc.Camb.Phil.Soc.* 34(1938), 354.
 - 8) E.MAJORANA: *Teoria Simmetrica dell'elettrone e del Positrone*, *Nuovo Cimento* 14(1937), 171.
 - 9) G.RACAH, *Sulla Simmetria tra Particelle e Anti-particelle*, *Nuovo Cimento* 14(1937), 322.
 - 10) P.JORDAN and E.WIGNER: *Ueber das Paulische Aequivalenzverbot*, *Z.F.Phys.* 47(1927), 631.
 - 11) N.KEMMER: *Quantum Theory of Einstein-Bose Particles and Nuclear Interaction*, *Proc.Roy.Soc.* A116(1938), 127.
 - 12) H.FROELICH, W.HEITLER and N.KEMMER: *On the nuclear Forces and Magnetic Moments of the Neutron and the Proton*, *Proc.Roy.Soc.* A166(1938), 154.
 - 13) J.FRENKEL: *Wave Mechanics, Advanced General Theory*(Oxford, 1934), Chap.IX, \$46.
 - 14) L.LANDAU and G.RUMER: *The Cascade Theory of Electronic Shower*, *Proc.Roy.Soc.* A166(1938), 215.
 - 15) W.HEISENBERG and W.PAULI: *Zur Quantentheorie der Wellenfelder II*, *Z.f.Phys.* 59(1930), 163.
 - 16) W.HEITLER: *Showers Produced by Penetrating Cosmic Ray*, *Proc.Roy.Soc.* A166(1938), 1529.
 - 17) P.A.M.DIRAC: *Classical Theory of Radiating Electron*, *Proc.Roy.Soc.* A167(1938), 254.
 - 18) L.W.NORDHEIM and G.NORDHEIM: *On the Production of Heavy Electrons*, *Phys.Rev.* 54(1938), 148.
 - 19) H.A.BETHE: *Nuclear Physics, B. Nuclear Dynamics, Theoretical*, *Rev.Mod.Phys.* 9(1937), 69.
 - 20) W.HEISENBERG: *Die Grenzen der Anwendbarkeit der bisherigen Quantentheorie*, *Z.f.Phys.* 110(1938), 251.
- a) Cf. YHAL-E04 020 P14
 - b) YHAL-E04 030 P14
 - c) YHAL-E04 130 P14
 - d) Cf. YHAL-E04 060 P14 and E04 120 P14
 - e) YHAL-E04 100 P14 and E04 110 P14
 - f) A part of the paper III (P13) was read in this meeting.
 - g) YHAL-E04 040 P14
 - h) Reference a) anf YHAL-E03 150 P13
 - i) YHAL-E04 070 P14. The most parts of paper IV (P14) were repoted in this meeting.
 - j) YHAL-E04 080 P14

EDT 020 DEVELOPMENT OF MESON THEORY IN JAPAN, 1940 - 1945

[The followings are the selected jottings from Yukawa's "Laboratory Diaries". They refer to efforts of understanding the properties of meson by Japanese physicists during the War.]

- N04 010 D04 1941.6.12: 理論の会第一回
[The 1st "Theory Meeting"]
- N05 010 D05 1941.12.13: 第二回理論の会
[The 2nd "Theory Meeting"]
- N05 010 D05 1942.4.24: 迷想会
["Meiso-kai" = "Illusion Meeting". This is a joky name which sounds Meson Meeting in Japanese.]
- N05 010 D05 1942.6.13: 迷想会
["Meiso-kai"]
- N06 010 D06 1942.12.12: メソン会
["Meson Meeting"]
- N07 010 D07 1943.6.19: 中間子懇談会
["Informal Meeting on Mesons"]
- N07 010 D07 1943.9.26 and 9.27: 中間子討論会
["Discussion Meeting on Mesons"]
[Cf. 素粒子論研究会編 "素粒子論の研究 I" (岩波書店, 1949)
("Researches on the Theory of Elementary Particles, I"
Iwanami-shoten, 1949 ; in Japanese)]
- N09 010 D09 1944.11.18 and 11.19:
N16 070
学術研究会議素粒子論(班)発表会
["Elementary Particle Theory Meeting" sponsored by the
Science Research Council]

[The subjects of reports and the names of attendants in every meeting are tabulated in the following table.]

- N16 150 小林 稔, 「素粒子の固有力と自己エネルギー」(京都)大学新聞, 昭和二十年二月二十一日号
[M. Kobayasi, "Self-energies of Elementary Particles", Kyoto(maybe) Imperial University News, Feb.21, 1945]
- N16 151 伏見康治, 「物理学基礎理論, 超多時間理論の展望」大阪帝国大学々報, 昭和二十年三月十五日号
[K. Husimi, "A View of the Super-Many-Time Theory", Osaka Imperial University News, Mar.15, 1945]

メソン会・中間子討論会の記録.

会の名称	時	所	講演	出席者
理論の会 第一回	1941年 6月12日(木) 13時通より	若溪会館	朝永の理論の話 渡辺の五次元の話 小林の Single force theory 山本(英雄)の Wave equations の tensor formulation の話 坂田の Pseudoscalar (Meson) の life-time の話	荒木源太郎 後藤憲一 藤岡由夫 伏見康治 細江正尚 市村照夫 小林 稔 宮島龍興 中村誠太郎 仁科芳雄 尾崎正治 坂田昌一 佐々木宗雄 武谷三男 玉木英彦 富山小太郎 朝永振一郎 梅田 魁 渡辺 慧 山崎文男 湯川秀樹
第二回 理論の会	1941年 12月13日(土) [湯川は電車が超議員のため14時到着] 20時通散会	若溪会館	関戸 1. 一次線が電子でないこと 2. Angular spread の問題 3. Schein の実験の解釈 武谷 主として Neutral meson の存否の問題	荒木源太郎 藤岡由夫 伏見康治 小林 稔 馬 宗英 宮島龍興 仁科芳雄 尾崎正治 坂田昌一 関戸彌太郎 武谷三男 竹内 征 玉木英彦 谷川安孝 朝永振一郎 渡辺 慧 山崎文男 湯川秀樹
迷想会	1942年 4月24日(金) 13時	理研18号 船庫列室	湯川: i) 原因結果の非分離性 ii) 密度行列 iii) 場方程式と附加条件 iv) Lagrangian-Hamiltonian v) 素粒子(数)相補的 時空(点)相補的 [質問] 富山 渡辺 武谷 朝永 仁科 谷川 小林 伏見 坂田	藤岡由夫 伏見康治 大井鉄郎 小林 稔 宮島龍興 中村誠太郎 仁科芳雄 岡山大介 尾崎正治 坂田昌一 佐々木宗雄 島村福太郎 武谷三男 竹内 征 玉木英彦 谷川安孝 富山小太郎 朝永振一郎 渡辺 慧 山内恭彦 湯川秀樹 全 平水
迷想会	1942年 6月13日(土) 9時30分 午後は理研研究員会議		坂田・谷川らの新理論の検討	有山兼孝 藤岡由夫 伏見康治 小林 稔 小谷正雄 武藤俊之助 仁科芳雄 坂田昌一 朝永振一郎 梅田 魁 湯川秀樹 など
メソン会	1942年 12月12日(土) 9時30分 13時より理研研究員会議	[理研]	玉木: 宇宙線の本質に就いて 竹内: Slow meson track	[リストは残されていないが 宮島龍興 湯川秀樹 は出席していた]
中間子 懇談会	1943年 6月19日(土) 9時30分	理研食堂	朝永 竹内 武谷	[昼食に「鉢の木」で会食。約30名との記録あり]
中間子 討論会	1943年 9月26日(日) 27日(月) 2日とも9時 より	理研講堂	26日午前 荒木源太郎: 中間子(論)は一つの形式でうまく行くか 午後 坂田昌一: 素粒子論に於ける模型の問題 27日午前 玉木英彦: 宇宙線の本性と中性微子損失 武谷三男: 中性中間子に就いて 午後 朝永振一郎: 中間子と核粒子との相互作用に就いて 第1部切断仮説に基づく考察	約50名
学術研究会 素粒子 (論)班発表 会 [別名 物理基礎 理論班の 会(?)]	1944年 11月18日(土) 19日(日)	東大第2 工学部	18日 荒木源太郎: 核粒子の磁気能率に就いて 尾崎正治: ベクトル中間子と核子の相互作用 小林 稔・金井英三: 核子の電磁気能率 3 鈴木 垣: γ 線の内部変換 4 (取消) 5 坂田昌一・芳賀 稔: 反中性微子の消去理論 19日 7 柿沼宇作: 素粒子の構造について(渡辺代説) 8 豊田利幸: 一般変換函数に就いて 9 渡辺 慧: 場の力学に就いて 9.5 内山龍雄: 正規変換に就いて 9.75 伏見康治: 10 谷川安孝: 一般変換函数 11 宮島龍興: 素粒子の相互作用に就いて	

EDT 030 TWO MESON THEORY

[This compiled material consists of the selected items on the two meson theory from Yukawa's "Laboratory Diaries". For the difficulty of meson life time, it seems that Yukawa sought after a key in the analysis of the foundation of quantum field theory but had rather little interests on the model setting. We cannot find so many jottings in his diary.]

N05 010 D05 1942.5.6: 奈良ハイキング [Hiking to NARA]

奈良帝室博物館前集合-二月堂・三月堂-奈良ホテル(昼食)-唐招提寺-薬師寺

[Cf. 坂田昌一, 「中間子論研究の回顧」 十三章(論集『物理学と方法』(岩波書店, 1972) p.146)
(S.Sakata, "Physics and Method", Iwanami-Shoten, 1972, p.146,
in Japanese.)]

N05 010 D05 1942.5.13: 理論談話会

坂田君: 中間子の理論.

[Colloquium on theoretical physics in the Faculty of Science,
Kyoto University;
S.Sakata: " A Theory of Mesons".]

N05 010 D05 1942.6.13: 迷想会

坂田・谷川等の新理論の検討.

["MEISO-KAI" at IPCR(Cf. EDT 020).]

Main theme in this meeting was the examination of Sakata-Tanikawa's new theory.]

N06 010 D06 1942.7.11: 数物学会京都支部常会

井上健君: 中間子と湯川粒子の関係 I,

中村誠太郎君: 中間子と湯川粒子の関係 II.

[The Regular Meeting of PMSJ Kyoto Branch;

T.Inoue: " Correlation between Meson and Yukawa Particle I",

S.Nakamura: " Correlation between Meson and Yukawa Particle II".]

N06 010 D06 1942.9.16: 谷川君 [二中間子論].

[Tanikawa's talk on the two meson theory(in a seminar at
Yukawa Laboratory ?)]

N07 010 D07 1943.9.26: 中間子討論会

坂田昌一: 「素粒子論に於ける模型の問題」.

[Discussion Meeting on Mesons (Cf. EDT 020)

S.Sakata: "Problems on Models. in the Theory of Elementary
Particles".]

PCT 010 HIDEKI YUKAWA 1907 - 1981

16 panels with 60 photographs for exhibition:

- Panel 1 Cover panel
- Panel 2 Personal History
- Panel 3 Student Days
- Panel 4 Birth of Meson Theory
- Panel 5 Discovery of Meson
- Panel 6 50 Years of Meson
- Panel 7 Non-local Field Theory
- Panel 8 Award of Nobel Prize
- Panel 9 Yukawa Hall (Research Institute for Fundamental Physics)
- Panel 10 Publication of the Progress of Theoretical Physics
- Panel 11 Yukawa in a Human
- Panel 12 Theory of Elementary Domain
- Panel 13 Russell-Einstein Manifesto
- Panel 14 Towards Abolition of Nuclear Weapons
- Panel 15 In spite of his Illness
- Panel 16 Words and Writings

Cf. 京都大学基礎物理学研究所・理学部「湯川秀樹博士追悼行事実行委員会」編
『湯川秀樹博士を偲ぶ』(理論物理学刊行会, 昭和57年3月), 34頁-50頁。
['Memorials of Dr.Hideki Yukawa', edited by the Committee for Dr.Hideki
Yukawa Memorial Meeting in RIFP and Faculty of Science, Kyoto
Univ. (Publication Office, Progress of Theoretical Physics, 1982),
pp.34-50]

YHAL RESOURCES

HIDEKI YUKAWA (II)

EDITED BY THE COMMITTEE FOR
YUKAWA HALL ARCHIVAL LIBRARY

京都大学基礎物理学研究所

湯川記念館史料室編

OCTOBER 1984

APPLICATION FORM (CONTINUED)

Statement to be signed by users of the Yukawa Hall
Archival Library, Research Institute for Fundamental
Physics, Kyoto University, Kyoto, Japan

In consideration of the extension to me by the
Chairman of the Committee for the Yukawa Hall Archival
Library (YHAL) of the privilege of using, for scholarly
purposes, archival materials collected in YHAL, I agree
to the following

1. I shall not quote from any of the material to which I am given access without the prior and written permission of the Chairman of the Committee.
2. I shall paraphrase the material only in such detail as is essential to a just expression of its historical and scientific substance.
3. If I am allowed to copy or to have copies made of any of the material, in whole or in part, by any means, including copying by hand, I shall use these copies solely for scholarly purposes.
4. I shall not allow any copied material to pass into the hands of others without the prior and written consent of the Chairman of the Committee.
5. I agree to give credit to the Yukawa Hall Archival Library, Kyoto University, whenever documentary source material from YHAL is quoted, or summarized or otherwise used in a publication.
6. I agree to send two copies of any resulting publications of the research to Yukawa Hall Archival Library, Research Institute for Fundamental Physics, Kyoto University, Kyoto 606, Japan.

Date _____ Signature _____

Name (legible) _____
Institution _____

Position _____

Address _____

Approved by:

Date: _____

REQUEST FOR PHOTOCOPYING

In accordance with my application regarding the use of the material in the Yukawa Hall Archival Library as stated on the reverse of this sheet, I make application for photo copies of the following material:

Reference number, author, title, pages	Type of copy, size, quantity, special instructions

Send to:

Name (print) _____

Address _____

Charge to:

Name (print) _____

Address _____

I agree to pay the cost incurred in making the copy requested above.

Approved by: _____

Date: _____

Signature of Applicant _____

Date _____

REQUEST FORM FOR PHOTOCOPYING

CLASSIFICATION SCHEME

We use nine letters and figures in total as the code-numbers :

SOURCES OF MATERIALS			ORDER OF MATERIALS			KINDS OF MATERIALS		
E	Envelopes		0	1	0	B	Manuscripts of Books	
F	Files	.	0	2	0	C	Correspondences	
N	Notebooks		0	3	0	D	Laboratory Diary	
Z	Fragments and Others					E	Manuscripts of Essays	
						L	Lecture Notes	
						M	Miscellaneous	
						N	Reports to the Occupation Forces	
						P	Manuscripts of Scientific Papers*	
						R	Proceedings of Research Meetings	
						T	Manuscripts for Talks	
						U	Manuscripts of Unpublished Articles	
						X	Records of University Affairs	

* The numbers of papers are in agreement with those of the "HIDEKI YUKAWA, SCIENTIFIC WORKS", Part I (Iwanami-Shoten, 1979)

CLASSIFICATION SCHEME (CONTINUED)

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL:

E D T O I O

Selected Materials
on a particular subject,
which are compiled
by the Committee for YHAL.

P C T

Pictorial Materials:
photographs, sketches,
video-tapes, etc.

A D T

Oral Materials:
recorded audio-tapes of
addresses, lectures and
symposia.

ABBREVIATION AND NOTATIONS

AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research
SP-IPCR	Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
BPMSJ	日本数学物理学会誌 (Nippon-Sugaku-Butsurigaku-Kaishi) [Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan, in Japanese]
PPMSJ	Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan
PSJ	Physical Society of Japan
JPSJ	Journal of Physical Society of Japan
PTP	Progress of Theoretical Physics
a(+b)	The figure a is the total number of leaves, and (+b) stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation or translation into English.

E08 *** U04 POSITRON THEORY

			leaves
E08 000 U04		An envelope in which the following materials were enclosed The title of the envelope: Positron Theory	1
E08 010 U04		A (smaller) envelope in which the materials E08 020 - E08 040 were enclosed The title of the envelope: Density Matrix in the Theory of Positron April 21, 1936	1
E08 020 U04	MP	Letter to the Editor of the Physical Review: "Density Matrix in the Theory of Positron" [Handwriting draft]	4
E08 030 U04	MP	Letter to the Editor of the Physical Review: "Density Matrix in the Theory of Positron" [Typescript of E08 020 U04 with some corrections but mathematical expressions were not filled in; with the date April 21, 1936] [This letter is not submitted]	4
E08 040 U04	MP	"Note on the Theory of Light Particle", By Hideki Yukawa (Read April 4, 1936) §1. Introduction [This manuscript contains only the first section]	4(+1)
E08 050 U04	ME	9月28日, 数物第三回 "Neutrino Hypothesis について " [September 28, The 3rd Meeting of (Osaka Branch of ?) PMSJ; "On the Neutrino Hypothesis"] [in Japanese]	1
E08 060 U04	ME	[The elimination of singularities of the density matrix] [Dated April 20; in Japanese]	2
E08 070 U04	MP	"Note on the Theory of the Light Particle", By Hideki Yukawa (Read April 4, 1936) §1. Introduction [It seems to be the original version of the item E08 040] [Handwriting]	6(+2)
E08 080 U04	MP	"Theory of the Light Particle 続き " [".... continued"] §1. Commutation Relations for the Density Matrix [With the subtitle: "On the Density Matrix in the Theory of the Positron"] ["continued" in the title means, probably, the continuation of the items E08 100, 110 & 120] [in Japanese]	12
E08 090 U04	CL	[$e^{-\frac{2\pi i a}{c} \int_{x_0}^{x'} A_{\mu} dx_{\mu}}$ (x'', k'') $\phi(x', k')$ $e^{\frac{2\pi i e}{c} \int_{x_0}^{x'} A_{\mu} dx_{\mu}}$] [Calculations for the item E08 080]	12

E08 *** U04 POSITRON THEORY (CONTINUED)

			leaves
E08 100 U04	MT	昭和11年4月数物年会講演原稿 April 4, 1936, 東京帝大にて Hideki Yukawa, On the Theory of the Light Particle (Proc. PMSJ 18, (1936)) [but not submitted] (i) Equivalence of Electron - Anti-Positron, Positron - Anti-electron, Neutrino - Anti-Neutrino [in Japanese]	13(+6)
E08 110 U04	MT	昭和11年度数物年会講演原稿 軽粒子の理論に就て [On the Theory of the Light Particle] [Yukawa listed the followings as the defects of current theory of light particles(e^- , e^+ & ν): (i) Phenomena relating to the β ray (ii) The neutrino is introduced theoretically but yet not observed (iii) Infinities in the theory of positron] [in Japanese]	2(+2)
E08 120 U04	MT	昭和11年度数物年会講演原稿 軽粒子の理論に就て [On the Theory of the Light Particle]. (i) Neutrino と Antineutrino, Electron と Anti-positron, Positron と Anti-electron の equivalency (ii) Eichinvarianz の問題 [Problem of gauge invariance] [in Japanese]	9(+3)
E08 130 U04	ME	"Neutrino 理論に就て", Febr. 24, 1936. [On the Neutrino Theory of Light] [The neutrino theory of light from Yukawa's view-point of the equivalence between light particles] [in Japanese]	5(+3)

[Yukawa delivered the talk titled "On the Theory of the Light Particles" on the Discussion Meeting of Nuclei and Cosmic Ray in 1936 Annual Meeting of PMSJ, April 4, 1936, at Tokyo Univ. (BPMSJ 10(1936),193). The items E08 100 - 130 seem to be for this talk.]

E15 ### T25

数物講演原稿 1939

[Manuscripts for talks in the 1939 Annual Meeting of PMSJ]

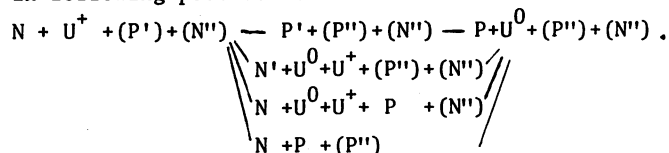
		leaves
E15 000 T25	An envelope in which the following materials were enclosed. The title of the envelope: 数物講演原稿 1939 [Manuscripts for talks in the 1939 Annual Meeting of PMSJ]	1
E15 010 T25 MT	数物十四年度年会講演 Abstracts 〔一〕小林稔・岡山大介: Mesotron に関する輻射過程 〔二〕小林稔・岡山大介: Coulomb 場による mesotron の散乱 〔三〕坂田昌一・谷川安孝: 中性 mesotron の創生過程 〔四〕湯川秀樹・坂田昌一: Mesotron の質量と寿命に就いて 〔五〕湯川秀樹: 場の理論の限界に就いて [The abstracts of talks in the 1939 Annual Meeting of PMSJ: (1) M. Kobayasi & T.Okayama: "Radiative Processes relating to Mesotrons" (2) M. Kobayasi & T.Okayama: "Scattering of Mesotrons in Coulomb Field" (3) S.Sakata & Y.Tanikawa: "Creation Processes of Neutral Mesotrons" (4) H.Yukawa & S.Sakata: "On Masses and Life Times of Mesotrons" (5) H.Yukawa: "On the applicability of Quantum Field Theory"]	2
E15 020 T25 MT	数物年会原子核討論会, "メソトロンに関する一般的解説" (昭和十四年四月三日, 京都帝大理学部にて) 原稿初頁欄外付記: 「事実を申しますと, むしろ理論は大体行きつく所まで行き着き, 跡には困難な問題文が残って居りまして, これを打開する事は, 従来の量子力学の範囲では或ひは不可能かも知れませぬ。ですからこの機会に皆様から色々よい suggestion を与えて頂くことは或は必要最も機宜を得たものかも知れません」 ["General Remarks on Mesotrons"] [This manuscript was read on the Discussion Meeting on Nuclear Physics in PMSJ 1939 Annual Meeting on April 3, 1939 at the Faculty of Science, Kyoto Univ. On the margine of the first page of manuscript, Yukawa had written: " In fact, we must say that our theoretical understanding on mesotrons has been worked to the limit and remain only very difficult problems. It might be impossible in the framework of convetional quantum mechanics to find a way out of these difficulties. Then, it may be very timely to expect some suggestions from all of you in this chance."]	
E15 030 T25 CL	[Spherical harmonics expansion of the vctor meson field]	5
E15 040 T25 ME	§Mesotron と電磁場との相互作用 [§ Interaction of the vector meson with the electromagnetic field] [This memorandum seems to be for the talks of E15 010 T25 (1) & (2). It contains the cross sections for Compton effect, Bremsstrahlung, and scattering in Coulomb field, calculated by using the Hamiltonian in the paper P13.] [By M. Kobayasi (?), in Japanese]	3
E15 050 T25 ME	中性 Mesotron の創生過程 [A creation process of the neutral (vector) meson] [This memorandum seems to be for the talk of E15 010 T25 (3). It contains the cross section for the process $P + r \begin{matrix} \nearrow P \\ \searrow r + \gamma^0 + p \end{matrix} \rightarrow Y^0 + P$ and some numerical calculations.] [By S.Sakata, in Japanese]	3

E15 ### T25

数物講演原稿 1939

[Manuscripts for talks in the 1939 Annual Meeting of PMSJ]
(Continued)

leaves

E15 060 T25 ME [An excerpt from Shonka, Phys.Rev. 55(1939),24] 1
[By S.Sakata]E15 070 T25 ME [Cross section for the transformation of charged meson to neutral meson] 2
[This memorandum argued the transformation of charged to neutral mesons in following processes:This seems also to be for the talk of E15 010 T25 (3)
[Probably by Y.Tanikawa, in Japanese]E15 080 T25 MT? β 崩壊に関連する諸問題 [Problems in connection with the β -decay] 5
(i) β 線の勢力分布 [Energy spectrum of β -ray]
(ii) K電子捕獲 [K-electron capture]
(iii) 選択規則 [Selection rules]
(iv) Mesotron 理論との関係 [Relation to the meson theory]
[The manuscript has only the first two sections, the section(iii) and the follows are not written]

* The 4 items from E15 040 T25 to E15 070 T25 were clipped together.

F05 *** ** 講演原稿, 談話会; 1936- .
[Manuscripts for Talks in Symposia, 1936-]

1

leaves

- F05 000 *** A file in which the following materials were kept.
The title of the file: 講演原稿, 談話会; 1936- .
[Manuscripts for Talks in Symposia, 1936-]
- F05 010 T01 PG 第144回物理談話会プログラム, 11月10日木曜午後4時30分, 理学部大講義室 . 1
[The program of the 144th Symposium in Department of Physics,
Osaka Imperial Univ. on Nov.10, 1938]
湯川秀樹君: 宇宙線理論の近況
[H.Yukawa: "Recent Status in Theory of Cosmic Rays"]
- F05 020 T01 MT 宇宙線理論の近況 8
(Nov.10, 1938) 144回物理談話会にて
["Recent Status in Theory of Cosmic Rays "
(on Nov.10, 1938) in the 144th Symposium in Department of Physics,
Osaka Imperial Univ.]
- F05 030 T02 MT 宇宙線理論に関する理論の現状 19(+5)
(物理談話会にて, Nov.26, 1936)
["Present Status in the Theory of Cosmic Rays"
(in the Symposium in Department of Physics, Osaka Imperial
Univ., on Nov.26, 1936)]
- F05 040 T03 MT 力学コロキウム講演, June 15, 1938. 3
[Talk in the Colloquium on Mechanics and Mathematical Physics,
Osaka Imperial Univ., on June 15, 1938]
Memorandum on
M.Born, A Suggestion for Unifying Quantum Theory and Relativity,
Proc. Roy. Soc. A165(1938),291.
- F05 050 T04 MT 土曜コロキウム原稿 May 14, 1938. 1
[Manuscript for the Saturday Colloquium on May 14, 1938]
Memorandum on
G.Wentzel, Zur Theorie der β -Umwandlung und der Kernkrafte I,II,
ZS. f. Phys. 104(1936),34; 105(1937),738.
- F05 060 T05 MT 宇宙線に関する最近の研究 8
(コロキウム講演原稿, 昭和十三年三月五日)
["Recent Research on Cosmic Rays"
(Manuscript for talk in the colloquium on March 5, 1938)]
- F05 070 T06 PG 第124回物理談話会プログラム, 2月10日午後4時30分, 理学部大講義室 1
湯川秀樹君: 量子論から見た音と熱
[The program of the 124th Symposium in Department of Physics,
Osaka Imperial Univ., on Feb. 10, 1938;
H.Yukawa: "Sound and Heat in Quantum Theoretical Views".]
- F05 080 T06 MT 第124回談話会, Febr.10, 1938. 16(+9)
量子論から見た音と熱
[Manuscript for talk in the 124th Symposium in Department of
Physics, Osaka Imperial Univ., on Feb. 10, 1938;
"Sound and Heat in Quantum Theoretical Views".]
[The doubled page number 8 was given to the last leaf of this manuscript, on the
both sides of which are seen only the titles of several articles. This leaf seems to
be a memorandum on literature for the contents of the 8th and 9th leaves.]

[* F05 010, 020 and 030, F05 070 and 080 were clipped together, respectively.]

F05 *** *** 講演原稿, 談話会, 1936 - (続)

[Manuscripts for Talks in Symposia, 1936-](Continued)

2

- | | | | | leaves |
|-------------|----|---|-----------------|--------|
| F05 090 T07 | MT | 力学コロキウム講演原稿
液体内の分子引力に就て
(Physica 4, No.10, Nov.23, 1937. Van der Waals Centenary Numberより)
[Manuscript for the talk in the Colloquium on Mechanics and
Mathematical Physics at Osaka Imperial Univ. on Jan. 26, 1938.
"On the Molecular Attraction in Liquids"
(An extract from the Physica 4, No.10, Nov.23, 1937, Van der Waals
Centenary Number)]
[Memorandum on
M.Born, The Statistical Mechanics of Condensing Systems(ibid.,
p.1034) and
B.Kahn and G.E.Uhlenbeck, On the Theory of Condensation(ibid.,
p.1155.] | (Jan. 26, 1938) | 7(+2) |
| F05 100 T08 | MT | コロキウム講演原稿
[Manuscript for the talk in the colloquium on Oct.30, 1937]
Memorandum on W.Heitler, On the Analysis of Cosmic Rays, Proc. Roy.
Soc. A161(July, 1937), 261. | (Oct.30, 1937) | 7 |
| F05 110 T09 | PG | 力学・物理数学談話会(第24回), 6月30日(水曜日)午後二時, 第二小講義室
[The program of the 24th Colloquium on Mechanics and Mathematical
Physics in Osaka Imperial University on June 30, 1937]
題目 [theme]
F.London: General Theory of Molecular Forces.
(General Discussion, Faraday Society, Sept. 1936)
Yukawa-Hideki Kun | | 1 |
| F05 120 T09 | MT | 力学コロキウム
F.London, The General Theory of Molecular Forces
(Trans. Far. Soc., 1936)
[This manuscript has the date June 19 (1937).] | (June 23, 1937) | 12 |
| F05 130 T10 | MT | 土曜コロキウム
[Saturday Colloquium]
Memorandum on
H.Volz, Ueber die Groesse der Kernkraefte
(ZS. f. Phys. 105(1937), 537),
S.Fluegge, Die Massendefekte der leichsten Atomkerne auf Grund
) der neuen Annahme ueber die Kraefte
(ibid., 522)
and
H.Euler, Ueber die Art der Wechselwirkung in der schweren
Atomkernen
(ibid., 553). | , June 26, 1937 | 4 |
| F05 140 T11 | MT | 中性子の磁気能率
昭和十二年六月十日第百六回談話会にて
[Manuscript for the talk in the 106th Symposium in the Department
of Physics, Osaka Imperial University, on June 10, 1937;
" The Magnetic Moment of Neutron "]
[This talk was a review on both theories and experiments on the
magnetic moment of neutron.] | | 10(+1) |

[* F05 110 and F05 120 were clipped together.]

F05 *** *** 講演原稿, 談話会, 1936 - (続)

[Manuscripts for Talks in Symposia, 1936-](Continued)

3

- | | | |
|----------------|---|-----------------|
| F05 150 T12 MT | コロキウム, 三月六日, 1937.
[Colloquium, March 6, 1937]
Memorandum on
E.Wigner, On the Consequence of the Symmetry of the Nuclear Hamiltonian on the Spectroscopy of Nuclei,
Phys.Rev. <u>51</u> (1937),106. | leaves
9(+5) |
| F05 160 *** ME | A note on
E.Fermi, Sul moto dei neutroni nelle sostanze idrogenate,
Ric.Scient. VII 2(1936),13.
第二章 中性子と水素原子との衝突の機構
9. 化学的結合を無視した場合
10. 束縛された水素原子に対する中性子の衝突
11. 弾性的に結合されてる水素原子
12. 中性子の捕獲の過程
第一章 中性子の拡散と減速
1. 減速の段階
2. 減速の際の中性子の拡散距離
3. 熱中性子
[Chapter 2. Mechanism of collision of neutrons on Hydrogen atoms
9. The case in that the chemical binding is neglected (1st leaf)
10. Collision of neutrons on bound Hydrogen atoms(1st leaf)
11. Elastically bound Hydrogen atoms(4th leaf)
12. Processes of neutron capture(7th leaf)
Chapter 1. Diffusion and slow-down of neutrons.
1. Stage of slow-down (9th leaf, page number 1)
2. Diffusion length of neutrons in slow-down(10th leaf, page number 2)
3. Thermal neutrons (13th leaf).]
[The chapters 1 and 2 were put in reversed order.] | 15(+6) |
| F05 170 *** ME | Memorandum on
Y.C.Wick, Sulla diffusione dei neutroni lenti,
Rend.Lincei. <u>23</u> (1936),47. | 3(+2) |
| F05 180 T13 PG | 力学, 物理数学談話会(第17回), 12月16日(水曜日)午後二時, 第二小講義室
[Program of the Colloquium on Mechanics and Mathematical Physics
at Osaka Imperial Univ. on Dec.16, 1936]
題目: 液体の分子状態及び電子状態, 湯川秀樹君
[Theme: Molecular and Electronic States of Liquids, H.Yukawa.] | 1 |
| F05 190 T13 MT | Liquid StateのMolecular Structureに就て(液体の分子構造及び電子構造について)11(+4)
Colloquium講演, Dec.16,1936.
[Manuscript for the talk in the colloquium on Dec.16,1936;
"Molecular and Electronic Structure of Liquid States".] | 11(+4) |

[* F05 160 and 170, F05 180 and 190 were clipped together, respectively.]

F05 *** *** 講演原稿, 談話会, 1936 - (続)

[Manuscripts for Talks in Symposia, 1936-](Continued)

4

			leaves
F05 200 ***	ME	Memorandum on J.M.B.Kellogg, I.I.Rabi and J.R.Zacharias, The Gyromagnetic Properties of the Hydrogens, Phys.Rev. <u>50</u> (1936), 472.	4
F05 210 T14	MT	Colloquium 原稿 [Manuscript for the talk in the colloquium. On the 1st leaf the date Sept.7, 1936 was given.] Memorandum on W.Heisenberg, Zur Theorie der Schauer in der Hoehenstrahlung, ZS.f.Phys. <u>101</u> (1936),533.	5(+2)
F05 220 T15	MT	談話会五月二十一日 Fe,Co,Ni が強磁性を有する理由 (J.C.Slater, Phys.Rev. <u>49</u> (1936),537) [Manuscript for the talk in the Symposium in Department of Physics, Osaka Imperial Univ. on May 21, 1936; "The reason why Fe,Co and Ni are of the Ferromagnetism" (J.C.Slater, Phys.Rev. <u>49</u> (1936),537).] [The last leaf was given the doubled page number 8. This leaf gives the table of the electronic states of several elements.]	11
F05 230 T16	MT	Colloquium, May 16. [Manuscript for the talk in the colloquium at Osaka Imperial Univ. on May 16, 1936. The date May 14, 1936 was given on the 1st leaf.] Memorandum on G.Breit and E.Wigner, Capture of Slow Neutrons, Phys.Rev. <u>49</u> (1936),519.	11
F05 240 T16	ME	Memorandum on G.Breit and E.Wigner, Capture of Slow Neutrons, Phys.Rev. <u>49</u> (1936),519. [In this manuscript Yukawa carried out the derivation of some formulae in the paper of Breit and Wigner.]	3
F05 250 T17	MT	コロキウム. [Manuscript for a talk in a colloquim. The date April 18,1936 was given on this leaf.] Memorandum on N.Bohr, Neutron Capture and Nuclear Constitution. Nature <u>137</u> (1936).344.	1

[* F05 230 and 240 were clipped together.]

EDT 040 NON-LOCAL FIELDS
 (From YHAL N16 010 D16: DIARY II, Oct.1948 - Dec.1949)

- Nov.10, 1948; Princeton. Ideas on "General Theory of Unlocalizable Field" took definite shape.
- Nov.30, " ; " Talked about "Remarks on Nonlocalizable Systems" in the seminar of Institute from 04 15 p.m. .
- Dec.10, " ; Harvard U. At 2.30 p.m. went to Prof. Schwinger's office at Department of Physics and discussed about the "nonlocalizable field" with him, Prof.Weisskopf and Prof.Furry.
- Dec.19, " ; Princeton. (Sunday) In the afternoon, Prof. Møller came walking in the deep snow, talked with each other about topics of meson theory. He is particularly interested in my nonlocalizable field theory.
- Dec.26, " ; Princeton. (Sunday) In the afternoon Dr.Pais came and asked a few questions about nonlocalizable field.
- Jan.10, 1949; Princeton. Went to Institute. Discussed with Pais and Uhlenbeck about the extension of nonlocalizable field to finite mass case.
- Jan.13, " ; Pittsburgh. (Went to Pittsburgh on Jan.12 and met Dr.Corben.)
 Went to Carnegie Institute of Technology with Corben....
 Talked to theoretical group about nonlocalizable field theory.
- March 5, " ; Went to University of Rochester....At 11 a.m. to 1 p.m., talk at theoretical physics seminar about nonlocalizable field theory.
- March 9, " ; Princeton. Went to Institute.....worked on nonlocalizable field theory, particularly for the extension of Dirac-Feynman formalism untill midnight.
- March 10, " ; Princeton. Went to Institute. Still can not find good solution for the problem of constructing Lagrangian formalism of nonlocalizable field theory.
- June 28 " ; San Francisco Non-local field theory
 - July 5, - Berkeley,
- July 20-23, " ; Univ. Michigan. Summer Symposium
 Non-locl field theory.
- (Aug. 29, Yukawa moved to New York city.)
- Dec.16, " ; Copenhagen.* In the afternoon went to the Institute and talked about nonlocal field theory.
- Dec.20, " ; Paris. In the afternoon
 College de France: Yuasa, Joliot, Curie-Joliot.
 Henri Poincare Institute:
 Lecture on nonlocal field theory.

* On Dec. 7, Yukawa started from Idlewild Airport in New York to Stockhorm by SAS, arrived about 6.00 p.m. on Dec. 8 at Stockhorm. After the celemony of Nobel Prize and his Nobel Lecture, he departed Stockhorm to Copenhagen on Dec. 15.
 After staying three days in Copenhagen, he arrived at Paris on Dec. 18.

HIDEKI YUKAWA IN RECEIVING NOBEL PRIZE

- Dec.7,1949 Departure from Idlewild Airport, New York to Stockhorm by SAS.
- Dec.8, Arrived at Stockhorm near 6.00 p.m.
- Dec.10, Ceremony. Banquet.
- Dec.12, 10.00: Lecture at Roy.Tech.College,
"Some Problems of Field Theory".
02.00,p.m.: Nobel Lecture, Auditorium of Roy.Tech.College;
"Meson Theory in its Development" (over 500 audiences)
04.00,p.m.; Broadcasting.
- Dec.13, To Uppsala by 11.05 train, lecture at University, 04.00, p.m.
- Dec.15, Stockhorm -> Copenhagen (09.05--SAS--11.00, a.m.)
Dr.Møller took me to Hotel D'Angleterre by his car.
In the afternoon, went to Institute for Theoretical Physics and met
Prof.N.Bohr.
- Dec.16, Went to the Institute and talked about nonlocal field theory.
- Dec.17, Went to the Institute to talk with Møller and Bloch.
- Dec.18, Copenhagen -> Paris, LeBourget Airport. Hôtel du Louvre.
(by Wheeler's car)
- Dec.20, Collège de France.
Henri Poincarè Institute, Lecture on nonlocal field theory.
- Dec.21, Versailles.
Ecole Polytechnique.
- Dec.22, Suspention of service,. Paris-London flight, because of thick fog.
Returned to Hôtel Louvre.
- Dec.23 Paris -> London via Carè, Dover.
Started Paris at 12.20; arrived at Victoria Station at 07.00, p.m.
Grosvenir House, Park Lane.
- Dec.24, London Tower, St.Paul's Cathedral, Westminster Abbey, Parliament.
- Dec.25, Eaton High School, Windsor Castle.
- Dec.26, British Museum, National Galary.
Started 04.30 p.m. Paddington Station for Bristol.
Arrived 07.40 p.m. and met Prof. C.F.Powell. Brights Hotel,Elmdale Road.
- Dec.27. Powell came to the hotel and took us to H.H.Wills Physical Laboratory.
Bristol(02.48. p.m.) -> London -> Edinburgh
- Dec.28. Arrived at Edinburgh early on the morning. North British Hotel.
Prof. Born came to the hotel. took me to University of Edinburgh.
Edinburgh (05.00 p.m.) -> Glasgow --(bus)--> Prestwick Airport.
- Dec.29. Prestwick(01.00 a.m.) --(Iceland)--> New York(03.30 p.m.).

放 談 室

Yukawa Hall Archival Library

RIFP, KYOTO UNIVERSITY
KYOTO 606, JAPAN

YHAL Resources

Hideki Yukawa (III)

edited by
the Committee for
Yukawa Hall Archival Library

March 1988

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室編

Yukawa Hall Archival Library

RIFP, KYOTO UNIVERSITY
KYOTO 606, JAPAN

**Application for Access to the Material
in the Yukawa Hall Archival Library**

The material in the Yukawa Hall Archival Library at the Research Institute for Fundamental Physics, Kyoto University, is available for study and research by scholars whose application for access has been approved by the Chairman of the Committee for Yukawa Hall Archival Library. The applicant is requested to complete the following forms.

Statement to be signed by users of YHAL

In consideration of the extension to me by the Chairman of the Committee for the Yukawa Hall Archival Library (YHAL) of the privilege of using, for scholarly purposes, archival materials collected in YHAL, I agree to the following:

1. I shall not quote from any of the material to which I am given access without the prior and written permission of the Chairman of the Committee for YHAL.
2. I shall paraphrase the material only in such detail as is essential to a just expression of its historical and scientific substance.
3. If I am allowed to copy or to have copies made of any of the material, in whole or in part, by any means including copying by hand, I shall use these copies solely for scholarly purposes.
4. I shall not allow any copied material to pass into the hands of others without the prior and written consent of the Chairman of the Committee for YHAL.
5. I agree to give credit to the YHAL, whenever documentary source material from YHAL is quoted, or summarized or otherwise used in a publication.
6. I agree to send two copies of any resulting publications of the research to YHAL.

Date.....Signature

Name(legible)

Institution

Position

Address

1. Purpose of the research and nature of the problem to be investigated.
2. Names and addresses of at least two recognized scholars to whom we may write for reference.
3. Are the results of the research to be eventually published ? If so, where ?

Approved by Date.....

Request for Photocopying (if necessary)

In accordance with my application regarding the use of the material in the Yukawa Hall Archival Library as stated on the preceding sheet, I make application for photo copies of following material:

Reference number

Title

Number of pages

Send to:

Name(print)

Address

Charge to:

Name(print)

Address

I agree to pay the cost incurred in making the copy requested above.

Signature of applicantDate

Approved byDate.....

YHAL CLASSIFICATION SCHEME

We use nine letters and figures in total as the code number:

SOURCES OF MATERIALS			ORDER OF MATERIALS			KINDS OF MATERIALS	
E	Envelopes		0	1	0	A	manuscripts of Articles
F	Files		0	2	0	B	manuscripts of Books
N	Notebooks		0	3	0	C	Correspondence
Z	Fragments & others					D	laboratory Diaries
.	E	manuscripts of Essays
						L	Lecture notes
						M	Miscellaneous
						N	Reports to the occupation forces
						P	manuscripts of scientific Papers*
						R	proceedings of Research meetings
						T	manuscripts for Talks
						U	manuscripts of Unpublished articles
						X	Records of university affairs.

* The papers are numbered as they are in "Hideki Yukawa Scientific Works" (Iwanami-Shoten, Tokyo, 1979), Part I.

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL:

E	D	T	0	1	0	Selected materials on particular subjects, which are compiled by the Committee for YHAL.
P	C	T				Pictorial materials: photographs, sketches, video-tapes, etc.
A	D	T				Oral materials: recorded audio-tapes of addresses, lectures, and symposia.

YHAL ABBREVIATION AND NOTATIONS

AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper, essay, etc.
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
RP	Reprint
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research (RIKEN)
SP-IPCR	"Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research"
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
BPMSJ	日本数学物理学会誌 Nippon-Sugaku-Butsurigaku-Kaishi ("Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan")
PPMSJ	"Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan"
PSJ	Physical Society of Japan
JPSJ	"Journal of Physical Society of Japan"
PTP	"Progress of Theoretical Physics"
HYSW	"Hideki Yukawa Scientific Works" (Iwanami-shoten, Tokyo, 1979)
a (+b)	The figure a is the total number of leaves of manuscript, etc. and (+b) stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation or translation into English.

YHAL E09 *** P09

LETTER TO THE EDITOR OF THE PHYS. REV.
ON THE NUCLEAR TRANSFORMATION WITH THE ABSORPTION
OF THE ORBITAL ELECTRON FEB. 18, 1937

- E09 000 P09 An envelope in which the following materials were enclosed.
The title of envelope:
Letter to the Editor of the Phys. Rev.
On the Nuclear Transformation with the Absorption of the Orbital Electron
Feb. 18, 1937.
- E09 010 P09 MP Letter to the Editor
On the Nuclear Transformation with the
Absorption of the Orbital Electron 4

(Typescript manuscript of P09 with several
handwritten corrections)
- E09 020 P09 MP Letter to the Editor
On the Nuclear Transformation with the
Absorption of the Orbital Electron 3

(Typescript manuscript of P09 with many
handwritten corrections and addenda)
- E09 030 P09 MP Letter to the Editor
On the Nuclear Transformation with the
Absorption of the Orbital Electron 3

(Handwritten manuscript of P09)
- E09 040 P09 CL (Numerical calculation of the mean life time of
the nucleus Z due to the absorption of K
electron) 5
- E09 050 P09 DR Letter to the Editor
On the Nuclear Transformation with the
Absorption of the Orbital Electron 3

(Handwritten manuscript of the first half of
P09)

E09 060 P09 CL (Table II of P09)

1

(The results of numerical calculation on the ratio of the positron emission and the K electron absorption)

YHAL E10 *** P15 & P16

THE MASS AND THE LIFE TIME OF THE MESOTRON
数物 (PPMSJ) SHORT NOTE MARCH, 1939

E10 000 P15 & P16 An envelope in which the following materials were enclosed.
The title of envelope:
The mass and the life time of the mesotron
数物 (PPMSJ) short note March 1939.

E10 010 P15 CL (Numerical calculation of the life time of the meson) 2
(Numerical calculation for the Table 2 of P15)

E10 020 P15 MP Short Note
The Mass and the Mean Life Time of the Mesotron
By Shoichi Sakata and Hideki Yukawa 5
(Handwritten manuscript of P15)

E10 030 P16 MP Letter to the Editor (Corrected)
The Mass and the Mean Life Time of the Mesotron 9
(The 1st leaf is the letter from Yukawa to the Editor of the Nature to ask for substituting the formerly sending manuscript for the enclosing corrected version, and it has the marginal note: Nordheim's (Phys. Rev. 55 (1939) 506)
-9
value $\tau_0 = 1.6 \times 10^{-9}$ is erroneous, it should be
-8
 $\tau_0 = 2.6 \times 10^{-8}$ correctly.)
(The 5th sheet to 9th sheet are the former version with handwritten corrections.)
(Typescript. Mathematical expressions are written into by Sakata's hand and other notes by Yukawa.)

E10 040 P15 MP Short Note
The Mass and the Life Time of the Mesotron
By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata 5
(Typescript manuscript of P15)
(Received March 4, 1939)

E10 050 P15 ME (Sakata's memorandum on the results of calculation) of

6

(In Japanese)

1. Determination of g_1 and g_2
2. Determination of g' .
3. The life time of the U-particle.)

YHAL E11 *** P17

ABSORPTION OF SLOW MESOTRONS IN MATTER
YUKAWA, OKAYAMA 1939

E11 000 P17 An envelope in which the following materials
 were enclosed.
 The title of envelope:
 Absorption of slow mesotrons in matter
 Yukawa, Okayama 1939.

E11 010 P17 MP Note on the Absorption of Slow Mesotrons in
 Matter
 By Hideki Yukawa and Taisuke Okayama 6

 (Typescript manuscript of P17. Mathematical
 expressions are not written into.)
 (with date June 9, 1939)

E11 020 P17 MP Note on the Absorption of Slow Mesotrons in
 Matter
 By Hideki Yukawa and Taisuke Okayama 2

 (Handwritten manuscript of P17 only to the
 beginning of the section 2.)

E11 030 P17 DR (Handwritten draft of P17) 5

 (In Japanese)
 (It may be written by T. Okayama.)

(E11 020 and 030 were clipped together.)

YHAL E12 *** A01 [論文紹介: W.Heisenberg, Ueber den Bau der Atomkerne,
ZS. f. Phys. 77(1932)1, 78(1932)156, 80(1933)587]

E12 000 A01 An envelope in which the following materials were enclosed.

E12 010 A01 W.Heisenberg: Ueber den Bau der Atomkerne
Zeits. f. Phys. 77(1932),1; 78(1932),156. 400字詰原稿用紙 19枚

[Manuscript for a review of Heisenberg's paper, which appeared on
BPMSJ 7(1933)195 - 205.]
[In Japanese]

E12 020 A01 PC [From PMSJ to Yukawa; a letter of request for proofreading.]

YHAL E13 *** A04 十二年七月執筆
 宇宙線に関する最近の研究 (物理と化学)
 [Recent Researches on the Cosmic Ray, July 1937]

E13 000 A04 An envelope in which the following materials were enclosed.
 The title of envelope: 十二年七月執筆
 宇宙線に関する最近の研究 (物理と化学)
 [Recent Researches on the Cosmic Ray, July 1937]

E13 010 A04 A small envelope in which E13 011 A04 was enclosed.

E13 011 A04 宇宙線に関する最近の研究
 理学士 湯川秀樹 大阪帝大理学部助教授
 400字詰原稿用紙 23 枚
 [Manuscript of "Recent Researches on the Cosmic Ray", in Japanese.]

E13 020 A04 DR 宇宙線に関する最近の研究 湯川秀樹 400字詰原稿用紙 18 枚
 + 200 " 2 "
 [Draft of "Recent Researches on the Cosmic Ray", in Japanese.]

放 談 室

YHAL E14 *** A13 [物理学最近の進歩 (経済学辞典, 岩波書店, 1941)]
[Recent Progress in Physics, 1941]

- E14 000 A13 An envelope in which the following materials were enclosed.
- E14 010 A13 LT (A small envelope in which E14 011 A13 was enclosed.)
- E14 011 A13 LT 大阪商科大学経済研究所長 河田嗣郎 → 湯川秀樹 (昭和十六年三月二九日)
「経済学小辞典」項目「物理学最近の進歩」執筆依頼 1
(A letter from the editorial staff of "Glossary of Economics"
to Yukawa, that asked Yukawa for writing an item of the glossary,
"Recent Progress in Physics". Date: March 29, 1941)
- E14 020 A13 DR 物理学最近の進歩 (Recent Progress in Physics) 320字詰原稿用紙 8(+1)
一. 古典物理学 (1. Classical Physics)
二. 古典電子論と相対論 (2. Classical Electron Theory and Relativity)
三. 量子論 (3. Quantum Theory)
四. 原子核と宇宙線 (4. Atomic Nuclei and Cosmic Ray)
(This draft lacks the 9th - 11th sheets.)
(In Japanese)
- E14 030 A13 LT A small envelope in which E14 031 A13 was enclosed.
- E14 031 A13 LT 大阪商科大学「経済学小辞典」編集部 → 湯川秀樹 [原稿受取御礼] 1
(A letter of receiving the manuscript)
- E14 040 A13 LT A small envelope in which E14 041 A13 and E14 042 A13 were enclosed.
- E14 041 A13 LT 大阪商科大学「経済学小辞典」編集部 → 湯川秀樹
[原稿料送付通知] 1
(A notice of sending the contribution fee from the editorial staff)
- E14 042 A13 LT 大阪商科大学「経済学小辞典」編集部 → 湯川秀樹
[人名表記について] 1
(Editor's question on the inscription of foreign proper names
in Japanese)

YHAL E16 *** U05

(ON THE THEORY OF THE NEW PARTICLE IN COSMIC RAY)

(This manuscript was sent to the Physical Review, but refused its publication.)

E16 000 U05 An envelope in which the following materials were enclosed.
(With a postmark: Dec. 3, 4PM, 1937; Minneapolis, Minn.)

E16 010 U05 LT (A letter from J.W.Buchta, Assistant Editor of the Physical Review, to H.Yukawa, Kurakuen, Nisinomiya-si) 1
(Dated Dec. 2, 1937.)
(The criticisms of an associate editor of the Physical Review on Yukawa-Sakata-Taketani's Letter to the Editor(E16 020 U05), and the refusal to the publication of it.)

E16 011 U05 MP Letter to the Editor of the Physical Review On the Theory of the New Particle in Cosmic Ray H.Yukawa, S.Sakata, and M.Taketani; Osaka Imperial University, Oct. 4, 1937. 4

(Typescript manuscript on the charged scalar meson theory. The received stamp reads Oct. 22, 1937.)
(The "criticisms of an associated editor" says: "The theory as presented gives 1) like-particle forces too small by a factor of 10-20, 2) wrong spin dependence, and 3) non-saturating like-particle forces. It also gives no account of the anomalous magnetic moments of the proton and neutron. None of the suggested modifications are acceptable in detail." "A factor of 4 is omitted on page 2.")

(E16 010 U05 and E16 011 U05 were clipped together.)

E16 020 U05 MP Letter to the Editor of the Physical Review On the Theory of the New Particle in Cosmic Ray 4

(The carbon copy of E16 011 U05)

E16 030 U05 DR Letter to the Editor of Nature
On a Possible Theory of the New Particle in
Cosmic Ray 1

(Handwritten and unfinished draft)
(Yukawa seemed to intend at first to contribute
to the Nature. But did he call up E06 U02 ?
(It was in January of this year.))

YHAL E17 *** P07 Dirac の Generalized Wave Equations に就て
Sept. 26, 1936 --- Oct. 5, 1936

- E17 000 P07 An envelope in which the following materials were enclosed.
Title: Dirac の Generalized Wave Equations に就て.
Sept. 26, 1936 --- Oct. 5, 1936.
(On Dirac's Generalized Wave Equations, Sept. 26, 1936 - Oct. 5, 1936)
- E17 010 P07 MP Note on Dirac's Generalized Wave Equations
By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
(Read Sept. 26, 1936) 11(+1)

(Handwritten manuscript for P07 (PPMSJ 19(1937)91-95))
- E17 020 P07 MP Note on Dirac's Generalized Wave Equations
By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
(Read Sept. 26, 1936) 8

(Typescript manuscript for P07 sent to PPMSJ.
Received on Oct. 8, 1936.)
- E17 030 P07 PG 第九回日本数学物理学会大阪支部例会通知
9月26日(土)午後1時30分ヨリ理学部三階大講義室ニ於テ 1
(The 9th Regular Monthly Meeting of the PMSJ Osaka Branch,
at the 3rd floor lecture hall, Science Faculty, Osaka Imperial Univ.;
on Sept. 26, 1936.)

(The 4th talk in this program is "On Dirac's Geeneralized Wave Equations"
by H. Yukawa and S. Sakata.)
- E17 040 P07 PG 力学・物理数学談話会(第9回) 1
9月30日(水)午後二時 第二小講義室
(The 9th Colloquium on Mechanics and Mathematical Physics,
at 02:00 p.m. on Sept. 30, 1936, in the lecture room No. 2, Faculty of
Science, Osaka Imperial University.)
題目:
P. Weissの量子化の方法に就て。 坂田昌一君
(Title: "On P. Weiss' Method of Quantization", Shoichi Sakata.)
- E17 050 P07 CL Note on Dirac's Generalized Equations
9月26日 数物学会 18
湯川・坂田
(Sept. 26, 1936, Regular Monthly Meeting of PMSJ Osaka Branch,
Yukawa and Sakata.)
- E17 060 P07 DR Dirac の Generalized Wave Equation に就て 7
(On Dirac's Generalized Wave Equation)

(By Sakata in Japanese)
(With many notes written in by Yukawa with a pencil)

E17 070 P07 ME (Memorandum on the spinor calculus from
Van der Waerden, Goett.Nachr. 1929, 100, and
O.Laporte and G.E.Uhlenbeck, Phys.Rev. 37(1931)1380.)

4(+2)

YHAL F08 覚え書 (MEMORANDA)

- F08 010 DR 席数 n を持つ統計力学. 16
 (Statistical Mechanics with capacity n
 (in Japanese)
 (It may be conjectured that this draft was written
 by Taisuke Okayama and was a preliminary version
 of his article: "generalization of Statistics"
 (PTP7(1952)517).)
- F08 020 II-4 MP 古典電気力学の基礎に就いて I (400 字詰原稿用紙) 30
 ("On the Foundation of Classical Electrodynamics
 I", in Japanese) (昭和19年1月15日講演)
 (BPSJ 2(1947)65; English translation: "Scientific
 Papers", Part II, 4.)
- F08 030 An envelope, titled
 数物 Short Note (PPMSJ Short Note)
 Anomalous Magnetic Moment of the Nucleon,
 上野君・久世君 (Mr. Kuze, Mr. Ueno)
 昭和十七年二月廿七日数物へ送付
 (Feb. 27, 1942; sent it to PMSJ.).
 In this envelope were enclosed F08 031 - F08 039.
- F08 031 MP Short Note: "Note on the Magnetic Moment of the
 Nucleon" by Sizuo Ueno and Hironobu Kuze, and
 Errata 5
 (Typescript manuscript with Yukawa's marginal
 notes: "30 reprints, address for sending proof,
 Hideki Yukawa, Kyoto Imperial Univ.")
 with two B6 size cards 2
 (Manuscripts of lantern slides for the talk F08
 032)
 (This short note was published in the
 PPMSJ 24(1942)184-185, and
 the Errata in the
 PPMSJ 24(1942)612.)
- F08 032 PG 第四十回理化学研究所学術講演会講演目次
 日時: 昭和十六年十二月 自十日 至十二日
 (Program of the 40th IPCR Scientific Lecture Meeting
 Dec. 10-12, 1941) 8(+8)
175. 核子の異常磁気能率に就いて
 湯川秀樹・上野静夫・久世寛信
 (No. 175. "On the Anomalous Magnetic Moment of the
 Nucleon", H. Yukawa, S. Ueno and H. Kuze.)

- F08 033 CL (P. S., N ---- P + M ---- N 2
 NM NME
 N ----- P + M ---- N)
 NME NM
 (Written by Ueno or Kuze. Calculation of the
 magnetic moment of the nucleon in the pseudoscalar
 meson theory.)
- F08 034 CL Pseudoscalar Meson Theory ニヨル Nucleon ノ Anomalous
 Magnetic Moment ノ計算 15
 (Written by Ueno or Kuze. Several Yukawa's check
 notes by a red pencil are seen.)
- F08 035 CL Vector Meson Theory ニヨル Proton ノ Anomalous Magnetic
 Moment ノ計算 9
 (Written by Ueno or Kuze.)
 (Dated Nov. 5, 1941.)
- F08 036 CL Vector Meson Theory ニヨル Proton ノ Anomalous Magnetic
 Moment ノ計算 11
 (Written by Ueno or Kuze.)
 (Dated Dec. 19, 1941.)
- F08 037 CL ($A = (1/2) (H, r)$) 3
- F08 038 MP "Note on the Magnetic Moment of the Nucleon" 3
 (Handwritten manuscript by Yukawa)
 ME with the summary of results of calculations in the
 pseudoscalar meson theory and the vector meson
 theory (written by Ueno or Kuze). 1
- F08 039 MP Short Note, "Note on the Magnetic Moment of the
 Nucleon" by Sizuo Ueno and Hironobu Kuze 4
 (Typescript manuscript with the same contents as
 F08 031. It may be considered that this manuscript
 was sent to PMSJ and returned with its proof. On
 the last page is found (Received Mar. 2, 1942). In
 both the manuscripts F08 031 and 039, handwritten
 filling up of mathematical expressions in the text
 are decided those written by Yukawa. Taking F08
 038 into consideration, This short note may be
 considered as Yukawa wrote substantially it based
 on Ueno-Kuze calculation.)

(Reprints F08 040 - F08 049 were filed.)

- F08 040 RP 原子核 湯川秀樹
("Atomic Nuclei", H. Yukawa; in "Modern Chemistry I" ed. by T. Chitani and Y. Urushihara, Kyoritsu Publ., Tokyo, 1942; in Japanese)
- F08 041 RP エネルギーの源泉 湯川秀樹
("Sources of the Energy"
(In Japanese)
- F08 042 RP 素粒子論の方法 坂田昌一
電子の自己エネルギー 井上 健・高木修二
("The Theory of the Interaction of Elementary Particles", S. Sakata, Kagaku 16/8(1946)203-205, in Japanese. English translation: PTP 2(1947)145. "The Selfenergy of the Electron", T. Inoue and S. Takagi, Kagaku 16/8(1946)205-206, in Japanese.)
- F08 043 RP "The Structure of Cosmic-Ray Air Shower", K.L. Kingshill and L.G. Lewis, PR 69/5(1946)159-164.
- F08 044 RP "Reciprocity and the Number 137 Part I", M. Born, Proc. Roy. Soc. Edinburgh 59(1939)219-223.
- F08 045 RP "Some Remarks of Reciprocity", M. Born, Proc. Indian Acad. Sciences 8/5(1938)309-314.
- F08 046 RP "Application of 'Reciprocity' to Nuclei", M. Born, Proc. Roy. Soc. London A166(1938)552-557.
- F08 047 RP "A Suggestion for Unifying Quantum Theory and Relativity", M. Born, Proc. Roy. Soc. London 165(1938)291-303.
- F08 048 RP "Dublin Colloquium, 1945", M. Born, Nature 156(1945)704-709.
- F08 049 RP "Nuclear Reactions in Stellar Evolution", G. Gamow, Nature 144(1939)575-586.
- F08 050 CL $(d^2 W/dx^2) + (2/x)(dW/dx) = 25W + 25(E'/g)$
ノ数値計算ニヨリ $- 0.2982W^{3/2}$
 $\rho = 1.342 \times 10^{31} W^{3/2} (\text{cm}^{-3})$ ヲ求ム
 $A = 4\pi \int_0^x \rho x^2 dx = (4\pi/3) \int_0^x \rho (x^3 - x^3)$ 5
(Cf. YHAL F16 050 - 052) A B

- F08 060 ME Ganzzahligkeit des Raumes und der Zeit
(Juli 28, 1941) 2
(Three types of the space-time (A-, B-, And C-type) are argued.)
- F08 070 DR On the Interaction of Scalar (or Pseudoscalar) with
the Electromagnetic Field I 2
- F08 071 DR On the Interaction of Scalar (or Pseudoscalar) with
the Electromagnetic Field II 3
(F08 070 and F08 071 were clipped together.)
- F08 080 ME March und Foradori, "Ganzzahligkeit in Raum und
Zeit I, II, III"
(ZS. f. Phys. 114 (1939) 215, 653; 115 (1940) 245)
March, IV, (ibid. 8
(Handwritten copy of March und Foradori I, sections
1 and 2)
- F08 090 ME (Annotation of (unknown) papers on the deuteron
problem) 9(+2)
(Writer is unknown. In Japanese.)
- F08 100 All MT 中間子の崩壊に関する最近の研究 湯川秀樹 2(+2)
(昭和十六年五月廿二日原子核談話会にて)
("Recent Researches on the Decay of the Meson",
Hideki Yukawa, on Symposium on Nuclear Physics,
May 22, 1941.)
(Mimeographed print. In Japanese.)
- F08 110 RT "The Mass and the Life of the Mesotron",
by Hideki Yukawa and Shoichi Sakat, PPMSJ 21 (1939)
138-140. (A reprint)
- F08 111 MT "核に依る Mesotron の散乱と Bremsung" 6(+1)
小林君 (理研学術講演会、昭和十四年六月)
("The Scattering and the Bremsung of the Mesotron
on Nucei") (In Japanese)
(Marginal note by Yukawa: "M. Kobayasi, IPCR
Scientific Lecture Meeting, June 1939".)

- F08 112 MT 中性メソトロンに就いて
(第35回理研学術講演会) 4
("On the life time of the Neutral Mesotron"
(The 35th IPCR Scientific Lecture Meeting))
(Written by S. Sakata in Japanese)
- F08 113 (MT) (Gamma Rays accompanied by Beta Rays) 3
(In Japanese)
(Written by Taketani ?)
(F08 110 - F08 113 were clipped together.)
- F08 120 MT 中間子理論に依る中性子の陽子に依る捕獲について
湯川秀樹・谷川安孝 22
("On the Capture of the Neutron by the Proton",
Hideki Yukawa and Yasutaka Tanikawa;
The 37th IPCR Scientific Lecture Meeting, June 14,
1940.)
(In Japanese. The 1st leaf (Introduction) is
written by Yukawa and the rest by Tanikawa.)
- F08 130 MT 第39回理化学研究所学術講演会発表
(昭和16年6月11日)
擬スカラー中間子の散乱 II
湯川秀樹・谷川安孝・上野静夫 3
("The Scattering of the Pseudoscalar Meson",
Hideki Yukawa, Yasutaka Tanikawa, and Sizu Ueno,
The 39th IPCR Scientific Lecture Meeting, June 11,
1941.)
(Written by Tanikawa, in Japanese.)
- F08 140P19 MP "Outline of the Meson Theory" 9
(Typescript manuscript with handwritten
corrections)
(The title was changed from "Some problems of the
Meson Theory", which was the title of unrealized
lecture to be delivered in the International
Conference at Zuerich in 1939.)

F08 150 DR "Der gegenwaertige Stand der Theorie des Mesotrons" 1

(A sketch of unrealized lecture on the "Tagung der Deutschen Physikalischen Gesellschaft in Marienbad in Sept 28, 1939. Not completed. In Yukawa's idea, this lecture was to be composed of following sections:

1. Einleitung (Fundamentale Eigenschaften des Mesotrons)
2. Problem des Deuterons, Neutrales Mesotron und ihre Zerfall
3. Mesotrone als durchdringende Komponent der kosmischen Strahlung
4. Anwendbarkeit der heutige Theorie des Mesotrons)

F08 151 DR Der gegenwaertige Stand der Theorie des Mesotrons 6(+1)

(This draft was written on thin letter papers of rather small size, as provided in a hotel room.)
(Not completed, only section 1. Einleitung.)
(In German except the 2nd sheet for a preliminary remark in Japanese.)

F08 152 DR Der gegenwaertige Stand der Theorie des Mesotrons 3

(Ruled papers with the head-line, Institute of Theoretical Physics, Kyoto Imperial University, were used.)

(The footnote on the 1st sheet says: ' Eine Ergaenzung des Manuskriptes des Vortrag, der an den fuenfzehnten Deutsche Physiker- und Mathematiker-tag in Marienbad gehalten zu werden war. Yukawa wrote this draft with F08 150 after he had come back to Japan ?)

(The same coontents as F08 151, in German.)

F08 160 ME (§1. Problem des Spins) 2

(In German, not completed.)
(This is not in Yukawa's handwriting ??)

(F08 150, 151, 152, and 160 were clipped together.)

Appendix "SCIENTIA"

The "Scientia" has been published at Bologna since 1907 to the present. Several volumes in the beginning appeared under the title "Revista di Scientia". It was in 1910 to be changed into the present name "Scientia".

Volume	Year	
1	1907	
6	09	
7	1910	("Scientia")
9	11	
23, 24	18	
27	20	
31	1922	
33	23	
36	24	
39	26	
41	1927	
44	28	
53, 54	33	
56	34	
62	1937	
64, 66	38	
67, 68	40	
69	41	(P19 was published in Vol. 70(1941).)
89	1954	
94	59	
95	60	
105	1970	

YHAL F15

現在研究中の問題・昭和17年

(PROBLEMS INVESTIGATING AT PRESENT, 1942)

F15 010 II-3 RP 場の理論の基礎について
--新粒子論第3編--

(A reprint of
"On the Foundation of the Theory of Fields
---New Theory of Particles, Part 3---"
(Kagaku 12(1942) 249,282,322; English
translation: "Scientific Works" Part II, 3.)
with many corrections and addenda for making
this article the chapter 3 of part 1 of his
book "Sonzai no Riho" ("The Law of Being",
Iwanami-shoten, Tokyo, 1943; in Japanese))
(In Japanese)

F15 020 II-3 ME 場の理論の基礎について 追補
素粒子論の方法について

(³"On the Method of the Theory of Elementary
Particles", Addenda to 'On the Foundation of
the theory of Fields', in Japanese.)
(Cf. YHAL F16 070 and F16 080)

F15 030 II-3 MT 素粒子・時空・因果律
十七年四月廿四日

(⁶"Elementary Particles, Space-Time, & Causality"
April 24, 1942; in Japanese.)
(This may be the manuscript for talk in the 1st
meeting of "Meiso-kai". Cf. EDT 020.)

(F15 020 and 030 were clipped together.)

YHAL F16

素粒子論 講演原稿

昭和十七年 - 昭和十八年

素粒子論の方法に就いて (一)、(二)

素粒子論と観測の問題

素粒子論の基本法則に就いて

(MANUSCRIPT FOR TALKS ON THE THEORY OF ELEMENTARY PARTICLES, 1942 - 43)

- (-On the Method of the Theory of Elementary Particles (I), (II).
- The Theory of Elementary Particles and the Problem of Observation.
- On the Fundamental Laws of the Theory of Elementary Particles.)

F16 000	A file in which the following materials were kept.
F16 010	<p>ME 理論物理学談話会 昭和十八年二月廿七日 (土)</p> <p>素粒子論の基本法則に就いて 湯川秀樹</p> <p>(田村・谷川・中村・長谷川・小林・等 其他学生) 10(+9)</p> <p>("On the Fundamental Laws of the Theory of Elementary Particles", Hideki Yukawa.</p> <p>The seminar on theoretical physics in the Dep. of Phys., Kyoto Univ. Feb. 27, 1943.</p> <p>Attendants: M. Tamura, Y. Tanikawa, S. Nakamura, M. Hasegawa, M. Kobayasi, and postgraduate students.)</p> <p>(In Japanese. The name of person who took this memorandum cannot be identified. In the last 2 leaves is included the discussion on this seminar.)</p>
F16 020	<p>ME 数物学会・仙台 昭和十八年七月17日-19日</p> <p>7月17日 午後 (仙台学会)</p> <p>朝永君:</p> <p>湯川:素粒子論の基本法則に就て 7(+5)</p> <p>(Annual Meeting of PMSJ, Sendai, July 17-19, 1943. Tomonaga, in July 17, p. m. (Sendai Meeting). Yukawa, On the Fundamental Laws of the Theory of Elementary Particles.) (In Japanese)</p> <p>(Notes on Tomonaga's and Yukawa's talks in this meeting by an unknown writer. Only the above titles are written by Yukawa himself.)</p> <p>(In this meeting Tomonaga gave a talk on his covariant formulation of the quantum field theory. (Cf. F16 110))</p>

- F16 030 DR 「科学」原稿
素粒子論の基本法則に就いて
---新粒子論 第4編---
§1. 緒言 2
(Manuscript for "Kagaku":
"On the Fundamental Laws of the Theory of
Elementary Particles"
---New Theory of Particles, Part 4---
§1. Introduction)
(In Japanese)
(It seems that Yukawa had a plan to "develope
further the main idea in the part 3 of the 'New
Theory of particles' and give the definite
mathematical expressions", and to publish it as
the part 4; but the work was not completed.)
("New Theory of Particles",
Part 1: 'Kagaku' 8 (1938) 230, 278;
Part 2: ibid. 9 (1939) 211, 288;
Part 3: ibid. 12 (1942) 249, 282, 322.
English translation of Part 3: "Scientific
Works", part II, No. 3.)
(Cf. YHAL F16 060 and 061)
- F16 040 ME 相対論的立場の変更による素粒子論の一つの試み
近藤益男 (理研片山研究室・東京文理大) 3
(Annotation and comments on
"An Attempt on the Theory of Elementary
Particles by Modification of the Relativity",
Masuo Kondo (Katayama laboratory, IPCR, and
Tokyo University of Education))
(In Japanese)
- F16 050 An envelope of the letter from Mokichiro Nogami
(Kyusyu Univ.) to H. Yukawa. It contained F16 051 and
F16 052.
- F16 051 LT (A letter from M. Nogami to H. Yukawa dated
March 19, 1942 1
with Nogami's calculation:
"Thomas-Fermi Model of Atomic Nucleus in
assuming the Scalar Charged Meson Field" 5)

- F16 052 CL U場ヲ核粒子ノカ場トシテThomas-Fermi法ヲ適用シテノ数值計算
八月十八日 武本在熙 8
("Numerical Calculation in Thomas-Fermi Method when assuming the U-field to the Nuclear Force Field" by Mokuzai Takemoto, Aug. 18(1941?))
(Cf. YHAL F08 050)
(In Japanese)
(Nogami borrowed Takemoto's result through Yukawa. The letter argued on the discrepancy between both the results of numerical calculations.)
- F16 060 DR 素粒子論の基本法則に就て (1)
(昭和18年3月13日数物京都常会講演)
同上(2) (同7月17日数物仙台年会講演)
序説 3
("On the Fundamental Laws of the Theory of Elementary Particles (1)"
(Read in Regular Meeting of Kyoto Branch, PMSJ, March 13, 1943)
"On the Fundamental Laws of the Theory of Elementary Particles (2)"
(Read in the Annual Meeting of PMSJ, Sendai, July 17, 1943)
Introduction)
(In Japanese)
(The contents of unrealized plan F16 030 ?)
- F16 061 MT 素粒子論の基本法則に就て
(昭和18年7月17日・数物年会、仙台に於ける講演) 31(+4)
("On the Fundamental Laws of the Theory of Elementary Particles"
(Read in the Annual Meeting of PMSJ, Sendai, July 17, 1943))
(In Japanese)
§1. 今までの話でどんな所まで進んで居るか
§2. 素粒子論的確率振幅 Ψ の特徴
§3. 素粒子論に於ける物理量の表現
§4. 素粒子論に於ける物理法則の形
(§1. To what extent have the present theory advanced ?
§2. Characteristics of the probability amplitude in the theory of elementary particles
§3. Representation of the physical quantities in theory of elementary particles
§4. Form of the physical laws in the theory of elementary particles)
(F16 060 and F16 061 were clipped together.)

- F16 070 MT 素粒子論の方法に就いて (I)
 17. 10. 16 (数物(東京)年会) (学研联合会)
 9(+5)
 ("On the Method of the Theory of Elementary Particles (I)" (Read in the Annual Meeting of PMSJ, Tokyo, Oct. 16, 1942, and in the Joint Meeting of the Council of Science Research))
 (The 1st sheet (the author's page no. 0) seems to have been added later on. In the 2nd sheet the sub-title ('The Many-Time Formalism and the problem of Mass') is seen.)
 (In Japanese)
 (Cf. 相対論的量子力学に於ける多体問題 (再度量子化法)
 「物理学講演集(3)」文部省科学局・学術研究会議共編(丸善・昭和18年)
 "Collected Lectures on Physics" (3), "Many Body Problem in the Relativistic Quantum Mechanics (the Method of Second Quantization)" (Maruzen Publisher, Tokyo, 1943))
- F16 080 MT 素粒子論の方法に就いて (II)
 17年12月9日(水) 理研講演室 7(+3)
 ("On the Method of the Theory of Elementary Particles (II)" (Read at the Lecture Room of IPCR, Dec. 9, 1942))
 (In Japanese)
 (The marginal note in the 1st leaf reads
 "Mathematical Properties and Possibilities of the Theoretical Scheme")
- F16 090 MT 素粒子論と観測の問題
 17. 10. 15 (学研第三分科会)
 15
 ("The Theory of Elementary Particles and the Problem of Observation" (Read at the 3rd Subcommittee Meeting of the Council of Science Research, Oct. 15, 1942))
 (In Japanese)
- F16 100 MP 日本数学物理学会誌原稿 原著
 素粒子論の方法に就いて
 I. 多時間理論の考察
 (昭和17年10月16日講演) 10

("On the Method of the Theory of Elementary Particles, I. Consideration on the Many-Time Formalism (Read in Oct.16, 1942)")
 (The manuscript for the PPMSJ, which was published in the PPMSJ)

(F16 070, 080, and 100 were collected and arranged in the Chap.4 of the "Sonzai no Riho" (The Law of Being) (Iwanami-shoten, Tokyo, 1943; in Japanese).)

F16 110 PG

昭和十八年度 仙台

年 会 次 第 書

社団法人 日本数学物理学会

3(+3)

(Program of the 1943 Annual Meeting of PMSJ at Sendai from July 17 to 19.)

(In July 17, p.m., at the 3rd site were delivered the following talks:

17 日 13 時 17 時	8.	武谷三男君 (理研仁科研究室) : 中性中間子に就いて	10分	
	9.	朝永振一郎君, 全平水君, 金澤捨男君 (東京文理大) : 核粒子及び原子核に中間子的励起状態があるか?	20分	
	10.	朝永振一郎君, 宮島龍興君, 田地隆夫君 (東京文理大) : 核子の近傍の中間子の状態に就いて	15分	
	11.	伏見康治君, 内山龍雄君 (阪大理) : 或る非線型場に就いて	15分	
	12.	山本英雄君 (旭硝子試験所) : 素粒子場の統一	20分	
	13.	田村松平君 (京大理) : 存在と非存在	15分	
	14.	武谷三男君 (理研仁科研究室) : 物質と場	15分	
	15.	朝永振一郎君 (東京文理大) : 場の量子論の相対律的形式に就いて	20分	
	16.	湯川秀樹君 (京大理) : 素粒子論の基本法則に就いて	20分	
	17a.	富山小太郎君 (東京物理学学校) : 素粒子論に於ける一つの試み	15分	
	17b.	清水武雄君 (京大理) : 力の概念について	15分	
	17c.	尾崎正治君 (理化学研究所) : ベクトルメソンの定常状態に就いて	10分	
				3時間 10分

#8. M. Taketani, "On the Neutral Mesotron"

#9. S. Tomonaga, H. Zen, & S. Kanesawa: "Are there Mesonic Excited States of the Nucleon and of the Nucleus?"

#10. S. Tomonaga, T. Miyazima, & T. Tati: "On States of the Mesotron in the vicinity of Nucleon"

#11. K. Husimi & R. Utiyama: "On a Non-linear Field"

#12. H. Yamamoto: "Unification of Fields of Elementary Particles"

#13. M. Tamura: "Existence and Non-Existence"

#14. M. Taketani: "On the Matter and the Field"

#15. S. Tomonaga: "On the Relativistic Formulation of the Quantum Field Theory"

#16. H. Yukawa: "On the Fundamental Laws of the Theory of Elementary Particles"

#17a. K. Tomiyama: "An Attempt in the Theory of Elementary Particles"

#17b. T. Simizu: "On the Concept of Force"

#17c. M. Ozaki: "On the Stationary States of the Vector Meson"

In this annual meeting, Yukawa delivered also the special lecture, "Modern Physics and Mathematics" at the place of meeting No.2 (Mathematics, Research Group of Tensor Analysis) in July 18, p.m.)

YHAL F50 物理学教室 (一)

F50 010 N01	理席第三一九号 昭和二十年九月二十八日 理学部長 駒井 卓 教室主任宛 联合国軍司令部ヨリノ命令ニ基ク実験所研究機関ニ付調査ニ関スル件照会	2
F50 011 N01	報告書様式 (Format of the "Report")	1
F50 020 N01	(Report of Yukawa Laboratory according to F50 011 No1, handwritten)	5
F50 021 N01	(Typescript of F50 020 N01)	2
F50 030 N01	発理席第三六〇号 昭和二十年十月三十日 理学部長 联合国軍司令部ヨリノ命令ニ基ク実験所研究機関ノ事業報告書ニ関スル件通知	1
F50 031 N01	実験所・研究機関調査ニ関スル联合国軍司令部ヨリノ命令 (抄)	1
F50 032 N01	昭和二十年勅令第五百四十二号ニ基ク工場・事業場・研究機関等ノ事業報告書等 ニ関スル件 (抄)	1
F50 033 N01	報告書様式 様式 (一) 試験研究所 月報 (Format #1, in Japanese) 様式 (二) Monthly Reports by Experimental or Research Institute (Format #2, in English)	1
F50 040 N01	京都帝大理学部物理学教室第五講座月報・Monthly Report 昭和二十年十一月一日現在 (The Monthly Report of the 5th Lectureship, Physics Department, Faculty of Science, Kyoto University; November 1, 1945) (Yukawa held the chair of the 5th Lectureship in those days.)	4
F50 041 N01	第五講座試験研究所月報 昭和二十年十二月一日現在 (The Monthly Reports of the 5th Lectureship, December 1, 1945)	1
F50 042 N01	同 昭和二十一年一月一日現在 (ibid., January 1, 1946)	1
F50 043 N01	同 昭和二十一年二月一日現在 (ibid. February 1, 1946)	1

YHAL F51 物理学教室 (二)

F51 010 N02	理庶第六六号 昭和二十一年三月六日 研究機関等ノ事業報告書ニ関スル件	1
F51 011 N02	联合国最高司令官聯司令部発 (経済科学部) 昭和二十一年一月二十八日 報告書提出ニ関スル件	1
F51 012 N02	一九四五年九月二十二日付 日本国政府宛指令第三号ニ関スル件	1
F51 013 N02	(The Report of the 5th Lectureship, Physics Department, Kyoto Imperial University)	3
F51 020 N02	理庶第一七六号 昭和二十一年五月四日 理学部長 駒井 卓 理学部教官各位 科学者調ノ件照会	1
F51 021 N02	(Yukawa's questionnaire in Japanese, a draft)	2
F51 022 N02	(Yukawa's questionnaire in English, a draft)	1

EDT 050 HIDEKI YUKAWA IN 1939 TOUR TO EUROPE AND U.S.A.

"A Tour to Europe and U.S.A. --1939--"
 This article was written in 1941, Nov.
 "Hideki Yukawa, Collection of Essays
 Selected by the Author", Vol.V,
 pp.251 - 266(The Asahi Press, 1971)

1939 APRIL

The beginning of April Received the invitation to the 8th Solvay Conference at Brussel (arranged for the end of October) in the name of the chairman P.Langevin.

About the same time Received the invitation to the Meeting of German Physical Society at Marienbad (to be held at the end of September) from Heisenberg (Leipzig).

Received the invitation to the International Conference of Physics at Zürich (arranged for the beginning of September).

(In those days H.Y. was still at Osaka Imperial Univ.).

MAY

May 26 Appointed to the professor for Kyoto Imperial Univ.

JUNE

At the end of June Left the Port Kobe for Europe by the steamer Yasukuni-Marui.

June 30 The letter dated June 30
 from YUKAWA to HEISENBERG
 via Indian Ocean

AUGUST

Aug. 2 Landed on Naples. Saw the ruins of Pompei.

Aug. 3 In the evening, arrived at Rome.

Aug. 4 Visited Rome Univ. Fermi and Rasetti were absent.

Aug. 5 Sightseeing: Vatican - St.Pietro Cathedral - Outdoor Theatre - Appian Way - Catacombs.

Aug. 6 On the morning, took an international train for Berlin.

Aug. 7 On the morning, arrived at Anhalter BHF in Berlin.

("... Before my departure, I was very busy and had no time to prepare the manuscript for my talk in the conferences. After having arrived at Berlin, I wrote the manuscript and kept in practice of speaking German.")

Aug.18 TOMONAGA(in his stay at Leipzig) came to Berlin. He took H.Y. to the Institute for Theoretical Physics in Leipzig Univ., but HEISENBERG and other stuffs were in their summer vacation. Then, " I looked over periodicals necessary for the preparation of my talk in the library,

- saw the sight of Leipzig, and immediately returned to Berlin."
- Aug.22 (H.Y. begun to arrange his trip for Switzerland because the Zürich Conference was close, when he) got informations on the Nazi-Soviet Pact from a morning issue of news paper.
(H.Y. was, however, going to set out on his trip.)
- Aug.25 On the early morning, had a telephone call from the association of Japanese residents in Berlin, which instructed to flee to Hamburg and to take the steamer Yasukuni-Maru because of increasingly strained situation in Europe.
The Japanese Embassy at Berlin gave the same advice .
In the evening, left Berlin for Hamburg.
- Aug.26 In the evening, Yasukuni-Maru departed from Hamburg and went up north.
- Aug.28 On the morning, entered the port Bergen in Norway.
- SEPTEMBER
- Sept.1 (The "Blitzkrieg" against Poland commenced.)
The letter dated Sept.1 from YUKAWA to HEISENBERG.
- Sept.4 On the morning, left Bergen for New York.
- Sept.14 Landed on New York.
- (Sept.17?) Visited Columbia Univ. and met with E.Fermi.
"Since he came to United State, I heard, he engaged in experiments on the nuclear fission, but he had no new theoretical works. Then we had no discussions in details"
- (Sept.18?) Visited I.Rabi's laboratory in Columbia Univ., where happened to see O.Stern.
" ... Stern had a mind to attend Zürich Conference but returned just on the day before yesterday by the steamer Deutschland...."
- (Sept.19?) Visited Columbia Univ. and met .Dunning(neutron experiment) at the lunch time. Met also H.C.Urey at the Department of Chemistry.
"...Urey seemed to be absorbed in seperating the isotopes of C and N...."
- Sept.20 Visited New York Univ.
- Sept.21 Waited for Mr.H at Pennsylvania station and took a train for Princeton.
Visited Princeton Univ.
"I visited Einstein in his house near the university. I had impression that Einstein believed still the present quantum theory was incomplete and there should exist some correct continuous theory to be replaced the present one."
Wheeler gave account of Bohr-Wheeler's theory of nuclear fission.
"He was very kind and yet young man".

- Sept. 22 Met Ri-Tai-Kei during his stay in Princeton Univ. from Kyoto Imperial Univ. and under his guidance visited the department of chemistry. Arrived at Washington in the evening.
- Sept. 23 Visited Washington University, but both G. Gamow and E. Teller were absent; then called at Carnegie Institute of Geomagnetism. Meanwhile, Gamow and Teller turned up to the institute. "... At M.A. Tuve's suggestion, we all sat on the lawn, set a black board against the stem of a tree and discussed on the meson theory...."
- Sept. 26 Arrived at Boston in the evening.
- Sept. 27 Visited Harvard University and met K.T. Bainbridge and J.C. Street. "At that time Street was engaged in his work to take photographs of cosmic rays by using the large cloud chamber, but he had no especially new results." Visited M.I.T. and saw Van de Graaf and cyclotron of this institute.
- Sept. 28 Visited Boston Art Museum. In the evening took a train for Chicago.
- Sept. 30 On the morning arrived at Chicago. Visited Chicago University and met B. Rossi. "... He just returned from his experiment on Mt. Evans (4300m) in Colorado."
- OCTOBER
- Oct. 1 Visited Michigan University and met O. Laporte. Thirty minute talk on the mean life of meson for the members of physics department, in the evening. After the seminar, discussed on the relation between the Konopinski-Uhlenbeck theory and the meson theory.
- Oct. 3 Visited again Chicago University, met A.H. Compton and looked round at various apparatus for the cosmic rays. Talk on the meson theory to the cosmic ray physicists, after which discussed with Compton about the recent supposition that the primary cosmic ray may include protons. In the evening left for Los Angeles by train.
- Oct. 6 On the morning arrived at Los Angeles, immediately visited Cal. Tech. The president R.A. Millikan went out to the observation of cosmic rays in Australia. Looked at Norman Bridge Laboratory of Physics under S.H. Neddermeyer's guidance, in the course of which met with C.D. Anderson. Was asked to a dinner at Anderson's home. "Anderson has produced the brilliant achievements in physics, but there is no pretentiousness about him. He devotes himself to the experimental works. I am favourably disposed towards him."
- Oct. 7 Visited again Cal. Tech. and "got through with the same talk on the meson theory." Went round the oil land in Santa Fe Spring, Lion Garden, etc.
- Oct. 8 On the morning left Los Angeles and arrived at San Francisco in the evening.

- Oct. 9 Visited the University of California.
 Talks for the colloquium of department of physics and for the
 colloquium of theoretical physics, respectively.
 "In former times Oppenheimer stood on rather opposite side to the
 meson theory. In this time, unexpectedly, he became to give all-
 out support to the meson theory."
- Oct.13 Left San Francisco by the steamer Kamakura-Maru.
- Oct.28 Landed on Yokohama.

YHAL EDT 060
Distribution of Heisenberg's Second Paper on the S-Matrix
in Japan

YHAL N08 010 D08 Laboratory Diary
The item: 6 December 1943

十二月六日 (月)

「朝大学にて 中村君 山藤タイピストを
 文部省へ派遣、ハイゼンベルク論文
 を謄写して貰ふ。……」

[" 6 December (1943),

On the morning at the (Tokyo Imperial) University, I asked Dr. (Seitaro) Nakamura and a typist Ms. Yamafuji to go to the Ministry of Education for preparing the mimeographed copies of Heisenberg's paper. ... "]

[In this term Yukawa had his lecture on the theory of atomic nuclei and elementary particles at Tokyo Imperial University as well as in Kyoto.]

YHAL BOX NO.3 010, 020, 030

Following documents were found in *YHAL Material Box No.3*, which contained photoprints, reprints, mimeographed copies, and annotations of articles on nuclear physics appeared from 1939 to 1942.

YHAL Box No.3 010

A mimeographed copy of W.Heisenberg's article:

"Die beobachtbaren Groessen in der Theorie der Elementarteilchen II"

[*ZS. f. Physik.* 120,11/12, 673-702]

39 leaves.

This mimeo was printed on about JIS B4 size papers of very inferior quality (because of the Wartime). [JIS : Japanese Industrial Standard]
 Every copy seems to have had its serial number.

On cover page, we can see
at the right upper part, "secret for outside of the department";

at the bottom, the figures: 18. 12. 13. ,
and the chinese characters that mean
"Ministry of Education, Science Bureau,
Investigation Section"

[We find a photoprint of Heisenberg's paper, " *Die beobachtbaren Groessen in der Theorie der Elementarteilchen I* " (ZS. f. Phys. 120(1943), 513-538) in the same YHAL Box No.3.

This means that the issue of ZS. f. Phys. (Bd.120 Heft 7-10) which contained the first paper of the S-matrix, was distributed to university and/or institute libraries, or to somewhere at that Yukawa or some his colleagues could be accessible easily?]

[While, the issue that contained the second paper on the S-matrix, seems to have been under direct care of the Ministry of Education (the inscription on the cover page of YHAL Box No.3 010, and cf. YHAL Box No.3 020). How could the Ministry of Education obtain it? Did the submarine carry it?]

[The date of making the mimeographed copies of the second paper, however, may be guessed. If we may consider the figures on the cover page "18.12.13" as the date of printing the mimeo, it would be Showa 18th year, December 13, i.e., 13 December 1943. Cf. YHAL N08 010 D08, the item 6 December 1943.]

YHAL Box No.3 020

Addresses distributed the Copies of YHAL Box No.3 010
1 leaf memorandum, in Japanese.

Addresses distributed the copies of Heisenberg's paper No.1 - No.20 :

No.20	Yukawa [Hideki]
No.19	Tanikawa [Yasutaka]
No.18	Nakamura [Seitaro]
No.17	Suzuki [?]
No.16	Tamura [Matsuhei]
No.15	Kobayashi [Minoru]
No.14	Sakataa [Shoichi]
No.13	Okayama [Taisuke]
No.12	Haga [?]
No.11	Sugawara [?]

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| No.10 | Hasegawa [?] |
| No.9 | For laboratory use |
| No.8 | Osaka Imperial Univ.(Kanai [Eizo]) |
| No.7 | Utiyama [Ryuyu] |
| No.6 | Noma [Susumu] |
| | |
| No.5 | Ariyama [Kanetaka] |
| No.4 | Araki [Gentaro] |
| No.3 | Sakata [Shoichi] |
| [No.2 | Found in YHAL Box No.3] |
| [No.1 | No description. Not identified.] |

[In those days Yukawa was a member of the "Liaison Council of Physical Researches" ("Butsurigaku Kenkyu Renraku Kaigi", the chairman: Goko Mimura, Professor for Institute for Theoretical Physics, Hiroshima Univ.). The Science Bureau, Ministry of Education deposited, we conjecture, the copies of Heisenberg's paper to the Liaison Council, and the Council would distribute them to every laboratory through its members.]

YHAL Box No.3 030

Yukawa's Annotation of Heisenberg's Paper II
3 leaves, in Japanese

[Yukawa used to make an annotation on new research article which he read. On this mimeographed copy of Heisenberg's paper, he carried out his customary work, but not completed, stopped the midway of the first section. Eq.(9).]

[Yukawa seems to have been strongly interested in the possibility for disappearance of divergence difficulty in the S-matrix theory (in its original form). He quoted Heisenberg's papers as one of " previous works related to nonlocalizable field" at the very beginning of his research note on the nonlocal field theory (Cf. *YHAL N21 010*).]

[Reference to the background:

H.Rechnberg, " *The Early S-Matrix Theory and its Propagation (1942-1952)*",
International Symposium on Particle Physics in the 1950s,
Fermi National Accelerator Laboratory, May 1-4, 1985.]

YHAL PCT 020

Exhibit on Hideki Yukawa and the Meson Theory

26 panels of the size 53cm × 42cm for pictures,
and of the size 34.5cm × 12cm for captions.

- | | |
|----------|---|
| panel 00 | The title panel |
| panel 01 | Members of Kikuchi laboratory, Osaka Imperial University
(1934-1937 ??). |
| panel 02 | Parts of text of Yukawa's first official talk on the meson theory
[YHAL 092 P01 page 1 and 5]. |
| panel 03 | The first page of the manuscript [YHAL E01 100 P01] and
of the published article for the first paper on the meson theory |
| panel 04 | Yukawa in June 1939 |
| panel 05 | The birth of the two meson theory (Nara hiking, 6 May 1942)
[YHAL EDT 030]. |
| panel 06 | H. Yukawa and S. Sakata at the Department of Physics, Kyoto University,
in July 1942. |
| panel 07 | The memorial picture for awarding the Order of Cultural Merit
with members of the Nishina laboratory (6 May 1943). |
| panel 08 | Yukawa in lecture at Tokyo Imperial University in June 1943. |
| panel 09 | Yukawa at Princeton in 1953
(with Einstein, Wheeler and Bhabha). |
| panel 10 | Yukawa at Berkeley in September 1948
(with Fermi, Segré and Wick). |
| panel 11 | Yukawa received the Nobel prize from the crown prince of Sweeden
on 10 December 1948. |
| panel 12 | Japanese research group on the theory of elementary particles
(22 August 1950). |
| panel 13 | Yukawa in lecture on the nonlocal field theory at Kyoto University
on 22 August 1950. |
| panel 14 | Opening of the International conference on theoretical physics
at the University of Tokyo on 15 September 1953. |
| panel 15 | Yukawa in the director's office at Research Institute for Fundamental
Physics, Kyoto University. |

- panel 16 Yukawa at the meeting of Nobel laureates in Lindau, 1956.
- panel 17 International conference on elementary particles in commemoration of the thirtieth anniversary of meson theory. Kyoto (at Kyoto-kaikan in September 1965).
- panel 18 Sumi and Hideki on their honeymoon (at Nara Park in April 1932).
- panel 19 Yukawa in May 1944 (photo by Hiroshi Hamaya).
- panel 20 Yukawa with Nishina at Hakone in August 1950.
-
- panel 21 Yukawa at the library of Yukawa Hall (RIFP).
- panel 22 Yukawa in front of Yukawa Hall in March 1962 (with Y.Katayama).
- panel 23 Yukawa, a master calligrapher, March 1962.
- panel 24 Yukawa in tea ceremony at Ura-senke in Kyoto on 1 May 1967 (with Elisabeth and Werner Heisenberg).
- panel 25 Yukawa in 1967.

Corrigenda

YHAL Resources Hideki Yukawa (I)
 Soryushiron Kenkyu **65**(1982), 239-269.

- p.249 E02 120 P13 PC Nov.25. 1937 ⇒ Sept.25. 1937.
 E02 121 P12 PG Nov.25. 1937 ⇒ Sept.25. 1937.
- p.250 E03 110 P13 MP On the Interaction of Elementary Particles
 ⇒ On the Interaction of Elementary Particles III.
- p.256 F01 030 T02 MT Cf. MPMSJ 8, ... ⇒ Cf. BPMSJ 8, ...

Source Materials of Hideki Yukawa on Meson Theory
 Published by the Organizing Committee for Kyoto International Symposium:
 the Jubilee of the Meson theory, August 1985.

p.30, YHAL EDT 020, Record of "Meson Meeting".

At the 'Lectures' column of 'The first "Theory Meeting"' line in this table,
 "S.Tomonaga: Super-many-time Theory"
 should be read as

"S.Tomonaga: The reaction of field and the explosion".

The first "Theory Meeting" was held during the period of the 39th Scientific Lecture Meeting of IPCR (Riken), June 11-13, 1941. The lectures in "Theory Meeting" seem to have been the detailed arguments of the talks delivered in the above mentioned Scientific Lecture Meeting on the preceding day, June 11. [cf. Bulletin of IPCR (Riken-Iho), **20**/7(1941), 447]. Yukawa wrote under the date, 11 June 1941, in his *Laboratory Diary* [YHAL N04 010 D04], "...Tomonaga's talk on a calculation method in configuration space, which took the effect of reaction of field into account, was most interesting ...". The program of the first "Theory Meeting" is due to the description of the next day, 12 June 1941, in Yukawa's *Laboratory Diary*.

放 談 室

Yukawa Hall Archival Library

YITP, KYOTO UNIVERSITY
KYOTO 606, JAPAN

YHAL Resources

Hideki Yukawa (IV)

edited by
the Committee for
Yukawa Hall Archival Library

July 1994

京都大学基礎物理学研究所

湯川記念館史料室

Application for Access to the Material in the Yukawa Hall Archival Library

Yukawa Hall Archival Library,
YITP, Kyoto University, Kyoto 606, JAPAN

October 22, 1992

The material in the Yukawa Hall Archival Library (YHAL) at the Yukawa Institute for Theoretical Physics (YITP), Kyoto University, is available for study and research by scholars whose application for access has been approved by the Chairman of the Committee for YHAL. The applicant is requested to complete the following forms.

- Name(legible)
- Institution
- Position
- Address
- Purpose of the research and nature of the problem to be investigated.
- Are the results of the research to be eventually published? If so, where?
- Names and addresses of at least two recognized scholars to whom we may write for reference.

Statement to be signed by users of YHAL

In consideration of the extension to me by the Chairman of the Committee for YHAL of the privilege of using, for scholarly purposes, archival materials collected in YHAL, I agree to the following:

1. I shall not quote from any of the material to which I am given access without the prior and written permission of the Chairman of the Committee for YHAL.
2. I shall paraphrase the material only in such detail as is essential to a just expression of its historical and scientific substance.
3. If I am allowed to copy or to have copies made of any of the material, in whole or in part, by any means including copying by hand, I shall use these copies solely for scholarly purposes.
4. I shall not allow any copied material to pass into the hands of others without the prior and written consent of the Chairman of the Committee for YHAL.
5. I agree to give credit to the YHAL, whenever documentary source material from YHAL is quoted, or summarized or otherwise used in a publication.
6. I agree to send two copies of any resulting publications of the research to YHAL.

Signature Date

Approved by Date

Request for Photocopying

Yukawa Hall Archival Library, YITP, Kyoto University, Kyoto 606, JAPAN

Telex:542-3179 RIFPK. Telefax:(75)-753-7010. JPNRIFP.BITNET

October 23, 1992

In accordance with my application regarding the use of the material in YHAL as stated on the preceding sheet, I make application for photo-copies of following material:

Tag number	Title of material	Number of page

Send to :
Name(print)

Address

Charge to :
Name(print)

Address

I agree to pay the cost incurred in making the copy requested above.

Signature of applicant Date

Approved by Date

YHAL Classification Scheme

We use nine letters and figures in total as the code number:

Sources of Materials	Order of Materials	Kinds of Materials
E □ □ Envelopes	0 1 0	A □ □ manuscripts of Articles
F □ □ Files	0 2 0	B □ □ manuscripts of Books
N □ □ Notebooks	0 3 0	C □ □ Correspondence
Z □ □ Fragments	□ □ □	D □ □ laboratory Diaries
.	E manuscripts of Essays
.	L Lecture notes
		M Miscellaneous
		N report to occupation forces
		P manuscripts of scientific Papers*
		R proceedings of Research meetings
		T manuscripts for Talks
		U manuscripts of Unpublished articles
		X records of collegiates

* The 'Papers' are numbered as they are in *Hideki Yukawa Scientific Works, Part I* (Iwanami Shoten, Publishers, Tokyo, 1979).

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL :

Materials	Serial Numbers	Contents
A D T	0 1 0	Oral materials : recorded audio-tapes of addresses, lectures, symposia, etc.
C O R	A 3 9	Correspondences on a topic A in 1939
E D T	0 2 0	Selected materials on a subject
P C T	0 3 0	Pictorial materials : photographs, sketches, video-tapes, etc.

YHAL Abbreviation and Notations

BPMSJ	<i>Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan</i> (日本数学物理学会誌)
HYSW	<i>Hideki Yukawa Scientific Works</i> (Iwanami Shoten, Tokyo, 1979) supplemented version : 湯川秀樹著作集 10 (岩波書店, 1990)
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research (理化学研究所) (RIKEN (理研))
JPSJ	<i>Journal of Physical Society of Japan</i>
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
PPMSJ	<i>Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan</i>
PSJ	Physical Society of Japan
SP-IPCR	<i>Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research</i>
AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper, essey, etc.
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
RP	Reprint
$a(+b)$	The figure a is the total number of leaves of manuscript, and $(+b)$ stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation, or translation into English.

F50 物理学教室 (一) (改訂版*)

		leaves
F50 010 X46	俸給等封鎖預金に就て 昭和21年5月11日 理学部事務室 理学部職員各位	1
F50 020 X45	昭和二十年度第二回科学研究補助技術員養成所設置ノ件照会 理庶第273号 昭和20年8月24日 理学部長 駒井 卓 物理学教室主任殿	1
F50 021 X45	文部省科学研究補助技術員京都大学養成所規則 [昭和20年7月1日施行]	1
F50 030 X45	本年度卒業式日取ノ件通知 理教第220号 昭和20年8月24日 理学部長 駒井 卓 物理学教室主任殿	1
F50 040 X45	ME 教授会(廿・八・二五)	2(+2)
F50 050 X45	ME 廿・八・二七 教室相談	3
F50 060 X45	ME 教室相談(廿・九・三)	1
F50 070 N45	<i>Topics Asked From Navy</i> B.Arakatu [頭書 駒井学部長殿, 荒勝の捺印あり. typewriting copy. cf. F50 136 N45]	1
F50 080 X45	ME 主任会議(廿・九・五)	1(+1)
F50 090 X45	ME [求人・教室人事メモ・「三高校長来室(廿・九・十四)」の記載あり]	3
F50 100 X45	ME [昭和二十年度予算割当] [物理学6講座及び航空物理学講座分]	3
F50 110 X45	紀要編纂委員改選ノ件通知 昭和20年9月26日 理学部長 駒井 卓 湯川教授殿	1
F50 120 N45 旧 F50 010 N01	連合国軍司令部ヨリノ命令ニ基ク実験所研究機関ニ付調査 ニ関スル件照会 理庶第319号 昭和20年9月28日 理学部長 駒井 卓 物理学教室主任殿 [孔版印刷・用紙は「京都帝国大学防衛団規則」(昭和16.8.16 制定 18.12.20 改正)の裏面・2部.]	2

* 旧版: YHAL Resources Hideki Yukawa III, p.191.

- F50 130 N45 報告書(京都帝国大学理学部物理学教室第五講座) [教授 湯川秀樹] 2
 旧 F50 011 N01 [F50 120 N45 に対応して提出された報告書の下書き]
- F50 131 N45 報告書 海軍航空技術廠依託研究 1
 (京都帝国大学理学部物理学教室第一講座) [教授 吉田卯三郎]
- F50 132 N45 報告書(京都帝国大学理学部物理学教室第三講座) [教授 中山若枝] 1
- F50 133 N45 ME [報告書用メモ] 1(+1)
- F50 134 N45 DR Report . 3
 旧 F50 020 N01 List of Papers appeared since 1940 .
 [F50 130 N45 の英訳と論文リスト. handwriting draft]
- F50 135 N45 Report . 3
 旧 F50 021 N01 List of Papers appeared since 1940 .
 [F50 134 N45 の typewritten copy]
- F50 136 N45 DR Subdivision of Physics Department, Faculty of Science, 4
 Kyoto Imperial University .
 A. Topics asked from Navy .
 [英文報告書 物理学教室. handwriting draft]
- F50 140 X45 ME 二〇・十・五 教室相談 2(+1)
- F50 150 X45 ME 昭和廿一年度物理学科課程 2(+2)
- F50 151 X45 昭和二十一年度講義題目等 内田洋一 湯川主任殿 1
- F50 160 N45 連合国軍司令部ヨリノ命令ニ基ク実験所研究機関ノ 1
 旧 F50 030 N01 事業報告書ニ関スル件照会
 理庶第 360 号 昭和 20 年 10 月 30 日 理学部長
- F50 161 N45 実験所研究機関調査ニ関スル連合国軍司令部ヨリノ命令(抄) 1
 旧 F50 031 N01 閣令・文部省令・農林省令・商工省令・運輸省令第一号
 (昭和二十年十月十日)
- 旧 F50 032 N01 昭和二十年勅令第五百四十二号ニ基ク工場 1
 事業報告書等ニ関スル件(抄)
- F50 162 N45 [報告書様式: 1
 旧 F50 033 N01 様式(一) 試験研究所 月報
 様式(二) MONTHLY REPORTS BY
 EXPERIMENTAL OR RESEARCH INSTITUTE]

F50 170 N45	DR	試験研究所月報 京都帝国大学理学部物理学教室第五講座 昭和二十年十一月一日現在 <i>Monthly Report, Nov.1,1945</i> <i>Fifth Lectureship, Physics Department, Fac.Science.</i>	1
旧 F50 040 N01		[F50 162 様式 (一) 及び (二) に従った報告書の下書き]	
F50 171 N46	DR	<i>Monthly Report, Jan.1,1946</i>	1
旧 F50 040 N01		[handwriting draft]	
F50 172 N45		第五講座試験研究所月報 昭和二十年十一月一日現在	1
旧 F50 040 N01			
F50 173 N45		第五講座試験研究所月報 昭和二十年十二月一日現在	1
旧 F50 041 N01			
F50 174 N46		第五講座試験研究所月報 昭和二十一年一月一日現在	1
旧 F50 042 N01			
F50 175 N46		第五講座試験研究所月報 昭和二十一年二月一日現在	1
旧 F50 043 N01			
F50 176 N46		第五講座試験研究所月報 昭和二十一年三 / 四月一日現在	1
F50 180 X45		外国科学文献調査ニ関スル件照会 理庶第 351 号 昭和 20 年 10 月 26 日 理学部長 駒井 卓 物理学教室主任殿	1
F50 181 X45		[F50 180 X45 に基づく入手希望文献調査] 昭和 20 年 10 月 27 日 物理学教室主任湯川秀樹 講座担任者各位	1
F50 182 X45		入手希望文献 湯川研 [Phys.Rev., Rev.Mod.Phys., Proc.Roy.Soc., Journal of Phys., Kgl. Danske Vid.Sels. を希望]	1
F50 190 X45	ME	[教室主任メモ] [日付なし・第一項に「年末職工小使祝儀計百七十六円」とある]	3
F50 200 X45	ME	研究体制(廿・十一・廿九) 総長・学部局長出席	1(+1)
F50 210 X45	ME	教室用件[日付なし・休暇中の件, その他]	1
F50 220 X45	ME	教授会(廿・十一・廿六)	1
F50 230 X45	ME	教室相談(廿・十一・廿九(木))	1
F50 240 X45	ME	教室相談[日付なし。「外国書籍雑誌十月三十一日午後提出」 とあるは F50 181 X45, F50 182 X45 か?]	1

F50 250 X45	ME	[教室主任メモ . 日付なし . しかし昭和 20 年 11 月 10 日以前]	1
F50 260 X45	ME	水谷君へ頼む (廿・十・五) [教室事務四件]	1
F50 270 X45	ME	教室相談 (廿・十・?)	1
F50 280 X45	ME	主任会議 第六軍将校、部長に面会 (廿・十・二)	1
F50 290 X45	ME	卒業生就職先 (二〇・九・二五)	2(+1)
F50 300 X45		囑託希望者名簿 (廿・九・二三) 内田洋一 印 湯川教授殿	1
F50 301 X45	ME	研究囑託・副手	1
F50 302 X45		帰学希望者 第二講座	1
F50 310 X45	ME	[求人メモ]	1
F50 320 X45	ME	教室相談 (二〇・九・二七)	1(+1)
F50 330 X45	ME	教室相談 (二〇・十・五)	1
F50 340 X45	ME	教室相談 (廿五日 (火) 午後) [F50 230 11 月 29 日木曜日より逆算すると 9 月 25 日?]	1
F50 350 X45	ME	陸海軍学生受入態勢 (学部長会議)	1
F50 360 X45		殉職者大学葬 昭和廿年十月十一日午後二時	7
F50 370 X45		食糧宿舍等就学条件改善ヲ目的トスル転校ニ関スル件照会 理教第 295 号 昭和 20 年 12 月 5 日 理学部長 駒井 卓 物理学教室主任殿	1
F50 371 X45		食糧宿舍等就学条件改善ヲ目的トスル転校ニ関スル件 発学 38 号 昭和 20 年 11 月 21 日 文部省学校教育局長 田中耕太郎 都道府県知事・直轄学校長 (師範学校・青年師範学校) 殿	1
F50 372 X45		[職員学生生徒ノ食糧宿舍等ニ関スル件] 発学 21 号 昭和 20 年 10 月 31 日 大村文部次官 直轄学校長・公私立大学高等専門学校長殿 [学校農園ノ拡充強化 臨時休暇日ノ設定 等]	1
F50 380 X45		物理学教室風洞実験室ノ処置ニ関スル件報告 昭和 20 年 12 月 15 日 物理学教室主任 教授 湯川秀樹 地球物理学教室主任 教授 長谷川万吉	1

理学部長 駒井 卓殿

[航空物理学講座廃止(昭和20年11月18日付連合軍司令部命令・
発学40号文部省学校教育局長通牒11月24日付及び12月3日付に
基づく)に伴い、風洞実験室を第七講座と地球物理学教室に移管]

- | | | | |
|-------------|----|--|-------|
| F50 390 X45 | ME | 外国文献入手引当文献 昭和二十年十二月十五日提出
部局名 京都帝国大学理学部物理学教室第五講座
[湯川・坂田・谷川の1938-42年間に発表した中間子論に関する
論文を available な別刷冊数とともに列挙] | 1(+1) |
| F50 400 X45 | ME | [主任会議至急二案件]
廿・十二・廿六 中山[教授] 湯川教授殿
[1. 京大理科学講座(21年1月8日-17日, 於理学部数学教室)
講師名・題目届出28日中. 2. 科学教育研究所構想(文部省要望)] | 2 |
| F50 401 X46 | ME | 理科学講座講演題目
[蛍光及び燐光現象 教授 内田洋一
電子廻折法について 教授 田中憲三] | 1 |
| F50 410 X | ME | [主任メモ. 日付なし] | 1 |
| F50 420 X46 | ME | ワシントン図書館寄贈図書目録 二十一年一月十四日
[「存在の理法」, 「原子核及び宇宙線の理論」, 「最近の物質観」] | 1 |
| F50 430 X46 | ME | 第五講座関係勤労奉仕出勤者(二十一年一月二十八日(月))
[細江・鳴海・江夏・鈴木・金井] | 1 |
| F50 440 X46 | ME | [物理学教室助手転任及び後任(内田研)了解及び求人通達]
[昭和廿一年]一月廿二日 物理学教室主任 湯川秀樹
教授各位殿 | 2 |
| F50 450 X | ME | [第五講座昭和18年度十月～三月及び昭和19年度予算使用額] | 1 |
| F50 460 X46 | ME | 講師囑託の件(玉田 玳)[付 論文リスト] | 2 |
| F50 470 X | ME | 講師囑託の件(朴 哲在)[日時不明] | 1 |
| F50 480 X | ME | 大学院学生[許可](瀬川 洋)[日時不明] | 1 |

F51 物理学教室 (二) (改訂版*)

		<i>leaves</i>
F51 010 X46	ME 教室相談 (廿一・一・廿一、廿五日両回)	1
F51 020 X46	ME 昭和廿一年一月廿五日理学部事務室へ回答 [物理学教室昭和廿年度実際入学者数 三六名 昭和廿一年度収容可能予定人員 四十名]	1
F51 030 X46	ME 航空物理学科廃止に伴ふ善後措置の件 物理学 教室相談 (昭和廿一年二月一日) 駒井学部長に報告 (二月二日)	1
F51 040 X46	ME 大学制度・生活改善委員会 (廿一・二・四)	1
F51 050 X46	高等学校・大学予科ト大学トノ連絡ニ関スル件照会 理教第 14 号 昭和 21 年 1 月 24 日 理学部長 駒井卓 物理学教室主任殿	1
F51 051 X46	同上回答 一月廿五日 物理学教室主任 湯川秀樹 事務室 水谷様	1
F51 060 X46	[青森師範物理学科教授募集] 二月四日 教室主任 湯川英樹 教授各位殿	1
F51 070 X	DR [第五講座講義担当表]	1
F51 080 X46	ME 特別委員会 (廿一・二・十二)	4(+4)
F51 090 X46	ME 教室相談 (廿一・二・十五)	1
F51 100 X46	ME 吉田・荒勝両教授と打合せの結果, 昭和二十一年 二月廿一日学部長に提出 [連合国軍司令部指令に関して中山教授進退問題]	1(+1)
F51 110 X46	吉田・荒勝・内田・田中四教授と相談 (廿一・二・廿二) [中山教授問題]	1
F51 120 N46	日本軍事測量製図設備ニ関スル件 理庶第 61 号 昭和 21 年 2 月 27 日 理学部長 駒井 卓 第五講座[殿]	1
F51 121 N45	日本軍事測量製図設備ニ関スル件 合衆国第八軍司令部発三八六三号 昭和 20 年 12 月 4 日	2

F51 130 N46 旧 F51 010 N02	研究機関等ノ事業報告ニ関スル件 理庶第 66 号 昭和 21 年 3 月 6 日 京都帝国大学理学部長 駒井 卓 [第五講座]殿	2
F51 131 N45 旧 F51 011 N02	報告書提出ニ関スル件 連合国軍最高司令官総司令部発 (経済科学部) 昭和二十一年一月二十八日 対日連絡部経由	2
F51 132 N45 旧 F51 012 N02	一九四五年九月二十二日附 日本国政府宛指令第三号ニ関スル件	1
F51 140 N46 DR	[報告書メモ (京都帝国大学理学部物理学第五講座)]	4(+1)
F51 141 N46	<i>Fifth Lectureship, Physics Department, Kyoto Imp. Univ.</i> [報告書原稿 handwriting]	3
F51 142 N46 旧 F51 013 N02	<i>Fifth Lectureship, Physics Department, Kyoto Imp. Univ.</i> [F51 141 N46 の typewriting copy]	3
F51 150 X46 ME	行政整理ニ関スル件照会 理庶第 74 号 昭和 21 年 3 月 6 日 理学部長 駒井 卓	1
F51 160 X46	教室相談 (二十一・三・七)	2
F51 170 X46 ME	[二十一年度教室主任の件他] [昭和 21 年]3 月 12 日 物理学教室主任 湯川秀樹 各教授殿	3(+1)
F51 180 X46 ME	[人事関係了解事項] [昭和 21 年]3 月 18 日 物理学教室主任 湯川秀樹 各教授殿	2
F51 190 X46 ME	教室相談 (二十一・三・二十五)	2
F51 200 X46 ME	相談会 (二十一・三・廿七)	1
F51 210 X46 ME	学部長選挙方法に関する件 部長原案	
F51 220 X46 ME	理論物理学研究所 五講座 [昭和 21 年 4 月 7 日 主任会議提案?]	1(+1)
F51 230 X45 ME	物理学[演習問題] 昭和 21 年 4 月 16 日	1
F51 240 X46	公務従事ニ適セザル者ノ公職ヨリ除去ニ関スル件 理庶第 163 号 昭和 21 年 4 月 24 日 理学部長 駒井 卓	4
F51 250 N46 旧 F51 020 N02	科学者調ノ件照会 理庶第 176 号 昭和 21 年 5 月 4 日 理学部長 駒井 卓 理学部文部教官各位	3

F51 251 N46	DR	[同上調書 (邦文)]	4
旧 F51 021 N02			
F51 252 N46	DR	[同上調書 (英文)]	2
旧 F51 022 N02			
F51 260 N46	DR	<i>Monthly Reports by Experimental or Research Institute</i> [1 May, 1946]	1
F51 270 X46		公開物理講座[案内] [自 5 月 1 日至 7 月 末 日]	1
F51 280 X45		日本学術振興会昭和二十一年度後期学術研究費援助補助 に関する件照会 理庶第 173 号 昭和 21 年 5 月 13 日 理学部長 駒井 卓	1
F51 290 X46	DR	昭和二十二年度科学研究費各個研究調書 [研究課題:「中間子の理論」; 研究担当者:湯川秀樹; 研究の目的及方法:中間子の理論的研究は次の二つの方法に大別 される。第一は中間子の本性に関する種々の可能な仮説から生ず る結論を原子核及び宇宙線に関する諸種の実験結果と比較検討し、 正しい仮説を撰び取る方法であり、第二は中間子を含む素粒子の 一般理論を建設することによって、中間子自身に関する矛盾なき 理論を同時に構成しようとする方法である。この両者は固より切 離すことが出来ないが、本研究においては特に第一の方法に重点 を置き、混合場理論、中間子対理論に関する詳細な検討を行いた いと思う。]	1
F51 300 X46		教員適格審査委員会委員選出の件通知 昭和 21 年 5 月 23 日 理学部長 駒井 卓 湯川教授殿	1
F50 310 X46		昭和二十二年度概算要求に関する件通知 昭和 21 年 5 月 28 日 理学部長 駒井 卓 湯川教授殿	2
F50 320 X46	ME	[学部長会議 (6 月 8 日) メモ]	1
F50 330 X46		新俸給及家族手当調書 [(12) の学歴及び資格の区分]	1

F52 R01 「渾沌会」通知記録†

連絡先

京都大学理学部物理学教室 教養部物理学教室 工学部原子核工学教室
 数理解析研究所 化学研究所 京都産業大学理学部物理学教室
 同志社大学工学部電気工学教室 立命館大学理工学部物理学教室
 大阪市立大学理学部物理学教室 神戸大学理学部物理学教室

1971

1. 71-02-17 中野董夫：「重力理論」
2. 71-03-25 話題提供：小久保 寛・益川敏英・岩崎洋一
3. 71-04-22 話題提供：位田正邦
4. 71-05-27 佐藤文隆：「最近の宇宙論から」
5. 71-06-25 矢島信男：「ソリトンについて」
6. 71-07-22 山本邦夫：「局所場における矛盾のない有限理論」
7. 71-09-27 丹生潔：「超高エネルギー現象の研究についての最近の話題」
8. 71-10-28 話題提供：町田茂・牧二郎
9. 71-12-02 中西墳：「場の理論の発散についての最近の話題」

1972

10. 72-02-17 内山龍雄：「一般相対論における運動方程式」
11. 72-03-29 喜多秀次：「相対論的量子力学」
12. 72-04-27 石田晋：「Ur-citon Scheme」
13. 72-06-01 山崎和夫：「ハイゼンベルク理論と真空の縮退」
14. 72-07-13 益川敏英：「Weak Interaction の Renormalizable Gauge Model
その周辺」
15. 72-09-28 湯川秀樹：「素粒子と時間」
16. 72-10-26 南 政次：「Duality 又は Topsy-Turvydom」
17. 72-11-30 曾我見郁夫：「非局所場と因果律」
18. 72-12-21 大久保 進：「渾沌量子化又は Super-Quantization
(付録) 渾沌なる Symmetry」

† 1989-02-25 京大基研 登谷美穂子氏 提供.

1973

19. 73-01-18 長谷部勝也: 「Space-Time Quantization」
20. 73-02-16 田中 正: 「Bilocal Currents and Finite QED」
21. 73-03-15 佐藤文隆: 「New Series of Exact Solutions for Gravitational Fields of Spinning Masses」
22. 73-04-19 片山泰久: 「Nonlocal QED」
23. 73-05-17 佐藤文隆: 「準星と宇宙論」
24. 73-06-14 横山寛一: 「多重発生現象における多重度分布と粒子相関」
25. 73-07-12 丹生 潔: 「Detailed Analysis of Jet Showers observed by Emulsion Chambers with Producing Layer」
26. 73-09-13 湯川秀樹: 「素領域と四次元量子化」
27. 73-11-08 林 憲二: 「Yang-Mills Field と重力場」
28. 73-12-20 亀淵 迪: 「素粒子とゲージ群」

1974

29. 74-01-24 牟田泰三: 「 e^-e^+ Annihilation と素粒子模型」
30. 74-02-14 町田 茂: 「Duality と複合模型」
31. 74-03-14 片山泰久: 「広がった粒子の電気力学」
32. 74-04-25 仲 滋文: 「差分方程式と Dual Resonance Model」
33. 74-05-23 牧 二郎: 「ハドロン構成子の閉じ込め理論をめぐる話題」
34. 74-06-20 湯川秀樹: 「因果律と差分方程式」
35. 74-07-18 大貫義郎: 「ハドロンと内部自由度」
36. 74-10-03 岩崎洋一: 「くりこみ理論とユニタリテイ」
37. 74-11-07 佐藤文隆: 「小さいブラック・ホールの量子的崩壊
- 重力場での Klein パラドックス -」
38. 74-12-12 小沼通二: 「新粒子の現状」

1975

39. 75-02-06 緋田吉良:「マッハ原理について」
40. 75-03-27 佐藤勝彦:「弱い相互作用と天体核現象
- 太陽ニュートリノを中心として -」
41. 75-04-17 位田正邦:「光的面上での場の量子化」
42. 75-05-22 田中 正:「連続質量をもつ Urbaryon 場について」
(75-11-13) [湯川先生入院のため中断 . 75-11-13 このプログラムで再開*]
43. 75-12-11 長谷部勝也:「素領域場の量子化」

1976

44. 76-01-29 森田正人:「自然法則の対称性-Second Class Current」
45. 76-02-26 佐藤文隆:「ブラックホールの蒸発」
46. 76-03-24 益川敏英:「時空雑感」
47. 76-04-22 「新粒子と素粒子模型」
1. 現状: 小沼通二
2. 今後の問題: 牧 二郎
48. 76-05-28 曾我見郁夫:「複合系の場の理論」[76-07-13 に延期]
(76-07-13)
49. 76-09-30 保江邦夫:「Derivation of Relativistic Wave Equations
in the Theory of Elementary Domains」
50. 76-10-28 伊藤 清:「Diffusion Process について
- Nelson の理論への Introduction として -」

* 75-05-22 の会の案内は、75年5月13日付で発送されていたが、渾沌会世話人は5月19日にこの会の不定期延期を通知した。湯川は前立腺肥大等で5月28日京都第二日赤病院に入院、6月2日手術。切除組織に癌性のものが認められ7月9日再手術。8月中旬に退院、第25回バグオッシュ・シンポジウム(8月28日)に車椅子で出席、開会演説を行った。75-11-13 渾沌会再開通知は11月6日付である。湯川のノート(YHAL N99)に挟まれた75-05-22の会の案内には、日時の項の後に、「11月13日まで延期」の書き込みが見られる。

1977

- 51. 77-02-18 寺本 英:「生体学からみた” 食事の作法”」
- 52. 77-07-07 佐藤文隆:「素粒子と宇宙現象」
- 53. 77-09-29 石田 晋:「Bose-Quark 模型と Exotics」
- 54. 77-11-17 長岡洋介:「量子固体の話題」
- 55. 77-12-08 福田礼次郎:「ゲージ理論の討論」

1978

- 56. 78-02-23 小沼通二:「素粒子の弱い相互作用」
- 57. 78-03-23 小林 誠:「ゲージ理論の話題
- インスタントンと格子ゲージ理論 -」
- (58. 78-04-27 吉川圭二:「格子ゲージ理論」)
[交通ストライキのため取りやめ]
- 59. 78-10-26 佐藤文隆:「宇宙のバリオン数と弱・電・強統一理論」

N151 研究会ノート 覚え書
天体核現象・融合反応関係I May 1957 ~†

		leaves (pagenu)
N151 010	ME 原子力研究会 (Nov.26,1956)・原子力懇話会 (Dec.13,1956)「西田 稔君: 動力炉・実験炉 / 林君: 融合反応炉の制御」	3 ins(2,3)-1*
N151 011	C.Hayashi and M.Nishida, <i>Formation of Light Nuclei in the Expanding Universe</i> [preprint] [PTP 16/6, 613(1955)]	22 ins(2,3)-2
N151 020	ME [書簡 Y.Tanikawa Dec.18, Princeton 要約] [Berkeley Preprint, <i>Catalysis of Nuclear Reaction by μ-mesons</i> , L.W.Alvarez et al の abstract]	1 ins(2,3)-3
N151 021	ME 林忠四郎君 湯[川]研コロキウム Feb.1,1957 Alvarez et al, μ -mesic fusion reaction	4 ins(2,3)-4
N151 022	<i>The Catalysis of Nuclear Reactions by μ Mesons</i> , L.W.Alvarez et al. (UCLA-3620) [preprint]	4 ins(2,3)-5
N151 022	<i>The Catalysis of Nuclear Reactions by μ Mesons</i> , L.W.Alvarez et al. (UCLA-3620) [typewriting copy]	6 ins(2,3)-6
N151 030	ME R.F.Post, <i>Controlled Fusion Research. Application of High Temperature Plasma</i> (R.M.P. 28(1956, July), 338)	1 (p.3)
N151 040	L.Spitzer, <i>Physics of Fully Ionized Gases</i> [The title only]	1 (p.4)
N151 050	ME 天体核現象談話会 (基研サロン) Oct.14, 1957	4(+3) (pp.5-11)
N151 051	PG [同上]談話会通知	1 ins(4,5)
N151 060	ME プラズマ内輸送現象 基研 11月14日 1957	4(+4) (pp.12-20)

† 協力 日大理工 西尾成子氏.

* ins(m,n)-k: ノートブックの m 頁と n 頁の間に挟み込まれた文書中 k 番目.

- N151 061 *PG* [同上]談話会通知 1
ins(12,13)-1
- N151 062 準定常中性プラズマ 1
[書込「プラズマ研究会 Nov.14, 1957 木原氏」] ins(12,13)-2
- N151 070 *ME* *Thermonuclear Research the World Around* 1(+1)
Report of Venice Conference(June, 1957) (pp.21-22)
by L.Reiffel(*Nucleonics* 15/8(Aug.1957), 88);
Igor Kurchatov, Lecture at Harwell, April 1946
- N151 080 *ME* *Controlled Fusion*, A.S.Bishop 1
(*Nucleonics*, 15/4(Sep. 1957), 128) (p.23)
- N151 090 *ME* *Fusion Power* R.F.Post 2
Scientific American,197/6(Dec. 1957), 73 (pp.24-25)
- N151 100 *ME* 第2回原子力シンポジウム 1
(p.26)
- N151 101 *PG* 日本学術会議 第2回原子力シンポジウムプロ 7(+6)
グラム 1958年2月7日(金), 8日(土), 9日(日) ins(26,27)
- N151 110 核融合懇談会 [昭和]33年2月10日,[11日] 4(+3)
(pp.27-33)
- N151 111 *RP* 「大容量線形粒子加速器について」 荒田吉明 7(+4)
超高温研究資料 Vol.2 No.1(1958.1.29) ins(32,33)-1
- N151 112 *RP* 「三相高周波球状放電による超高温発生法」 2)+2)
長尾重夫 ins(32,33)-2
- N151 113 *MT* 「核融合懇談会 昭和33年2月10日午前9時 6
学士会館にて開会の挨拶」 200字原稿用紙
ins(32,33)-3
- N151 120 第4回 核融合反応研究会案内 1
3月14日 2-5時 東京大学工学部会議室 ins(32,33)-4
- 新聞切抜6種: ins(32,33)
- N151 130 「阪大で「核融合実験」に成功」 1
毎日新聞昭和33年2月8日(土)夕刊 ins(32,33)-1
- N151 131 「超高温」「超低温」 2
科学新聞昭和33年1月1日(水)4,5面 ins(32,33)-2
- N151 132 「英国のゼータ核融合反応実験装置を見る」 1
朝日新聞昭和33年1月26日(日) ins(32,33)-3

N151 133	「世界の「核融合反応」研究」(上), (下) 中村誠太郎 毎日新聞昭和33年1月8,15日(水)	2 ins(32,33)-4
N151 134	「核融合」 読売新聞昭和33年2月22日(土)夕刊	1 ins(32,33)-5
N151 135	「私大も理工科ブーム」 朝日新聞昭和33年2月20日(木)夕刊	1 ins(32,33)-6
N151 140	高温プラズマに関する懇談会開催について[案内] [基礎物理学研究所サロン 昭和33年3月19日 午後1時]	1 ins(34,35)-1
N151 141	ME 核融合に関する京大の計画 March 19, 1958	2 (pp.34-35)
N151 142	[各国の実験装置]	2 ins(34,35)-2
N151 143	核融合文献	2 ins(34,35)-3
N151 144	新聞切抜「英のゼータ」 読売新聞昭和33年4月29日	3 ins(36,37)-1
N151 150	新聞切抜「"第四の物性"を解明」 京都新聞[昭和33年4月]	1 ins(34,35)-4
N151 151	核融合懇談会通信 No.7 1958.4.21 [プラズマ研究会PG / 研究費配分 / 各国の実験10例]	3 ins(36,37)-4
N151 152	ME プラズマ研究会 5月7日~15日, 1958	1 (p.37)
N151 153	新聞切抜「"第四の物性"と取組む」 朝日新聞昭和33年5月7日]	1 ins(36,37)-2
N151 154	ME 核融合反応総合研究費(33年度)配分相談 5月9日午前	1 (p.38)
N151 155	[分担課題・研究経費予算表]	2 ins(38,39)-1
N151 156	核融合情報文献センター運営方案 昭和33年5月9日 石谷清幹	2 ins(38,39)-2
N151 157	RP <i>Macroscopic Foundation of Plasma Dynamics</i> by Taro Kihara (JPSJ 13/5 (May 1958) 473-481)	5(+4) ins(36,37)-3
N151 158	「プラズマ統計」 木原太郎	5 ins(38,39)-3

- N151 159 *RP* 「電子-イオン系の *Effective Hamiltonian*」
市川芳彦
(物性論研究 2集4巻3号(1958年9月) 402-414) 7(+6)
ins(38,39)-4
- N151 160 *ME* 核融合懇談会 33.10.13 ~ 14 2(+1)
[於京都大学基礎物理学研究所] (pp.39-41)
- N151 161 *PG* 核融合懇談会プログラム(1958.10) 2
ins(40.41)-3
- N151 162 核融合研究体制案 阪大グループ 1
ins(40.41)-1
- N151 163 *ME* 「アストロンあるいはそれに類似の型」 1
ins(40.41)-2
- N151 164 「Plasma の平衡の形についての一つの注意」 2
1958.10.8 岩田[義一] ins(40.41)-4
- N151 170 *ME* 磁気流体シンポジウム Jan.8 ~ 10, 1958 1
(p.42)
- N151 171 *PG* 磁気流体シンポジウムの Program 1
ins(42,43)

Z01 財団法人湯川記念財団
付: 財団法人読売湯川奨学会・財団法人仁科記念財団*

		leaves
Z01 010 M01	財団法人湯川記念財団設立許可申請書(1956-03-26)	56
Z01 011 M01	湯川記念財団寄付金入金状況(1956-03-31 現在)	5
Z01 020 M01	財団法人湯川記念財団寄付行為(案) [印刷]	6(+4)
Z01 021 M01	財団法人湯川記念財団寄付行為(案) [孔版刷]	7
Z01 022 M01	財団法人湯川記念財団寄付行為(原案) [邦文タイプ]	6
Z01 023 M01	財団法人湯川記念財団寄付行為(訂正案) [邦文タイプ]	7
Z01 024 M01	基礎物理学研究所概略(1955年3月現在)	8
Z01 030 M01	湯川記念財団設立発起人依頼書(設立趣意書・返信用ハガキ・封筒)	3
Z01 031 M01	設立趣意書印刷メモ[「3月11日まで300部印刷」]	1
Z01 032 M01	[湯川記念財団基金募集(1955-04-09 朝日新聞・読売新聞記事)]	1
Z01 040 M01	湯川記念財団設立基金募集に対する免税取扱申請書(1955-03-17)	4
Z01 041 M01	大蔵省告示第267号(1955-03-26)	1
Z01 042 M01	木原生物学研究所施設拡張寄付金免税申請報告(1955-02-26) 及び大蔵省告示第136号[免税申請参考用?]	1
Z01 050 M01	文部省予算関係資料(1955年4月)封筒 [Z01 051 M01 ~ Z01 056 M01 在中]	1
Z01 051 M01	原子核特別委員会(1955-04-15)メモ:「基研の問題について」	4
Z01 052 M01	江上不二夫「フランス学術体制の中核 CNRS について」 学術月報 4/7,342-346 別刷	5(+2)
Z01 053 M01	「委託研究員に関する要望」	5
Z01 054 M01	「委託研究員に関する要望」原稿	3
Z01 055 M01	昭和29年度文部省所管歳出決算書	3
Z01 056 M01	所要経費表	5
Z01 060 M01	長谷川万吉→湯川秀樹書簡[1955-03-18 付; 平凡社家屋寄付の件]	3
Z01 061 M01	基礎物理学研究所分館視察(1955-05-20)案内	2

* 協力 東工大 高田容士夫氏

Z01 062 M01	不動産取得税の異議申立書[1955-07-19 提出] (湯川秀樹→京都府左京府税事務所長)	4 4
Z01 063 M01	不動産取得税に係る決定通知書 (1955-10-13, 京都府左京府税事務所)	3
Z01 070 M01	湯川記念財団設立発起人会 (東京丸の内工業倶楽部, 1955-06-03) 案内状	1
Z01 071 M01	湯川記念財団設立発起人会挨拶原稿[400字詰原稿用紙]	2
Z01 072 M01	湯川記念財団設立準備会資金[メモ]	3
Z01 080 M01	"Yukawa Fund"[英文設立趣意書]	2(+2)
Z01 090 M01	M.Kobayasi:"Yukawa Hall and Modern Physics in Japan" (Physics Today 8/1(1955),14-16 別刷)	4(+2)
Z01 100 M01	財団法人「湯川記念財団」設立寄附金募集趣意書 及び同原稿の一部	6(+2) 2
Z01 110 M01	「湯川記念財団」設立寄附金募集依頼状 (1955年7月)	1
Z01 120 M01	「湯川記念財団」設立寄附金収支明細 (1955年4月1日~8月15日) [Rockefeller財団⇔湯川秀樹 往復書簡 6通:]	5
Z01 130 M01	1955-07-26 : Warren Weaver → Hideki Yukawa	3
Z01 131 M01	1955-08-24 : H.Yukawa → W.Weaver [\$ 5,000 寄附要請]	1
Z01 132 M01	1955-08-29 : W.Weaver → H.Yukawa [京大総長承認書要求]	1
Z01 133 M01	1955-10-04 : H.Yukawa → W.Weaver [別便で総長親書送付; 取扱銀行に First National City Bank of New York を指定]	1 1
Z01 134 M01	1955-10-17 : Flora M.Rhind → Yukioki Takikawa [滝川幸辰] [寄付応諾]	1
Z01 135 M01	1955-12-14 : H.Yukawa → Comptroller of Rockefeller Foundation	1
Z01 140 M01	「湯川記念財団」設立寄附金募集依頼状 (1955年9月)	1
Z01 150 M01	「湯川記念財団」設立寄附金募集依頼状 (1955年10月)	1
Z01 160 M01	田中慎次郎→湯川秀樹 1955年10月29日付書簡	2
Z01 170 M01	財団法人京都技術科学館→湯川記念財団 [便乗合体提案]	7
Z01 180 M01	湯川記念財団京都発起人会 (京都ホテル, 1955-12-01) メモ	1
Z01 181 M01	湯川記念財団設立寄附金入金状況 (1955-12-15 現在)	2.

Z01 190 M01	湯川記念財団設立寄附金入金状況 (1956-02-07 現在) 及び 第1年度第2年度計画案メモ	4
Z01 200 M01	湯川記念財団設立世話人会 (基研, 1956-04-09) 案内 付: 寄付金状況 1956-03-31 現在	4
Z01 210 M01	湯川記念財団第1回理事会 (基研, 1956-05-21) 案内 [初代理事長鳥養利三郎]	2
Z01 211 M01	湯川記念財団昭和31年度収支予算書	12
Z01 212 M01	原田歴二履歴書	2
Z01 212 M01	湯川記念館分室修繕工事見積書	2
Z01 220 M02	財団法人読売湯川奨学会寄付行為	7(+2)
Z01 230 M02	財団法人読売湯川奨学会応募規定	1
Z01 240 M02	財団法人読売湯川奨学会顧問会・役員会・理事会 (読売新聞社, 1956-09-29) 報告	4
Z01 241 M02	[読売湯川奨学基金募集・奨学金交付決定] (読売新聞 1950-08-01, 1953-07-14, 1955-12-12 記事)	3
Z01 250 M03	財団法人仁科記念財団募金申込及払込実績表 (1955年1月25日)	3
Z01 260 M03	仁科記念財団発起人会起案委員会 (学士会館, 1955年3月22日) 案内	2

Z02 湯川記念館創設

		leaves
Z02 010 X64	「長谷川万吉名誉教授を囲む座談会」* (湯川記念館設立当時を回想して) 出席者: 長谷川万吉・湯川秀樹・小林 稔・井上 健; 世話役: 原田歴二; 速記: 藤木; 於基礎物理学研究所, 1964年2月8日	112 (200字原稿用紙)
Z02 020 X66	長谷川万吉「湯川記念館と共同利用研究所」 (1966年)	20 (400字原稿用紙)
Z02 030 X53	湯川記念館彫像除幕式(1953年9月8日10時) 1953年9月8日読売新聞記事 1953年9月9日京都新聞記事	1

* 湯川記念財団 原田歴二氏提供。

Yukawa Hall Archival Library

YITP, KYOTO UNIVERSITY
KYOTO 606, JAPAN

YHAL Resources

Hideki Yukawa (V)

edited by
the Committee for
Yukawa Hall Archival Library

October 1994

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室

Application for Access to the Material in the Yukawa Hall Archival Library

Yukawa Hall Archival Library,
YITP, Kyoto University, Kyoto 606, JAPAN

October 22, 1992

The material in the Yukawa Hall Archival Library (YHAL) at the Yukawa Institute for Theoretical Physics (YITP), Kyoto University, is available for study and research by scholars whose application for access has been approved by the Chairman of the Committee for YHAL. The applicant is requested to complete the following forms.

- Name(legible)
- Institution
- Position
- Address
- Purpose of the research and nature of the problem to be investigated.
- Are the results of the research to be eventually published? If so, where?
- Names and addresses of at least two recognized scholars to whom we may write for reference.

Statement to be signed by users of YHAL

In consideration of the extension to me by the Chairman of the Committee for YHAL of the privilege of using, for scholarly purposes, archival materials collected in YHAL, I agree to the following:

1. I shall not quote from any of the material to which I am given access without the prior and written permission of the Chairman of the Committee for YHAL.
2. I shall paraphrase the material only in such detail as is essential to a just expression of its historical and scientific substance.
3. If I am allowed to copy or to have copies made of any of the material, in whole or in part, by any means including copying by hand, I shall use these copies solely for scholarly purposes.
4. I shall not allow any copied material to pass into the hands of others without the prior and written consent of the Chairman of the Committee for YHAL.
5. I agree to give credit to the YHAL, whenever documentary source material from YHAL is quoted, or summarized or otherwise used in a publication.
6. I agree to send two copies of any resulting publications of the research to YHAL.

Signature Date

Approved by Date

Request for Photocopying

Yukawa Hall Archival Library, YITP, Kyoto University, Kyoto 606, JAPAN

Telex:542-3179 RIFPK. Telefax:(75)-753-7010. JPNRIFP.BITNET

October 23, 1992

In accordance with my application regarding the use of the material in YHAL as stated on the preceedin sheet, I make application for photo-copies of following material:

Tag number	Title of material	Number of page

Send to :
Name(print)

Address

Charge to :
Name(print)

Address

I agree to pay the cost incurred in making the copy requested above.

Signature of applicant Date

Approved by Date

YHAL Classification Scheme

We use nine letters and figures in total as the code number:

Sources of Materials	Order of Materials	Kinds of Materials
E □ □ Envelopes	0 1 0	A □ □ manuscripts of Articles
F □ □ Files	0 2 0	B □ □ manuscripts of Books
N □ □ Notebooks	0 3 0	C □ □ Correspondence
Z □ □ Fragments	□ □ □	D □ □ laboratory Diaries
.	E □ □ manuscripts of Essays
.	L □ □ Lecture notes
		M □ □ Miscellaneous
		N □ □ report to occupation forces
		P □ □ manuscripts of scientific Papers*
		R □ □ proceedings of Research meetings
		T □ □ manuscripts for Talks
		U □ □ manuscripts of Unpublished articles
		X □ □ records of collegiates

* The 'Papers' are numbered as they are in *Hideki Yukawa Scientific Works, Part I* (Iwanami Shoten, Publishers, Tokyo, 1979).

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL :

Materials	Serial Numbers	Contents
A D T	0 1 0	Oral materials : recorded audio-tapes of addresses, lectures, symposia, etc.
C O R	A 3 9	Correspondences on a topic A in 1939
E D T	0 2 0	Selected materials on a subject
P C T	0 3 0	Pictorial materials : photographs, sketches, video-tapes, etc.

YHAL Abbreviation and Notations

BPMSJ	<i>Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan</i> (日本数学物理学会誌)
HYSW	<i>Hideki Yukawa Scientific Works</i> (Iwanami Shoten, Tokyo, 1979) supplemented version : 湯川秀樹著作集 10 (岩波書店, 1990)
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research (理化学研究所) (RIKEN (理研))
JPSJ	<i>Journal of Physical Society of Japan</i>
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
PPMSJ	<i>Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan</i>
PSJ	Physical Society of Japan
SP-IPCR	<i>Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research</i>
AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper, essey, etc.
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
RP	Reprint
$a(+b)$	The figure a is the total number of leaves of manuscript, and $(+b)$ stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation, or translation into English.

E07 U03 [Theory of the Nuclear Spin]

		<i>leaves</i>
E07 000 U03	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : 原稿在中 [<i>Manuscripts</i>]. [松山高等学校地質鉱物学教室より小川琢治宛印刷物郵送の封筒を再使用.]	1
E07 010 U03	<i>DR Theory of the Nuclear Spin.</i> [With the date Nov.10, 1929.] [A handwriting manuscript on a theory of hyperfine-structure.] [In Japanese.]	8(+6)
E07 020 U03	<i>DR [Theory of the Nuclear Spin]</i> [A handwritten draft for E07 010 U03, including some detailed calculations.] [In Japanese.]	6(+6)
E07 030 U03	<i>ME</i> 「 $l^2 + m^2 + n^2$ ニテアラハシ得ザル整数ニツイテ」 [Integers which cannot be described by the expression $l^2 + m^2 + n^2$.] [In Japanese.]	6(+2)
E07 040 U03	<i>ME Angular Momenta in the Theory of Hyperfine Structure.</i> [In Japanese.]	2
E07 050 U03	<i>CL Calculation of Perturbation Energy.</i>	31(+4)
E07 060 U03	<i>ME [Uncertainty of the Quantized Radiation Fields and the Total Angular Momentum.]</i> [This memorandum was written after Yukawa found Fermi's paper : <i>Über die magnetischen Momente der Atomkerne</i> , ZS.f.Phys.60,320-333(1930).] [In Japanese.]	4
E07 070 U03	<i>ME [Conservation of Total Angular Momentum.]</i> [This memorandum was written after above-mentioned Fermi's paper.] [In Japanese.]	3
E07 080 U03	<i>CL [Total angular momentum and selection rules.]</i> [This memorandum was written after above-mentioned Fermi's paper.] [In Japanese.]	8(+6)
E07 090 U03	<i>ME</i> [Résumé from Heisenberg and Pauli's paper : <i>Zur Quantentheorie der Wellenfelder II</i> , ZS.f.Phys.59,168-190 (1930).]	4

Following documents are the transcriptions of published papers
by Yukawa himself :

- | | | |
|-------------|--|---------|
| E07 101 U03 | ME A.Landé : <i>Zu Dirac's Theorie des Kreiselektrons</i> ,
ZS.f.Phys. 48 ,601-606(1928). | 3 |
| E07 102 U03 | ME P.A.M.Dirac : <i>On the Theory of Quantum Mechanics</i> ,
Proc.Roy.Soc. A112 ,661-677(1926). | 11(+11) |
| E07 103 U03 | ME O.Klein : <i>Quantentheorie und fünfdimensionale
Relativitätstheorie</i> , ZS.f.Phys. 37 ,895-906(1926). | 7(+6) |
| E07 104 U03 | ME P.Jordan : <i>Über eine neue Begründung der Quanten-
mechanik</i> , ZS.f.Phys. 40 ,809-838(1927).
[Transcription of only the Teil I.] | 4(+4) |
| E07 105 U03 | ME O.Klein : <i>Zur fünfdimensionalen Darstellung der
Relativitätstheorie</i> , ZS.f.Phys. 46 ,188-208(1928). | 11(+11) |
| E07 106 U03 | ME C.G.Darwin : <i>On the Magnetic Moment of the Electron</i> ,
Proc.Roy.Soc. A120 ,621-631(1928). | 7(+8) |
| E07 107 U03 | ME E.Fermi : <i>Über die magnetischen Momente der
Atomkerne</i> , ZS.f.Phys. 60 ,320-333(1930). | 8(+8) |

E18 P02 Internal Pair Prod. 1935

[*On the Theory of Internal Pair Production (with S.Sakata)*]
[PPMSJ 17(1935),397-404]

		leaves
E18 000 P02	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : <i>Internal Pair Prod, 1935.</i>	1
E18 010 P02	<i>MP</i> 数物記事原稿. 校正送先 兵庫県西宮市苦楽園 湯川秀樹. 所要別刷 著者宛百五十部, 阪大理学部事務室宛八百部. 「内部変換による陰陽電子対発生の理論」 <i>On the Theory of Internal Pair Production.</i> By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata. [The manuscript of P02 submitted to PPMSJ, received in August 22, 1935.]	18
E18 020 P02	<i>LT</i> [A letter from Masamichi Kimura (木村政路), Phys. Dep. <i>MP</i> Kyoto Imperial Univ., to Yukawa, which asked for a typewritten manuscript of the abstract of P02, and a manuscript for this requirement.] [書簡には, 日本物理学輯報第11巻1号掲載のため, とあるが, 同誌の確認はできていない.]	2
E18 030 P02	<i>PS</i> [The first proof sheets of the P02.]	12
E18 040 P02	<i>CL</i> [F_j, G_j and f_j, g_j .] [By S.Sakata.]	4
E18 050 P02	<i>CL</i> [$k, u \rightarrow j, u$.] [By S.Sakata.]	6
E18 060 P02	<i>CL</i> 「 RaC' 核の strahlungslose Übergang による Paarerzeugung の確率」 [' <i>Probability of Pairproduction by radiationless transition in RaC' Nucleus</i> '.] [By S.Sakata.]	9
E18 070 P02	<i>CL</i> 「 γ -ray の Internal Conversion について」 May 22, 1935. <i>ME</i> [<i>On the Internal Conversion of the γ-ray.</i>]	6
E18 080 P02	<i>ME</i> <i>Theory of Pair Production by S-S Transition of Radio- active Nucleus.</i> [A handwriting draft for the P02 with a leaf typewritten only the (another) title : <i>Theory of Pair Production by Radiationless Transition of Radioactive Nucleus.</i>]	14

- E18 090 P02 *MP On the Theory of Internal Pair Production.* 16
 [A typewriting manuscript of the P02 with some hand-
 writing corrections.]
- E18 100 P02 *MP On the Theory of Internal Pair Production.* 27(+4)
 [A manuscript for the P02 ; §1 and a part of §2 are type-
 written, the rest handwritten.]
- E18 110 P02 *CL* [$\{\Delta - \frac{1}{c^2} \frac{\partial^2}{\partial t^2}\} A_0(\vec{r}, t) = -4\pi\rho_{nm}(\vec{r}) \exp(-2\pi i\nu t)$.] 3
- E18 120 P02 *CL* Eigenfunction of Continuous State. 2
- E18 130 P02 *MP Note on Pair Production by Radiationless Transition
 of the Radioactive Nucleus.* 10
 [A typewriting version of E18 080 P02. The title is changed
 to *On the Theory of Internal Pair Production* in hand-
 writing and many handwritten corrections are added.]

E19 P03 β Disintegration

[*On the Theory of the β -Disintegration and the Allied Phenomenon*]
[PPMSJ 17(1935),467-479]

		<i>leaves</i>
E19 000 P03	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope: <i>β Disintegration.</i>	1
E19 010 P03	<i>MP</i> <i>On the Theory of the β-Disintegration and the Allied Phenomenon.</i> [A handwritten manuscript of the paper P03.]	5(+5)
E19 020 P03	<i>ME</i> [$\phi_{E',j,u}^{(1)}$'s]	1
E19 030 P03	<i>LT</i> A letter from S.Sakata to H.Yukawa, with the postmark Aug. 4, 1935. [Numerical values of σ , the table in p.479 of P04.] [In Japanese.]	3
E19 040 P03	<i>MP</i> <i>On the Theory of the β-Disintegration and the Allied Phenomenon.</i> [A typewriting manuscript of P04 with handwriting corrections and drafts of <i>Note added in proof.</i>]	19(+1)
E19 050 P03	<i>MP</i> <i>On the Theory of the β-Disintegration and the Allied Phenomenon</i> [The manuscript submitted to PPMSJ, received in Sept.5, 1935.]	19
E19 060 P03	<i>ME</i> [On the Theory of the β -Disintegration and the Allied Phenomenon.] [A draft in Japanese for the P03 by S.Sakata.]	6
E19 070 P03	<i>MP</i> <i>On the Theory of the β-Disintegration and the Allied Phenomenon.</i> [A typewriting manuscript of the P03 ; probably the first version preceding to E19 040 P03.]	16
E19 080 P03	<i>CL</i> On the Theory of β -Disintegration. [Yukawa tried to determine the form of 'Perturbing Field', $V = U_0 + \vec{\alpha}\vec{U}$, so that it gives relevant selection rules to the nuclear transition, but not completed.] [In Japanese.]	10
E19 090 P03	<i>CL</i> [A solution of Dirac equation for a particle with charge $-e'$ and proper mass m' : $(E + \frac{Zee'}{r} + c\vec{\alpha}\vec{p} + \beta\mu')\psi = 0$ ($\mu' = m'c^2$). This draft includes also the calculation of transition probability and some numerical estimations. One leaf on transition probabilities was written by S.Sakata.]	10

E20 P04 Supplement β -Disint.

[*Supplement to "On the Theory of the β -Disintegration and the Allied Phenomenon"*, PPMSJ 18(1936),128-130]

		<i>leaves</i>
E20 000 P04	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope: <i>Supplement β-Disint.</i>	1
E20 010 P04	<i>MP Supplement to "On the Theory of the β-Disintegration and the Allied Phenomenon".</i> [A handwriting manuscript of the paper P04.]	6
E20 020 P04	<i>MP Supplement to "On the Theory of the β-Disintegration and the Allied Phenomenon".</i> [A typewriting manuscript of the paper P04, with some handwriting corrections.]	4
E20 030 P04	<i>ME</i> [Transition Probability in Konopinski-Uhlenbeck Theory.] [By S.Sakata.] [In Japanese.]	7

E21 P05 Nuclear Disintegration by Neutron Impact 1936, Feb.

[*Theory of Disintegration of the Nucleus by Neutron Impact*
(with Yukihiro Miyagawa), PPMSJ 18, 157-166(1936)]

- | | | leaves |
|----------------|--|--------|
| E21 000 P05 | An envelope in which the following documents were enclosed.
The title of envelope : <i>Nuclear Disintegration by Neutron Impact. 1936, Feb.</i> | 1 |
| E21 010 P05 CL | [Calculation of cross section for scattering and disintegration of nucleus by neutron impact. Comparison with Bethe's result (Phys.Rev. 47, 747(1935)). This memorandum seems to have been written by Y.Miyagawa.] [In Japanese.] | 23 |
| E21 020 P05 ME | [More detailed and systematic presentation of E21 010 P05 by Miyagawa with a few addenda by Yukawa.]
[In Japanese.] | 41(+2) |
| E21 030 P05 MP | <i>Theory of Disintegration of the Nucleus by Neutron Impact.</i>
By Hideki Yukawa and Yukihiro Miyagawa.
(Read Sept.28, 1935.)
[Almost complete manuscript of P05, handwriting.] | 9(+9) |
| E21 040 U04 MT | 湯川秀樹 「軽粒子の理論に就て」
[<i>On the Theory of Light Particles</i> H.Yukawa.]
[The draft of abstract of talk delivered in the annual meeting of PMSJ, Apr.4, 1936. The same sentences are found in BPMSJ 10, 193, 5.(1936). This draft was written on another side of a paper that used for calculation of the wave functions in P05. On the same leaf we find also the title: <i>On the Excitation of Nucleus by Electron Impact</i> , which was delivered by S.Sakata in the same annual meeting. Cf. BPMSJ, l.c., 4..]
[In Japanese.] | 2(+1) |
| E21 050 P05 CL | Interaction of the Heavy Particle with the Nucleus. | 3 |
| E21 060 P05 MP | <i>Theory of Disintegration of the Nucleus by Neutron Impact.</i>
By Hideki Yukawa and Yukihiro Miyagawa
(Read Sept.28, 1935.)
[Typewriting manuscript of P05, with many handwriting corrections and supplements.] | 12 |

- E21 070 P05 *MT* 第三回大阪支部数物講演原稿 Sept.28, 1935. 15(+2)
 湯川秀樹・宮川行彦,
 「Heavy Particle と原子核の相互作用について」
 [*On the Interaction of Heavy Particle and Nucleus*
 H.Yukawa and Y.Miyagawa]
 [Manuscript of the talk in the 3rd regular meeting of
 PMSJ Osaka Branch, Sept.28, 1935. The 7th lecture in
 this meeting was theirs.] [In Japanese.]
- E21 080 P05 *CL* [Some numerical calculations.] 5
- E21 090 P05 *DR* *Theory of Disintegration of the Nucleus by Neutron Impact* 10(+9)
On the Collision of the Heavy Particle with the Nucleus I.
 By Hideki Yukawa and Yukihiro Miyagawa
 (Read Sept.28, 1935)
 [Handwriting draft of P05, not completed.]
- E21 100 P05 *MT* 数物講演原稿 昭和十年十一月三十日. 3(+3)
 「中性子の異常吸収に就て」
 [*On the Abnormal Absorption of Neutrons.*
 (with Y.Miyagawa).]
 [Manuscript of the talk in the 4th regular meeting of
 PMSJ Osaka Branch, Nov.30, 1935. The lecture was
 given at the 7th in 9 ones of this meeting.]
 [In Japanese.]
- E21 110 P05 *CL* [Calculation of the Scattering Cross Section, probably 16
 by Y.Miyagawa.] [In Japanese.]

E22 P06 Neutron の Slowing Down June - July, 1936

[*Elementary Calculations on the Slowing Down of Neutrons by a Thin Film.*]
[PPMSJ 18, 507-518(1936).]

		leaves
E22 000 P06	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : <i>Neutron の Slowing Down</i> <i>June - July, 1936.</i>	1
E22 010 P06 MP	<i>Elementary Calculations on the Slowing Down of Neutrons by a Thin Plate.</i> [The submitted typewriting manuscript of P06 .]	18
E22 020 P06 CL	Elementary Theory of Velocity Distribution of Slowed Down Neutrons / by Hideki Yukawa May 5, 1936. [In Japanese.]	10
E22 030 P06 CL	薄い Sheet によって散乱された中性子の Velocity Distribution [Elementary Theory on Velocity Distribution of Scattered Neutrons through Thin Layer.] [In Japanese.]	7
E22 040 P06 CL	[Velocity Distribution of Scattered Neutrons through Thin Layer ①.] [In Japanese.]	7
E22 041 P06 CL	[Velocity Distribution of Scattered Neutrons through Thin Layer ②.] [In Japanese.]	4
E22 042 P06 CL	[Velocity Distribution of Scattered Neutrons through Thin Layer ③.] [In Japanese.]	9
E22 050 P06 DR	(Scattering and Absorption by Plate not containing Hydrogen.) [But Yukawa crossed out this title.]	4
E22 051 P06 DR	Elementary Problems on Scattering of Neutrons. By Hideki Yukawa. (Read July 4, 1936.) [Handwriting draft, not completed. Yukawa seems to have been hard to decide the title of article.]	17(+12)
E22 060 P06 PG	第八回日本数学物理学会大阪支部常会 七月四日(土)午後一時三十分ヨリ阪大理学部大講義室ニテ 「薄イ層ニヨル中性子ノ遅緩」 15分 湯川秀樹君。 [The program of the 8th Regular Meeting of PMSJ Osaka Branch, July 4, 1936. In twelve talks of the meeting the last one was Yukawa's <i>The Slow Down of Neutrons through Thin Layer.</i>]	1

- E22 061 P06 *MT* 「1936 七月数物常会原稿」 19(+11)
 [The manuscript for the talk in Regular Meeting of PMSJ
 Osaka Branch, July 4, 1936. In Japanese. The English
 version of this manuscript may be above E22 051 P06.]
- E22 070 P06 *CL* [Calculation for 'The Case of a Point Source and
 a Small Detector' (§7. of the P06).] 5(+2)
- E22 080 P06 *CL* Scattering and Absorption of Slow Neutrons. 2
 [Calculation of an integral for the case of double
 scattering of neutrons.]
- E22 090 P06 *DR* *Elementary Calculations on the Scattering of Neutrons
 by Thin Plate* 16(+1)
 By Hideki Yukawa (Read July 4, 1936)
 [Typewriting draft with many handwriting corrections
 and supplements.]
- E22 100 P06 *CL* Transmission, Fast Neutron. 6
- E22 110 P06 *DR* §Scattering of Neutrons from a Point Source 4
 by a Circular Plate.
 [Handwriting draft, not completed.]
- E22 120 P06 *CL* ○ Oblique Incidence. 4(+1)
- E22 130 P06 *CL* ○ Circular Plate による Scattering. 4
- E22 140 P06 *CL* ○ Primary の Inhomogeneity の影響. 2
 [Effects of Inhomogeneity in Energy Distribution of
 Primary Neutrons.]
- E22 150 P06 *LT* [A part of draft of a letter to an experimental physicist
 whose name cannot be identified. Yukawa acknowledged
 the addressor informing of his experimental results,
 and wrote own calculation E22 110 P06.] 2
- E22 160 P06 *DR* ⑥. Hydrogen 以外の atom もふくまれる場合. 19
 [The Case of Substances that contain also Atoms other
 than the Hydrogen.] [In Japanese.]
 [Yukawa add the following section title to E22 061 P06
 ⑦. Hydrogen のみをふくむ物質による Slowing Down
 (Slowing Down through Substance that contains the
 Hydrogen Only), by lead pencil (probably, after
 the PMSJ-lecture).]

- E22 161 P06 CL ○ Capture が大きくて Scattering と一緒に共存する場合. 8(+1)
 [The Case when happen both Large Absorptions
 and Scatterings.] [In Japanese.]
- E22 170 P06 CL ◎. Spherical Shell による Slowing Down 1
 [The Slowing Down by Spherical Shell.]
 [In Japanese.]
- E22 180 P06 CL @. [Refinement of the calculation method of the 2
 second scattering.] [In Japanese.]
- E22 190 P06 CL ©. [The second scattering, calculation of 10(+1)
 integrals.] [In Japanese.]
- E22 200 P06 CL ⑦. Equilibrium Distribution for Thick Plate. 2(+1)
 [In Japanese.]

E26 中性子遅緩問題 続 1937

[Slowing Down of Neutrons, Continued, 1937]

		<i>leaves</i>
E26 000	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : 「中性子遅緩問題 続, 1937.」 [The Slowing Down of Neutrons, Continued, 1937.]	1
E26 010 P06 PG	力学・物理数学談話会 (第 5 回) [1936 年]6 月 3 日午後二時カラ 第二小講義室. 「水素との衝突によって遅められた中性子の速度分布の問題」 湯川秀樹君 [The program of the 5th Colloquium on Theoretical Physics in Osaka Imperial University, June 3, 1936.] [Velocity Distribution of Neutrons which are made slow down by collision with the Hydrogen, Hideki Yukawa.]	1
E26 011 P06 MT	理論物理学談話会 June 3, 1936 「水素核との衝突によって遅められた中性子の速度分布の問題」 [Velocity Distribution of Neutrons which are made slow down by collision with the Hydrogen Nuclei.] [In Japanese.]	17(+7)
E26 020 CL	Elementary Considerations on the Velocity Distribution of Neutrons in the Hydrogenated Substance. On the Equilibrium Distribution of Slow Neutrons. [In Japanese.]	3
E26 030 CL	Multiple Scattering and Absorption of Neutrons by Heavy Element. [In Japanese.]	10
E26 040 CL	Slowing Down of Neutrons in a Hydrogen-containing Sphere. [In Japanese.]	3

E23 P08 On the Efficiency of γ -Ray Counters Dec. 1936.

[*On the Efficiency of the γ -Ray Counter (with Shoichi Sakata)*]
[SP-IPCR 21, 187-194(1937)]

	<i>leaves</i>
E23 000 P08	1
An envelope in which the following documents were enclosed.	
The title of envelope : <i>On the Efficiency of γ-Ray Counters</i> <i>Dec. 1936.</i> <i>H. Yukawa and S. Sakata</i>	
E23 010 P08 RP	4(+4)
<i>On the Efficiency of the γ-Ray Counter.</i> By Hideki YUKAWA and Shoichi SAKATA. (Received January 30, 1937.)	
E23 011 P08 MP	12+5F
<i>On the Efficiency of the γ-Ray Counter.</i> By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata. [The submitted typewritten manuscript of P08.] [The notation 5F in the leaves column means five figure manuscripts.]	
E23 012 P08 PS	8
<i>On the Efficiency of the γ-Ray Counter.</i> By Hideki YUKAWA and Shoichi SAKATA. [The first proof sheets of P08. Mar.8, 1937.]	
E23 013 P08	1
送品票 : 湯川様 / 理研編纂係 / 昭和12年3月8日 見本刷, 原稿, 初校刷 各一揃 .	
E23 020 P08 MP	4
[Manuscript of the Figures in P08.]	
	方眼紙
E23 030 P08 CL	10(+4)
<i>On the Efficiency of the γ-Ray Counter</i> [with the date Dec.1, 1936.] [In Japanese.]	
E23 040 P08 CL	16(+3)
Efficiency of the Aluminium Counter.	
[i) Compton Effect. a) Angular Distribution of Scattered Electrons. b) Cross Section. ii) Pair Creation. iii) Photoelectric Effect. ○ Range of Secondary Electrons. Numerical Calculation : ○ Compton Effect. ii) Photoelectric Effect. iii) Pair Creation. ○ Effect of Scattering of Recoil Electron.] [In Japanese.]	
E23 050 P08 CL	6
Efficiency of Pb Counter.	

- E23 060 P08 *CL* 「 Oblique Incidence の影響」 17+1F
 [Effect of the Oblique Incidence.]
 [In Japanese.]
- E23 070 P08 *DR* *On the Efficiency of the γ -Ray Counter.* 3
 By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata.
 [A typewriting draft of P08, a part.]
- E23 071 P08 *DR* *On the Efficiency of the γ -Ray Counter.* 8(+1)
 By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata.
 [A typewriting draft of P08 with many corrections and
 addenda, not completed.]
- E23 080 P08 *PG* 第 11 回日本数学物理学会大阪支部常会通知 1
 昭和 12 年 1 月 23 日 (土)
 「 γ 線計数管の能率に就いて」…(10分) 湯川秀樹君
 坂田昌一君
 [*On the Efficiency of the γ -Ray Counter.* 1
 By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata.
 [The program of the 11th regular meeting of PMSJ Osaka
 Branch, Jan.23, 1937. The 4th lecture was Yukawa and
 Sakata's in 6 ones of this meeting.]
- E23 081 P08 *DR* *On the Efficiency of the γ -Ray Counters.* 12+2F
 By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata.
 [Handwriting draft of P08. This might be the manuscript
 of the talk in above meeting.]

E24 P10 On the Collision of Neutrons with Deuterons
March, 1937.

[*On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons (with S.Sakata)*]
[PPMSJ 19, 542-551(1937)]

		leaves
E24 000 P10	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : <i>On the Collision of Neutrons with Deuterons, March, 1937.</i>	1
E24 010 P10 PS	<i>On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons</i> [The first proof of the paper P10, with the date May 29, 1937. In the last column the notation 4F means the four figure manuscripts.]	10+4F
E24 020 P10 MP	<i>On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons</i> [The submitted typewriting manuscript of P10, returned with the proof sheets.]	15
E24 030 P10 ME	「重水素核と中性子の衝突」 ['Collision of Neutrons with deuteron', by S.Sakata.]	2
E24 031 P10 CL	[Excited State of ^3H]	7
E24 040 P10 CL	On the Slowing Down of Neutrons by Collision with Deuterons. Jan.29, 1937.	27
E24 050 P10 CL	Stationary State of the Three Particle System.	18(+3)
E24 051 P10 CL	[Stationary State of the Three Particle System.]	9
E24 060 P10 ME	On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons [A sketch of contents of the paper P10.]	1
E24 061 P10 CL	Probability of Multiple Collision of Neutron in Heavy Water and Multiple Scattering Accompanied by Capture.	18
E24 070 P10 DR	On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons [In Japanese.]	14
E24 071 P10 PG	第拾貳回数物学会大阪支部常会通知 3月13日午後1時30分阪大理学部三階大講義室 [「中性子と重水素核ノ衝突ニ就イテ」(15分) 湯川秀樹君 坂田昌一君]	1

[The program of the 12th Regular Meeting of PMSJ
Osaka Branch in March 13, 1937. Yukawa and Sakata's
lecture(E24 070 P10) was the first but the last one
in thirteen talks.]

E24 080 P10	<i>DR</i>	On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata [Handwriting draft with the date March 16, 1937.]	16(+4)
E24 081 P10	<i>DR</i>	§2. Estimation of the Scattering Cross Section [Rewrite of the section 2 of the draft E24 080 P10, handwriting.]	6
E24 090 P10	<i>DR</i>	On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons By Hideki Yukawa and Shoichi Sakata [Typewriting sheets of E24 080 P10 ; but many rewrites and corrections are found.]	17(+4) +4F
E24 091 P10	<i>DR</i>	§2. Estimation of the Scattering Cross Section [Typewriting version of E24 081 P10.]	4
E24 100 P10	<i>CL</i>	[Numerical calculations.]	24(+6)

E25 U04 and U06 Reduction of Nuclear Collision Problem

		<i>leaves</i>
E25 000 U04 and U06	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : <i>Reduction of Nuclear Collision Problem.</i> [大阪市北区北扇町大阪市立工業研究所内大阪工研協会編集の 雑誌「科学と工業」寄贈の封筒を再使用.]	1
E25 010 U04 ME	「 A Method in Quantum Electrodynamics Quantum Electrodynamics の一つの拡張」, June 19 [1936] [In Japanese.]	5
E25 020 U04	[An envelope of the letter from the editor of Phys. Rev. to Yukawa.]	1
E25 021 U04 LT	[The letter from John T.Tate, the editor of Phys. Rev., to Yukawa, dated May 25, 1936, which informs disapproval of the publication of Yukawa's letter, <i>Density Matrix in the Theory of the Positron</i> , in the Physical Review.]	1
E25 022 U04 LT	<i>Comments of Referee on the Letter to the Editor by Yukawa</i>	1
E25 023 U04 MP	Letter to the Editor of the Physical Review <i>Density Matrix in the Theory of the Positron</i> [The returned manuscript of the letter, sent on Apr.21, with the stamp 'received on May 7, 1936'.] [Handwriting corrections are added.]	4
E25 030 U04 LT	[Handwriting drafts of the letter from Yukawa to John T.Tate and of <i>Reply to the Comments of Referee.</i>]	3
E25 031 U04 LT	[Typewriting E25 030 U04 and its carbon copy.] [With the date June 23, 1936.]	5
E25 040 U06 CL	On the Reduction of Nuclear Collision Problem	9
E25 050 U06 DR	On the Reduction of Nuclear Collision Problems By Hideki Yukawa [In Japanese.]	11
E25 060 U06 ME	A Method of Solving Nuclear Collision Problems [In Japanese.]	3
E25 070 U06 ME	A Method of Solving Nuclear Collision Problems [With the date April 24, 1936.] [In Japanese.]	1

- E25 080 U06 DR [The index to E25 081 U06.] 3
[In Japanese.]
- E25 081 U06 MT 第六回数物(三月)常会講演原稿 14
「原子核衝突問題の Reduction に就て
(On the Reduction of Nuclear Collision Problem)」
[The manuscript of talk in the 6th Regular Meeting of
PPMSJ Osaka Branch, March 14, 1936.]
[In Japanese.]
- E25 090 U06 DR *On the Reduction of Nuclear Collision*
Problems / By Hideki Yukawa 2(+1)
[Unfinished draft, only up to the middle of
§1. Introduction.]
- E25 100 U06 An envelope of smaller size than E25 000 U04,
in which following documents E25 101, 102, 103, 104.
105 U06 were enclosed. 1
The title of envelope : *Reduction of Nuclear Collision*
Problem / Letter to Phys. Rev. / Feb. 1936
[Yukawa cancelled the last two lines of title by drawing
lines.]
- E25 101 U06 MT [大阪帝大理学部] 71 回談話会原稿
「重粒子衝突問題に対する一般的方法に就て」 9
[With the date Feb. 6 [1936].]
[In Japanese.]
- E25 102 U06 DR Letter to the Editor 6
Reduction of Nuclear Collision Problems
[Handwriting draft, not finished.]
- E25 103 U06 MP Letter to the Editor 3(+1)
Reduction of Nuclear Collision Problems
[Handwriting manuscript.]
- E25 104 U06 MP Letter to the Editor 6
Reduction of Nuclear Collision Problems
[Typewriting manuscript with the date Feb.7, 1936.]
- E25 105 U06 MP Letter to the Editor 4
Reduction of Nuclear Collision Problems
[A carbon copy of E25 104 U06.]

E27 「最近の実験結果より見たる素粒子の性質」
 [The Properties of Elementary Particles based on Recent Experiments]

		leaves
E27 000	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : 「最近の実験結果より見たる素粒子の性質」	1
E27 010 DR	「最近の実験結果より見たる素粒子の性質」[1937年]七月二日起稿 [A handwritten draft, <i>The Properties of Elementary Particles based on Recent Experiments, July 2. [1937]</i>] [In Japanese.]	8
E27 020 DR	「陽子、重陽子及び中性子の磁気能率」 [A draft left unfinished, <i>the Magnetic Moment of Proton, Deuteron and Neutron.</i>] [In Japanese.]	2 400字詰 原稿用紙
E27 030 DR	「中性子の磁気能率」 [A draft left unfinished, <i>the Magnetic Moment of Neutron.</i>] [In Japanese.]	2 400字詰 原稿用紙
E27 040 DR	「原子核構造論の最近の動向」 [A draft left unfinished, <i>Current Tendency of Theories on the Structure of Atomic Nuclei.</i>] [In Japanese.]	2 400字詰 原稿用紙
E27 050 ME	「Neutron の Electric Moment に就て」 June 22, 1937. [A memorandum, <i>On the Electric Moment of Neutron.</i>] [In Japanese.]	8

E28 Multiplicative Showers produced in Thin Layer July 1937

		leaves
E28 000	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : Multiplicative Showers produced in Thin Layer.	1
E28 010 DR	<i>Note on the Theory of Multiplicative Showers</i> By Hideki Yukawa and Daisuke Okayama (Read Nov.27, 1937) [An unfinished typewritten draft, up to the first paragraph of §2.]	2
E28 020 CL	<i>Note on the Theory of Multiplicative Showers</i> Daisuke Okayama / Hideki Yukawa. [Including a leaf for figures.]	9
E28 021 CL	[Calculation of the integral :	1(+1)

$$f_n = \frac{(2\alpha \log 2)^n}{2} e^{-\alpha l} \int_0^l dt' \int_0^y dy' e^{\alpha t'} \frac{t'^n (l-t')^n (y-y')^{n-1}}{n!(n-1)!(n-1)!} W(l'+n, y'),$$

where

$$W(l'+n, y') = \int_0^{y'} \frac{e^{-t} t^{l'+n-1}}{\Gamma(l'+n)} dt,$$

by Daisuke Okayama, probably.] [In Japanese.]

E28 030 ME	Shower Production by Thin Layer.	1
E28 040 DR	<i>Note on the Theory of Multiplicative Shower</i> by H. Yukawa / and / Daisuke Okayama. [Including a figure leaf for	15

$$P(n, t) = e^{-t} (1 - e^{-t})^{n-1}.$$

] [In Japanese.]

E28 041 PG	日本数学物理学会大阪支部常会御通知 第十三回、来ル十一月廿七日土曜午後一時半ヨリ阪大理学部 大講義室ニテ [The program of the regular meeting of PMSJ Osaka Branch. The 6th lecture was E28 040.] [In Japanese.]	1
------------	---	---

E29 A02 遅い中性子の理論 (I) 総合報告 1936
 [*Theory of Slow Neutrons* (I)]
 [BPMSJ 10/6, 429-444(1936)]

		leaves
E29 000 A02	An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : 遅い中性子の理論 (I) 総合報告 1936. [<i>Theory of Slow Neutrons</i> (I). A Review, 1936.]	1
E29 010 A02	CL Note on the Cross Section of Scattering of Neutrons by Protons	5
E29 011 A02	CL 続 Cross Sections of Capture of Neutrons.	2
E29 020 A02	ME [Excerpt from Otto Scherzer, <i>Über die Ausstrahlung bei der Bremsung von Protonen und schnellen Elektronen</i> (Ann.d.Phys.13,137,1932).]	8(+1)
E29 030 A02	CL Cross Section of Capture of the Neutron by the Proton and of the Photoelectric Effect of the Deuteron, Oct.21, 1936.	4
E29 031 A02	CL Cross Section of Capture of the Neutron by the Proton and of the Photoelectric Effect of the Deuteron.	4
E29 032 A02	CL Cross Section of Capture of the Neutron by the Proton and of the Photoelectric Effect of the Deuteron.	6
E29 040 A02	CL [Numerical estimation of the capture cross section.]	10(+1)
E29 050 A02	MP 総合報告 「遅い中性子の理論 (I)」 湯川秀樹. [A Review : <i>Theory of Slow Neutrons</i> (I). Hideki Yukawa.] [日本数学物理学会誌投稿原稿.] [The manuscript submitted to BPMSJ.] [In Japanese.]	35(+2) 400字詰 原稿用紙

E30 A02 遅い中性子の理論 (II) 1937
 [*Theory of Slow Neutrons* (II)]
 [BPMSJ 11/1, 48-57(1937)]

- | | | <i>leaves</i> |
|-------------|--|---------------------|
| E30 000 A02 | An envelope in which the following documents were enclosed.
The title of envelope : 遅い中性子の理論 (II) 1937.
[<i>Theory of Slow Neutrons</i> (II). 1937.] | 1 |
| E30 010 A02 | <i>MP</i> 総合報告 「遅い中性子の理論 (II)」 湯川秀樹.
[A Review : <i>Theory of Slow Neutrons</i> (II) .
Hideki Yukawa.]
[日本数学物理学会誌投稿原稿.]
[The manuscript submitted to BPMSJ.]
[In Japanese.] | 29
400字詰
原稿用紙 |
| E30 020 A02 | <i>PS</i> 「遅い中性子の理論 (II)」 湯川秀樹.
[初校. 刷上り 54 頁までの分. 日付印 12.4.13.]
[<i>Theory of Slow Neutrons</i> (II) Hideki Yukawa.
A part (pages 48 to 54) of the first proof with the date
Apr.13, 1937.] | 7 |
| E30 030 A02 | <i>RP</i> 「遅い中性子の理論 (II)」 湯川秀樹.
[試し刷.]
[<i>Theory of Slow Neutrons</i> (II) Hideki Yukawa.]
[A sample print.] | 11 |

EDT 070

'Letters to Editor' written by Yukawa in 1936 to 37

Yukawa wrote five 'letters to editor' of foreign journals during two years 1936 to 37. He seems to have given up by himself to submit one of them (*L1*). Three others were not accepted. Only the rest one (*L4*) was published.

L1. Reduction of Nuclear Collision Problems.

L2. Density Matrix in the Theory of the Positrons.

L3. A Consistent Theory of Nuclear Force and β -Disintegration.

L4. On the Nuclear Transformation with the Absorption of the Orbital Electron (with S.Sakata).

L5. On the Theory of the New Particle in Cosmic Ray (with S.Sakata and M.Taketani).

	Submitted to	Dated	Published in	YHAL Document
L1.	(Phys.Rev.)	1936-02-07	not sent	E25 104 U06
L2.	Phys.Rev.	1936-04-21	not approved 1936-05-25(John T.Tate)	E08 030 U04 E25 U04
L3.	Nature	1937-01-18	not approved	E06 U02
L4.	Phys.Rev.	1937-02-18	PR 51, 677(1937)	E09 P09
L5.	Phys.Rev.	1937-10-04	not approved 1937-12-02(J.R.Buchta)	E16 U05

Appendix

P - E and U - E Correspondence

P⇒E

	(Collab.)		Res.No.
E01	P01	Interact. El. P. I.	(I)
E18	P02 (坂田)	Internal Pair Prod.	(V)
E19	P03 (坂田)	β Disint.	(V)
E20	P04 (坂田)	Suppl. β -Disint.	(V)
E21	P05 (宮川)	Nuclear Disint. by n Impact	(V)
E22	P06	n Slowing Down	(V)
E17	P07 (坂田)	Generalized Wave Eq.	(III)
E23	P08 (坂田)	γ -Ray Counter	(V)
E09	P09 (坂田)	K-Capture(PR-Letter)	(III)
E24	P10 (坂田)	n - d Collision	(V)
	P11	Meson id.(PPMSJ Letter)	
E02	P12 (坂田)	Interact. El. P. II.	(I)
E03	P13 (坂田・武谷)	Interact. El. P. III.	(I)
E04	P14 (坂田・武谷・小林)	Interact. El. P. IV.	(I)
E10	P15 (坂田)	Mass and Life Time, PPMSJ short note.	(III)
E10	P16 (坂田)	Mass and Life Time, Nature letter.	(III)
E11	P17 (岡山)	Absorp. Slow Mesotron.	(III)
	P18 (谷川)	Meson Nucleon Scattering.	
F08	P19	Outline of the Meson Theory.	(III)
	P20	Die Natur des Mesotrons.	

U⇒E

		Res.No.
E05	U01 核内電子ノ問題	(I)
E06	U02 <i>A Consistent Theory of the Nuclear Force and β-Disint.</i>	(I)
E07	U03 [<i>Hyperfinestructure.</i>]	(V)
E08	U04 <i>Positron Theory</i>	(II)
E16	U05 <i>On the Theory of the New Particle in Cosmic Ray</i>	(III)
E25	U04 & U06 <i>Reduction of Nuclear Collision Problem</i>	(V)

放 談 室

YHAL RESOURCES

HIDEKI YUKAWA (VI)

JUNE 1995

Edited by

THE COMMITTEE FOR YUKAWA HALL ARCHIVAL LIBRARY

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室

YHAL Classification Scheme

We use nine letters and figures in total as the code number:

Sources of Materials	Order of Materials	Kinds of Materials
E <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Envelopes	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	A <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> manuscripts of Articles
F <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Files	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	B <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> manuscripts of Books
N <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Notebooks	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	C <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Correspondence
Z <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Fragments	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	D <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> laboratory Diaries
.	E manuscripts of Essays
.	L Lecture notes
		M Miscellaneous
		N report to occupation forces
		P manuscripts of scientific Papers*
		R proceedings of Research meetings
		T manuscripts for Talks
		U manuscripts of Unpublished articles
		X records of collegiates

* The 'Papers' are numbered as they are in *Hideki Yukawa Scientific Works, Part I* (Iwanami Shoten, Publishers, Tokyo, 1979).

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL :

Materials	Serial Numbers	Contents
A D T	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Oral materials : recorded audio-tapes of addresses, lectures, symposia, etc.
C O R	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Correspondences on a topic A in 1939
E D T	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Selected materials on a subject
P C T	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Pictorial materials : photographs, sketches, video-tapes, etc.

YHAL Abbreviation and Notations

BPMSJ	<i>Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan</i> (日本数学物理学会誌)
HYSW	<i>Hideki Yukawa Scientific Works</i> (Iwanami Shoten, Tokyo, 1979) supplemented version : 湯川秀樹著作集 10 (岩波書店, 1990)
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research (理化学研究所) (RIKEN (理研))
JPSJ	<i>Journal of Physical Society of Japan</i>
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
PPMSJ	<i>Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan</i>
PSJ	Physical Society of Japan
SP-IPCR	<i>Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research</i>
AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper, essey, etc.
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
RP	Reprint
$a(+b)$	The figure a is the total number of leaves of manuscript, and $(+b)$ stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation, or translation into English.

E31. ラッセル声明・リンダウ声明, 1955~1956.

	leaves
E31 000 An envelope in which the following documents were enclosed. The title of envelope : ラッセル声明・リンダウ声明, 1955~1956. [Russell Manifesto and Lindau Manifesto, 1955~1957.] [所長室机抽出右三段目出来.]	1
E31 010 C55 <i>LT</i> バートランド・ラッセル卿発湯川秀樹宛書簡.1955年4月5日付. [コピー. 熱核戦争の危険に対する声明への署名賛否問合せ.] [A copy of the letter from B.Russell to H.Yukawa, April 5, 1955.] [Cf. Yukawa's reply: YHAL PCT 010 013.]	2
E31 020 B.Russell Press Release, July 9, 1955, accompanying with 'Letter to Heads of State', and 'A Statement on Nuclear Weapons'.	5
E31 021 Press Conference by the Earl Russell at Caxton Hall, Westminster on Saturday, 9th July, 1955.	11
E31 030 C55 <i>LT</i> オットー・ハーン教授発湯川秀樹宛書簡.1955年6月22日付. [リンダウ声明案同封.] [A letter from Otto Hahn to H.Yukawa, June 22, 1955, enclosed a draft of Lindau Statement.]	2
E31 031 C55 [ハーン教授宛湯川返信下書 1955年6月27日付. (声明案同意. リンダウ会議病欠出席.)]	1
E31 040 SSRS Newsletter No.41 (October 1955). [SSRS = Society for Social Responsibility in Science.]	2(+2)
E31 050 C56 <i>LT</i> WFSW 実行委員会議長 C.F. パウエル教授発湯川秀樹宛書簡. 1956年1月4日付. [A letter from C.F.Powell, Chairman of the Executive Council, WFSW, to Yukawa, January 4, 1956.] [WFSW = World Federation of Scientific Workers.]	3
E31 051 C56 同封 [Enclosures] :	
1. Einstein-Russell Declaration (from WFSW Bulletin, September 1955).	1(+1)
2. Text of Lindau Appeal.	1
3. French Conference on Atomic Hazards :	
a) Report (from WFSW Bulletin, September 1955).	1(+1)
b) List of main contributions.	1

4. Report of "Science for Peace" Public Conference on the
Long-Term Effects of Nuclear Explosions. 12(+11)
- E31 060 C56 LT 福島要一発湯川秀樹宛速達. 1956年3月3日消印. 1
 ["ラッセル声明支持についての呼びかけ"を、学士院会員及び第一期
 以来の学術会議全会員に発送完了の通知(490通).]
 [A letter from Youichi Hukushima to Yukawa, March 3, 1956.]
- E31 061 C56 同封:「ラッセル声明支持についての呼びかけ」一式. 5(+3)
 1. 趣旨文(発起人湯川秀樹・山田三良・茅 誠司), 2. ラッセル声明
 原文及び訳文, 3. 返信用葉書.
- E31 062 C56 同封: 支持署名 [学士院・学術会議関係一部, 175名]. 1
 [A list of signatory(members of Japan Academy and of Japan
 Science Council) in supporting Russell Statement.]
- E31 070 [ラッセル声明支持署名者名簿(素粒子・原子核・宇宙線研究者関係 6
 一部, 59名)].
 [A list of signatory(Japanese nuclear physicists) in supporting
 Russell Statement.]

EDT 080

Documents on Pugwash Conferences in YHAL.

1. Proceedings of Pugwash Conferences.

1. The first Pugwash Quinquennium, 1957-1962.

第1回議事録欠.

第2回, 第3回, 第4回, 第5回, 第6回, 第7回, 第8回議事録蔵.

2. The second Pugwash Quinquennium, 1962-1967.

第9回, 第10回, 第11回, 第12回, 第13回, 第14回, 第15回, 第16回議事録蔵.
First South-East Asian Regional Pugwash Conference 議事録蔵.

3. The third Pugwash Quinquennium, 1967-1972.

第17回, 第18回, 第19回, 第20回, 第21回議事録蔵.

4. The fourth Pugwash Quinquennium, 1972-1977.

第22回, 第23回, 第24回, 第25回, 第26回議事録蔵.

5. The fifth Pugwash Quinquennium, 1977-1982.

第27回, 第28回議事録蔵. 第29回議事録欠. 第30回, 第31回議事録蔵.

2. Pugwash Newsletter.

—issued quarterly by Continuing Committee of Pugwash Conferences—

Vol.1/ 1, 2, 3, 4. July 1963-April 1964.

Vol.2/ 1, 2, 3, 4. July 1964-April 1965.

Vol.3/ 1, 2, 3, 4. July 1965-April 1966.

Vol.4/ 1, 2, 3, 4. July 1966-April 1967.

Vol.5/ 1, 2, 3, 4. July 1967-April 1968.

Vol.6/ 1, 2, 3, 4. July 1968-April 1969.

Vol.7/ 1, 2, 3, 4. July 1969-April 1970.

Vol.8/ 1, 2, 3, 4欠. July 1970-April 1971.

Vol.9/ 1, 2, 3, 4. July 1971-April 1972.

Vol.10/ 1, 2, 3, 4欠. July 1972-April 1973.

Vol.11/ 1, 2, 3, 4欠. July 1973-April 1974.

Vol.12, 13欠.

Vol.14/ 1, 2, 3, 4. July 1976-April 1977.

Vol.15/ 1, 2, 3, 4欠. July 1977-April 1978.

Special Issue May 1978. A Supplement to the History of Pugwash Conferences.
J.Rotblat, *The Fourth Pugwash Quinquennium*.

Vol.16/ 1, 2欠, 3, 4. July 1978-April 1979.

Vol.17/ 1, 2, 3, 4. July 1979-April 1980.

Vol.18/ 1, 2, 3, 4. July 1980-April 1981.

Vol.14/ 1. July 1981.

The Pugwash Conferences

The Conferences on Science and World Affairs

THE FIRST PUGWASH QUINQUENNUM. 1957-1962.

1. Pugwash, Canada, 1957-07-07~10.
2. Lac Beauport, Canada, 1958-03-31 ~ 04-11.
"The Dangers of Present Situation, and Way and Means of Diminishing Them."
3. Kitzbühel and Vienna, Austria, 1958-09-14~20.
"Dangers of the Atomic Age and What Scientist Can Do About Them."
4. Baden, Austria, 1959-06-25 ~ 07-04.
"Arms Control and World Security."
5. Pugwash, Canada, 1959-08-24~29.
"Biological and Chemical Warfare."
6. Moscow, USSR, 1960-11-27 ~ -12-05.
"Disarmament and World Security."
7. Stowe, USA, 1961-09-05~09.
"International Co-operation in Pure and Applied Science."
8. Stowe, USA, 1961-09-11~16.
"Disarmament and World Security."

THE SECOND PUGWASH QUINQUENNUM. 1962-1967.

9. Cambridge, UK, 1962-08-25~30.
"Problems of Disarmament and World Security."
 10. London, UK, 1962-09-03~07.
"Scientists and World Affairs."
 11. Dubrovnik, Yugoslavia, 1963-09-20~25.
"Current Problems of Disarmament and World Security."
 12. Udaipur, India, 1964-01-27 ~ -02-01.
"Current Problems of Disarmament and World Security."
 13. Karlovy Vary, Czechoslovakia, 1964-09-13~19.
"Disarmament and Peaceful Collaboration among Nations."
 14. Venice, Italy, 1965-04-11~16.
"International Co-operation for Science and Disarmament."
 15. Addis Ababa, Ethiopia, 1965-12-29 ~ 1966-01-03.
"Science in Aid of Developing Countries."
 16. Sopot, Poland, 1966-09-11~16.
"Disarmament and World Security, Especially in Europe."
- *. First South-East Asian Regional Pugwash Conference.
Melbourne, Australia, 1967-01-23~27.
"Scientific, Technical and Industrial Development in South-East Asia."

THE THIRD PUGWASH QUINQUENNUM. 1967-1972.

17. Ronneby, Sweden, 1967-09-03~08.
"Scientists and World Affairs."
18. Nice, France, 1968-09-11~16.
"Current Problems of Peace, Security and Development."
19. Sochi, USSR, 1969-10-22~27.
"World Security, Disarmament and Development."
20. Fontana, USA, 1970-09-09~15.
"Peace and International Co-operation : A Program for the Seventies."
21. Sinaia, Romania, 1971-08-26~31.
"Problems of World Security, Environment and Development."

THE FOURTH PUGWASH QUINQUENNUM. 1972-1977.

22. Oxford, UK, 1972-09-07~12.
"Scientists and World Affairs."
23. Aulanko, Finland, 1973-08-30 ~ -09-04.
A superb skiing and sporting resort about 100 km from Helsinki.
"European Security, Disarmament and Other Problems."
24. Baden, Austria, 1974-08-28 ~ -09-02.
"Disarmament, Energy Problems and International Collaboration."
25. Madras, India, 1976-01-13~19.
"Development, Resources and World Affairs."
26. Mühlhausen, GDR, 1976-08-26~31.
"Disarmament, Security and Development."

THE FIFTH PUGWASH QUINQUENNUM. 1977-1982.

27. Munich, FRG, 1977-08-24~29.
"Peace and Security in a Changing World."
28. Barna, Bulgaria, 1978-09-01~05.
"Global Aspect of Disarmament and Security."
29. Mexico City, Mexico, 1979-07-18~23.
"Cf. Pugwash Newsletter 17/1+2 (July-Oct, 1979)."
30. Breukelen, Netherland, 1980-08-20~25.
"Arms Limitation, Security and Development."
31. Banff, Alberta, Canada, 1981-08-28 ~ -09-02.
"The Search for Peace in a World in Crisis."

References

1. J. Rotblat, *Pugwash, A History of the Conferences on Science and World Affairs*, Czechoslovak Academy of Sciences, 1987. [On the 1st and the 2nd quinquennial conferences.]
2. *Scientists in the Quest for Peace*, MIT, 1972. [On the third quinquennial conferences.]

3. J. Rotblat, *The Fourth Pugwash Quinquennium. 1972-1977. A Supplement to the History of the Pugwash Conferences*, Pugwash Newsletter, Special Issue May 1977.

E31 Addendum

[Box 79 より以下の文書を発見 (1998年11月)]

			leaves
E31 010 C55	LT	バートランド・ラッセル卿発湯川秀樹宛書簡 (1955年4月5日) [A letter from B.Russell to H.Yukawa, April 5, 1955.] [original letter (含 a draft of Statement).]	2
E31 011 C55	LT	湯川返書 (1955年4月19日). [Yukawa's reply to B.Russel, April 19, 1955.]	
E31 012 C55	DR	同鉛筆書き下書.	
E31 080		「Pugwash Statement」 (released, July 11, 1957).	4(+4)
E31 081		「パグウオッシュ・ステートメント— 世界科学者 会議声明書—」 世界平和アピール七人委員会. [E31 080 の邦訳及び下中・朝永・湯川のコメントから成る.] [湯川のコメントは「科学者の責任—パグウオッシュ会議の 感想」 (Z05 110 57).]	5(+5)

放 談 室

YHAL RESOURCES
HIDEKI YUKAWA (VII)

DECEMBER 1996

Edited by
THE COMMITTEE FOR YUKAWA HALL ARCHIVAL LIBRARY

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室

YHAL Classification Scheme

We use nine(ten sometimes) letters and figures in total as the code number:

Sources of Materials	Order of Materials	Kinds of Materials																																																																								
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>E</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>F</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>N</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>Z</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> Envelopes	E			F			N			Z									<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>3</td><td>0</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	0	1	0	0	2	0	0	3	0							<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>A</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>B</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>C</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>D</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>ℰ</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>L</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>M</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>ℵ</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>P</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>R</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>T</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>U</td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>X</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Articles & their manuscripts.	A			B			C			D			ℰ			L			M			ℵ			P			R			T			U			X		
E																																																																										
F																																																																										
N																																																																										
Z																																																																										
0	1	0																																																																								
0	2	0																																																																								
0	3	0																																																																								
A																																																																										
B																																																																										
C																																																																										
D																																																																										
ℰ																																																																										
L																																																																										
M																																																																										
ℵ																																																																										
P																																																																										
R																																																																										
T																																																																										
U																																																																										
X																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>F</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Files	F			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> </table>	0	2	0	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>B</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Books & their manuscripts.	B																																																																	
F																																																																										
0	2	0																																																																								
B																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>N</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Notebooks	N			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table>	0	3	0	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>C</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Correspondence.	C																																																																	
N																																																																										
0	3	0																																																																								
C																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>Z</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Fragments	Z			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>D</td><td> </td><td> </td></tr> </table> laboratory Diaries.	D																																																																	
Z																																																																										
D																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>ℰ</td><td> </td><td> </td></tr> </table> records of Dialogues.	ℰ																																																																	
ℰ																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>ℰ</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Essays & their manuscripts.	ℰ																																																																	
ℰ																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>L</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Lecture notes.	L																																																																	
L																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>M</td><td> </td><td> </td></tr> </table> Miscellaneous.	M																																																																	
M																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>ℵ</td><td> </td><td> </td></tr> </table> reports to occupation forces.	ℵ																																																																	
ℵ																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>P</td><td> </td><td> </td></tr> </table> manuscripts of scientific Papers*.	P																																																																	
P																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>R</td><td> </td><td> </td></tr> </table> proceedings of Research meetings.	R																																																																	
R																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>T</td><td> </td><td> </td></tr> </table> memoranda for Talks.	T																																																																	
T																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>U</td><td> </td><td> </td></tr> </table> manuscripts of Unpublished articles.	U																																																																	
U																																																																										
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>X</td><td> </td><td> </td></tr> </table> records of collegiates.	X																																																																	
X																																																																										

* The item

P

 are numbered as they are in *Hideki Yukawa Scientific Works, Part I* (Iwanami Shoten, Publishers, Tokyo, 1979). (HYSW)-I-ij = P

i

j

.

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL :

Materials	Serial Numbers	Contents						
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>A</td><td>D</td><td>T</td></tr> </table>	A	D	T	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	0	1	0	Oral materials : audio-tapes of addresses, lectures, etc.
A	D	T						
0	1	0						
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>C</td><td>O</td><td>R</td></tr> </table>	C	O	R	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>A</td><td>3</td><td>9</td></tr> </table>	A	3	9	Correspondences on a topic A in 1939.
C	O	R						
A	3	9						
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>E</td><td>D</td><td>T</td></tr> </table>	E	D	T	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> </table>	0	2	0	Selected materials on a particular subject.
E	D	T						
0	2	0						
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>P</td><td>C</td><td>T</td></tr> </table>	P	C	T	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table>	0	3	0	Pictorial materials : photographs, sketches, video-tapes, etc.
P	C	T						
0	3	0						

YHAL Abbreviation and Notations

BPMSJ	<i>Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan</i> (日本数学物理学会誌)
HYSW	<i>Hideki Yukawa Scientific Works</i> (Iwanami Shoten, Tokyo, 1979) supplemented version : 湯川秀樹著作集 10 (岩波書店, 1990)
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research (理化学研究所) (RIKEN (理研))
JPSJ	<i>Journal of Physical Society of Japan</i>
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
PPMSJ	<i>Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan</i>
PSJ	Physical Society of Japan
SP-IPCR	<i>Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research</i>
AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper, essey, etc.
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
RP	Reprint
$a(+b)$	The figure a is the total number of leaves of manuscript, and $(+b)$ stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation, or translation into English.

A, B, D, E, P, T, U - Classification

YHAL 所蔵の湯川秀樹の著作は、二通りの分類がなされている。

コード番号限定詞 B (+ 発行年月日) による単行本方式と、

コード番号限定詞 A, D, E, P, U による個別論文方式、とである。

両者は重複を許すとともに、互いに補完するものである。例えば前者にある物理学専門書の内容の大部分は後者に含まれていない。

湯川著作	{	{	☐ 素粒子論研究 65/4, 271-281(1982)
			増補版 素粒子論研究 70/5, 307-320(1985)
			⇒ 湯川秀樹著作集別巻 (岩波書店, 1990), 33-47.
			☐, ☐ (HYSW) I-i ≡ P-i に、(HYSW) II-j, (HYSW) III-k (≡ PIIj, PIIIk) を加え、未発表論文 U を含む。
			☐, ☐ P に属さない物理学 proper な論攷、多くが日本語。
			☐, ☐ A に入らない著述。対談・鼎談・座談会も含める。

A=Articles, B=Books, D=Dialogues, E=Essays, P=(Scientific) Papers, T=Talks, U=Unpublished Papers.

(HYSW) : *Hideki Yukawa Scientific Works* (岩波書店, 1979). I-i は同書 Part I の i 番目の論文。

単行本方式では、湯川著作を一編でも収録する書籍はすべて採録し、他の編著者による書物では、湯川の寄与の題名を補注した。

個別論文方式において、A, E の区別は主観的で本来的に曖昧である。その理解の下で、以下は YHAL 委員会が提案するひとつの整理用作業規則である。

1 A, E 内の配列順序.

原則. 印刷物公刊の日時に基く時間的順序に従う。

湯川は、いくつかの論攷を纏めて出版する際、それぞれの発表日時を自ら書き込んでいる。殆どが刊行の年月を記しているが、極く稀に講演日時である場合もある。印刷発表がひどく遅れたようなときである。以下ではすべて印刷公表年月で配列する。

資料を分類配列する際の優先序列を次のように定める。

1. 初出。

2. HYSW.

(HYSW) I-i は一意的に P_i に分類され、邦訳はコメント行に記載される。

(HYSW) II, III には、規則 1. から、邦文の ☐ ドキュメントに英訳として注記するのが基本となるような論文があるが、限定詞 PII-j, PIII-k 中にはそれらも含めることにする。

Ex. Z03 020 A38 「β崩壊の理論と U 粒子の寿命」(共著: 坂田昌一・谷川安孝)
科学 8/6, 360-361(38-09).

[英訳. 「A Theory of β-Decay and Life-Time of U Particle」
(HYSW) II-1, 381-383.]

3. 「研究会講演・抄録・原稿」^T

A-documents への収録限度は、印刷公表が少なくとも「素粒子論研究」掲載相当であることとし、学術講演の記録、予稿、抄録、講演用メモ・原稿の段階のものは別枠 T に講演日時順に配列する。(従って^T はそれだけで湯川講演の全情報を尽くすものでなく、^A, ^E, ^P, ^U のコメントで補完され、時に重複する。)

2. 項目記述.

A, D, E, T の各 item は次の順に data を記載する:

1. 「題名」
2. 共著者(Dでは対談者).
3. 初出(♣ 初出誌未確認)または学会・研究会講演日時.
4. [改題・再録・その他コメント.]

『湯川秀樹選集』(甲鳥書林, 1955-56)及び『湯川秀樹自選集』(朝日新聞社, 1971)は特別の場合以外引用しない。^Jは『湯川秀樹著作集』(岩波書店, 1989-90), 第j巻に refer する。

3. コード番号 Z0♡***E♡◇

A-, D-, E-document は一応 Z source materials に属するものとする。

コード番号 Z0♡***A(E)♡◇の document は、19♡◇年に刊行された article(essay)で、順序詞***が♡◇年内の刊行月日順を与える。(E-, F-, N-群では、ある source 内での 'order of materials' であった。)

P-document については、HYSW をひとつのファイルとみなし、P(J)k 単独、または (HYSW を強調したいときには) (HYSW)P(J)-k, (HYSW)J-k を、コード番号の特例として使うことができる。

講演日時 T♡◇(年)○△(月)♣(日)を Z0♡***T♡◇の簡略体として使用できる(これは^Cでの簡略体 C♡◇(年)○△(月)♣(日)と同様である)。

4. 略記

数物学会	日本数学物理学会.
数物会誌	日本数学物理学会誌.
数物記事	日本数学物理学会記事.
物理学会	日本物理学会.
物理学会誌	日本物理学会誌.
理研	理化学研究所.
理研彙報	理化学研究所彙報.
基研	京都大学基礎物理学研究所.
YHAL	Yukawa Hall Archival Library (湯川記念館史料室).
『選集一(…五)』	『湯川秀樹選集』第一巻(…第五巻).
『自選集I(…V)』	『湯川秀樹自選集I(…V)』.

A

1930s Articles

- Z03 010 A33 「論文紹介：W.Heisenberg, Über den Bau der Atomkerne, Zeits. f. Phys., 77(1932), 1; 78(1932), 156.」
数物会誌 7/3, 195-203 (33-03-).
- Z03 010 A36 総合報告「遅い中性子の理論 (I)」
[E29 050 A02] 数物会誌 10/6, 429-444 (36-06-);
- Z03 010 A37 総合報告「遅い中性子の理論 (II)」
[E30 010 A02] 数物会誌 11/1, 48-57 (37-01-).
- Z03 020 A37 「宇宙線中の新粒子について」
科学 7, 403 (37-).
- Z03 030 A37 「宇宙線に関する最近の研究」
[E13 011 A04] 物理と化学 1/9 (37-).
- Z03 010 A38 「新粒子論 I, II」
科学 8/6, 230-235 (38-06-); 8/7, 267-272 (38-07-).
改題 「新粒子論の概要」.
[「最近の物質観」(弘文堂, 39-07; 講談社学術文庫 116, 77-02-), 第三部, 文庫版 71-125. ⑧ 147-183.]
- Z03 020 A38 「 β 崩壊の理論と U 粒子の寿命」(共著：坂田昌一・谷川安孝).
科学 8/9, 360-361 (38-09-).
英訳 [「A Theory of β -Decay and Life-Time U Particle」
HYSW, II-1, 381-383.]
- Z03 030 A38 「U 粒子の寿命について」(共著：坂田昌一・谷川安孝).
科学 8/10, 406 (38-10-).
英訳 [「On the Life-Time of U Particle」
HYSW, II-2, 384-385.]
- Z03 010 A39 「Mesotron 問題の現況 — 新粒子論続編 —」
科学 9/6, 211-216(39-06-); 9/8, 288-290(39-08-).
改題 「中間子論の現状」.
[「極微の世界」(岩波書店, 42-2-), 95-124. ⑧ 185-203.]

T

1930s 研究会講演・抄録・原稿

- Z03 010 T33 「核内電子に関する一考察」
(T33 04 03) 日本数物学会昭和八年度年会講演 54. (東北帝大, 33-04-03).
数物記事 15/3, XII (33-).
[予稿, 数物会誌 7/2, 131(33-02-), では講演番号は 65.]
[cf. (YHAL) E05 U01.]
- Z03 010 T34 「相対性量子力学に於ける確率振幅に就いて」
(T34 04 04) 日本数物学会昭和九年度年会講演 24. (東京帝大理学部, 34-04-04).
[F01 030 T02] 数物記事 16/5, XXII (34-).
[予稿, 数物会誌 8/3, 113(34-03-), では講演番号は 25.]
- Z03 020 T34 「On the Interaction of Elementary Particles」
(T34 11 17) 日本数物学会常会講演 7.
[E01 092 P01] (東京帝大理学部物理学教室 127 号室, 34-11-17).
数物記事 16/12, XLIX (34-).
- Z03 010 T35 「素粒子の相互作用に就て」
(T35 04 05) 日本数物学会昭和十年度年会講演 100. (大阪帝大理学部, 35-04-05).
[F03 090 P12] 数物記事 17/6, XXII (35-).
[予稿, 数物会誌 9/3, 105 (35-), では 35-04-04 に
「100. 素粒子の相互作用に就て II」,
「101. デイラックの輻射論に於けるサードオーダーの現象に就て」
(共著 坂田昌一) となっているが,
数物記事では, 予稿講演 100. が特別講演のために翌日にまわり(題名
より II をとる), 予稿講演 101. は記載されていない(取消?).
予稿講演 101. の原稿は YHAL F03 060 にある.]
- Z03 020 T35 「On the Pair Production by Radiationless Transition of the
(T35 07 06a) Radioactive Nucleus」(共著 坂田昌一)
数物学会大阪支部第二回常会講演 4.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 35-07-06).
数物記事 17/8, XL(35-).
- Z03 030 T35 「 β 崩壊の理論に就て」(共著 坂田昌一)
(T35 07 06b) 日本数物学会大阪支部第二回常会講演 5.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 35-07-06).
数物記事 17/8, XL(35-).

T

- Z03 040 T35 「Heavy Particle と原子核の相互作用に就て」(共著 宮川行彦)
(T35 09 28) 日本数物学会大阪支部第三回常会講演 7.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 35-09-28).
数物記事 17/10, XLV (35-).
- Z03 050 T35 「中性子の異常吸収に就て」(共著 宮川行彦)
(T35 11 30) 日本数物学会大阪支部第四回常会講演 7.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 35-11-30).
数物記事 18/1, II (36-).
- Z03 010 T36 「原子核衝突問題の Reduction に就て」
(T36 03 14) 日本数物学会大阪支部第六回常会講演 1.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 36-03-14).
数物記事 18/4, XIV (36-).
- Z03 020 T36 「軽粒子の理論に就て」
(T36 04 04) 日本数物学会昭和十一年度年会原子核及宇宙線討論会講演 5.
[E25 081 U06] (東京帝大理学部, 36-04-04).
数物記事 18/5, XXXII (36-) [予稿: 数物会誌 10/2, 193(36-).]
[cf. YHAL F08 100,110,120,130 U04.]
- Z03 030 T36 「薄い層による中性子の弛緩」
(T36 07 04) 日本数物学会大阪支部第八回常会講演 12.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 36-07-04).
数物記事 18/8, XLVI (36-).
- Z03 040 T36 「Dirac の Generalized Wave Equation に就て」(共著 坂田昌一)
(T36 09 26) 日本数物学会大阪支部第九回常会講演 4.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 36-09-26).
数物記事 18/10, L (36-).
- Z03 050 T36 「素粒子の相互作用に就て (II)」
(T36 11 28) 日本数物学会大阪支部第十回常会講演 12.
[E02 060 P12] (大阪帝大理学部三階大講義室, 36-11-28).
数物記事 18/12, LX (36-).
- Z03 010 T37 「 γ 線計数管の能率に就いて」
(T37 01 23) 日本数物学会大阪支部第十一回常会講演 4.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 37-01-23).
数物記事 19/2, II (37-).
- Z03 020 T37 「中性子と重水素核の衝突に就いて」(共著 坂田昌一)
(T37 03 13) 日本数物学会大阪支部第十二回常会講演 12.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 37-03-13).
数物記事 19/4, X (37-).

T

- Z03 030 T37 「Heavy Quanta の理論に就て」
(T37 08 19) 理研コロキウム講演 (理化学研究所, 37-08-19).
[cf. YHAL E02 020 P12.]
- Z03 040 T37 「素粒子の相互作用に就て (III)」(共著 坂田昌一)
(T37 09 25) 日本数物学会大阪支部第十四回常会講演 8.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 37-09-25).
数物記事 19/10, XL (37-).
- Z03 050 T37 「Note on the Theory of Multiplicative Showers」(共著 岡山大介)
(T37 11 27) 日本数物学会大阪支部第十五回常会講演 6.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 37-11-27).
数物記事 20/1, II (38-).
- Z03 010 T38 「素粒子の相互作用に就て IV」(共著 坂田昌一)
(T38 01 22) 日本数物学会大阪支部第十六回常会講演 3.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 38-01-22).
数物記事 20/3, VIII (38-).
- Z03 020 T38 「1. U 粒子の場方程式の一次化」(共著 坂田昌一・武谷三男)
(T38 04 04) 「2. 重粒子の相互作用と磁気能率」(共著 坂田昌一・武谷三男)
「3. 高速度 U 粒子の発生, 消滅及び勢力損失」
(共著 坂田昌一・武谷三男).
日本数物学会昭和十三年度年会原子核討論会講演
(東京帝大理学部, 38-04-04).
数物会誌 12/1, 28(38-).
[cf. YHAL E04 021 P13-P14, E03 170 P13.]
- Z03 030 T38 「素粒子の相互作用に就て(続)」(共著 坂田昌一・武谷三男・小林稔)
(T38 05 28) 日本数物学会大阪支部第十八回常会講演 2.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 38-05-28).
数物記事 20/6, XX (38-).
- Z03 040 T38 「U 粒子と軽粒子の相互作用に就て, I.」(共著 坂田昌一・小林 稔)
(T38 11 26) 日本数物学会大阪支部第二十一回常会講演 8.
(大阪帝大理学部三階大講義室, 38-11-26).
数物記事 20/12, XXXIX (38-).
- Z03 010 T39 「メソトロンに関する一般的解説」
(T39 04 03a) 日本数物学会昭和十四年度年会原子核討論会講演 33,34,35,36
への序論 (京都帝大理学部, 39-04-03).
YHAL E15 010 T25, E15 020 T25.

T

[昭和十四年度年会原子核討論会講演 :

33. 「Mesotron に関する輻射過程」小林 稔・岡山大介,

34. 「Coulomb 場に依る mesotron の散乱」小林 稔・岡山大介,

35. 「中性 Mesotron の創生過程」坂田昌一・谷川安孝,

36. は Z03 020 T39 であった.]

Z03 020 T39 「Mesotron の質量と寿命に就いて」(共著 坂田昌一)
(T39 04 03b) 日本数物学会昭和十四年度年会原子核討論会講演 36.
(京都帝大理学部, 39-04-03).
昭和十四年度年会講演アブストラクト, 34 頁.

Z03 030 T39 「場の理論の限界に就いて」
(T39 04 03c) 日本数物学会昭和十四年度年会原子核討論会講演 37.
(京都帝大理学部, 39-04-03).
昭和十四年度年会講演アブストラクト, 34 頁.

Z03 040 T39 「物質中に於ける Mesotron の遅緩と消滅」(共著 岡山大介)
(T39 06 15) 理研第三十五回学術講演会講演 74.
(理研第二号館四階講堂, 39-06-15).
理研彙報 18/7, 569 (39-).

Z03 050 T39 「一次宇宙線に対する陽子仮説に就いて」(共著 坂田昌一・谷川安孝)
(T39 12 13) 理研第三十六回学術講演会講演 46. (理研第二十二号館, 39-12-13)
理研彙報 19/1, 66 (40-).

ε

1930s Essays

- Z03 010 ε36 「中性子と人工放射能」
化学と工業 11/1 (36-).
- Z03 020 ε36 「日蝕」
♠ (36-12-).
[「物理学に志して」(養徳社, 44-04-), 179-182. 「目に見えないもの」
(甲文社, 46-03-), 157-160 ; (講談社学術文庫 94, 76-12-), 133-135.
⑥ 233-234.]
- Z03 010 ε37 「量子論の諸問題」
哲学研究 257号 (37-08-), 801-807.
改題 「問題の展望」
(「最近の物質観」 第二部「量子論の根本問題」 第一節)
[「最近の物質観」(弘文堂, 39-7- ; 講談社学術文庫 116, 72-02-),
文庫版 39-48.]
- Z03 010 ε39 書評「藤岡由夫『現代の物理学』」
♠ (39-02-).
[「物理学に志して」, 203-208. 「目に見えないもの」, 157-160 ;
文庫版 133-135.]
- Z03 020 ε39 「科学と教養」
♠ (39-06-).
[「物理学に志して」, 165-170. 「目に見えないもの」, 134-136 ;
文庫版 115-116. ① 17-18.]
- Z03 030 ε39 書評「阿部良夫『プリンキピア』(岩波書店大思想文庫)」
♠ (39-06-).
[「科学と人間性」(国立書院, 48-05-), 「十三、読書偶感」, 142-148.
⑥ 252-255.]
- Z03 040 ε39 「物質の窮極的構造」
♠ (≤ 39).
[「最近の物質観」 第一部, 文庫版 11-38.]

A

1940s Articles

- Z04 010 A40 「中間子（メソトロン）の話」
化学評論 6/3 (40-03-15), 105-111.
- Z04 010 A41 「素粒子の問題」
学術研究会議編『物理学講演集(1)』(丸善, 41-03-), 1-16.
- Z04 020 A41 「中間子の崩壊に関する最近の研究」
(F08 100 A11) 原子核談話会講演(41-05-22).
- Z04 030 A41 「素粒子の相互作用の研究」
(T40 05 15) 学士院賞受賞者講演会講演(東京帝大医学部, 40-05-15).
日本学術協会帝国学士院受賞者講演録(41-10-), 1-7.
- 改題 「中間子論の由来と発達に就て」
[『存在の理法』(岩波書店, 43-07-), 163-184. ⑧, 205-218.]
- Z04 040 A41 「物理学最近の進歩」
(E14 020 A13) 大阪商科大学経済研究所編『経済学辞典』(岩波書店, 41-).
- Z04 010 A42 「場の理論の基礎について, (I),(II),(III) — 新粒子論第3編 —」
科学 12/7, 249-255; 12/8, 282-286; 12/9, 322-326(42-07,08,09-).
- 合篇 「場の理論の基礎について」
[『存在の理法』(岩波書店, 43-07-), 43-109.
『創造への飛躍』(講談社, 68-01-; 『定本』69-07-; 文庫 71-07-),
259-315; 文庫版 252-305. ⑧, 233-274.]
- 英訳 「On the Foundation of the Theory of Fields — New Theory
of Particles, Part 3 —」, [HYSW II-3, 386-414.]
[cf. YHAL F15 010 II-3, F15 020 II-3, F15 030 II-3.]
- Z04 010 A43 「自然法則の形態に就て」
科学思潮(43-02-).
[『存在の理法』, 23-41. ⑧, 221-232.]
- Z04 020 A43 「相対論的量子力学に於ける多体問題(再度量子化法)」
文部省科学局・学術研究会議共編:『物理学講演集(3)』
(丸善, 43-03-), 15-36.
- Z04 030 A43 「今日の理論物理学」
日本学術協会報告 17/2, 177-182(43-07-).
- 改題 「理論物理学に就て」
[『物質観と世界観』(弘文堂, 48-08-), 73-94. ③, 249-263.]

A

- Z04 040 A43 「素粒子論の方法に就いて」
 『存在の理法』(岩波書店, 43-07-), 185-241.
 (T42 10 16) [「素粒子論の方法に就て」. 日本数物学会昭和十七年度年会 講演 7.
 (東京帝大理学部, 42-10-16). 数物会誌 16/5, 15-16(43-5-).
 (T42 12 09) 「素粒子論の方法に就いて, II」. 理研第 42 回学術講演会講演 12.
 (理研第二号館四階講堂, 42-12-09). 理研彙報 21/12, 1347 (43-12-).
 YHAL F16 070, F16 080, F16 100 を併せ補筆.]
 [8, 275-309.]
- Z04 050 A43 「中間子に就て」
 (T43 06 12) 京都帝大化学研究所講演会講演 (43-06-12)
 物理化学の進歩 17/5, 133-142 (43-09-).
 [「物質観と世界観」(弘文堂, 48-08-), 95-127. 2, 29-49.]
- Z04 010 A44 「現代物理学と数学」
 (T43 07 18) 第九回テンソル学会講演 (東北帝大理学部, 43-07-18).
 テンソル 第 7 号, 6-15 頁 (44-09-).
 [cf. YHAL F16 110.]
- Z04 010 A47 「古典電気力学の基礎について I」
 (F08 020 II-4) 日本数物学会第 48 回京都支部常会講演 3(京都帝大理学部 数学教室,
 (T44 01 15) 44-01-15).
 物理学会誌 2/2, 65-70 (47-02-). [受理: 44-04-17.]
 英訳 「On the Foundation of Classical Electrodynamics, I」,
 [HYSW II-4, 415-425.]
- Z04 020 A47 「観測の問題について」
 科学 17/6, 176-177 (47-06-).
- Z04 030 A47 「観測の理論 I, II, III.」
 自然 2/11, 11-15 (47-11-); 3/3, 33-39 (48-03-); 3/7, 34-42 (48-07-).
 [自然 300 号記念増刊 (71-03-), 84-106. 自然 81-11 増刊, 80-102.]
 [「思考と観測」(アカデメイア・プレス, 48-11-). 3, 187-226.]
- Z04 010 A48 「素粒子論について — I. 一般的考察 —」
 基礎科学 3, 65-67(48-).
- Z04 010 A49 「中間子の本性について」
 科学季刊第 1 号 (秋田屋, 49-12-), 59-80.

T

1940s 研究会講演・抄録・原稿

- Z04 010 T40 「中間子の勢力損失に就て」
(T40 04 04) 日本数物学会昭和十五年度年会原子核討論会講演
(東京文理大, 40-04-04).
日本数物学会昭和15年度年会講演アブストラクト, 36頁.
[cf. YHAL N02 001 D02.]
- Z04 020 T40 「陽子による中性子の捕獲に就いて」(共著 谷川安孝)
(T40 06 14) 理研第三十七回学術講演会講演126.(理研第二十二号館, 40-06-14).
理研彙報 19/7, 1018 (40-).
[cf. YHAL F08 120.]
- Z04 030 T40 「陽子による中性子の捕獲に就いて」(共著 谷川安孝)
(T40 07 06) 日本数物学会京都支部第30回常会講演(1)
(京都帝大理学部数学教室, 40-07-06).
数物記事 22/9, XXVIII (40-).
[号数誤植: 数物記事第22巻第9号 ⇒ 第22巻第10号.]
- Z04 040 T40 「重陽子の Photomagnetic disintegration に就て」
(T40 09 21) 数物学会京都支部第31回常会講演(1)
(京都帝大理学部数学教室, 40-09-21).
数物記事 22/10, XXXII (40-).
[号数誤植: 数物記事第22巻第9号 ⇒ 第22巻第10号.]
- Z04 050 T40 「Pseudoscalar Meson の理論に就いて」(共著 谷川安孝)
(T40 11 30) 日本数物学会京都支部第32回常会講演3.
(京都帝大理学部数学教室, 40-11-30).
数物記事 23/1, II (41-).
- Z04 010 T41 「素粒子の構造について I」
(T41 04 04) 日本数物学会昭和十六年度年会原子核討論会講演9.
(広島文理大, 41-04-04).
日本数物学会昭和16年度年会講演アブストラクト, 42頁.
- Z04 020 T41 「擬スカラー-中間子の散乱(続報)」(共著 谷川安孝・上野静夫)
(T41 06 11) 理研第三十九回学術講演会講演10.
(理研第二号館四階講堂, 41-06-11).
理研彙報 20/7, 447 (41-).
[cf. YHAL F08 130.]
- Z04 030 T41 「核子の異常磁気能率に就いて」(共著 上野静夫・久世寛信)
(T41 12 11) 理研第四十回学術講演会講演175.(理研第二十二号館, 41-12-11).
理研彙報 20/12, 1086 (41-).
[cf. YHAL F08 030 ~ 039.]

T

- Z04 010 T42 「素粒子概念の変遷」
(T42 03 26) 日本諸学振興委員第一回自然科学会講演 (42-03-26).
YHAL N05 010 D05.
- Z04 020 T42 「素粒子・時空・因果性」
(T42 04 24) 迷想会講演 (理研 18号館陳列室, 42-04-24).
YHAL F15 030 II-3.
[cf. N05 010 D05; EDT 020.]
- Z04 030 T42 「素粒子論と観測の問題」
(T42 10 15) 学術研究会議第三分科会講演 (42-10-15).
YHAL F16 090.
- Z04 040 T42 「素粒子論の方法に就て」
(T42 10 16) 数物会誌 16/5, 15-16(43-5-). YHAL F16 070.
[cf. YHAL Z04 020 A43.]
- Z04 050 T42 「素粒子論の方法に就いて, II」
(T42 12 09) 理研彙報 21/12, 1347(43-12-). YHAL F16 080, 100.
[cf. YHAL Z04 020 A43.]
- Z04 010 T43 「素粒子論の基本法則に就いて」
(T43 02 27) 理論物理学談話会講演
(京都帝大理学部物理学教室, 43-02-27).
YHAL F16 010.
- Z04 020 T43 「素粒子論の基本法則に就いて」
(T43 03 15) 日本数物学会京都支部第45回常会講演 5.
(京都帝大理学部数学教室, 43-03-15).
数物会誌 17/5, 日本数学物理学会記録, VI (43-).
[cf. YHAL F16 060.]
- Z04 030 T43 「素粒子論の基本法則に就いて」
(T43 07 17) 日本数物学会昭和十八年度年会 第三会場講演 16.
(東北帝大講堂, 43-07-17).
数物会誌 17/5, 講演アブストラクト 14-15 (43-).
[cf. YHAL F16 020, 030, 060, 061.]
- Z04 010 T44 「古典電気力学の基礎に就いて」
(T44 01 15) 数物学会京都支部第48回常会講演 3.
(京都帝大理学部数学教室, 44-01-15).
数物会誌終刊号, 日本数学物理学会記録 3 (44- ~ 45-).
[cf. YHAL N08 D08, Z04 010 A47.]

T

Z04 020 T44 「古典電気力学の基礎に就いて, II.」(共著 谷川安孝・野間 進)
 (T44 07 15) 日本数物学会京都支部第50回常会講演 1.
 (京都帝大理学部数学教室, 44-07-15).
 数物会誌終刊号, 日本数学物理学会記録 4 (44- ~ 45-).

[日本数学物理学会は, 45-12-15 会員総会の決議に基づき, 日本数学会と日本数学会と日本物理学会に分離解散. 日本物理学会は 46-04-28 に, 日本数学会は 46-06-02 にそれぞれ設立総会を開催した. 科学 16/7, 188-192(46-11-).]

Z04 010 T46 「素粒子論の一つの試み」
 (T46 11 23) 日本物理学会素粒子論分科会講演 17.
 (京都帝大理学部, 46-11-23).
 科学 17/1, 32 (47-01-).

Z04 010 T47 「素粒子論の一つの試み, II.」
 (T47 03 01) 日本物理学会関西三支部第三回聯合例会講演 10.
 (名古屋帝大理学部物理学教室, 47-03-01).
 物理学会誌 2/2, 82 (47-).

Z04 020 T47 「素粒子論における一つの試み」
 (T47 05 09) 日本物理学会第二回(昭和22年度)年会講演 9.
 (東京帝大, 47-05-09).
 物理学会誌 2/3, 92 (47-).
 [研究室日誌 YHAL N14 D14 では講演 10. となっている.]

Z04 010 T48 「素粒子論の方法に就いて」
 (T48 05 23) 日本物理学会第三回(昭和23年度)年会講演 48.
 (京大理学部数学第四講義室, 48-05-23).
 物理学会誌 3/5-6, 193 (48-).

E

1940s Essays

- Z04 010 E40 「理論と実験」
東京朝日新聞(40-01-).
[『極微の世界』(岩波書店, 42-02-), 2. ① 21-22.]
- Z04 020 E40 「故国に帰って」(39-12-16 車中にて)
帝大新聞(40-01-).
[『極微の世界』, 187-190. 『この地球に生れあわせて』(講談社, 75-01-), 233-235.]
- Z04 030 E40 「欧米紀行(昭和十四年)[†], (一九三九年)[‡]」(40-01- 記)
科学知識(40-02-). 追記(41-11-).
[『極微の世界』, 167-186; 『この地球に生れあわせて』, 218-232.]
[[†] は『選集』に,[‡] は『自選集』に再録の際, それぞれ付加.]
- Z04 040 E40 「話す言葉書く言葉」(2月8日北窓に比叡の雪を望みつつ)
岩波講座物理学月報第16号1-2頁(40-04-).
[『物理学に志して』(養徳社, 44-04-), 195-202. 『目に見えないもの』(甲文社, 46-03-), 152-156. ⑥ 234-236.]
- Z04 050 E40 「宇宙線の本性」
報知新聞(40-03-).
[『極微の世界』, 81-94.]
- Z04 060 E40 「物理学界の展望」
改造(40-07-), 300-307.
[『極微の世界』, 2-14.]
- Z04 070 E40 「理論物理学への道」
科学ペン(40-10-).
[『極微の世界』, 15-35. ① 3-16.]
- Z04 080 E40 「自然と人間」
大阪毎日新聞(40-11-).
[『極微の世界』, 126. ① 19-20.]
- Z04 010 E41 「自然を知ること」
大阪朝日新聞(41-01-).
[『極微の世界』, 155-158.]
- Z04 020 E41 「真実」
♣(41-01-).
[『物理学に志して』, 171-174. 『目に見えないもの』, 137-138. ⑥ 237.]
- Z04 030 E41 「未来」
♣(41-01-).

1941-42

E

- [「物理学に志して」, 175-178. 「目に見えないもの」, 139-140.
 ① 18-19.]
- Z04 040 E41 「素粒子問題の概観」
 科学知識(41-01-).
 [「極微の世界」, 37-52.]
- Z04 050 E41 「譬へ話」
 帝大新聞(41-01-).
 [「極微の世界」, 159-166.]
- 改題 「シュレーディンガーの猫」
 [「創造への飛躍」, 370-376 ; 文庫版 364-369. 「随想全集 9」
 (尚学図書, 69-11-), 326-332. ③ 131-136.]
- Z04 060 E41 「科学の近代化」
 京都日々新聞(41-02-).
 [「極微の世界」, 137-140.]
- Z04 070 E41 「放射線と物質」
 日本医学放射線学会講演(41-04-).
 [「極微の世界」 53-79. ② 10-28.]
- Z04 080 E41 「科学の伝統」
 科学主義工芸(41-09-).
 [「極微の世界」, 127-136. ④ 3-9.]
- Z04 090 E41 「科学と環境」
 大阪毎日新聞(41-09-).
 [「極微の世界」, 141-147.]
- Z04 100 E41 「目の夏休み」
 ♣(41-09-).
 [「物理学に志して」, 183-188. 「目には見えないもの」, 144-147.
 ⑥ 237-239.]
- Z04 110 E41 「読書と著作」
 ♣(41-09-).
 [「物理学に志して」, 189-194. 「目には見えないもの」, 148-151.]
- Z04 120 E41 「科学の立場」
 読売新聞(41-10-).
 [「極微の世界」, 191-194.]
- Z04 130 E41 「エネルギーの概念」
 六稜科学 32号(41-).
 [「極微の世界」, 149-154.]
- Z04 010 E42 「書評 菊池正士『物質の構造』(創元科学叢書)」
 ♣(42-01-).
 [「物理学に志して」, 209-216. 「目には見えないもの」, 163-166.]

1942-43

E

- Z04 020 ε42 「物理学的世界」
改造 (42-03-).
- 改題 「物理学的世界に就て」 [Z04 030 ε43 を合体して改題。]
[『存在の理法』 (岩波書店, 43-07-), 113-141.
『思考と観測』 (アカデメイア・プレス, 48-11-), 12-36.
『創造への飛躍』, 216-240 ; 文庫版 211-234. ③ 137-157.]
- Z04 030 ε42 「現実の構造」
科学思潮 (42-06-)
- 改題 「時間と因果に就て」
[『存在の理法』, 143-161. ③ 158-171.]
- Z04 040 ε42 「少年の頃」
♣ (42-06-).
[『物理学に志して』, 119-130. 『目に見えないもの』, 105-112.
⑦ 31-35.]
- Z04 050 ε42 「書評: 藤岡良夫「物理学ノート」 (河出書房)」
「書評: 伏見康治「驢馬電子」 (創元社)」
♣ (42-07-).
[『科学と人間性』, 十三 読書偶感, 148-150. ⑥ 255-267.]
- Z04 060 ε42 「理論物理学の方向に就て」
科学知識 (42-08-).
[『存在の理法』, 3-22.]
- Z04 070 ε42 「物質とエネルギー」
♣ (42-05-).
[『物理学に志して』, 31-54.]
- 改題 「エネルギーの源泉」
♣ (42-09- [?]). 追記 (45-12-).
[『目に見えないもの』, 23-65.]
[『目に見えないもの』に収録する際, 第一節の一部を削り第二節と合一して
新第四節, 原第三節は新第五節とし, Z04 060 ε43 「物質と力」 (第四節
「戦争と物理学」を削除) に続けて, 改題の一篇とする. このとき初出を
(42-09-) とするが, 本項初出 (42-05-) の誤記かと思われる. 手稿には文初
(42-05-) と文末 (42-09-) に異なる日付が記されている.]
- Z04 080 ε42 「二人の父」
♣ (42-10-).
[『物理学に志して』, 131-154. 『目に見えないもの』, 113-128.
⑦ 36-44.]
- Z04 090 ε42 「硝子細工」
♣ (42-11-).
[『物理学に志して』, 105-118. 『目に見えないもの』, 95-104.
『京都, わが幼き日の …』 (中外書房, 60-02-), 145-152.
『物理学者の眼』 科学随想全集 2 (学生社, 61-05-), 289-294.]

1943-44

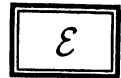
E

- Z04 010 Ɛ43 書評 渡辺 慧訳 マリー・キュリー 「『ピエル・キュリー伝』(白水社)」
 ♣ (43-01-).
 [『物理学に志して』, 217-224. 『目に見えないもの』, 167-171.
 ⑥ 181-183.]
- Z04 020 Ɛ43 「目と手と心」
 ♣ (43-01-).
 [『物理学に志して』, 225-232. 『目に見えないもの』, 172-177.]
- Z04 030 Ɛ43 「現代科学の思考様式」
 科学文化 (43-02-).
 改題 「物理学的世界に就て」 [Z04 010 Ɛ42 と合体改題.]
 [『存在の理法』, 113-141. 『思考と観測』, 12-36.
 『創造への飛躍』, 216-240 ; 文庫版 211-234. ③ 137-157.]
- Z04 040 Ɛ43 「物質と精神」
 ♣ (43-03-).
 [『物理学に志して』, 55-84. 『目に見えないもの』, 56-78.
 ③ 229-242.]
- Z04 050 Ɛ43 「物理学に志して」
 ♣ (43-04-).
 [『物理学に志して』, 155-158. 『目に見えないもの』, 131-133.
 ① 20-21.]
- Z04 060 Ɛ43 「物質と力」
 ♣ (43-06-).
 [『戦時市民科学読本』(神戸市教育局教導課編, 43-10-). 1-11.
 『物理学に志して』, 3-31.]
 改題 「エネルギーの源泉」
 [cf. Z04 070 Ɛ42.]
- Z04 070 Ɛ43 「目に見えないもの」
 ♣ (43-12-).
 [『目に見えないもの』, 178-180.]
 改題 「目に見えないものⅠ」
 [『選集二』, 68-70.]
 改題 「目に見えないもの」 1. [Z04 150 Ɛ47 を第2節とする.]
 [『自選集Ⅰ』, 177-178.]
- Z04 080 Ɛ43 「半生の記」(「われは物の数にもあらず深山木の道ふみわけし人し偲ばゆ」)
 ♣ (43-12-). 追記(43-12-).
 [『物理学に志して』, 87-104. 『目に見えないもの』, 81-94.
 ⑦ 23-30.]
- Z04 090 Ɛ43 「思想の結晶」
 ♣ (43-12-).
 [『物理学に志して』, 233. 『目に見えないもの』, 181-184.
 ⑥ 240-242.]

1946-46



- Z04 010 ε44 「科学者の使命」
 ♣ (j44-04-).
 [『物理学に志して』, 159-164.]
- Z04 020 ε44 「古代の物質観と現代科学」
 ♣ (44-05-).
 [『目に見えないもの』, 13-22. 『創造への飛躍』, 209-215 ;
 文庫版 205-210. ③ 243-248.]
- Z04 010 ε45 「理論物理学の輪廓」
 ♣ (45-04-). 追記 (45-11-).
 [『目に見えないもの』, 1-12. ② 3-8.]
- Z04 020 ε45 「近代における物理学の発達」
 京都帝国大学に於ける外国留学生に対する講演 (45-07-27,28).
 『自然と理性』(秋田屋 新学芸叢書 2, 47-10-), 101-204.
 [① 71-124.]
- Z04 030 ε45 「科学日本の再建」
 科学朝日 (45-10-).
 [『自然と理性』, 63-72. ④ 10-15.]
- Z04 040 ε45 「静かに思う」
 週刊朝日 (45-11-). 付記 (46-11-).
 [『自然と理性』, 79-98. ⑤ 3-13.]
- Z04 010 ε46 「自己教育」
 世界創刊号 (46-01-).
 [『自然と理性』, 73-78. ④ 16-19.]
- Z04 020 ε46 「私どもの使う言葉」
 国語国文 (46-04-).
 [『自然と理性』, 52-62. ⑥ 246-251.]
- Z04 030 ε46 「科学と希望とについて」
 潮流 (46-06-).
 [『自然と理性』, 1-20. ⑤ 14-24.]
- Z04 040 ε46 「人間の宇宙的地位」
 朝日評論 (46-06-). [談話筆記]
 [『自然と理性』, 37-42. 『創造への飛躍』, 106-108 ;
 文庫版 106-108. ④ 20-22.]
- Z04 050 ε46 「物質と言葉」(岩波茂雄追悼講演会講演 (京都))
 読売新聞 (46-07-).
 [『自然と理性』, 41-51.]
- Z04 060 ε46 「原子力と合理性とについて」
 毎日新聞 (46-08-05).
 [『自然と理性』, 21-29. ⑤ 25-29.]



1947-48

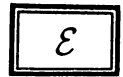
- Z04 070 46 「宇宙における人間の立場」
 学園新聞(46-08-06).
 [『原子と人間』(甲文堂, 48-12-), 27-34.]
- Z04 080 46 「物質文明と精神文明」
 朝日新聞(46-08-). 付記(46-12-).
 [『自然と理性』, 30-36. ④ 23-26.]
- Z04 100 47 「書評「京大理学講座第一輯」(創元社)」
 ▲(47-06-).
 [『科学と人間性』, 十三 読書偶感, 150-154. ⑥ 257-259.]
- Z04 110 47 「事実と法則について」
 世界(47-08-).
 改題 「事実と法則」
 [『科学と人間性』, 二, 18-44. 『物理学者の眼』, 305-320.
 『創造への飛躍』, 241-258; 文庫版 235-251. ③ 172-186.]
- 英訳 [『Facts and Laws』(translated by John Bester),
Creativity and Intuition (Kodansha International Ltd., 1973),
 143-158.]
- Z04 120 47 「偶然と必然」
 文芸春秋(47-08-).
 [『科学と人間性』, 45-53. 『文芸春秋にみる昭和史(二)』
 (文芸春秋社, 88-02-; 文春文庫, 95-07-), 文庫版 245-250.]
- Z04 130 47 「科学の進歩と人類の進化」
 京都日々新聞(47-08-14).
 [『原子と人間』, 22-26. ⑤ 41-42.]
- Z04 140 47 「ふるさと」
 週刊朝日(47-09-28).
 [『原子と人間』, 131-134. 『京都, わが幼き日の...』, 68-70.
 ⑦ 68-70.]
- Z04 150 47 「目に見えないもの」
 あさあけ(47-09-). [Z04 070 443 に加筆.]
 [『原子と人間』, 13-21. ⑦ 68-70.]
- 改題 「目に見えないもの II」
 [『選集 二』, 71-77.]
- 改題 「目に見えないもの」 2. [第 1 節は Z04 070 443.]
 [『自選集 I』, 179-183.]
- Z04 160 47 「短歌に求めるもの」
 はにつち(47-11-).
 [『原子と人間』, 135-137. 『京都, わが幼き日の...』, 86-88.]

1946-47

E

- Z04 170 ε47 「単数と複数」
婦人の友(47-12-).
[『原子と人間』, 73-79. 『物理学者の眼』, 301-304.]
- Z04 180 ε47 「科学と哲学のつながり」
♣(47-).
[『科学と人間性』, 1-17. 『選集 一』, 171-184 (初出 49-10- は誤植).
『自選集 I』, 368-378 (上中下の節分けをやめる).]
- Z04 090 ε46 「あざみと馬」
手帖第一冊(46-08-).
[『原子と人間』, 81-90. 『随想全集 9』, 272-278.]
- Z04 100 ε46 「詩と科学 — こどもたちの為に —」
隨筆四季第二輯(46-12-).
[『原子と人間』, 127-129. [6] 242-243.]
- Z04 010 ε47 「物理学の現段階」
♣(47-01-).
[『科学と人間性』(国立書院, 48-05-), 98-105.]
- Z04 020 ε47 「物理学の前途」
♣(47-01-).
[『科学と人間性』, 106-112. [1] 41-44.]
- Z04 030 ε47 「一つの宿題」
♣(47-01-).
[『科学と人間性』, 113-121. 『物理学者の眼』, 283-288.
『京都, わが幼き日の …』, 133-139. [7] 51-56.]
- Z04 040 ε47 「思い出すこと」
自然 3, 12-15 (47-03-).
[『科学と人間性』, 122-130. [7] 45-50.]
- Z04 050 ε47 「小さい心」
(‘Les petites âmes ont seule le secret des petites âmes.’)
♣(47-04-).
[『科学と人間性』, 131-137. 『京都, わが幼き日の …』, 121-126.]
- Z04 050 ε47 「原子と人間」
PHP(47-03-, -04-合併号).
[『原子と人間』, 3-11.]
- Z04 060 ε47 「知識と知慧とについて」
♣(47-05-).
[『科学と人間性』, 54-62.]
- Z04 070 ε47 「知と愛とについて」
♣(47-05-).
[『科学と人間性』, 63-81. [5] 30-40.]

1948



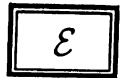
- Z04 080 ㊦47 「運命の連帯」
 ♣(47-05-).
 [『科学と人間性』, 82-97. ㊦4 27-35.]
- Z04 090 ㊦47 「京の山」
 ♣(47-05-).
 [『科学と人間性』, 138-141. 『京都, わが幼き日の …』, 92-95.
 ㊦7 71-73.]
- Z04 010 ㊦48 「法律と法則」
 平安 (48-01-).
 [『原子と人間』, 67-72.]
- Z04 020 ㊦48 「現代物理学を生み出した人々」
 中部日本新聞 (48-01-).
 [『原子と人間』, 167-173.]
- Z04 030 ㊦48 「鏡と写真」
 アサヒグラフ (48-02-18).
 [『原子と人間』, 112-116. 『京都, わが幼き日の …』, 107-110.
 『物理学者の眼』, 295-297. ㊦6 243-245.]
- Z04 040 ㊦48 「現代の物理学について」
 信濃教育 (48-02-).
 [『原子と人間』, 145-165.]
- Z04 050 ㊦48 「東洋的思考」
 日本学術協会講演 (東方文化研究所, 48-03-06).
 [『しばしの幸』 (読売新聞社, 54-06-), 134-147.
 『創造的人間』 筑摩叢書 57 (筑摩書房, 66-05-), 218-227.
 『科学者のこころ』 朝日選書 89 (朝日新聞社, 77-06-), 155-166.]
- 英訳 [『The Oriental Approach』, *Creativity and Intuition*, 51-60.]
- Z04 060 ㊦48 「二十世紀の不安」
 新大阪新聞 (48-04-19).
 [『原子と人間』, 49-54. ㊦5 43-45.]
- Z04 070 ㊦48 「水滸伝の座談会に寄せて」
 新文学 (48-04-).
 [『原子と人間』, 139-143. ㊦6 62-64.]
- Z04 080 ㊦48 「常識と非常識」
 中部日本新聞 (48-05-17).
 [『原子と人間』, 59-66. ㊦4 41-44.]
- Z04 090 ㊦48 「自然美と人間美」
 人間美学 (48-05-).
 [『原子と人間』, 117-125. ㊦4 36-40.]

1948

ε

- Z04 100 ε48 「渡米に際して」
一. 洛北高校新聞(48-07-); 二. 京都新聞(48-08-30); 三. 世界の子供(48-09-).
[『原子と人間』, 175-179. ⑦ 212-221.]
- Z04 110 ε48 「合法則性と偶然性」
毎日新聞(48-08-15).
[『原子と人間』, 55-58.]
- Z04 120 ε48 「科学の可能性」
時論(48-08-).
[『原子と人間』, 35-47.]
- Z04 130 ε48 「物質世界の客観性について」
哲学季刊(秋田屋, 48-).
[『物質観と世界観』, 7-72.]
- Z04 140 ε48 「学術の交流」
自然 3/10, 1 (48-10-).
[① 44-46.]
- Z04 150 ε48 「記憶」
♣(48-10-).
[『物理学者の眼』, 298-300. 『京都, わが幼き日の …』, 111-114.
『しばしの幸』, 33-35. ⑦ 238-240.]
- Z04 160 ε48 「思索断章」
(法則性について / 世界観について / 可能性について / 直観について /
総合について / 科学的精神について / 心理について / 美について /
道徳について / 連帯感について / 文化について / 学問について /
勉学について 一 / 勉学について 二 / 書物について)
♣().
[『原子と人間』, 91-112.]
- Z04 170 ε48 「アメリカ日記 — 一九三九年」(自 39-08-25 至 39-10-12)
♣().
[『原子と人間』, 145-294. ⑦ 156-211.]
- Z04 180 ε48 「アメリカ便り(第一信)」
♣(48-).
[『選集五』, 3-6. 『この地球に生まれあわせて』(講談社文庫 C52,
75-06-), 236-239.]
- Z04 190 ε48 「プリンストン便り」
♣(48-12-). 追記(56-05-).
[『随想 湯川秀樹』(甲文社, 50-11-), 153-160. 『しばしの幸』,
185-188. 『この地球に生まれあわせて』, 240-243.]

1949



- Z04 200 ε48 「物理学と世界観」
 ♠(48-).
 [『選集 四』, 16-67. ③ 264-299.]
- Z04 210 ε48 「目と耳」
 ♠(48-).
 [『自選集 IV』, 335-339. ⑥ 260-264.]
- Z04 010 ε49 「二十世紀科学の一断面」
 『二十世紀精神』人間選書 1. (鎌倉文庫, 49-02-), 259-271.
- Z04 020 ε49 「素粒子論の方向について — 序に代えて—」
 『物理学の方向』(三一書房, 49-09-), 3-9.
- Z04 030 ε49 「科学的思考について — 物理学の対象と法則 —」
 慶応義塾大学講演 (47-11-13). 付記 (66-03-).
 『物理学の方向』(三一書房, 49-09-), 11-31.
 [『創造的人間』, 198-217. ① 23-40.]
- Z04 040 ε49 「日本のみなさんに — ノーベル賞を受けて」(ニューヨークにて)
 ♠(49-12-).
 [『自選集 I』, 379-382.]
- 改題 「ノーベル賞を受けて」
 [『しばしの幸』, 93-96. ① 50-52.]

D

1940s Dialogues

- Z04 010 D47 「原子時代の”科学と人間”」
高橋広江.
夕刊「新東海」(47-03-11,12,13).
- Z04 020 D48 「人間の進歩について」
小林秀雄 (48-07-).
新潮 (48-08-)[部分].
『対話－人間の進歩について』(新潮社, 48-12-).
[『科学と人間のゆくえ』(講談社, 73-03- ; 講談社文庫 C132, 81-01-),
文庫版 11-83.
『新訂小林秀雄全集』 別巻 I. 人間の建設 (新潮社, 79-07-).
『小林秀雄対談集 II』(文春文庫 107-6, 81-03-).]
- Z04 030 D49 「科学と文学」
頼原退蔵 (48-07-).
『対談 科学と文学』(人間美学叢書 白井書房, 49-01-).
[校正 48-08-10. 頼原退蔵 48-08-30 急逝.]
[『半日閑談集』(講談社, 71-02- ; 講談社文庫 C131, 80-12-),
文庫版 317-385.]

A

1950s Articles

- Z05 010 A50 「素粒子論の現状と非局所場の理論」
基礎科学 20, 636-648 (50-10-).
- Z05 020 A50 「非局所場の理論」(共著 小野健一)
「素粒子論の研究 II」(岩波書店, 50-11-), 研究 1. 175-188.
- Z05 010 A51 「中間子研究の近況」
科学 21, 410-411 (51-08-).
- Z05 010 A52 「素粒子論の現状と将来」
湯川記念館開館記念講演 (52-07-21).
自然 7/10, 2-8 (52-10-).
- Z05 010 A53 「素粒子の構造について I — 質量スペクトルと収斂因子 —」
素粒子論研究 5/2, 282-293 (53-02-).
- 改題 「素粒子の構造について — 質量スペクトルと収斂因子 —」
[科学 23, 224-228 (53-05-).]
- Z05 010 A54 「理論物理学の現状」
国際理論物理学会挨拶 (東大安田講堂, 53-09-15).
「しばしの幸」(読売新聞社, 54-06-), 210-213.
[①, 65-68.]
- Z05 020 A54 「素粒子論はいずこへ — 会議が終って —」
自然 9/1, 9-11 (54-01-).
- Z05 010 A56 「素粒子と時空構造」
科学 26, 380-385 (56-08-).
- Z05 010 A57 「素粒子と真空 I」
素粒子論研究 16/1, 1-6 (57-10-).
- Z05 020 A57 「物理世界の対称性 I, II.」
日本物理学会第十二回年会(東京大学教養学部, 57-10-18)
総合講演 10F1. 「物理法則における対称性の問題」
物理学会誌 12/9, ii (57-09-).
科学 27, 596-600 (57-12-), 28, 18-24 (58-01-).
- Z05 010 A59 「素粒子の統一理論」
第一回湯川記念財団創立記念学術講演会講演 (58-04-).
湯川記念財団編「基礎物理学の諸問題」(三一書房, 59-03-), 133-191.
[②, 82-143.]
- Z05 020 A59 「非線型場理論」(共著: 谷内俊弥・喜多秀次)
物理学会誌 14/8, 430-437 (59-08-).

T

1950s 研究会講演・抄録・原稿

- Z05 010 T50 「湯川教授のお話」「8月14日会合の速記」
(T50 08 14) 上野学士院, 50-08-14, 15:00-17:00.
素粒子論研究 2/4, 173-178, 193-200.
- Z05 020 T50 「湯川秀樹博士の講演と討論」
(T50 08 22) 京都大学, 50-08-22.
素粒子論研究 2/5, 191-205 (50-09-).
- Z05 010 T53 「The Naive Model of a Unit Theory of Elementary Particles」
(T53 08 14) 第3回ノーベル賞受賞者会議講演 (Lindau, 53-07-02).
Nobelpreisträger-Rundschau, ed. R.Schmid und W.Wessinger,
(Wissenschaftliche Verlagsgesellschaft mbH, Stuttgart, 81-), S.12.
Naturwissenschaftliche Rundschau 4, 450 (54-).
[cf. YHAL P36.]
- Z05 010 T54 「非局所場の理論について」
(T54 05 26) 基礎理論討論会第二回例会 (基研, 54-05-26).
素粒子論研究 6/10, 1181 (54-07-).
- Z05 020 T54 「四次元量子化」
(T54 06 23) 基礎理論討論会第三回例会 (基研, 54-06-23).
素粒子論研究 6/11, 1291 (54-08-)
- Z05 010 T56 「Elementary Particles」
(T56 06 26) 第3回ノーベル賞受賞者会議講演 (Lindau, 56-06-26).
Nobelpreisträger-Rundschau, S.12.
[cf. YHAL P38.]
- Z05 010 T57 「Introductory Talk」
(T56 12 18) 基礎理論討論会第六回例会 (基研, 56-12-18).
素粒子論研究 13/5, 485-487 (57-01-).
- Z05 020 T57 「対称性の問題」
(T57) 場の理論討論会.
素粒子論研究 14/5, 484 (57-05-).
- Z05 010 T59 「Introductory Talk」
(T59 05 21) 量子化の意味について研究会 (基研, 59-05-21).
素粒子論研究 19/4, 414 (59-06-).
- Z05 020 T59 「ソビエットの物理学」
(T59 10 10) 日本物理学会第14回年会総合講演 10pR3 (広島大学, 59-10-10).
物理学会誌 14/9, 第14回年会プログラム, 47頁 (59-09-).
- Z05 030 T59 「ソ連邦旅行談」
(T59 11 13) 日ソ協会京都府連合会講演会 (59-11-13).

ε

1950s Essays

- Z05 010 ε50 「旅のノートから」
自然 5/4 (50-04-).
[『しばしの幸』(読売新聞社, 54-06-), 46-48.]
- Z05 020 ε50 「The Birth of the Meson Theory」(with Chihiro Kikuchi)
American Journal of Physics 18/3, 54-156 (50-03-).
- Z05 030 ε50 「書評：湯浅光朝『科学文化史年表』(中央公論社, 50-06-25)」
毎日新聞 (50-07-31).
- Z05 040 ε50 「自由と平和への道」
毎日新聞 (50-07-31). [談.]
- Z05 050 ε50 「若き世代に期待する真理探求への道」
日本学術会議・毎日新聞社共催講演会講演(神田共立講堂, 50-08-12).
新民 1/9, 6-13 (50-09-).
- 改題 「中間子理論研究の背景と経過」
[文庫版『最近の物質観』(講談社学術文庫 116, 77-02-), 第四部, 126-137.]
- Z05 060 ε50 「若い人々へ」 冊朝講演(京都大学, 50-08-18).
自然 5/11, 14-18 (50-11-).
[① 52-62.]
- Z05 070 ε50 「ロボット」
♣(50-09-21).
[『しばしの幸』, 49-51 ⑥ 284-285.]
- Z05 080 ε50 「ハドソン河畔の秋」(ニューヨークにて)
♣(50-11-).
[『しばしの幸』, 52-58. 『随想全集 9』(尚学図書, 69-11-), 266-271.
『自己発見』(毎日新聞社, 72-10-), 22-26 ; 文庫版(講談社文庫 C113,
79-08-)は収録しない. 『この地球に生れあわせて』, 249-254.]
- Z05 090 ε50 「日下周一編・小林稔訳『OPPENHEIMER 電気力学』推薦の言葉」
『OPPENHEIMER 電気力学』(学術図書出版社, 50-11-)外箱.
- Z05 010 ε51 「回顧と展望」
「真理の場に立ちて」(毎日新聞社, 51-03-), 1-32.
[『素粒子の探求 — 真理の場に立ちて —』(勁草書房, 65-05-), 3-29.
③ 3-23.]
- Z05 020 ε51 「物理学の20年」(1951年1月23日ニューヨークにて)
科学 21, 182-183 (51-04-).
[『しばしの幸』, 202-205. ① 46-49.]
- Z05 030 ε51 「仁科芳雄先生の思い出」(1951年2月1日ニューヨークにて)
自然 6/4, (51-04-).
[朝永振一郎・玉木英彦編『仁科芳雄 伝記と回顧』(みすず書房, 52-08-).

1951-53



- Z05 040 ε51 「しばしの幸」, 189-195. 『随想全集 9』, 372-377. [7] 96-100.]
 「読書漫録」
 ♣ (51-10-).
 [『しばしの幸』, 172-184. 『随想全集 9』, 309-318. [6] 314-323.]
- Z05 050 ε51 「長岡半太郎先生のことなど」
 「続わが師わが友」(筑摩書房, 51-10-), 195-203.
 [『しばしの幸』, 196-201.]
- Z05 060 ε51 「静かな町にきて」
 ♣ (51-).
 [『この地球に生れあわせて』, 255-257.]
- Z05 010 ε52 「変わるもの変らぬもの」
 ♣ (52-04-).
 [『しばしの幸』, 88-92.]
- Z05 020 ε52 「日本のお祭り 祇園祭の印象」
 ♣ (52-07-).
 [『しばしの幸』(54-06-), 64-70. [7] 74-78.]
 [『選集一』第一部では「日本のお祭り」(52-10-),71と「祇園祭の印象」(52-07-),
 75の独立した二篇とし, 『京都わが幼き日の』103,99; 『自選集V』370,373も
 それを踏襲するが, 「祇園祭の印象」は1954年発表としている. 『自己発見』,
 27-29(文庫版20-22), は「祇園祭の印象」(54-)のみを収録する.]
- Z05 030 ε52 「東洋と西洋」
 ♣ (52-07-).
 [『しばしの幸』, 131-133.]
 英訳 [『East and West』, *Creativity and Intuition*, 49-51.]
- Z05 040 ε52 「贅沢にならない快適な生活」
 ♣ (52-08-).
 [『しばしの幸』, 59-63.]
- Z05 050 ε52 「誤解と弁解」
 ♣ (52-11-).
 [『しばしの幸』, 97-100. [6] 286-288.]
- Z05 010 ε53 「科学の進歩と国際協力」
 ユネスコ日本国内委員会成立記念会講演(52-09-16).
 自然 8/1, 2-4 (53-01-).
- Z05 020 ε53 「歳月」(ニューヨークにて)
 ♣(53-01-).
 [『しばしの幸』, 122-126.]

1953-54



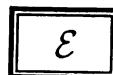
- Z05 030 E53 「物理学界の前途」
 ♣(53-01-).
 [「しばしの幸」, 214-219.]
- Z05 040 E53 「十代で「自由」を学ぶ」
 読売新聞社教育部編『私の少年時代』(牧 書店, 53-03-).
- Z05 050 E53 「少年時代の読書」
 ♣(53-04-).
 [「しばしの幸」, 165-171. 「京都 わが幼き日の …」, 79-85.
 ⑥ 13-17.]
- Z05 060 E53 「徹底ということ」
 ♣(53-05-).
 [「しばしの幸」, 115-121. ⑥ 18-22.]
- Z05 070 E53 「暗中模索」
 ♣(53-09-).
 [「しばしの幸」, 206-209. 「創造への飛躍」, 55-58 ; 文庫版 57-59.
 ① 63-65.]
- Z05 080 E53 「理論物理学の将来」
 科学 23, 492 (53-10-).
- Z05 090 E53 「科学が活かされるということ — それは人間に幸福を与えるか —」
 ♣(53-10-).
 [「しばしの幸」, 104-114.]
- Z05 100 E53 「模倣と独創」
 高峯謙吉博士百年祭記念講演(金沢大学講堂, 53-11-).
 [「しばしの幸」, 148-164. 「創造的人間」, 88-100.]
- Z05 110 E53 「しばしの幸」
 (「京四月いとまなき身のゆきずりに花をしばしの幸と眺むる」)
 ♣(≤53-12-).
 [「しばしの幸」, 8-45. ⑦ 222-247.]
 [「しばしの幸」は以下のエッセイ群の総称であるが、一部は独立して
 再録されてもいる：京都の秋 / イタリアの夏^a / スエーデンの冬 /
 アメリカの春 / そこ冷え / サービス / ダンスのできない人間 /
 想像力 / 記憶^b / 北海道の夏 / 四国の秋^c / 歳末の感。
 a. 『この地球に生れあわせて』, 224-226. b. Z04 180 E48.
 c. 改題「四国の旅」. 『この地球に生れあわせて』, 215-217.]
- Z05 120 E53 「日本に帰ってきて」
 ♣(53-).
 [「自選集 V」, 303-305.]
- Z05 010 E54 「読書そのときどき」

1954

E

- 図書(54-01-).
- Z05 020 E54 「一科学者の人生観」
 ♣(54-01-).
 [「選集 三」, 301-302. [6] 323-324.]
- Z05 030 E54 「学術会議について」
 ♣(54-01-).
 [「しばしの幸」127-130. 「随想全集 9」, 378-381. [6] 288-291.]
- Z05 040 E54 「アメリカ大学教授の生活」
 ♣(54-01-).
 [「選集 五」, 39-45. 「心ゆたかに」(筑摩書房,69-10- ; 筑摩叢書 226, 76-03-), 叢書版 295-300. 「この地球に生れあわせて」, 258-263.]
- Z05 050 E54 「甘さと辛さ」
 ♣(54-02-).
 [「しばしの幸」, 101-103. [6] 291-293.]
- Z05 060 E54 「原子力と人類の転機」
 毎日新聞(54-03-31). [英文毎日にも訳載.]
 [「しばしの幸」, 220-224. 「物理学者の眼」, 321-324. [5] 49-52.]
- 英訳 [「Atomic Energy and the Turning Point for Mankind」,
Creativity and Intuition, 185-188.]
- Z05 070 E54 「マックス・ボルン博士について」
 鈴木良治・金関義則訳 M. ボルン『現代物理学(上)』序文(みすず書房, 54-03-).
 [「心ゆたかに」, 叢書版 172-176.]
- Z05 080 E54 「読売新聞社編『ついに太陽をとらえた』序」
 『ついに太陽をとらえた』(読売新聞社, 54-05-).
- Z05 090 E54 「研究者としての人間」
 自然 9/8, 3 (54-08-).
 [「物理学者の眼」, 329-330.]
- Z05 100 E54 「書道雑感」
 ♣(54-08-). [cf. Z06 110 E60 「書道雑感」.]
 [「選集 一」, 88-90.]
- Z05 110 E54 「科学と人間 — 原子力問題と関連して —」
 日本の教育選書 5 (新日本教育協会, 54-08-).
- Z05 120 E54 「私の人生観の変遷」
 ♣(54-09-).
 [「創造への飛躍」, 11-29 ; 文庫版 15-32. [5] 59-74.]
- Z05 130 E54 「素粒子論の基礎について」
 ♣(54-09-).
 [「選集 四」, 319. 「創造への飛躍」, 316-321 ; 文庫版 307-312.]

1954-55



- Z05 140 ε54 「スウェーデンの思い出」
NHK スウェーデン向け放送講演 (54-11-11).
[『選集 五』, 88-92. 『自己発見』, 18-21 (文庫版は収録しない).
『この地球に生れあわせて』, 244-248.]
- Z05 150 ε54 「吉岡書店物理学叢書「推薦のことば」」
物理学叢書刊行パンフレット (吉岡書店, 54-12-).
- Z05 160 ε54 「洋書にのこる思い出」
♣(54-).
[⑥ 265-268.]
- Z05 170 ε54 「原子力問題と科学の本質 — 一九五四年 —」
♣(54-).
[⑤ 53-55.]
- Z05 180 ε54 「科学と信仰」
♣(54-).
[『選集 二』, 42-45. 『自選集 III』, 130-133.]
- Z05 190 ε54 「科学は力か知恵か」
♣(54-).
[『自選集 III』, 133-136. ⑤ 56-58.]
- Z05 200 ε54 「開拓者としての科学者」
♣(54-).
[『選集 二』, 46-50.]
- Z05 010 ε55 「知性と創造と幸福」
♣(55-01-).
[『選集 二』, 51-55. 『創造への飛躍』, 109-112 ; 文庫版 108-111.]
- Z05 020 ε55 「過渡期の世界」
♣(55-01-).
[『物理学者の眼』, 336-339. ④ 47-49.]
- Z05 030 ε55 「痴人の夢」
♣(55-02-).
[『選集 三』, 80-85. 『物理学者の眼』, 325-328.]
- Z05 040 ε55 「新しい世界と科学者」
朝日新聞社編『明日をどう生きる — 戦後10年と日本のあり方』
(朝日新聞社, 55-04-).
- Z05 050 ε55 「アインシュタイン先生の思い出」
♣(55-04-).
[『選集 三』, 312-315. 『物理学者の眼』, 332-335. ⑤ 75-77.]
- 加筆改題 「アインシュタイン先生の追憶」
[『心ゆたかに』, 172-176.]

1955-56

E

- Z05 060 E55 「科学的に考えるということ」
 ♣(55-05-).
 [『選集 二』, 56-62.]
- Z05 070 E55 「物質の構造」
 ♣(55-05-).
 [『選集 二』, 230-234.]
- Z05 080 E55 「アインシュタイン博士を追慕して」
 科学 25/6, 314-315 (55-06-).
 [① 134-136.]
- Z05 090 E55 「原子力随想」
 ♣(55-08-).
 [『選集 三』, 43-46.]
- Z05 100 E55 「原子力と人類の意志」
 ♣(55-08-).
 [『選集 三』, 97-103.]
- Z05 110 E55 「科学者から見た日本語の問題」
 西尾 実編『言葉と生活』(毎日新聞社, 55-11-), 83-109.
- Z05 120 E55 「戦後十年 一九五五年」
 ♣(55-).
 [⑤ 78-88.]
- Z05 010 E56 「科学と人間性」
 『人間と科学』(中山書店, 56-03-), 1-46.
 [『創造的人間』, 34-85. 『現代人の思想 21. 科学革命の世紀』
 (平凡社, 67-11-), 200-238. 『科学者のこころ』, 13-68. ⑤ 102-150.]
- Z05 020 E56 「科学の進歩と人間の幸福」
 『人間と科学』(中山書店, 56-03-), 279-281.
- Z05 030 E56 「千手観音」
 『人間と科学』第6回月報(中山書店, 56-03-).
- Z05 040 E56 「現代人の知恵」
 ♣(56-03-).
 [『現代科学と人間』, 3-7. ⑤ 91-95.]
- 英訳 [『Wisdom for Modern Man』, *Creativity and Intuition*, 203-206.]
- Z05 050 E56 「科学研究に要する費用について」
 科学 26, 162-163 (56-04-).
- Z05 060 E56 「心のふるさと 十一面千手観音像」
 (京都新聞夕刊連載『表情』, 54-11-11 より124回.)
 京都新聞編集局編『京都の仏像』(河出書房, 56-04-), 94-95.

- Z05 070 ε56 「星に祈る善意 延命地藏尊立像」
 (京都新聞夕刊連載「表情」)
 『京都の仏像』, 168-169.
- Z05 080 ε56 「理論物理学の伝統について」
 自然 11/5, 81 (56-05-).
 [L 139-141.]
- Z05 090 ε56 「ノーベル賞受賞の報をきいて」
 ♣(56-06-).
 [『選集 五』, 11-15.]
- Z05 100 ε56 「そとから見た日本」
 ♣(56-06-).
 [『選集 五』, 82-85.]
- Z05 110 ε56 「某月某日」
 ♣(56-06-).
 [『選集 五』, 92-94.]
- Z05 120 ε56 「未知の世界を思う」
 ♣(56-06-).
 [『選集 五』, 95-99.]
- Z05 130 ε56 「欧米の高エネルギー研究」(ロンドンにて)
 ♣(56-07-).
 [『現代科学と人間』, 253-257.]
- Z05 140 ε56 「シアトルの夢 — 国際理論物理会議に出席して —」
 ♣(56-10-).
 [『現代科学と人間』, 203-207.]
- Z05 010 ε57 「日本の原子力 — 急がばまわれ —」
 ♣(57-01-).
 [『現代科学と人間』, 266-269. [5] 96-98.]
- Z05 020 ε57 「「むだ」ということ」
 ♣(57-01-).
 [『現代科学と人間』, 62-65. [5] 99-101.]
- Z05 030 ε57 「文明と忍耐」
 ♣(57-01-).
 [『現代科学と人間』, 81-82.]
- Z05 040 ε57 「よく見る顔 十一面観音立像」
 京都新聞夕刊連載「続・表情」(56-10-01 ~ 56-12-29)
 [京都新聞編集局編「続京都の仏像」(河出書房, 57-01-), 168-169.]
- Z05 050 ε57 「なつかしい古典」
 岩波書店『日本古典文学全集』推薦の言葉 (57-03-).

1957-58

E

- Z05 060 E57 「『原子物理学入門』はしがき」
 (洛北深泥ヶ池のほとりにて, 57-02-).
 教養原子力講座(全6巻), 第1巻(中山書店, 57-03-).
- Z05 070 E57 「古典と私」
 図書(57-04-).
 [『外的世界と内的世界』(岩波書店, 76-12-), 213-214. ⑥ 75-76.]
- Z05 080 E57 「思想の貧困」
 ♣(57-06-).
 [『現代科学と人間』, 65-69.]
- Z05 090 E57 「独創について - 多すぎる情報・刺激・技術 - 」
 ♣(57-06-).
 [『現代科学と人間』, 69-72. ① 141-144.]
- Z05 100 E57 「戦争は廃絶しなければならない — 国際科学者会議声明 — 」
 カナダ パグウオッシュ, 57-07-11.
 [『現代科学と人間』, 110-124.]
- Z05 110 E57 「科学者の責任 — パグウオッシュ会議の感想 — 」
 ♣(57-07-).
 [『現代科学と人間』, 103-109. ⑤ 153-157.]
- Z05 120 E57 「科学の伝統」
 ♣(57-09-). [Z04 080 E41 と同じ表題だが別の評論.]
 [『現代科学と人間』, 97-99. ⑤ 158-160.]
- Z05 130 E57 「科学と道徳」
 世界(57-09-).
 [『現代科学と人間』, 100-103. 『随想全集 9』, 387-391.
 ⑤ 161-164.]
- Z05 140 E57 「井上 健・広重 徹・恒藤 恭訳, J. von ノイマン『量子力学の数学的基礎』
 序文」
 『量子力学の数学的基礎』(みすず書房, 57-11-).
- Z05 150 E57 「アインシュタイン博士を憶う」
 広重 徹訳 C. ゼーリッヒ『アインシュタインの生涯』序文(57-12-).
 『アインシュタインの生涯』(東京図書, 57-12- ; 改訳 74-10-).
 [『外的世界と内的世界』, 302-303. ⑦ 115-116.]
- Z05 160 E57 「The Path of Wisdom」
New Frontiers of Knowledge
 (Public Affairs Press, Washington D.C., 57-), 95-97.
- Z05 010 E58 「素粒子の謎」
 世界(58-01-).
 [『現代科学と人間』, 168-202. ② 53-81.]

1958-59

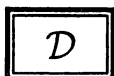
E

- Z05 020 ε58 「八頭身のなげき」
 ♣(58-01-).
 [『現代科学と人間』, 72-76.]
- Z05 030 ε58 「人に迷惑をかけないこと」
 ♣(58-01-).
 [『現代科学と人間』, 76-79.]
- Z05 040 ε58 「二十世紀後半への希望」
 ♣(58-01-).
 [『現代科学と人間』, 83-85. ④ 53-55.]
- Z05 050 ε58 「素粒子と統一場」
 ♣(58-03-).
 [『現代科学と人間』, 234-239.]
- Z05 060 ε58 「さまざまな思想の開花」
 平凡社『中国古典文学全集』推薦のことば(58-05-).
- Z05 070 ε58 「原子力の将来」
 日本原子力平和利用基金『原子力の将来』(丸善, 58-07-), 19-38.
- Z05 080 ε58 「ある日の感想 — ヨーロッパの旅の途中で —」
 ♣(58-10-).
 [『現代科学と人間』, 125-130. ④ 56-60.]
- Z05 090 ε58 「基礎科学の振興について — ヨーロッパから帰って —」
 ♣(58-10-).
 [『現代科学と人間』, 244-249.]
- Z05 010 ε59 「現代日本に欠けているもの — 開拓者精神 —」
 ♣(59-01-).
 [『現代科学と人間』, 79-81. ① 144-145.]
- Z05 020 ε59 「パウリ教授を追悼して」
 科学 29/3, 123-124 (59-03-).
 [『現代科学と人間』, 90-96. ⑦ 117-121.]
- Z05 030 ε59 「今昔の感」
 ♣(59-03-).
 [『現代科学と人間』, 136-140.]
- Z05 040 ε59 「基礎科学の現在と将来」
 ♣(59-05-).
 [『現代科学と人間』, 250-252. ① 165-173.]
- Z05 050 ε59 「時間の問題」
 科学 29/6, 271 (59-06-).
 [『現代科学と人間』, 157-167. ① 165-173.]

1959

E

- Z05 060 E59 「モスクワとキエフ — 高エネルギー物理学国際会議に出席して —」
♣(59-08-).
[『現代科学と人間』, 258-265.]
- Z05 070 E59 「物理学者の自己再教育」
日本物理学会誌 14/11, 613+668 (59-11-).
[『現代科学と人間』, 136-140.]
- Z05 080 E59 「科学と人間」
♣(59-秋).
[『現代科学と人間』, 8-25.]
- Z05 090 E59 「外から見た日本」
♣(59-11-).
[『現代科学と人間』, 37-61. 『この地球に生れあわせて』, 267-288.
① 146-164.]
- Z05 100 E59 「歴史に対する興味の変遷」
♣(59-11-).
[『現代科学と人間』, 140-143.]
- Z05 110 E59 「ソ連物理学者の印象」
素粒子論研究 20/3, 241-243 (59-11-).
[cf. YHAL T59 10 10, 「ソビエットの物理学」;
YHAL T59 11 13, 「ソ連邦旅行談」.]



1950s Dialogues

- Z05 010 D51 「世界平和のために」
ラルフ・バンチ (於ニューヨーク).
朝日新聞 51-01-03.
[『半日閑談集』(講談社, 71-02-), 313-318 ;
(講談社文庫 C131, 80-12-), 309-316.]
- Z05 020 D54 「活かせ原子力」
坂田昌一・A・B.
文芸春秋 (54-05-).
- Z05 030 D54 「今日のヒューマニズム」
広津和郎.
文芸 (54-12-).
[『科学と人間のゆくえ』(講談社, 73-03-), 75-102 ;
(講談社文庫 C132, 81-01-), 85-112.]
- Z05 040 D58 「基礎物理学研究所をめぐって
I. 建設時代 (湯川記念館として)」
小林 稔・長谷川万吉・武谷三男・中村誠太郎・高木修二・
吉田思郎 (京都・清風荘, 57-10-13).
自然 13/1(58-01-).
- Z05 050 D58 「基礎物理学研究所をめぐって
II. 発展時代 (基研として)」
小林 稔・朝永振一郎・坂田昌一・藤本陽一・木庭二郎・
小谷正雄・松原武生 (東京・京橋ブルニエ, 57-10-16).
自然 13/2(58-02-).
- Z05 060 D59 「共同利用研究所の課題
- 基礎物理学研究所と原子核研究所の場合 -」
早川幸男・藤本陽一・松田一久・野上耀三・富山小太郎.
司会 梅沢博臣.
科学 29/7, 328-334 (59-07-).

A

1960s Articles

- Z06 010 A61 「将来計画の意義」
自然 16/4, 76-79(61-04-).
- Z06 020 A61 「素粒子の背後にあるもの」
「素粒子」(岩波新書青版 430, 61-09-), 147-205.
[cf. Z06 010 A69.]
- Z06 010 A63 「物理学の老化と若返り」
日本学術会議主催「科学における分化と総合」シンポジウム講演 (62-11-10).
自然 18/3, 22-27(63-03-).
[「創造的人間」, 305-278. ① 186-199.]
- Z06 020 A63 「素粒子論に関する成人学校について」
素粒子論研究 27/4, 368-371 (63-06-).
[「創造的人間」, 279-283.]
- Z06 010 A64 「逆旅「素粒子」」
素粒子の模型と構造研究会講演 (基研, 64-02-06).
素粒子論研究 29/1, 51-55 (64-03-).
- 改題 「天地万物逆旅」.
[「創造への飛躍」, 377-381; 文庫版 370-374. ③ 24-28.]
- 英訳 [「The Wayside Inn for Wayfaring Elementary Particles」,
HYSW, III-2, 433-438.]
- Z06 020 A64 「歴史的なお話, まとめ, 将来の展望」(cf. Z06 110 E66 「知魚楽」.)
中間子論による弱い相互作用研究会講演 (基研, 64-05-13,14).
素粒子論研究 29/4, 297-300 (64-06-); Errata 29/5, 531 (64-07-).
- Z06 030 A64 「あるからあるとすることについて」
素粒子の模型と構造研究会講演 (金沢大学理学部, 64-10-15~17).
素粒子論研究 30/4, 409-410 (64-12-).
- Z06 010 A65 「非局所場の拡張と素粒子の対称性」(共著: 片山泰久・山田英二)
素粒子論研究 30/5, 469-477 (65-01-).
- Z06 020 A65 「時空記述と物質 — 期待される素粒子像 —」
第二回素粒子論成人学校講義 (物性研, 64-11-25).
素粒子論研究 30/6, 724-734 (65-02-).
- Z06 030 A65 「中間子論 30 年」
科学 35/4, 170-176 (65-04-).

A

- Z06 040 A65 「1965年素粒子国際会議について」
物理学会誌 20/4, 245 (65-04-).
- Z06 050 A65 「力の問題 — 答はまだない」
非局所場研究会講演 (基研, 65-03-20).
素粒子論研究 31/3, 361-365 (65-05-).
- 改題 「力とは何か」.
[『創造への飛躍』, 381-387; 文庫版 374-380. ③ 29-34.]
- Z06 060 A65 「六合為巨未離其内 秋毫為小待之為体」
素粒子の模型と構造研究会 (基研, 65-03-24).
素粒子論研究 31/4, 481-484 (65-06-).
- Z06 070 A65 「統計 弱い相互作用」
素粒子の模型 II 研究会講演 (基研, 65-04-17).
素粒子論研究 31/4, 547-548 (65-06-).
- Z06 080 A65 「来世と現世 (あのよとこのよ)」
非局所場研究会講演 (基研, 65-06-11).
素粒子論研究 31/6, A37-A41 (65-08-).
- 改題 「「この世」と「あの世」」.
[『創造への飛躍』, 387-391; 文庫版 380-384. ③ 35-38.]
- Z06 090 A65 「対称性の背後にあるもの」
素粒子の対称性研究会講演 (基研, 65-07-28).
素粒子論研究 32/2, B25-B28 (65-10-); Errata 32/3, 202 (65-11-).
- 改題 「背後にあるもの」
[『創造への飛躍』, 391-396; 文庫版 384-388.]
- Z06 010 A66 「Opening Address to the Symposium on Elementary Particles」
中間子論 30 周年記念素粒子シンポジウム (京都会館, 65-09-21).
素粒子論研究 32/5, E4-E8 (66-01-).
- Z06 020 A66 「国際会議以後 — 道可道非常道 —」
基研談話会講演 (65-11-30).
素粒子論研究 32/5, 359-367 (66-01-).
- 改題 「道可道非常道」
[『創造への飛躍』, 396-398; 文庫版 388-391.]
- Z06 030 A66 「中間子論 30 周年記念講演会「挨拶」」
日本物理学会主催・京都大学大阪大学後援 (京都会館, 65-09-23).
物理学会誌 21/4, 244-245 (66-04-).
[『心ゆたかに』, 叢書版 197-202.]

A

- Z06 040 A66 「素粒子論の現状と将来」
第20回日本物理学会年会総合講演(岡山大学, 65-10-12).
自然 21/4, 17-26 (66-04-).
- Z06 050 A66 「朝永博士ノーベル賞受賞記念シンポジウム挨拶」
基研, 66-02-10. [YHAL N92.]
- Z06 010 A67 「共同利用研究所のあり方」
日本学会議主催シンポジウム講演.
♣ (67-02-).
[「心ゆたかに」, 叢書版 183-196.]
- Z06 020 A67 「ひろがった粒子と時空記述」
素粒子の模型と構造研究会拡大世話人会講演(基研, 67-06-15).
素粒子論研究 35/6, F36 (67-08-).
- Z06 010 A68 「素粒子と時空」
♣ (68-08-).
[「心ゆたかに」, 叢書版 203-208. [3], 39-43.]
- Z06 020 A68 「「素領域理論」とは何か」
科学朝日 (68-12-).
[「心ゆたかに」, 叢書版 209-237. [3] 44-66.]
- Z06 010 A69 「素粒子の背後にあるもの」
「素粒子第二版」(岩波新書青版 710, 69-03-), 167-224.
[「心ゆたかに」, 叢書版 209-237. [3], 67-112.]
[cf. Z06 020 A61]
- Z06 020 A69 「素粒子物理学の未来像」
科学 39/6, 294-300(69-06-).
- Z06 030 A69 「基礎物理学研究所15周年記念式典(68-10-28)所長式辞」
「基礎物理学の進展」(理論物理学刊行会, 69-09-), 附1-附4.
- 改題
Z06 040 A69 「基礎物理学研究所について」. [1] 220-224.]
「基礎物理学とは」
基礎物理学研究所15周年シンポジウム記念講演(68-10-28).
「基礎物理学の進展」, 1-6. [1] 224-232.]
- Z06 050 A69 「連続体での統計性ということについて」
素粒子の模型と構造研究会講演(基研, 69-10-24).
素粒子論研究 40/4, D62-D63 (69-12-).

T

1960s 研究会講演記録・抄録・原稿

- Z06 010 T60 「非局所理論研究会「Introductory Talk」」
(T60 04 20) 非局所理論研究会 (基研, 60-04-20).
YHAL N84.
- Z06 020 T60 「Fundamental Problems of Non-local Field Theory」
(T60 11 16) 非局所理論-素粒子の構造合同研究会 (基研, 60-11-16).
YHAL N85.
- Z06 010 T61 「素粒子論に於ける時空の問題」
(T61 01 31) 基研談話会 (基研, 61-01-31).
YHAL N85.
- Z06 020 T61 「問題の設定と種々の可能な考え方—Introductory Talk として」
(T61 05 15) 素粒子論における時空構造研究会 (基研, 61-05-15).
YHAL N85.
- Z06 030 T61 「Space と Dichotomy」
(T61 05 18) 素粒子論における時空構造研究会 (基研, 61-05-18).
YHAL N85.
- Z06 040 T61 「量子化についての考え方」
(T61 07 27) 量子化の問題夏期研究会 (東洋紡堅田求是荘, 61-07-27).
YHAL N85.
- Z06 010 T62 「素粒子に関する考え方の変遷」
(T62 07 04) 東京大学理学部物理学教室講演 (62-07-04).
YHAL N87.
- Z06 020 T62 「5年, 10年後の素粒子物理学について研究会「コメント」」
(T62 10 29) 5年, 10年後の素粒子物理学について研究会 (基研, 62-10-29).
素粒子論研究 26/4, 365-366, 373 (62-12-).
- Z06 010 T63 「物理学者と時間」
(T63 01 08) 基研談話会, 63-01-08.
YHAL N87.
- Z06 020 T63 「第1回素粒子成人学校 S 行列の理論「開校の辞」」
(T63 11 20) 第1回素粒子成人学校 (基研大講義室, 63-11-20).
YHAL N88.
[cf. YHAL Z06 020 A63.]
- Z06 010 T65 「Space-Time Description and Matter」
(T65 07 01) 第15回ノーベル賞受賞者会議講演 (Lindau, 65-07-01).
Nobelpreisträger-Rundschau, S.12. YHAL N91.

T

- Z06 020 T65 「三村剛昂告別式「弔辞」」
(T65 10 29) (竹原市竹原町照蓮寺, 65-10-29 13:00 -).
[三村剛昂 65-10-26 09:30 亜急性肝臓萎縮のため死去.]
YHAL 蔵原稿.
- Z06 010 T66 「Elementary Domain Theory」
(T66 05 16) 素粒子の時空記述研究会(東洋紡堅田求是荘, 66-05-16).
YHAL N92.
- Z06 020 T66 「素領域理論(第1回)」
(T66 06 06) 基研談話会, 66-06-06.
YHAL N92.
[Cf. YHAL Z09 010 P50, Z09 011 P50.]
- Z06 030 T66 「素粒子の時空記述研究会「Introduction」」
(T66 12 12) 素粒子の時空記述研究会(東洋紡堅田求是荘, 66-12-12~14).
YHAL N93.
- Z06 040 T66 「Dirac 方程式は difference eq. の形にかけるか?」
(T66 12 20) 基研談話会, 66-12-20.
YHAL N93.
- Z06 010 T67 「素領域と素粒子」
(T67 01 17) 基研談話会, 67-01-17.
YHAL N93.
- Z06 010 T67 「素領域の理論」
(T67 04 07) 第22回日本物理学会年会素粒子論特別講演 7pM1.
(東北大学, 67-04-07, 13:30~14:20).
- Z06 010 T67 「素粒子の時空的描像」
(T67 06 26) 素粒子の時空記述研究会(基研, 67-06-26).
YHAL N94.

E

1960s Essays

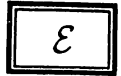
- Z06 010 ε60 「科学文明のゆくえ」
鶴見女子学園創立三十五周年記念講演会講演。
学図, 第一号, 1-4 (学校図書株式会社, 60-01-)。 [要旨].
- Z06 020 ε60 「文明社会と人間の役割 — 若き世代におくる助言 —」
♣(60-01-)。
[『現代科学と人間』, 26-36.]
- Z06 030 ε60 「プリンストンの木立の中で」
♣(60-01-)。
[『現代科学と人間』, 89-90.]
- Z06 040 ε60 「昨日の常識明日の常識」
♣(60-01-)。
[『現代科学と人間』, 148-149.]
- Z05 050 ε60 「機械とのつきあい」
♣(60-01-)。
[『現代科学と人間』, 149-151.]
- Z06 060 ε60 「境界領域の開拓 — 核融合反応研究と関連して —」
♣(60-02-)。
[『現代科学と人間』, 270-275.]
- Z06 070 ε60 「科学と人間の疎隔と接近」
♣(60-02-)。
[『現代科学と人間』, 276-287.] 1 176-185.]
- Z06 080 ε60 「和服と洋服」
♣(60-02-)。
[『心ゆたかに』, 叢書版 283-285.]
- Z06 090 ε60 「食べ物に関する思い出」
♣(60-02-)。
[『心ゆたかに』, 叢書版 286-288. 「いさり火」38号, 21-23 (76-11-).]
- Z06 100 ε60 「書道雑感」
♣(60-02-)。 [Z05 100 ε54 に補筆.]
[『心ゆたかに』, 叢書版 289-291.]
- Z06 110 ε60 「伴奏曲」
♣(60-02-)。
[『心ゆたかに』, 叢書版 292-294.]
- Z06 120 ε60 「湿度」
♣(60-05-)。
[『現代科学と人間』, 131-133.]

1960-61



- Z06 130 E60 「三方一両損」
 ♠(60-06-).
 [『現代科学と人間』, 133-136.]
- Z06 140 E60 「科学の分化と総合」
 ♠(60-11-). 京都大学教官研究集会講演.
 [『現代科学と人間』, 288-294.]
- Z06 150 E60 「紅樓夢の世界」
 ♠(60-12-).
 [『現代科学と人間』 143-147. [6] 64-67.]
- Z06 010 E61 「具象以前」
 ♠(60-01-).
 [『現代科学と人間』, 151-154. 『随想全集 9』, 333-336.
 [4] 61-64.]
- Z06 020 E61 「素粒子の謎を解く鍵」
 ♠(61-02-).
 [『現代科学と人間』, 208-233. [2] 158-178.]
- Z06 030 E61 「「科学」に関する思い出」
 図書(61-03-).
 [[1] 173-175.]
- Z06 040 E61 「宇宙時代と人類史の転機」
 ♠(61-04-).
 [『現代科学と人間』, 85-88. [4] 65-67.]
- Z06 050 E61 「荘子」
 図書(61-04-).
 [『本の中の世界』(岩波新書青版 493, 63-07-), 1-8. [6] 23-29.]
- 英訳 [『Chuangtse』, *Creativity and Intuition*, 64-69.]
- Z06 060 E61 「近松浄瑠璃」
 図書(61-05-).
 [『本の中の世界』, 9-16. [6] 87-92.]
- Z06 070 E61 「カラマーゾフの兄弟」
 図書(61-06-).
 [『本の中の世界』, 17-24. [6] 202-207.]
- Z06 080 E61 「岡山大介君の早逝を惜む」
 『岡山君を偲ぶ』(61-07-), 66.
 [『外的世界と内的世界』, 275-276.]
- Z06 090 E61 「舞姫」
 図書(61-07-).
 [『本の中の世界』, 25-32. [6] 208-213.]

1961-62



- Z06 100 ε61 「エラスムス「平和の訴え」
 図書(61-09-).
 [『本の中の世界』, 33-40. ⑥ 189-194.]
- Z06 110 ε61 「山家集」「伊勢物語」
 図書(61-10-).
 [『本の中の世界』, 41-49. ⑥ 99-106.]
- Z06 120 ε61 「文章軌範」
 図書(61-12-).
 [『本の中の世界』, 51-65. ⑥ 36-47.]
- Z06 130 ε61 「啄木の歌」
 ♣ (61-). 付記(71-02-).
 [『自選集 I』, 167-169. ⑦ 273-274.]
- Z06 010 ε62 「わかってもらえぬ病氣」
 週刊朝日(62-01-05), 52-53.
- Z06 020 ε62 「ナンセン伝」
 図書(62-01-).
 [『本の中の世界』, 67-72. ⑥ 184-188.]
- Z06 030 ε62 「科学文明の中の人間十話」
 [冬日愛すべし / エックス線 / 基礎研究の重要性 / 人間と機械 /
 科学者と社会 / 都会への人口集中 / 情報の整理 / 研究の大規模化 /
 将来の問題 / 自然の法と人間の法.]
 毎日新聞(62-02-04 ~ -02-15).
 [『十人百話 1』(毎日新聞社, 62-08-), 109-130. ④ 68-95.]
- 改題 「科学文明の中の人間」. 改節題「冬日愛すべし」→「第二の自然」.
 [『創造的人間』, 4-33. 『自己発見』, 77-105 ; 文庫版 76-105.]
- Z06 040 ε62 「近世崎人伝」
 図書(62-02-). ⑥ 107-112.]
 [『本の中の世界』, 73-80. 『自己発見』, 51-56 ; 文庫版 49-54.
- Z06 050 ε62 「墨子」
 図書(62-04-).
 [『本の中の世界』, 81-88. ⑥ 30-35.]
- 英訳 [『Motse』, *Creativity and Intuition*, 74-78.]
- Z06 060 ε62 「塞翁が馬」
 ♣ (62-06-).
 [『心ゆたかに』, 叢書版 281-282.]
- Z06 070 ε62 「エピクロス」
 図書(62-06-).
 [『本の中の世界』, 89-96. ⑥ 165-171.]
- 英訳 [『Epicurus』, *Creativity and Intuition*, 78-84.]

1962

E

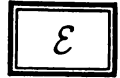
- Z06 080 ε62 「私の好きな作品 康勝作空也上人像」
アサヒグラフ (62-06-07).
- Z06 090 ε62 「狂言記」
図書 (62-07-).
[『本の中の世界』, 97-103. ⑥ 113-118.]
- Z06 100 ε62 「二つの道を一つに」
自然 17/7, 11-13 (62-07-).
[⑤ 190-193.]
- Z06 110 ε62 「唐詩選」
図書 (62-08-).
[『本の中の世界』, 105-113. ⑥ 48-55.]
- Z06 120 ε62 「科学者の責任」
世界 (62-08-).
[『平和時代を創造するために』(岩波新書青版 476, 63-01-), 1-23.
⑤ 165-181.]
- Z06 130 ε62 「大学の自治」
京都大学教官研究集会講演 (62-06-28).
改題 「学問の自由と大学の理念」
世界 (62-09-), 35-38.
[『創造的人間』, 192-197. ① 200-204.]
- Z06 140 ε62 「海潮音」
図書 (62-09-).
[『本の中の世界』, 115-124. ⑥ 214-222.]
- Z06 150 ε62 「現代科学者の任務 — 第十回パグウオッシュ会議に出席して —」
♣ (62-09-).
[『創造への飛躍』, 77-81 ; 文庫版 78-81. ⑤ 182-185.
英訳 [『The Role of Modern Scientist; The Tenth Pugwash Conference』,
Creation and Intuition, 188-192.]
- Z06 160 ε62 「ケンブリッジ再見」
世界 (62-09-).
[『創造への飛躍』, 81-85 ; 文庫版 82-86. ⑤ 186-189.]
- Z06 170 ε62 「ラッセル放談録」
図書 (62-11-).
[『本の中の世界』 125-133. ⑥ 195-201.]
- Z06 180 ε62 「私の自叙伝 — 或る物理学者の宿命 —」
NHK ラジオ放送 (62-夏).
心 (平凡社, 62-11-).
改題 「短かい自叙伝 — 或る物理学者の宿命 —」
[『本の中の世界』, 183-207. ⑦ 4-22.]

1962-63

E

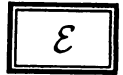
- Z06 190 ε62 「あめりか物語」
 図書(62-12-)。
 [『本の中の世界』, 135-143. ⑥ 223-229.]
- Z06 200 ε62 「枠からはみだした科学者
 — 第九回、第十回パグウオッシュ会議に出席して —」
 世界(62-12-), 34-41.
- Z06 010 ε63 「天才論(No.1) — 物理学史に現れた天才のパターンと、その研究内容
 の変遷」(執筆 63-01-)。
 創造性研究 1/1, 4-11(63-03-)。
 改題 「天才の諸相。三。二十世紀物理学史上の天才群」
 [Z06 120 ε64 及び Z06 010 ε65 と合—して改題, その第三節とする。]
 『創造への飛躍』, 195-205 ; 文庫版 191-201. ① 125-133.]
- Z06 020 ε63 「わが世界観」「晩年に想う」
 図書(63-02-)。
 [『本の中の世界』, 145-153. ⑥ 269-275.]
- Z06 030 ε63 「現代科学者の任務」
 パグオッシュ運動と世界連邦運動講演会講演(朝日新聞講堂, 62-10-07).
 世連研究 4/2, 10-17(世界連邦建設同盟, 63-02-01).
- Z06 040 ε63 「東西遊記」
 図書(63-03-)。
 [『本の中の世界』, 155-162. 『自己発見』, 56-61 ; 文庫版 55-61.
 ⑥ 119-125.]
- Z06 050 ε63 「科学者の随筆」
 ♣(63-03-)。
 [『心ゆたかに』, 叢書版 261-264.]
- Z06 060 ε63 「源氏物語」
 図書(63-05-)。
 [『本の中の世界』, 163-172. 『随想全集 9』, 300-308. ⑥ 126-133.]
 英訳 [『The Tale of Genji』, *Creativity and Intuition*, 84-91.]
- Z06 070 ε63 「科学と人生論」
 ♣(63-05-)。
 [『創造への飛躍』, 30-54 ; 文庫版 33-56.]
- Z06 080 ε63 「自分の書いた本」
 図書(63-06-)。
 [『本の中の世界』, 173-182. ⑥ 276-283.]
- Z06 090 ε63 「人生は長い」
 新世代(学習研究社, 63-07-), 35.

1963-64



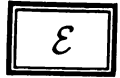
- Z06 100 ε63 「寄港問題と科学者」
世界 (63-08-), 10-12.
[5] 235-239.]
- Z06 110 ε63 「戦争のない一つの世界 世界連邦世界大会を迎えて」
♣(63-08-).
[『創造への飛躍』, 85-89 ; 文庫版 86-89. 『随想全集 9』, 382-286.
[5] 197-200.]
- Z06 120 ε63 「世界連邦と世界平和達成への道」
早稲田大学講演 (大隈講堂, 63-06-21).
早稲田公論 (63-09-), 22-23. [要約].
- Z06 130 ε63 「きんもくせい」
Takasago (高砂香料時報, 63-10-)
[『心ゆたかに』, 叢書版 277-280. 『自己発見』, 45-48 ; 文庫版 42-45.
[6] 141-144.]
- Z06 140 ε63 「世界連邦への道 — 第十一回世連世界大会基調講演 —」
世界連邦主義者世界協会第 11 回世界大会 (東京文化会館, 63-08-24).
♣(63-).
[『自選集 III』, 298-304. [5] 201-206.]
- Z06 010 ε64 「天才と機械」
毎日新聞 (64-01-04).
[『創造的人間』, 179-182.]
- Z06 020 ε64 「創造性と自己制御 — 教育の問題と関連して —」
日教組日高教合同教育研究全国集会講演 (岡山, 64-01-18).
教育評論 (64-03-), 10-17.
[『日本の教育 十三集』 (筑摩書房, 64-). 『創造的人間』, 126-156.
[4] 99-128.]
- Z06 030 ε64 「一冊の本 (149) 老子」
朝日新聞 (64-01-19).
改題 「一冊の本 — 老子 —」
[『一冊の本 2』 (雪華社, 65-04-). 『創造への飛躍』, 68-71;
文庫版 70-73. [6] 59-62.]
英訳 [『Laotse』, *Creativity and Intuition*, 61-64.]
- Z06 040 ε64 「六十の手習い」
♣(64-01-).
[『創造への飛躍』, 62-65 ; 文庫版 63-66.]
- Z06 050 ε64 「21 世紀に飛躍させる教養の役割は大きい」
月刊真相 (64-03-), 15-16.

1964-65



- Z06 060 ε64 「古典を読むたのしさ」
日本古典文学大系第二期実物見本 (岩波書店, 64-03-).
- Z06 070 ε64 「新鮮な興味」
日本古典文学大系第二期実物見本 (岩波書店, 64-03-).
- Z06 080 ε64 「世界連邦にいたる道」
世界連邦建設同盟第17回定期総会講演 (64-04-28).
世連研究 (64-), 114-118.
- Z06 090 ε64 「天才論 (2) — 17世紀の天才群, 特に Descartes について —」
創造性研究 2/1, 2-10 (64-04-).
- Z06 100 ε64 「科学者の創造性」
中部日本放送主催・日本科学史学会後援講演会講演 (名古屋 CBC ホール, 64-05-04).
自然 19/10, 22-31 (64-10-).
[「創造的人間」, 101-125. 「随想全集 9」, 337-366.]
- Z06 110 ε64 「父から聞いた中国の話」
中国文化研究協会講演会講演 (東京・ガスホール, 63-06-22).
中国文化研究 (中国文化研究会会報, 64-06-), 7-12.
[「心ゆたかに」, 叢書版 265-276. ⑥ 3-12.]
- Z06 120 ε64 「アテネの集い」
♠(64-07-).
[「創造への飛躍」, 72-76 ; 文庫版 73-77. 「随想全集 9」, 284-288.
⑥ 153-156.]
- Z06 130 ε64 「デカルト」
図書 (64-08-).
改題 「天才の諸相 . 二. デカルト」
[Z06 010 ε63 及び Z06 010 ε65 と合一, その第二節とする. cf. Z06 090 ε64.]
[「創造への飛躍」, 186-194 ; 文庫版 183-191. ⑥ 172-180.]
- Z06 140 ε64 「狂言の面白さ」
「オリンピック能楽祭」プログラム (64-10-01), 36-37.
改題 「狂言と創造性」
[「心ゆたかに」, 叢書版 308-309. ④ 129-130.]
- Z06 150 ε64 「中間子以後三十年」
朝日新聞 (64-11-02 & 64-11-09).
[「創造的人間」 249-258. ② 179-186.]
- Z06 010 ε65 「創造性の尊重」
毎日新聞 (65-01-01).
[「創造的人間」 175-178. ④ 131-134.]

1965



- Z06 020 ε65 「ギリシャの自然と天才」
 図書(65-01-).
 改題 「天才の諸相 . 一. ギリシャの自然と天才」
 [本項に Z06 130 ε64 及び Z06 010 ε63 を合せ, 「天才の諸相」第一, 二, 三節とする.]
 [『創造への飛躍』, 177-186 ; 文庫版 183-191. 『随想全集 9』,
 289-299. ⑥ 157-164.]
- Z06 030 ε65 「世連運動の現状と将来」
 世界連邦建設同盟夏期研修会講演(静岡県袋井市秋葉山総本山可睡斎, 64-08-26).
 世連研究 5/3, 1-6 (65-02-).
 [⑤ 207-215.]
- Z06 040 ε65 「浄瑠璃の不思議さ」
 日本古典文学大系月報 第二期第 13 回配本(岩波書店, 65-04-), 1-2.
 改題 「浄瑠璃の文章と節づけ 一, 二.」
 [原文を二節に分け, 第三節として Z06 040 ε67 を付ける.]
 [『心ゆたかに』, 叢書版 301-305. ⑥ 93-98.]
- Z06 050 ε65 「若い学問・若い人」
 吉岡書店生物物理学講座 すいせんのことば(吉岡書店, 65-05-).
- Z06 060 ε65 「日本国憲法と世界平和」
 世界(65-06-).
 [『創造への飛躍』, 89-96 ; 文庫版 89-97. ⑤ 240-247.]
- Z06 070 ε65 「科学とは何か」
 現代新百科辞典(学習研究社, 65-06-).
 [『創造的人間』, 184-191. 『科学者のこころ』, 3-11.]
- Z06 080 ε65 「本書に寄せて」(65-07- 付)
 豊田利幸『核戦略批判』(岩波新書青版 568. 65-08-) 序文.
 改題 「『核戦略批判』に寄せて」
 [⑤ 248-251.]
- Z06 090 ε65 「自然認識の現段階 — 素粒子の国際会議への期待 —」
 毎日新聞(65-09-).
 [『創造的人間』, 259-264. 『随想全集 9』, 319-325.]
- Z06 100 ε65 「物質とシンボル」
 ♣(65-10-).
 [『創造への飛躍』, 125-132 ; 文庫版 123-130. ① 205-211.]
- Z06 110 ε65 「思考とイメージ」
 ♣(65-10-).
 [『創造への飛躍』, 133-138 ; 文庫版 131-136.]
- Z06 120 ε65 「学習と研究」
 大阪教育研究改革会議講演.
 教育タイムズ(65-11-10).

1965-66

E

- Z06 130 ε65 「同定の理論序章」
 ♣(65-12-).
 [『創造への飛躍』, 170-176 ; 文庫版 167-173. 『科学者のこころ』,
 113-120. [4] 135-140.]
- Z06 140 ε65 「不思議な物語」
 曾根豊祐『源氏物語女性群像 第4巻 中君』序文
 (源氏物語女性群像刊行会, 65-12-10).
- Z06 150 ε65 「漱石と私」
 図書(65-12-).
 [[6] 84-86.]
- Z06 010 ε66 「勉強すること」
 静脩(京都大学付属図書館報) 2/5, 27 (66-01-).
 [『心ゆたかに』, 叢書版 255-256.]
- Z06 020 ε66 「人類よ自己を守れ」
 『平和への提言』(毎日放送編, 66-03-01).
- Z06 030 ε66 「より高い理想を」
 大学進学高3コース(66-04-).
- Z06 040 ε66 「『旅人』以後」
 『旅人 — ある物理学者の回想』講談社版(66-05-), 298-300.
 [cf. Z07 150 ε71.]
- Z06 050 ε66 「核兵器体系の現状を憂える」
 第三回科学者京都会議報告(東京, 66-06-30 ~ 07-02).
 世界(66-07-).
 [『創造への飛躍』, 97-105 ; 文庫版 97-105. [5] 252-259.]
- Z06 060 ε66 「中谷さんの絵と私の短歌」
 ♣(66-08-).
 [『心ゆたかに』, 叢書版 257-260.]
- Z06 070 ε66 「『異様さ』に潜む歴史」
 京都新聞連載〈美のこころ〉第16回(66-07-29).
- Z06 080 ε66 「第三回科学者京都会議を終わって」
 世界(66-09-), 100-102.
 [[5] 260-264.]
- Z06 090 ε66 「無限分割」
 数学セミナー 5/10, 1 (66-10-).
 [『創造への飛躍』, 115-118 ; 文庫版 115-117. [1] 217-219.]
- Z06 100 ε66 「物理と数理」
 ♣(66-10-).
 [『創造への飛躍』, 119-124 ; 文庫版 118-123. [1] 212-217.]

1966-67

E

- Z06 110 E66 「知魚楽」*
 新訂中国古典選付録 No.12 (新訂中国古典選第8巻『莊子外篇』折込)
 (朝日新聞社, 66-10-), 1-3.
 [『創造への飛躍』, 65-68; 文庫版 66-70. [6] 56-59.]
 英訳 [『The Happy Fish』, *Creativity and Intuition*, 69-72.]
- Z06 120 E66 「同定ということ」
 心 19/11, 5-21 (平凡社, 66-11-)
 [『創造への飛躍』, 139-169; 文庫版 137-166. 『科学者のこころ』,
 121-153. [4] 141-167.]
- Z06 130 E66 「広島南ロータリークラブ創立10周年「記念講演」」
 (東洋工業講堂, 66-05-09).
 『十周年を記念して』(広島南ロータリークラブ, 66-12-), 58-63.
- Z06 140 E66 「冬に咲く花」
 京都南座「当る末年吉例顔見世興行」(66-12-01 ~ 26) プログラム.
- Z06 150 E66 「仁科先生と朝永さんと私」 仁科記念講演(朝日講堂, 65-12-06).
 NKZ No.7 (仁科記念財団, 66-), 1-12.
 [7] 101-114.]
- Z06 010 E67 「G. ガモフ 中村誠太郎訳『現代の物理学 量子論物語』序文」(66-12- 付)
 河出書房新社 (67-01-). 1-3 頁.
 改題 「ガモフ博士について」
 [『外的世界と内的世界』(岩波書店, 76-12-), 315-318. [7] 122-124.]
- Z06 020 E67 「長岡先生の休学」
 文芸春秋 (67-02-).
 [『創造への飛躍』, 58-61; 文庫版 60-63. 『随想全集9』, 367-371.
 [6] 293-297.]
- Z06 030 E67 「少年の皆さんへ」
 ♠(67-04-).
 [『心ゆたかに』, 叢書版 249-254.]
- Z06 040 E67 「浄瑠璃雑感」
 文楽 [文楽協会大阪四月公演プログラム (道頓堀朝日座, 67-04-18 ~ 30).]
 改題 「浄瑠璃の文章と節づけ 三」
 [YHAL Z06 040 E65 に加えて第三節とする.]
 [『心ゆたかに』, 叢書版 305-307. [6] 93-98.]

* 湯川が「知魚楽」と揮毫した最初は、CBC・日本科学史学会共催の講演会で(Z06 090 E64)、名古屋に赴いた64年5月4日、新設の名大理学部物理学教室大会議室のためにである。荘子と恵子の濠上の問答(『莊子』秋水第十七)を披露するのは、同年5月14日基礎物理学研究所研究会「中間子論による弱い相互作用」において、坂田昌一の求めに応じてであった(Z06 020 A64)。また中間子論30周年記念国際会議(65-09-24 ~ 30)でも dinner speech として語った。

1967-68

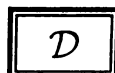


- Z06 050 ε67 「ハイゼンベルク教授を迎えて — 量子力学から素粒子論 —」
 ♣(67-05-).
 [7] 125-128.]
- Z06 060 ε67 「科学と人間と平和」
 ♣(67-06-)
 [「心ゆたかに」, 叢書版 59-102. 「科学者のこころ」, 69-111.]
- Z06 070 ε67 「片山泰久『量子力学の世界』序文」
 『量子力学の世界』(講談社ブルーバックス B101, 67-06-).
- Z06 080 ε67 「視聴覚教育と創造性」
 ♣(67-10-).
 [「心ゆたかに」, 叢書版 103-117.]
- Z06 010 ε68 「核時代の次に来たるべきもの」
 世界(68-01-).
 [『核時代を超える』(岩波新書青版 687, 68-08-), I. 一, 65-73 頁.
 5] 216-225.]
- Z06 020 ε68 「老年期的思想の現代性」
 ♣(68-01-).
 [『自己発見』, 65-73 ; 文庫版 65-73. 「心ゆたかに」, 叢書版 41-50.]
 英訳 [「The Freshness of Mellow Ideas」, *Creativity and Intuition*, 91-99.]
- Z06 030 ε68 「非核武装に関する国会議員各位への要望」
 [青山道夫ほか 50 名と共に署名, 68-02-24 付.]
 みすず 10/3, 2-3 (みすず書房, 68-03-).
- Z06 040 ε68 「心をとめて見きけば」
 第五十回市民狂言会プログラム (京都市観世会館, 68-05-24).
 [「心ゆたかに」, 叢書版 310-311. 6] 140-141.]
- Z06 050 ε68 「悪条件こそ”創造”の源泉」
 日本能率協会教育事業部特別講演 [要約]
 マネジメント 27/7, 88-92 (日本能率協会, 68-07-).
- Z06 060 ε68 「シュレーディンガーの世界観」
 創造性研究会講演.
 ♣(68-07-).
 [「心ゆたかに」, 叢書版 147-171. 3] 300-320.]
- Z06 070 ε68 「むすびにかえて」
 『核時代を超える』, II. 三, 167-173.
- Z06 080 ε68 「科学的な物の考え方の芽を幼児の心に」
 福音館書店「かがくのとも」創刊号 内容見本 (68-10-).
- Z06 090 ε68 「平和の創造」
 ♣(68-10-).
 [「心ゆたかに」, 叢書版 51-58. 5] 226-232.]

1968-69



- Z06 100 ε68 「核時代の平和思想」
 『平和の思想』(雄渾社, 68-10-), 1-18.
 英訳 [『The Concept of Peace in the Nuclear Age』, *Creativity and Intuition*, 192-203.]
- Z06 110 ε68 「創造性の理論と体験」
 ♣(68-11-).
 [『心ゆたかに』, 叢書版 118-146.
 英訳 [『The Conception and Experience of Creativity [1963』, *Creativity and Intuition*, 123-142. 誤植 [1963] → [1968].]
- Z06 120 ε68 「科学者の創造性について」
 日本心理学会第三十二回大会講演 (68-07-).
 指導と評価 14/11, 3-12 (日本教育評価研究会, 68-11-).
- Z06 130 ε68 「子供の能力を育てる本」[『えほん百科』推薦文.]
 月刊百科 No.75 (68-12-).
- Z06 140 ε68 「心ゆたかに」
 ♣(68-12-).
 [『心ゆたかに』, 叢書版 241-245.
- Z06 140 ε68 「L'homme maître de la matière」
L'aventure de demain, L'aventure humaine, Encyclopédie des science de l'homme (Editions de la Grande-Batelière, Paris et Éditions Kister S.A., Genève, 1968), 191-192.
- Z06 010 ε69 「情報」
 ♣(69-03-).
 [『心ゆたかに』, 叢書版 246-248. ④ 195-197.]
- Z06 020 ε69 「核時代から世界連邦時代へ」
 『世界連邦運動二十年史』(世界連邦建設同盟, 69-05-01), 36-43.
- Z06 030 ε69 「京都という土地」
 「二十周年記念 京都薪能」パンフレット(京都能楽会, 69-06-), 6 頁.
 [京都市・京都能楽会主催, 開催二十周年記念京都薪能 (69-06-01,02).]
 [『外的世界と内的世界』, 268-269.]
- Z06 040 ε69 「吉野と高野」
 ♣(69-).
 [『自選集 V.』, 401-405. ⑥ 85-87.]
- Z06 050 ε69 「『山海経』の絵図を見て」
 ♣(69-).
 [『自己発見』, 62-64 ; 文庫版 62-64. ⑥ 67-70.]
- Z06 060 ε69 「平安の文化」
 ♣(69-).
 [『自選集 V.』, 406-418.]



1960s Dialogues

- Z06 010 D61 「素粒子論開拓の道」
朝永振一郎・武谷三男・藤本陽一. 司会 坂田昌一.
科学 31/4, 170-176 (61-04-).
- Z06 010 D62 「現代を生きること」
梅棹忠夫.
朝日ジャーナル(62-07-29).
[『半日閑談集』(講談社, 71-02-), 17-39 ; (講談社文庫 C131,
80-12-), 13-38. ④ 1-19.]
- Z06 010 D63 「切り開いてきた路 I」
坂田昌一・武谷三男・中村誠太郎.
武谷三男・坂田昌一・中村誠太郎編『素粒子の本質』(岩波書店,
63-09-), 第I篇 研究の回顧, 1-27.
- Z06 020 D63 「これからの方向について I」
坂田昌一・片山泰久.
『素粒子の本質』, 第IV篇 展望, 289-312.
- Z06 010 D64 「長谷川万吉名誉教授を囲む座談会」
(湯川記念館設立当時を回想して)
長谷川万吉・小林 稔・井上 健.
世話役(湯川記念財団事務長)原田歴二(基研, 64-02-08).
YHAL Z02 010 X64.
- Z06 010 D65 「学問の伝統について」
吉川幸次郎.
図書(65-02-, 65-03-).
- Z06 020 D65 「日本文明の性格」
吉川幸次郎・貝塚茂樹・桑原武夫・宮崎市定・山口 益・
田村実造・青山秀夫.
羽田 亨博士14回忌記念座談会(京都つるや, 65-04-13).
『日本文明の性格 — 羽田 亨博士記念座談会記録 —』
(編集発行 カルピス食品工業株式会社, 65-).
- Z06 030 D65 「覚めるがごとく夢みるがごとく」
上田正昭.
図書(65-10-).
[『半日閑談集』, 43-61 ; 文庫版 39-59.]

1965-67



- Z06 040 D65 「科学と非科学」
井上 健・梅棹忠夫・
中央公論(65-10-).
[『学問の世界』(岩波書店, 70-04-), 91-115.]
- Z06 010 D66 「物理学と生物学 — 『現代の生物学』の刊行に際して —」
川喜多愛郎・渡辺 格.
図書(66-01-).
- Z06 020 D66 「鏡と船」
小林行雄・上田正昭.
図書(66-05-, 66-06-).
[『半日閑談集』, 65-106 ; 文庫版 61-104.]
- Z06 030 D66 「創造的文化生む教育」
村松 喬.
毎日新聞(66-08-14) .
[『半日閑談集』, 109-116 ; 文庫版 105-114.]
- Z06 040 D66 「子どもごころ — 図形認識・創造性・記憶 —」
園原太郎.
図書(66-09-), 27-47.
[『学問の世界』, 155-198.]
- Z06 050 D66 「湯川秀樹との対話 — 世界観 —」
梅原 猛.
『現代の対話』(雄渾社, 66-10-), 3-106.
[『科学者と考える』梅原猛全対話 1 (集英社, 84-06-).]
- Z06 060 D66 「無用の用」
W.M. スタンレー.
朝日新聞(66-11-13~17).
[『半日閑談集』, 119-126 ; 文庫版 115-124.]
- Z06 070 D66 「言に人あり — 富永仲基に興味をもって —」
加藤周一.
図書(66-12-).
[『学問の世界』, 199-240.]
- Z06 010 D67 「人間とサルと素粒子」
宮地伝三郎.
展望(67-01-).
[『学問の世界』, 1-51. ㊦ 21-54.]

1967-68

D

- Z06 020 D67 「人間にとって科学とはなにか」
梅棹忠夫 (66-12- ~ 67-03- の間の 4 回の対談).
『人間にとって科学とはなにか』(中公新書 132, 67-05-).
- Z06 030 D67 「生きがいの創造」
市川亀久弥.
『生きがいの創造』(雄渾社, 67-09-).
- Z06 010 D68 「日本人の伝統と文化」
井上 靖.
中部日本新聞 (68-01-01).
[『科学と人間のゆくえ』(講談社, 73-03-), 103-113 ; (講談社文庫 C132, 81-01-), 113-123.]
- Z06 020 D68 「学問と人間」
大河内一男.
毎日新聞 (68-01-03).
[『科学と人間のゆくえ』, 115-133 ; 文庫版 125-143.]
- Z06 030 D68 対話による解説「創造への飛躍」
小松左京 (京都, 67-03-11).
『創造への飛躍』(思想との対話 9 講談社, 68-01-), 401-452.
[『創造への飛躍』(講談社文庫 C5, 71-07-), 392-441.
『半日閑談集』 129-175 ; 文庫版 125-173.]
- Z06 040 D68 「私の学問観」
藤本陽一.
科学 38/1, 2-8 (68-01-).
- Z06 050 D68 「自然と社会」
大塚久雄.
図書 (68-02-).
[『学問の世界』, 117-153. 図 75-100.]
- Z06 060 D68 「日本文化の創造」
[付篇「鉄と文化」は、もともとは「図書」のために用意された対談.]
上田正昭.
『日本文化の創造』(雄渾社, 68-03-).
- Z06 070 D68 「学問と人生」
井上 健.
『学問のすすめ』(学問のすすめ 1. 筑摩書房, 68-05-), I. 33-62.
[『心ゆたかに』, 5-40. 『自選集 I』, 5-36.]
- 英訳 Z06 080 D68 [『On Learning and Life』, *Creativity and Intuition*, 21-48.]
「思索について」
谷川徹三.

1968-69

D

- 『対話・歴史と文明』(潮新書 33, 潮書房, 68-06-).
 [別 75-100.]
- Z06 090 D68 「現代社会と物理学」
 浅井健次郎・寺本 英・田中 正・西村圭吾. 司会 井上 健.
 『物理学のすすめ』(学問のすすめ 7. 筑摩書房, 68-12-),
 IV. 251-295.
- Z06 010 D69 「生命と人間」
 渡辺 格.
 図書(69-01-).
 [『学問の世界』, 53-90. 別 101-125.]
- Z06 020 D69 「宗教と歴史と科学と」
 三笠宮崇仁・此泉多希子.
 東京コミュニティカレッジ, Digest No.18 (69-03- ?).
 [東京都新宿区大京町 26 野口英世記念館内 407.]
- Z06 030 D69 「中国の学問と科学精神」
 吉川幸次郎.
 『古典への道』吉川幸次郎対談集, 新訂中国古典選別巻
 (朝日新聞社, 69-04-).
 [『半日閑談集』, 179-211 ; 文庫版 175-209. 別 127-153.
 『中国文学雑談』吉川幸次郎対談集(朝日新聞社, 77-03-).]
- Z06 040 D69 「少年時代の読書」 — 『三国志』『水滸伝』『西遊記』 —
 小川環樹.
 図書(69-05-).
 [『学問の世界』, 241-274. 別 155-177.]
- Z06 050 D69 「統一的自然像とは何か」
 小谷正雄・林 忠四郎・渡辺 格.
 『物質・生命・宇宙 I』(共立出版, 69-06-), 227-256.
- Z06 060 D69 「同定の理論について」
 市川亀久弥.
 創造 第5号(69-08-).
 [『半日閑談集』, 215-270 ; 文庫版 211-268.]
- Z06 070 D69 「日本人の原型を探る」
 司馬遼太郎.
 海(69-09-).
 [『半日閑談集』, 273-297 ; 文庫版 269-295. 別 179-199.]
- Z06 080 D69 「宇宙と心の世界」
 谷川徹三.
 『宇宙と心の世界』(読売選書, 読売新聞社, 69-11-).

1970s Articles

- Z07 010 A70 「素粒子の時空記述研究会 Introductory Talk」
素粒子の時空記述研究会講演 (基研, 69-12-22).
素粒子論研究 41/3, C2-C4 (70-05-).
- Z07 020 A70 「素粒子の時空記述研究会 Concluding Remarks」
素粒子の時空記述研究会講演 (基研, 69-12-24).
素粒子論研究 41/3, C42-C45 (70-05-).
- Z07 030 A70 「二十世紀の科学思想」
(第一部 前期の思想; 第二部 後期の思想, 三. 未知の世界.)
「現代の科学 II」(中央公論社 世界の名著 66, 70-06- ;
中公パックス版 世界の名著 80, 78-11-), 7-55 ; 82-88.
- Z07 010 A71 「[坂田昌一先生追悼]」
基礎物理学研究所第51回研究部員会議 (70-11-04).
素粒子論研究 42/6, 478-480 (71-02-).
- Z07 010 A72 「時空・統計・量子化」
素粒子の時空記述研究会講演 (基研, 71-12-22).
素粒子論研究 5/2, 282-293 (53-02-).
- Z07 010 A73 「古典力学の世界」
岩波講座現代物理学の基礎 2「古典物理学 II」(岩波書店 73-09- ,
第2版 78-03-), 第VI部 古典物理学的世界像 第18章, 317-344.
[9 97-124.]
- Z07 020 A73 「相対論の世界」
「古典物理学 II」, 第VI部第19章, 345-372.
[9 125-152.]
- Z07 030 A73 「十九世紀の科学思想」
第一部 近代以後の科学思想の概観
「現代の科学 I」, (中央公論社 世界の名著 65, 73-09- ;
中公パックス版 世界の名著 79, 79-07-), 7-33.
- Z07 040 A73 「Introductory Talk — 物質と時空 —」
素粒子の時空記述研究会講演 (基研, 73-03-22).
素粒子論研究 48/1, A1-A3 (73-09-); Errata 48/3, 336.

A

- Z07 020 A78 「観測の理論」
岩波講座現代物理学の基礎第2版4「量子力学II」(岩波書店, 78-05-),
第VII部 量子力学の世界像 第20章, 559-577.
[9 195-214.]
- Z07 030 A78 「実在論と時間論」
『量子力学II』第VII部 第21章, 579-602.
[9 215-238.]
- Z07 040 A78 「素粒子論研究の思い出」
日本物理学会編『日本の物理学史上』(東海大学出版会, 78-11-),
571-584.
- Z07 050 A78 「回顧と展望」
『京都大学基礎物理学研究所 1953 - 1978』(基研, 78-11-), 2-3.
[1, 232-233.]
- Z07 010 A79 「京都大学基礎物理学研究所創立25周年記念式典「祝辞」」
『基礎物理学の展望 1978』(基研, 79-03-), 117-118.
京都大学基礎物理学研究所創立25周年記念式典・祝賀会
(基研, 78-11-03 10:30 ~ 11:50) 記録.

A

- Z07 010 A74 「ベータ崩壊の古代史」
ベータ崩壊とその周辺研究会講演 (基研, 74-01-29)
[素粒子論研究 49/2, B16-B17 (74-04-)].
自然 30/7, 28-39 (75-07-).
{ [2] 187-204. }
- Z07 020 A74 「時空記述研究会での話の概要」
素粒子の時空記述研究会講演 (基研, 73-12-15).
素粒子論研究 49/2, B169-B171 (74-04-).
- Z07 030 A74 「素粒子のひろがり」
岩波講座現代物理学の基礎 10「素粒子論」(岩波書店, 74-12- ,
第2版 78-12-), 第V部 素粒子の統一理論 第14章, 613-633.
[[9] 239-259.]
- Z07 040 A74 「素粒子と時空」
「素粒子論」, 第V部 第15章, 637-659.
[[9] 261-285.]
- Z07 010 A75 「物体の運動」
岩波講座現代物理学の基礎 1「古典物理学 I」(岩波書店 75-03- ,
第2版 78-02-), 第I部 物質と空間と時間 第1章, 3-30.
[[9] 1-29.]
- Z07 020 A75 「運動と力とに関する諸法則」
「古典物理学 I」, 第I部 第2章, 31-96.
[[9] 31-96.]
- Z07 030 A75 「素粒子の時空記述研究会 Summary Talk」
素粒子の時空記述研究会講演 (基研, 75-03-15).
素粒子論研究 51/4, D30-D31 (75-06-).
- Z07 040 A75 「物質と時空」
日本物理学会主催「新しい物質観」講習会講演 (東京日仏会館ホール,
73-08-09 15:00-16:00) [物理学会誌 28/7, 会告 (2)-(3)].
日本物理学会編「新しい物質観」(丸善, 75-07-), 15.
[「量子物理学の展望 下」(岩波書店, 78-03-), 27. [3], 113-127.]
- Z07 010 A78 「古典物理学から量子力学へ」
岩波講座現代物理学の基礎第2版 3「量子力学 I」(岩波書店, 78-01-),
第I部 歴史的序論 第1章, 3-42.
[[9] 153-193.]

T

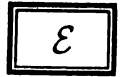
1970s 研究会講演・抄録・原稿

- Z07 010 T72 「素粒子と時間」
(T72 09 28) 第15回渾沌会講演(基研, 72-09-28).
[cf. YHAL F52 R01.]
- Z07 010 T74 「因果律と差分方程式」
(T74 06 20) 第34回渾沌会講演(基研, 74-06-20).
[cf. YHAL F52 R01.]
- Z07 020 T74 「観測されるものは何か」
(T74 10 04) 素粒子の時空記述研究会講演(基研, 74-10-04).
YHAL N99.
- Z07 010 T75 「原子スペクトルと新粒子」
(T75 01 14) 基礎物理学研究所談話会講演(75-01-14).
YHAL N99.

1970s Essays

- Z07 010 ε70 「おちつき」
新青年 3/1, 1(天理教大阪教区青年会, 70-01-).
- Z07 020 ε70 「荘子のことばから」
ちくま 第9号(筑摩書房, 70-01-).
- 改題 「目に見えない鑄型」
[『自選集 III』, 369-371. 『科学者のこころ』, 167. ⑥ 70-71.]
- Z07 030 ε70 「ニールス・ボーアと二十世紀の物理学」
豊田利幸訳 S. ローゼンタール『ニールス・ボーア』(岩波書店, 70-04-), vii-xi.
[『自選集 IV』, 429-434.]
- Z07 040 ε70 「紅葉の庭」
金と銀(京都信用金庫だより), 70-秋号.
- Z07 050 ε70 「[追悼の言葉]」
坂田昌一告別式(名古屋市千種区徳川山坂田家, 70-10-18).
素粒子論研究 42/3, 特1-特3 (70-11-).
- Z07 060 ε70 「坂田昌一さんを追悼して」
坂田昌一名古屋大学理学部葬悼辞(70-10-27).
[『自選集 IV』, 399-406. ⑦ 132-139.]
- Z07 070 ε70 「坂田昌一博士の業績」
物理学会誌 25/12, i-ii (70-12-).
[『外的世界と内的世界』(岩波書店, 76-12-), 277-280.]
- Z07 080 ε70 「菓子と私」
甘辛春秋 1970年冬の巻(菊正宗酒造・鶴屋八幡, 70-12-), 18-21.
- 改題 「お菓子と私」
[『外的世界と内的世界』, 243-247.]
- Z07 090 ε70 「『アインシュタイン選集』全3巻 監修者のことば」[70-11- 付]
『アインシュタイン選集』広告(共立出版, 70-11-).
- Z07 100 ε70 「『アインシュタイン選集 2』 監修者のことば」[70-11- 付]
『アインシュタイン選集 2』(共立出版, 70-12-), i-iii.
- Z07 110 ε70 「奥嵯峨の秋」
♠(70-).
[『自己発見』(毎日新聞社, 72-10-), 30-31; (講談社文庫 C113, 79-08-), 23-24.]
- Z07 120 ε70 「南天の色づく頃」
♠(70-).
[『自己発見』, 31-32; 文庫版 25-26.]
- Z07 130 ε70 「スピードの限界」
♠(70-).
[『自己発見』, 33-34; 文庫版 27-28.]

1970-71



- Z07 140 ε70 「源氏物語と私」
 ♣(70-).
 [『自己発見』, 43-45 ; 文庫版 39-41. ⑥ 80-82.]
- Z07 150 ε70 「私の中の芭蕉」
 ♣(70-).
 [『自己発見』, 48-50 ; 文庫版 46-48. ⑥ 82-84.]
- Z07 160 ε70 「人間の未来について」
 ♣(70-).
 [『自己発見』, 106-116 ; 文庫版 106-116. ⑤ 316-326.]
- Z07 170 ε70 「私の生きがい論 — 創造性と自己制御 —」
 第1回朝日ゼミナール講話(第1講~第3講)
 ♣(70-).
 [『この地球に生まれあわせて』(講談社文庫 C52, 75-01-), 8-131.
 ④ 237-347.].
- Z07 180 ε70 「いま考えていること」
 ♣(70-).
 [『自選集 I』, 469-473. ① 237-240.]
- Z07 190 ε70 「三浦梅園の旧居を訪れて」
 ♣(70-).
 [『自選集 III』, 407-411. ⑥ 134-137.]
- Z07 200 ε70 「ラプラスの魔」
 ♣(70-).
 [『自選集 IV』, 280-284.]
- Z07 010 ε71 「過密と過熱」
 創造の世界 第1号(小学館, 71-01-).
 [『自己発見』, 123-144 ; 文庫版 123-145.]
- Z07 020 ε71 「科学と自然」
 岩波文化講演会講演(70-11-).
 図書(71-02-).
 [『自己発見』, 145-176 ; 文庫版 146-179. ① 241-272.]
- Z07 030 ε71 「読書と人生」
 第1回大阪府読書推進大会講演(大阪市中之島中央公会堂, 70-11-19).
 第1回大阪府読書推進大会誌(大阪府立図書館, 71-03-), 12-16.
 [『外的世界と内的世界』, 248-262. ⑥ 301-313.]
- Z07 040 ε71 「『アインシュタイン選集 1』 監修者のことば」[71年1月付]
 『アインシュタイン選集 1』(共立出版, 71-03-), i-iii.
- Z07 050 ε71 「幼児の精神発達と創造性」
 創造の世界 第2号(71-04-).

1971

ε

- Z07 060 ε71 「一日生きることは一步進むことでありたい」
読売新聞「人生のことば」(71-05-30).
[小六教育技術(小学館, 74-03-), 166 (Z07 040 ε74).]
- 改題 「一日生きることは」
[『外的世界と内的世界』, 239-240. ⑥ 297-298.]
- Z07 070 ε71 「核時代を超えて」
世界(71-05-).
[『自己発見』, 117-122; 文庫版 117-122. ⑤ 327-332.]
- Z07 080 ε71 「小さないのちを育てる保育者のみなさまへ」
第14回全国私立保育園研究大会記念講演(京都市, 71-07-17).
第14回全国私立保育園研究大会報告集, 5-16.
- Z07 090 ε71 「私の中の児童文学」
こどもの本百年展近代日本児童文学の流れ(こどもの本百年展実行委員会, 71-08-). [展示: 京都高島屋.]
[『外的世界と内的世界』, 265-267. ⑥ 324-325.]
- Z07 100 ε71 「無題」
図書(71-10-), 1.
[『外的世界と内的世界』, 237-238.]
- Z07 110 ε71 「一中の私に与えたもの」
あかね(京一中洛北高校同窓会誌) 第9号, 12-15 (71-10-).
- 改題 「京都一中と私」
[『外的世界と内的世界』, 206-212.]
- Z07 120 ε71 「少数意見」
♣(71-).
[『自己発見』, 34-38; 文庫版 29-33.]
- Z07 130 ε71 「離見の見」
♣(71-). [能率協会講演].
[『自己発見』, 177-226; 文庫版 180-231.]
- Z07 140 ε71 「今後の世界における創造とは何か」
♣(71-)
[『自己発見』, 227-269; 文庫版 232-274.]
- Z07 150 ε71 「遍歴」
♣(71-). [Z06 040 ε66 「旅人」以後]に加筆.
[『自選集 V』, 243-247. 『この地球に生まれあわせて』, 210-214.
⑦ 57-61.]
- Z07 160 ε71 「空海」
NHK-TV(71-)
『日本史探訪第2集』(角川書店, 71-12-), 183-200.

1972-73

E

- Z07 010 E72 「『アインシュタイン選集 3』 監修者のことば」 [71年12月付]
『アインシュタイン選集 3』 (共立出版, 72-01-), i-iii.
- Z07 020 E72 「アインシュタインと私」
『アインシュタイン選集 3』 (共立出版, 72-01-), 417-420.
- Z07 030 E72 「棒ほど願って針ほどかなう — 高エネルギー研発足にあたって—」
物理学会誌 27/4, 249-250 (72-04-).
- Z07 040 E72 「運動と平衡」耳鼻咽喉科学会総会記念講演 (岐阜市民会館, 72-05-).
耳鼻咽喉科学会総会並学術講演会開会式特集号 (72-05-), 6-15.
[『外的世界と内的世界』, 46-64. ① 273-287.]
- Z07 050 E72 「私と日本の古典」
ほるぶ新聞 (図書月販, 72-05-20). [ほるぶ = HLP = Home Library Promotion.]
改題 「日本の古典と私」
[『自己発見』, 41-42 ; 文庫版 36-38.]
- Z07 060 E72 「物理学者群像 — 変革期に生きる —」
第17回仁科記念講演会講演 (朝日講堂, 71-12-06).
NKZ No.10 (仁科記念財団, 72-), 1-23.
自然 27/7, 32-45 (72-07-).
[『自己発見』, 271-300 ; 文庫版 275-305. ③ 321-348.]
- Z07 070 E72 「歌舞伎の東と西」
季刊雑誌 歌舞伎 5/2, 13-14 (72-10-01).
[『外的世界と内的世界』, 270-272. ⑥ 138-140.]
- Z07 080 E72 「庭の構図」
♠(72-).
[『自己発見』, 7-8 ; 文庫版 8-9.]
- Z07 090 E72 「自己発見」
♠(72-).
[『自己発見』, 9-14 ; 文庫版 10-15. 『総合国語』 (角川書店, 82-).]
- Z07 100 E72 「乗合船」
♠(72-).
[『自己発見』, 15-17 ; 文庫版 16-19. ⑦ 279-282.]
- Z07 010 E73 「ボルン博士を追慕して」
若松征男訳 M. ボルン『私の物理学と主張』序文.
『私の物理学と主張』 (東京図書, 73-01-), i-iv.
[『外的世界と内的世界』, 304-307. ⑦ 140-143.]
- Z07 020 E73 「暴走の時代に生きて」
東京タイムズ (73-01-10).
[『自己発見』, 文庫版 36-38.]
- Z07 030 E73 「自己制御」
京都新聞 (73-01-17).

1973-74

E

- Z07 040 E73 「きさらぎの夜に思うこと」
すまいと設備(73-02-).
[『外的世界と内的世界』, 241-242.]
- Z07 050 E73 「空海の世界の構造とひろがり」
太陽 73年6月号, No.120 (73-05-), 6-7.
[『外的世界と内的世界』, 131-135. ⑦ 90-94.]
- Z07 060 E73 「歳をかさねること」
創造の世界 第10号 (73-05-).
[『この地球に生まれあわせて』, 170-207. ⑥ 326-359.]
- Z07 070 E73 「下鴨の森と私」
葵祭パンフレット(下鴨神社, 73-05-15)
[『外的世界と内的世界』, 204-295.]
- Z07 080 E73 「コペルニクスと現代」
日本学術会議主催 コペルニクス生誕500年記念シンポジウム講演 (73-02-19).
[『外的世界と内的世界』, 136-153. ① 288-301.]
- Z07 090 E73 「藤岡良夫監修, 板倉聖宣・木村東作・八木江里『長岡半太郎伝』序文」
「長岡半太郎伝」(朝日新聞社, 73-10-).
- 改題 「長岡半太郎先生と私」
[『外的世界と内的世界』, 308-314. ⑦ 144-149.]
- Z07 100 E73 「荒勝先生と原子物理学」
追悼講演(甲南大学学生会館, 73-07-14).
甲窓 第14号(甲南大学同窓会, 73-11-), 57-64.
[『外的世界と内的世界』, 281-295.]
- Z07 110 E73 「外的世界と内的世界」
第70回日本内科学会講演会特別講演(京都会館第一ホール, 73-04-06)
日本内科学会雑誌 62/11, 1469-1476 (73-11-10).
[『外的世界と内的世界』, 65-82.]
- Z07 120 E73 「この地球に生まれあわせて」
世界連邦建設同盟中道支部発足記念講演.
♣(73-).
[『この地球に生まれあわせて』, 132-147.]
- Z07 010 E74 「考え方を変えること」
日本総合研究所講演(73-).
日本総合研究所編『もう一つの発想』(昌平社, 74-01-), 13-30.
[『この地球に生まれあわせて』, 148-164.]
- Z07 020 E74 「思いつきをバカにするな」
PHP 第308号, 75-79 (74-01-).

1974-75

E

- Z07 030 ε74 「人間・自然・科学」
日本学術会議科学の基本問題特別委員会主催,
「人間性と科学」に関するシンポジウム講演(京都大学, 72-03-).
真下信一・大谷省三編『人間・科学・科学者』(時事通信社, 74-02-), 29-73.
[『外的世界と内的世界』, 1-45. ⑤ 265-299.]
- Z07 040 ε74 「一日生きることは一歩進むことでありたい」
小六教育技術(小学館, 74-03-), 166.
[Z07 060 ε71 再録.]
- Z07 050 ε74 「私の歩んできた道」
武内荘介『湯川秀樹論』序文(74年4月付).
『湯川秀樹論』(工作舎, 74-07-), 001-009 ;
『秩序と混沌』(増補改訂改題版 工作舎, 79-01-).
[『外的世界と内的世界』, 322-327. ⑦ 62-66.]
- Z07 060 ε74 「山崎和夫訳 W. ハイゼンベルク『部分と全体』序文」
『部分と全体』(みすず書房, 74-07-), iii-v.
改題 「ハイゼンベルク博士の印象」
[『外的世界と内的世界』, 319-321. ⑦ 129-131.]
- Z07 070 ε74 「三浦梅園 — ある出会い」
NHK-TV (74-).
『日本史探訪第11集』(角川書店, 74-07-), 201-230.
- Z07 080 ε74 「内から発するものを求めて — 国際科学史会議に寄せて —」
朝日新聞(74-08-23 夕刊).
- Z07 090 ε74 「創造性について — 同定と結合」
創造の世界, 第16号, 4-23 (74-10-).
改題 「創造性について — 同定と混沌」
[『外的世界と内的世界』, 86-130. ④ 198-233.]
- Z07 100 ε74 「歌舞伎の楽しさ」
南座宣伝部編『当る卯歳吉例顔見世興行』
(松竹株式会社演劇興行部, 74-11-23), 18.
[『外的世界と内的世界』, 273-274.]
- Z07 110 ε74 「夕椿」(和歌十二首)
心(74-11-), 326-327.
- Z07 120 ε74 「一人の「世界」みんなの「世界」」
朝日新聞(74-).
[『この地球に生まれあわせて』, 165-169.]
- Z07 010 ε75 「創造性育てる世界」
朝日新聞(75-01-01).
アンケート「日本の針路 昭和50年代をどう築く」.

E

1975

- Z07 020 E75 「虫とのつきあい」
インセクトarium 12/1, 2 (75-01-).
- Z07 030 E75 「日本と日本人 — 真の平和への道 —」
信濃毎日新聞 (75-01-26).
- Z07 040 E75 「不思議な町」
中央公論 (75-02-), 242.
[『外的世界と内的世界』, 186-189. ⑥ 144-147.]
- Z07 050 E75 「やまびこ」
中央公論 (75-03-), 226.
[『外的世界と内的世界』, 190-192. ⑥ 147-149.]
- Z07 060 E75 「菊池正士博士の追憶」
科学 45/3, 184-185 (75-03-).
[『外的世界と内的世界』, 296-301. ⑦ 150-154.]
- Z07 070 E75 「真理と幸福」
日本生産性本部「日本のトップを囲む会」講話 (73-12-).
日本生産性本部編 JPC 選書『生きるということ 七人七話』
(日本生産性本部, 75-03-), 139-170.
- Z07 080 E75 「姫神山」
中央公論 (75-04-), 250.
[『外的世界と内的世界』 193-196.]
- Z07 090 E75 「むくげの花」
中央公論 (73-05-), 242.
[『外的世界と内的世界』, 197-200. ⑦ 79-80.]
- Z07 100 E75 「江戸時代の科学者」
太陽 75年6月号, No.145 (75-05-).
[『外的世界と内的世界』, 154-159. ① 302-306.]
- Z07 110 E75 「大文字」
中央公論 (75-06-), 216.
[『外的世界と内的世界』, 201-203. ⑦ 82-84.]
- Z07 120 E75 「長年の疑問」
アニメ 3/5, 2-3 (75-06-).
[『外的世界と内的世界』, 180-185. ① 323-327.]
- Z07 130 E75 「パグウオッシュ会議を目前にして」
朝日新聞 (75-08-26).
[『外的世界と内的世界』, 83-85. ⑤ 333-335.]
- Z07 140 E75 「核廃絶への道を求めて」
第二十五回パグウオッシュシンポジウム開会講演 (75-08-28).
世界 (75-12-).
[『核軍縮への新しい構想』(岩波書店, 77-08-), 1-4. ⑤ 336-338.]

1975-79

ε

- Z07 150 ε75 「核軍縮についての基本的な考え方
— パグウォッシュ運動の方向づけ —」
世界 (75-12-), 81.
[『核軍縮への新しい構想』, 6-15. ⑤ 339-346.]
- Z07 160 ε75 「核抑止を超えて — 湯川・朝永宣言」 [75-09-01]
世界 (75-12-).
[『核軍縮への新しい構想』, 341-344.]
- Z07 010 ε76 「一日生きることは」
市民しんぶん, 第243号 (76-01-).
[Z07 060 ε71 の改題と同じ題名だが簡略化され, 成人式はなむけの言葉に改変.]
- Z07 020 ε76 「二つのできごと — 一九七五年」
創造の世界, 第21号 (76-03-).
[創造の世界 第40号 (81-11-).]
- Z07 030 ε76 「和歌について」
潮音舎主催(追手門学院小学校・同PTA 協賛) 青少年文化研修道場,
月刊『禅』20周年記念大阪大会講演 (75-05-10).
禅 252集, 9-21 (潮音舎, 76-04-).
[『外的世界と内的世界』, 215-236. ⑦ 252-272.]
- Z07 040 ε76 「私と科学」
はあと 6/7, 8-11 (第一勧業銀行広報室, 76-10-).
- Z07 010 ε77 「人類の健康」
MESSODOS(メソドス) 第31号, 4-5 (中道学会, 77-01-).
- Z07 010 ε78 「石野又吉先生の想出」
『石野又吉博士の業績と回想』 (78-09-), 67-68.
- Z07 010 ε79 「朝永氏の死を悼む」
中部日本新聞 (79-07-09).
- Z07 020 ε79 「若い世代への継承を切望する」
広島市・長崎市原爆災害誌編集委員会編『広島・長崎の原爆災害』
(岩波書店, 79-07-) の刊行広告.

D

1970s Dialogues

- Z07 010 D70 「現代学問論」
武谷三男・坂田昌一(紙上参加). 司会 河合 武.
毎日新聞(70-01-06より連載34回).
[毎日新聞社篇「現代学問論」(勁草書房, 70-12-).]
- Z07 020 D70 「知識と知恵の差」
梅原 猛・田中美知太郎.
潮(70-01-).
[「現代日本を考える」梅原猛全対話4(集英社, 84-09-).]
- Z07 030 D70 「科学と人間と」
梅原 猛.
読売新聞(70-03-23).
[「半日閑談集」(講談社, 71-02-), 301-309; (講談社文庫 C131, 80-12-), 297-307. 「科学者と考える」梅原猛全対話1(集英社, 84-06-).]
- Z07 040 D70 「科学と人間の未来」
芦田譲治・渡辺 格・大川節夫.
みすず(70-04-, 70-05-).
[「逆説としての現代」(みすず書房, 70-06-).
「科学と人間のゆくえ」(講談社, 73-03-), 135-219; (講談社文庫 C132, 81-01-), 145-229.]
- Z07 050 D70 「古代史の周辺」
上田正昭(70-07-09).
「科学と人間のゆくえ」, 221-268; 文庫版, 231-278.
- Z07 060 D70 「科学と文化」
梅棹忠夫. 司会 原 清(朝日放送副社長).
放送朝日(70-10-), 8-27.
[原 清篇「ヒトは救われるか、未来社会考」(ペリかん社, 71-04-), 155-184. 「科学と人間のゆくえ」, 331-361; 文庫版, 341-371.]
- Z07 070 D70 「科学の価値観と生命の尊厳」
江上不二夫.
潮(70-10-).
改題 「科学と価値」.
[「科学と人間のゆくえ」, 269-290; 文庫版, 279-300. ㊦ 201-217.]
- Z07 010 D71 「幼児の精神発達と創造性」
市川亀久弥.
創造の世界(71-04-).
[「科学と人間のゆくえ」, 291-329; 文庫版, 301-339.]

1971



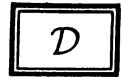
- Z07 020 D71 「植物的世界観」
北村四郎.
NHK-TV(71-04-).
[『人間の発見』, 7-27 ; 講談社文庫 C133 (81-02-), 7-33.]
- Z07 030 D71 「分割の果て」
渡辺 格.
NHK-TV(71-05-).
[『人間の発見』, 29-53 ; 文庫版 , 35-65.]
- Z07 040 D71 「物理の世界 数理の世界」
北川敏男.
『物理の世界 数理の世界』(中公新書 250, 71-05-).
- Z07 050 D71 「荘子の世界」
宮地伝三郎・福永光司.
NHK-TV(71-06-).
[『人間の発見』, 55-78 ; 文庫版, 67-98.]
- Z07 060 D71 「人間の再発見」
梅原 猛・市川亀久弥 (70-06-, 3 回の鼎談).
『人間の再発見』(角川書店, 71-06-).
- Z07 070 D71 「休みの思想」
作田啓一・多田道太郎.
NHK-TV(71-07-).
[『人間の発見』, 79-99 ; 文庫版, 99-124.]
- Z07 080 D71 「プロGRESSの25年を回顧して」
井上 健・小林 稔・小谷正雄・寺本 英. 司会 牧 二郎
物理学会誌 26/7, 512 (71-07-).
- Z07 090 D71 「おそれ」
なだいなだ.
NHK-TV(71-08-).
[『人間の発見』, 101-121 ; 文庫版 , 125-151.]
- Z07 100 D71 「歴史の中の人間」
司馬遼太郎・上田正昭.
NHK-TV(71-09-).
[『人間の発見』, 123-146 ; 文庫版, 153-183.]
- Z07 110 D71 「自然の中の人間」
源 豊宗. 吉田光邦.
NHK-TV(71-10-).
[『人間の発見』, 147-172 ; 文庫版, 185-218.]
- Z07 120 D71 「天才論(1) 弘法大師」
市川亀久弥(71-04-21).

1971-72



- 創造の世界 第4号(71-10-).
- 改題 「弘法大師」
 [『天才の世界』100万人の創造選書(後に小学館創造選書)6,
 (小学館, 73-04-), 9-62; 知的生き方文庫(三笠書房, 85-09-).]
- Z07 130 D71 「西行の世界」
 五来 重.
 NHK-TV(71-11-).
 [『人間の発見』, 173-198; 文庫版, 219-254.]
- Z07 140 D71 「情」
 水上 勉.
 NHK-TV(71-12-).
 『人間の発見』, 199-217; 文庫版, 255-278.
- Z07 150 D71 「指標とは何か」
 作田啓三・武井満男.
 学際第12号(71-12-15), 4-32.
- Z07 010 D72 「天才論(2) 石川啄木」
 市川亀久弥(71-07-28).
 創造の世界 第5号(72-01-).
- 改題 「石川啄木」.
 [『天才の世界』, 63-124; 知的生き方文庫(三笠書房, 85-09-).]
- Z07 020 D72 「メルヘンの世界」
 庄野英二・森本哲郎.
 NHK-TV(72-01-).
 [『人間の発見』, 219-241; 文庫版, 279-306.]
- Z07 030 D72 「進歩の思想について」
 桑原武夫.
 潮(72-01-).
 [『科学と人間のゆくえ』, 363-385; 文庫版, 373-395.
 ㊦ 219-235.]
- Z07 040 D72 「対談」
 朝永振一郎. 司会 山崎文男.
 アイソトープニュース(72-01-).
 NKZ No.10(仁科記念財団, 72-), 24-32.
- 改題 「よもやま話」.
 [『科学と人間のゆくえ』, 387-404; 文庫版, 397-414.]
- Z07 050 D72 「アインシュタインの横顔」
 内山竜雄・谷川安孝・井上 健.
 『アインシュタイン選集3』(共立出版, 72-01-), 421-447.

1972



- Z07 060 D72 「無駄と減速」
市川亀久弥.
週刊現代(72-02-17).
[『科学と人間のゆくえ』, 405-417 ; 文庫版, 415-427.]
- Z07 070 D72 「人間教育と放送」
西本三十二(帝塚山学院大学学長).
第21回近畿地区放送教育研究大会全体会(京都会館, 71-11-06).
放送教育(72-02-), 18-25.
[『多様化社会と放送』放送利用シリーズ No.3
(NHK 近畿本部, 72-03-), 57-69.]
- Z07 080 D72 「生きがい」
市川亀久弥.
NHK-TV(72-02-).
[『人間の発見』, 243-265 ; 文庫版, 307-334.]
- Z07 090 D72 「心の遍歴」
市川亀久弥.
NHK-TV(72-03-).
[『人間の発見』, 267-287 ; 文庫版, 335-360.]
- Z07 100 D72 「天才論(3) ゴーゴリ」
市川亀久弥(71-12-01).
創造の世界 第6号(72-04-).
改題 「ゴーゴリ」.
[『天才の世界』, 125-196 ; 知的生き方文庫(三笠書房, 85-09-).]
- Z07 110 D72 「科学と芸術」
加藤周一.
図書(72-04-), 2-28.
[『科学と人間のゆくえ』, 419-462 ; 文庫版, 429-472.
図 237-269.]
- Z07 120 D72 「地球・人類の未来のために」
大来佐武郎.
中部日本新聞(72-05-04).
[『科学と人間のゆくえ』, 463-471 ; 文庫版, 473-481.]
- Z07 130 D72 「天才論(4) ニュートン」
市川亀久弥(71-12-01).
創造の世界 第8号, 118-153(72-10-).
改題 「ニュートン」.
[『天才の世界』, 197-271 ; 知的生き方文庫(三笠書房, 85-09-).]

1972-73



- Z07 140 D72 「人間のおもしろさ」
梅原 猛.
『自己発見』(毎日新聞社, 72-10-), 303-326; (講談社文庫版は収録しない).
[『考える愉しさ』梅原猛対談集 (新潮社, 75-01-), 31-53.
『科学者と考える』梅原猛全対話 1 (集英社, 84-06-). ㊦ 271-297.]
- Z07 150 D72 「神宮と神社について」
上田正昭・金 達寿・司馬遼太郎.
日本のなかの朝鮮文化 第5(?)号.
[『日本の朝鮮文化』(中央公論社, 72-11-); (中公文庫 M175, 82-03-), 169-210.]
- Z07 160 D72 「仏教文化の伝来」
上田正昭・梅原 猛・司馬遼太郎.
日本のなかの朝鮮文化 第6(?)号.
[『日本の朝鮮文化』, 中公文庫版, 211-250.]
- Z07 010 D73 「幼児の世界を考える」
インタビュー(この人と一時間 第10回).
幼児と保育(小学館, 73-01-), 20-23.
- Z07 020 D73 「天才論(5) アインシュタイン」
市川亀久弥(73-02-01).
創造の世界 第9号(73-02-).
改題 「アインシュタイン」.
[『続天才の世界』100万人の創造選書(小学館創造選書)13
(小学館, 75-04-), 7-98 ; 知的生き方文庫(三笠書房, 85-12-).]
- Z07 030 D73 「天才論(6) 宗達・光琳」
市川亀久弥(73-02-01).
創造の世界 第11号(73-07-).
改題 「宗達・光琳」.
[『続天才の世界』, 99-173 ; 知的生き方文庫(三笠書房, 85-12-).]
- Z07 040 D73 「まとめるといふこと」
渡辺 慧.
図書(73-08-), 2-25.
[㊦ 299-329.]
- Z07 050 D73 「人間は何処へゆけばよいか」
渡辺 格.
中央公論(73-09-), 128-139.
- Z07 060 D73 「科学を人間の手に取りもどそう」
大川節夫(朝日新聞社・学芸部).
朝日新聞(73-10-14).

1973-75



- Z07 070 D73 「湯川秀樹先生を訪ねて」
 駒場東邦高校文芸部員 麻生雅久・工藤敏久・安土達夫 (73-05-26).
 山なみ 第15号(駒場東邦雑誌文芸部, 73-09-), 59-77.
- Z07 080 D73 「科学と文明を考える」
 森本哲郎.
 月刊ペン(73-11-), 36-51.
- Z07 010 D74 「天才論(7) 世阿弥」
 市川亀久弥.
 創造の世界 第13号(74-02-).
 改題 「世阿弥」.
 [『続天才の世界』, 175-300 ; 知的生き方文庫(三笠書房, 85-12-).]
- Z07 020 D74 「創造の条件」
 扇谷正造(東京・福田家, 74-01-12).
 放送文化 29/3, 58-65 (74-03-).
 [『人生学ぶこととし 扇谷正造対談集 — マイクはなれて』
 (産業能率短期大学出版部, 74-05-), 285-311.]
- Z07 030 D74 「先輩後輩」
 江崎玲於奈.
 ♣().
 [『創造性への対話 江崎玲於奈対談集』(自然選書 中央公論社, 74-10-).]
- Z07 040 D74 「同定の機能と構造」
 園原太郎・市川亀久弥・作田啓一・河合隼雄.
 創造の世界 第16号(74-10-), 24-39.
- Z07 050 D74 「夢の再構成 — 創造論への手がかり」
 園原太郎・市川亀久弥・作田啓一・梅原 猛・河合隼雄.
 創造の世界 第16号(74-10-), 54-67.
- Z07 060 D74 「エネルギー問題と熱汚染」
 市川亀久弥・藤野良幸・宇尾光治・坂本賢三・石川清幹.
 創造の世界 第16号(74-10-), 86-101.
- Z07 070 D74 「環境問題と科学のあり方」
 アルフ・ヨンネルス・ポー・ホルムステッド・トールステン・
 ハッセルロット・市川亀久弥・藤原邦達.
 創造の世界 第16号(74-10-), 102-117.
- Z07 010 D75 「'昭和の50年'を考える」
 江藤 淳.
 週刊現代(75-01-09), 48-59.

1975-79

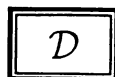
D

- Z07 020 D75 「天才論(8) 荘子」
市川亀久弥.
創造の世界 第17号(75-02-).
改題 「荘子」.
[『続々天才の世界』(小学館創造選書 28, 79-08-), 8-92 ;
知的生き方文庫(三笠書房, 86-06-).]
- Z07 030 D75 「天才論(9) ウィーナー」
市川亀久弥.
創造の世界 第18号(75-05-).
改題 「ウィーナー」.
[『続々天才の世界』, 94-154 ; 知的生き方文庫(三笠書房, 86-06-).]
- Z07 010 D76 「天才論(10) エジソン」
市川亀久弥.
創造の世界 第22号(76-07-).
改題 「エジソン」.
[『続々天才の世界』, 156-225 ; 知的生き方文庫(三笠書房, 86-06-).]
- Z07 010 D79 「戦後日本の逆説」
江藤 淳.
♣().
[『日付のある対話』江藤淳対話集(北洋社, 79-01-).]

ε

1980s Essays

- Z08 010 ε80 「The Absolute Evil」
The message to the 30th Conference on Science and World Affairs
(Breukelen, Netherland, 80-08-20~25).
Bulletin of the Atomic Scientists (81-01-), 37.
邦文 「第三〇回バグオッシュ会議に寄せる
—「ラッセル・アインシュタイン宣言」二五周年にあたって—」
世界 (80-10-).
[5] 347-349.]
- Z08 010 ε81 「平和への願い」
本の窓 81年夏号 (小学館, 81-06-17).
[5] 300-301.]
- Z08 020 ε81 「旅と本」
[非公表の7枚の覚え書き.]



1980s Dialogues

- Z08 010 D81 「思想・科学・人類の将来」
小松左京.
毎日新聞 (81-01-01), 11 面.
- Z08 020 D81 「生命操作と人間の未来」
渡辺 格.
毎日新聞 (81-01-01), 46-47 面.
- Z08 010 D82 「二人が学生だったころ」
朝永振一郎. 聞き手: 豊田利幸 (74-02-11, 東京・銀座浜作).
図書 (82-09-), 2-15 ; (82-10-), 55-63.
[図 331-361.]

YHAL コード番号配分表

Appendix A

E

(E1 - E31.)
[cf. 「P-E」, 「U-E」 対照表.]

F

F1 - F49 論文・講演原稿 (F01 - F16.)
F50 - F100 大学研究所関係 (F50, F51, F52RO1.)
F101 - F150 PTP 関係
F151 - F200 Pugwash-, 京都- 会議関係

N

N1 - N20 研究室日誌 **D** (D1 - D16.) ; (N17)
N21 - N40 USA ノート (N21 - N33.)
N41 - N70 講義ノート
N71 - N150 研究会ノート (素粒子. N71 - N100.)
N151 - N200 研究会ノート (核融合・天体・原子力. N151.)
N201 - N220 学生時代ノート
N221 - N*** 雑

Z

Z01 M01-3	湯川財団	Z11	?	Z21	?
Z02 X**	湯川記念館	Z12	?	Z22	?
Z03 A(D,E,T)3*	30s Articles	Z13 C3*	30s 書簡	Z23	30s (p)re-prints
Z04 A(D,E,T)4*	40s (Dialogues)	Z14 C4*	40s 書簡	Z24	40s (p)re-prints
Z05 A(D,E,T)5*	50s (Essays)	Z15 C5*	50s 書簡	Z25	50s (p)re-prints
Z06 A(D,E,T)6*	60s (Talks)	Z16 C6*	60s 書簡	Z26	60s (p)re-prints
Z07 A(D,E,T)7*	70s	Z17 C7*	70s 書簡	Z27	70s (p)re-prints
Z08 A(E,T)8*	80s	Z18 C8*	80s 書簡	Z28	80s (p)re-prints
Z09 P50	素領域理論	Z19	?	Z29	?
Z10	?	Z20	?	Z30	?

(? 未定)

- A** A♡◇ cf. 「A♡◇ - A**」対照表
(♡◇ = 19♡◇)
- B** B♡◇
- C** C♡◇ abb. C**(年) **(月) **(日)
ex. E31 010 C55 → C55 04 05
- D** D01
...
D16
- D** D♡◇
- E** E♡◇
- L** L♡◇
- M**
M01 - M09 (M01 湯川記念財団, M02 読売湯川奨学金, M03 仁科記念財団.)
M10 - M19 (M10 理論物理学刊行会.)
M20 - M29 (M20 帝国 (日本) 学士院.)
- N** N♡◇
- P**
P01 - P52 (HYSW)ii, [(HYSW)=*Hideki Yukawa Scientific Works.*]
PII1 - PII4 (HYSW)-IIj.
PIII1- PIII5 (HYSW)-IIIk.
- R**
R01 - R29 基研研究会 (R01 混沌会記録.)
R30 - R49 PMSJ-, IPCR-, PSJ-年会分科会常会
R50 - R69 国際学会記録
R70 - 創造性研究会その他
- T**
T♡◇ abb. T**(年) **(月) **(日)
cf. 「T01, ... T25 - T** ** **」対照表
ex. N151 113 (T58) → T58 02 14.
- U** U01
...
U06
- X** X♡◇ ex. F50 010 X46.
ex. Z02 010 X64.

湯川秀樹主要著書

Appendix B

文庫化	刊行	書名	刊行	専門書名
			36-6-	「ベーター線放射能の理論」 (岩波)
77 講	39-7-	「最近の物質観」(弘文堂)		
	42-2-	「極微の世界」(岩波)	42-11-	「原子核及び宇宙線の理論」 (岩波)
	43-7-	「存在の理法」(岩波)		
	44-4-	「物理学に志して」(養徳社)		
76 講	46-3-	「目に見えないもの」(甲文社)		
	46-7-	「理論物理学講話」(朝日)		
	47-2-	「自然と理性」(秋田屋)	47-2-	「量子力学序説」(弘文堂)
	48-5-	「科学と人間性」(国立書院)	48-5-	「素粒子論序説」(岩波)
	-8-	「物質観と世界観」(弘文堂)	48-11-	「思考と観測」 (アカデメイア・プレス)
	-12-	「原子と人間」(甲文社)		
	49-11-	「統理論物理学講話」(朝日)		
	51-3-	「真理の場に立ちて」(毎日) (「素粒子の探求 - " -」(65-勁草))		
(65)	54-6-	「しばしの幸」(読売)	55-2-	「量子力学(上)」(岩波講座)
	55-1,5,8,	「湯川秀樹選集」	-12-	「量子力学(下)」(岩波講座)
	11-,56-6-	(甲鳥書林, 5巻)		
60 角	58-11-	「旅人」(朝日)(66-講談社)	59-5-	「新粒子論」(岩波講座)
	[61-05-]	[「物理学者の眼」(学生社)]		
	61-10-	「現代科学と人間」(岩波)		
	63-1-	「平和時代を創造するために」(岩波)		
	-7-	「本の中の世界」(岩波)		
	66-5-	「創造的人間」(筑摩)		
71 講	68-1-	「創造への飛躍」(講談社,69-定本)		
	-8-	「核時代を超える」(岩波)		
(76)	69-10-	「心ゆたかに」(筑摩)(76-叢書)		
	[69-11-]	[「随想全集 9」(尚学図書)]		
	70-4-	「学問の世界」(岩波)		
	70-6-	「現代の科学 II」(中公)		
81 講	71-2-	「半日閑談集」(講談社)		
	-3,5,6-	「自選集 I-V」(朝日)		
	-8-	「深山木」(私家本)		
79 講	72-10-	「自己発見」(毎日)		岩波講座
81 講	73-3-	「科学と人間のゆくえ」(講談社)	73-3-	「現代物理学の基礎 2」
85 三笠	73-4-	「天才の世界」(小学館)		
	-9-	「現代の科学 I」(中公)		
	74-7-	「宇宙と人間・七つのなぞ」(筑摩)	74-12-	「現代物理学の基礎 10」
	75-1-	「この地球に生まれあわせて」(講)	75-3-	「現代物理学の基礎 1」
85 三笠	-4-	「続天才の世界」(小学館)	-4-	「物理講義」(講談社) (77-文庫本)
81 講	76-1-	「人間の発見」(講談社)		
	-12-	「外的世界と内的世界」(岩波)	78-1,5-	「現代物理学の基礎 3,4」
86 三笠	79-8-	「続々天才の世界」(小学館)		

Creativity and Intuition, transl. by J.Bester (Kodansha International, 73-).

Hideki Yukawa Scientific Works, edited by Y.Tanikawa (Iwanami Shoten, 79-3-).

『湯川秀樹著作集』1-9(岩波書店, 89-), 10・別巻(90-).

限定詞 Ⅳ 新旧対照

Appendix C

F01 020 T01	T33 10 24(?)
F01 030 T02	T34 04 04
F01 040 T03	T34 ?
F01 050 T04	T33 10 24
F01 060 T05	T35 12 18
F01 070 T06	T35 12 19
F01 080 T07	T35 12 19
F01 090 T08	T35 10 26
F01 100 T09	T35 11 07
F01 110 T10	T35 09 21
F01 120 T01	T35 07 06a
F01 130 T12	T35 07 06b
F01 140 T13	T35 05 11
F01 150 T14	T35 ?? ??
F01 160 T15	T35 04 12
F01 170 T16	T34 11 24
F01 180 T17	T34 11 05
F01 190 T18	T34 ?? ??
F01 200 T19	T35 01 31
F01 210 T19	T35 01 31
F01 020 T20	T35 02 18
F01 230 T21	T34 09 15
F01 240 T22	T34 05 20
F01 250 T23	T34 ?? ??
F01 260 T24	T34 ?? ??
E15 *** T25	T39 04 03

* 旧コード限定詞 T は、T25 までしか使われていない。

YHAL Resources VII 訂正

1. Z04 070 ㊦42, Z04 060 ㊦43 の各項は以下で置き換える.

Z04 070 ㊦42 「物質とエネルギー」

♣ (42-05-).

[『物理学に志して』, 31-54.]

改題 「エネルギーの源泉」

♣ (42-09- [?]). 追記 (45-12-).

[『目に見えないもの』, 23-65.]

[『目に見えないもの』に収録する際, 第一節の一部を削り第二節と合一して新第四節, 原第三節は新第五節とし, Z04 060 ㊦43 「物質と力」(第四節「戦争と物理学」を削除)に続けて, 改題の一篇とする. このとき初出を(42-09-)とするが, 本項初出(42-05-)の誤記かと思われる. 手稿には文初(42-05-)と文末(42-09-)に異なる日付が記されている.]

Z04 060 ㊦43 「物質と力」

♣ (43-06-).

[『戦時市民科学読本』(神戸市教育局教導課編, 43-10-). 1-11.

『物理学に志して』, 3-31.]

改題 「エネルギーの源泉」

[cf. Z04 070 ㊦42.]

2. Z04 080 ㊦43 「半生の記」 の第二行を次のように変更する.

♣ (43-12-) → ♣ (41-11-). 追記 (43-12-).

放 談 室

YHAL RESOURCES

HIDEKI YUKAWA (VII)
(continued)

AUGUST 1997

Edited by

THE COMMITTEE FOR YUKAWA HALL ARCHIVAL LIBRARY

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室

Hideki Yukawa Scientific Papers

㊦ Scientific Papers の番号付けは、*Hideki Yukawa Scientific Works*, 岩波書店, 1979 (HYSW) の論文番号と同じにする。すなわち

$$P_{ij} \equiv I-ij \equiv \text{IYSW-I-}ij \equiv \text{IYSW-Part I-No.}ij \\ (i, j = 0, 1, 2, \dots).$$

同書 Part II, III についても

$$\text{PII}k \equiv \text{HYSW-II-}k, \quad \text{PIII}l \equiv \text{HYSW-III-}l$$

をコード番号の限定詞として用いる。

各 P_{ij} 内の記述は、

論文名 / [共著者名] / 雑誌名 / read / received / 手稿計算 (MS)・邦訳・その他コメント / の順とする。

read 欄には、論文中に口頭発表の日時が記載されているものについて、講演場所と参照ファイルを挙げる。

YHAL[...] は湯川記念館史料室所蔵文書である。

㊦ 公刊されなかった論文原稿には限定詞 U_{ij} を与える。

略記

日本数学物理学会を数物学会, 日本数学物理学会誌を数物会誌, 日本数学物理学会記事を数物記事 と書く。(数物会誌「講演アブストラクト」は数物年会の予稿集で、学会席上の変更取消は数物記事に記載されている。)

日本物理学会は単に物理学会, 日本物理学会誌を物理学会誌, とする。

1935年 28歳

- P01** 「On the Interaction of Elementary Particles. I.」
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 17, 48-57 (1935).
read 34-11-17. 数物学会 11月常会 (東京帝大理学部物理学教室 127号室)
講演 7. [Z03 020 T34].
received 34-11-30.
MS: YHAL[E01 P01; F02 010,020,030,040 P01; F02 110,120 P01.]_{R(I)}.
邦訳 片山泰久訳「素粒子の相互作用について I.」B71 05 31(『自薦集 II』),
261-276. 大野陽朗監修 B77 06 25(『近代科学の源流 物理学 III』).
- P02** 「On the Theory of Internal Pair Production.」
[Shoichi Sakata]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 17, 397-407 (1935).
read 35-07-09. [35-07-06?]. 数物学会大阪支部第2回常会 (大阪帝大理学部
三階大講義室) 講演 4. [Z03 020 T35].
本論文 397頁脚注(1)の July 9 は July 6 の誤植であろう。数物学会大阪支部
会則では常会は土曜日の午後開催が原則であった。数物記事 17/8, XL(1935) は
6日開催と読める。
received 35-08-22.
MS: YHAL[E18 P02]_{R(V)}.
- P03** 「On the Theory of the β -Disintegration and the Allied Phenomenon.」
[Shoichi Sakata]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 17, 467-479 (1935).
read 35-07-06. 数物学会大阪支部第2回常会 講演 5. [Z03 030 T35].
received 35-09-05.
MS: YHAL[E19 P03]_{R(V)}.
- 1936年 29歳
- P04** 「Supplement to "On the Theory of the β -Disintegration and
the Allied Phenomenon".」
[Shoichi Sakata]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 18, 128-130 (1936).
received 35-12-26.
MS: YHAL[E20 P04]_{R(V)}.
- P05** 「Theory of Disintegration of the Nucleus by Neutron Impact.」
[Yukihiko Miyagawa]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 18, 157-166 (1936).
read 35-09-28. 数物学会大阪支部第3回常会 講演 7. [Z03 040 T35].
received 36-02-28.
MS: YHAL[E21 P05]_{R(V)}.
- P06** 「Elementary Calculations on the Slowing Down of Neutrons by a Thin
Plate.」
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 18, 507-518 (1936).
read 36-07-04. 数物学会大阪支部第8回常会 講演 12. [Z03 030 T36].
received 36-07-20.
MS: YHAL[E22 P06]_{R(V)}.

P

1937年 30歳

- P07** 「Note on Dirac's Generalized Wave Equations.」
[Shoichi Sakata]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 19, 91-95 (1937).
read 36-09-26. 数物学会大阪支部第9回常会講演 4. [Z03 040 T36]
received 36-10-08.
MS: YHAL[E17 P07]_{R(III)}.
- P08** 「On the Efficiency of the γ -Ray Counter.」
[Shoichi Sakata]
Scientific Papers of IPCR 31, 187-194 (1937).
[read 37-01-23]. 数物学会大阪支部第11回常会講演 4. YHAL[Z03 010 T37].
received 37-01-30.
MS: YHAL[E23 P08]_{R(V)}.
- P09** 「On the Nuclear Transformation with the Absorption of the Orbital Electron.」
[Shoichi Sakata]
Phys. Rev. 51/8, 677-678(L) (37-04-15).
received 37-02-18.
MS: YHAL[E09 P09]_{R(III)}.
- P10** 「On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons.」
[Shoichi Sakata]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 19, 542-551 (1937).
read 37-03-13. 数物学会大阪支部第12回常会講演 12. [Z03 020 T37].
received 37-04-07.
MS: YHAL[E24 P10]_{R(V)}.
- P11** 「On a Possible Interpretation of the Penetrating Component of the Cosmic Ray.」
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 19(1937), 712-713(SN).
received 37-07-05.
- P12** 「On the Interaction of Elementary Particles. II.」
[Shoichi Sakata]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 19, 1084-1093 (1937).
read 37-09-25. 数物学会大阪支部第14回常会講演 8. [Z03 040 T37].
received 37-11-10.
MS: YHAL[E02 P12. F02 050 P12. F03 090,100,101,102,103,104,105 P12.]_{R(I)}.
[研究抄録: 科学 8, 158-159 (1938).]

1938年 31歳

- P13** 「On the Interaction of Elementary Particles. III.」
[Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan 20, 319-340 (1938).
read 37-09-25. P12, l.c.
手書き原稿 E02 130 P12 では read 36-11-28, タイプ原稿 E02 140 P12 で read 37-09-25
になる. cf. E02 060,080 P12.

P

read 37-09-25. 数物学会京都支部第14回常会(京都帝大理学部数学教室)講演3.
武谷三男, 「Neutron-Proton 間の相互作用と其の磁気能率に就て」.
数物記事 19/11, XLVII. YHAL[E02 120 P13].
read 38-01-22. 数物学会大阪支部第16回常会講演3. [Z03 010 T38].
received 38-03-15.
MS: YHAL[E03 P13. E02 120 P13. E02 121 P13/P14.]_{R(I)}.

- P14** 「On the Interaction of Elementary Particles. IV.」
[Shoichi Sakata, Minoru Kobayasi and Mitsuo Taketani]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan **20**, 720-745 (1938).
read 38-05-28. 数物学会大阪支部第18回常会講演2.
「素粒子の相互作用(続)」. [Z03 030 T38. E04 070 P14].
A. Nuclear Forces (10分 湯川秀樹).
B. β -Disintegration (15分 坂田昌一).
C. U-粒子の発生及び勢力損失 (15分 小林 稔).
D. Nuclear Magnetic Moment (10分 武谷三男).
received 38-08-02.
MS: YHAL[E04 P14] _{R(I)}. [研究抄録: 科学 **8**, 535-536 (1938)].
1939年 32歳

- P15** 「The Mass and the Life-Time of the Mesotron.」
[Shoichi Sakata]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan **21**, 138-140(SN) (1939).
received 39-03-04.
MS: YHAL[E10 P15 and P16] _{R(III)}.

- P16** 「Mass and Mean Life-Time of the Meson.」
[Shoichi Sakata]
Nature **143**, 761-762(L) (39-05-06).
received 39-03-09.
MS: YHAL[E10 P15 and P16].

- P17** 「Note on the Absorption of Slow Mesotrons in Matter.」
[Taisuke Okayama]
Scientific Papers of IPCR **36**, 385-389 (1939).
received 39-08-31.
MS: YHAL[E11 P17] _{R(III)}.

1941年 34歳

- P18** 「On the Scattering of Mesons by Nuclear Particles」
Yasutaka Tanikawa]
Proc. Phys.-Math. Soc. Japan **23**, 445-454 (1941).
read 40-11-26[?!] : [40-11-30? 40-12-12?].
論文中には 'read Nov.26,1940' とあるが、この日には何等かの研究集会を確認できない。
考えられる候補は
T40 11 30 (Z04 050 T40) : 数物学会京都支部第32回常会講演3.
「Pseudoscalar Meson の理論について」[共著者:谷川安孝]
か、または

P

- T40 12 12(Z04 060 T40) 第38回理研学術講演会[理研彙報 20/1, 71 (1941)]
講演 95. 「重粒子による中間子の散乱その他」[共著者・講演者:谷川安孝]
であろう。「理論物理学研究室日記 III」(YHAL N03)の記述に従うと, 40-11-26(火)午後
湯川は京都帝大物理学教室の原子核談話会で, 40-10-29 に続き, Gamow の "Mr. Tompkins
in Wonderland" の紹介の第 2 回を行っている。40-11-30(土)の項には, 「15:00-16:30,
岡山医大にて文化講義 "極微の世界"」とある。40-12-11(水)に上京。40-12-13(金)まで
理研学術講演会に, 40-12-14(土)は理研研究員会議に出席している。
received 41-04-22.
MS: YHAL[F08 120,130]_{R(III)}.
- P19** 「Outline of the Meson Theory.」
Scientia 70, 97-102 (1941).
MS(?): YHAL[F08 140 P19].
- 1942 年 35 歳
- P20** 「Bemerkungen über die Natur des Mesotrons.」
ZS.f.Phys. 119/3 u.4, 201-215 (1942).
received 42-01-09.
MS(?): YHAL[F08 150,151,152]_{R(III)}.
- 1947 年 40 歳
- P21** 「An Attempt at the Theory of Elementary Particles.」
Prog. Theor. Phys. 2/2, 98-99(A) (47-3,4,5,6-).
read 46-11-23. 物理学会素粒子論分科会(京都帝大理学部)講演 17.
[Z04 010 T46].
- P22** 「On the Theory of Elementary Particles. I.」
Prog. Theor. Phys. 2/4, 209-215 (47-11,12-).
read 46-11-23 : P21, l.c.
read 47-03-01 : 物理学会関西三支部第 3 回連合例会(名古屋帝大理学部)講演 10.
YHAL[Z04 010 T47].
received 47-06-01.
- 1948 年 41 歳
- P23** 「Reciprocity in Generalized Field Theory.」
Prog. Theor. Phys. 3/2, 205-206(L) (48-04,05,06-).
received 48-05-31.
- P24** 「On the Nature of the Mesotron.」
Prog. Theor. Phys. 3/2, 217(A) (48-04,05,06-).
read 47-11-25. 物理学会素粒子論分科会(京都大学理学部物理学教室)講演 28.
YHAL[Z04 030 T47].
- P25** 「Possible Types of Nonlocalizable Fields.」
Prog. Theor. Phys. 3/4, 452-453(L) (48-10,11,12-).
read 48-05-23. 物理学会第 3 回年会(京都大学理学部)
第一会場(数学第四講義室)基礎理論及素粒子論講演 48.
「素粒子論の方法に就いて」。YHAL[Z04 010 T48].
received 48-11-29.

P

1949年 42歳

P26 「Models and Methods in the Meson Theory.」
 Rev. Mod. Phys. **21/3**, 474-479 (49-07-).
 read 49-01-28. Annual meeting of the American Physical Society
 (Columbia University).

邦訳 佐々木宗雄訳「中間子論の模型と方法」. 自然 **5**, 22-34(50-08-).

P27 「On the Radius of the Elementary Particle.」
 Phys. Rev. **76/2**, 300-301(L) (49-07-15).
 received 49-06-02.

1950年 43歳

P28 「Meson Theory in its Developments.」
Les Prix Nobel en 1949,
 Kungl. Boktr. P.A.Norstedt & Söner, Stockholm, 1950, 85-90.
 read 49-12-12. ノーベル賞講演(スウェーデン王立工業大学講堂).

再録 邦訳 B73 -- a(*Creativity and Intuition*), 158-166.
 中村誠太郎・福田 博・山口嘉夫訳「発展途上における中間子論」,
 科学 **20**, 434-438(50-10-). 小沼通二訳「発展途上の中間子論」,
 B78 10 05(『ノーベル賞講演 物理学 6』), 187-194.

P29 「Quantum Theory of Non-local Fields. Part I. Free Fields.」
 Phys. Rev. **77/2**, 219-226 (50-01-15).
 received 49-09-27.

邦訳 井上 健訳「非局所場の量子論 第一部(自由場)」.
 B52-01-10(『非局所場の理論』), 17-40.

P29-1 「Remarks on Non-local Spinor Field.」
 Phys. Rev. **76/11**, 1731(L) (49-12-01).
 received 49-10-18.
 LQ, 257-259. [HYSWはこのletterを収録していない]

P29-2 「S-matrix in Non-local Field Theory.」
 Phys. Rev. **77/6**, 849-850(L) (50-03-15).
 received 50-01-26.
 LQ, 260-261. [HYSWはこのletterを収録していない]

P30 「Quantum Theory of Non-local Fields. Part II. Irreducible Fields and
 their Interaction.」

Phys. Rev. **80/6**, 1047-1052(50-12-15).
 received 50-08-07.

邦訳 井上 健訳「非局所場の量子論 第二部 既約な場とそれらの相互作用」
 B52-01-10(『非局所場の理論』), 41-59.]

1951年 44歳

P31 「On the Difference between Local and Non-local Fields.」
 Prog. Theor. Phys. **6/1**, 133-134(L) (51-01,02-).
 received 51-02-07.

P

- P32** 「Mesons and Nuclear Forces.」
Transactions of New York Academy of Sciences **13**, 192-197 (1951).
read 51-03-06. The meeting of the Section, NYAS.
1953年 46歳
- P33** 「Structure and Mass Spectrum of Elementary Particles. I. General Consideration.」
Phys. Rev. **91/2**, 415-416(L) (53-07-15).
received 53-05-25.
- P34** 「Structure and Mass Spectrum of Elementary Particles. II. Oscillator Model.」
Phys. Rev. **91/2**, 416-417(L) (53-07-15).
received 53-05-25.
- P35** 「An Attempt at a Unified Theory of Elementary Particles.」
Proceedings of the International Conference of Theoretical Physics, Kyoto and Tokyo, 1958, 2-12.
read 53-09-18. 国際理論物理学会議, A 部会、場の理論(A) (京大基研).
1955年 48歳
- P36** 「Attempts at a Unified Theory of Elementary Particles.」
Science **121**, 405-408 (55-03-25).
read 53-07-02. 第3回ノーベル賞受賞者会議 (Lindau) 講演.
YHAL[Z01 010 T53]. B81 -- (*Nobelpreisträger Rundschau*), S.12.
邦訳 中村誠太郎・岡林孝郎訳「素粒子の統一的理論への試み」, 自然 **8/11**, 3-9 (53-11-).
1956年 49歳
- P37** 「Special Theory of Relativity and the Structure of Elementary Particles.」
Prog. Theor. Phys. **16/6**, 688-690 (Dec, 1956).
received 56-10-19.
1957年 50歳
- P38** 「Elementary Particles and Space-Time Structure.」
Annals of Japan Association for Philosophy of Science **1-2**, 91-100 (1957).
read 56-06-26. 第6回ノーベル賞受賞者会議 (Lindau) 講演.
B81 -- (*Nobelpreisträger-Rundschau*), S.12.
- P39** 「Introductory Remarks on Meson Theory.」
Rev. Mod. Phys. **29/2**, 213-215 (57-04-).
1958年 51歳
- P40** 「An Attempt at a Nonlinear Field Theory.」
Proceedings of 1958 Annual International Conference on High Energy Physics, CERN, 117-118.
read 58-07-01. 1958年国際高エネルギー物理学会議 (CERN),
Session 4. Fundamental Theoretical Ideas.

P

- P41** 「Theoria de campos」
De Chemia 17, 78-81 (1958),
read 58-08-06. Conferencia pronunciada en el Depto. de Fisica de la Fac.
de Ciencias Exactas y Naturales, Universita de Buenos Aires.
1959年 52歳
- P42** 「Introduction [to Non-Linear Field Theory].」
Prog. Theor. Phys. Suppl. No.9, 1-3 (1959).
1961年 54歳
- P43** 「Extensions and Modifications of Quantum Field Theory.」
*The Quantum Theory of Fields, Proceedings of the 12th Solvay Conference
on Physics, Bruzelles, 9-14 October 1961,*
Interscience Publishers and R.Stoops, 1963, 235-251.
read 61-10-13. 第12回 Solvay 会議, Bruxelles.
再録 素粒子論研究 24/4, 233-244 (61-12-).
1963年 56歳
- P44** 「An Approach to the Unified Theory of Elementary Particles.」
[Yasuhisa Katayama and Jean Pierre Vigier]
Prog. Theor. Phys. 29/3, 468-470(L) (63-03-).
received 63-01-16.
- P45** 「A Theory of Weak Interaction based on a Rotator Model.」
[Yasuhisa Katayama and Jean Pierre Vigier]
Prog. Theor. Phys. 29/3, 470-472(L) (63-03-).
received 63-01-16.
1964年 57歳
- P46** 「Internal Structure and Symmetry of Elementary Particles. I.」
Prog. Theor. Phys. 31/6, 1167-1169(L) (64-06-).
received 64-04-20.
- P47** 「Internal Structure and Symmetry of Elementary particles. II.」
[Yasuhisa Katayama]
Prog. Theor. Phys. 32/2, 366-368(L) (64-08-).
received 64-06-18.
1965年 58歳
- P48** 「Internal Structure and Symmetry of Elementary Particles. III.」
[Yasuhisa Katayama and Eiji Yamada]
Prog. Theor. Phys. 33/3, 541-543(L) (Mar, 1965).
received 64-12-23.
- P49** 「Space-Time Description of Elementary Particles.」
*Proceedings of the International Conference on Elementary Particles,
Kyoto, 24-30 September, 1965,* 139-158.
read 65-09-27. 中間子論30周年記念素粒子国際会議(京都都会館).
邦訳 井上 健訳「素粒子の時空的記述」
B68 01 24(「創造への飛躍」), 322-347.
B78 03 10(「量子物理学の展望 下」), 26.

P

1966年 59歳

P50 「Atomistics and the Divisibility of Space and Time.」
Prog. Theor. Phys. Suppl. Nos.37 and 38, 512-523 (1966).
received 66-08-30.

邦訳 井上 健訳「原子論と空間・時間の分割可能性」
B68 01 24(『創造への飛躍』), 348-369. B78 02 15(『自然に論理を読む』),
52-63.

1968年 61歳

P51 「Field Theory of Elementary Domains and Particles. I.」
[Yasuhisa Katayama]

Prog. Theor. Phys. Suppl. No.41, 1-21 (68-10-).

MS : YHAL[Z09 P51].

P52 「Field Theory of Elementary Domains and Particles. II.」
[Yasuhisa Katayama and Isao Umemura]

Prog. Theor. Phys. Suppl. No.41, 22-55 (68-10-).

Part II

- (PII1) 「 β 崩壊の理論とU粒子の寿命」
Z03 020 A38 [坂田昌一・谷川安孝]
科学 8/9, 360-361 (38-08-).
英訳 「A Theory of β -Decay and Life-Time of U Particle.」
HYSW-II-1, 381-383.
- (PII2) 「U粒子の寿命について」
Z03 030 A38 [坂田昌一・谷川安孝]
科学 8/10, 406 (38-10-).
英訳 「On the Life-Time of U Particle.」, HYSW-II-2, 384-385.
- (PII3) 「場の理論の基礎について, (I), (II), (III)
— 新粒子論第3編 —」
Z04 010 A42 科学 12/7, 249-255; 12/8, 282-286; 12/9,
322-326(42-07,08,09-).
統合 「場の理論の基礎について」
B43 07 15(『存在の理法』), 43-109. B68 01 24(『創造への飛躍』),
文庫版 252-306. [8], 233-274.
英訳 「On the Foundation of the Theory of Fields
— New Theory of Particles, Part 3 —」
HYSW-II-3, 386-414.
MS : YHAL[F15 010, 020, 030 II-3].
- (PII4) 「古典電気力学の基礎について, I.」
Z04 010 A47 物理学会誌 2/2, 65-70 (47-02-).
read 44-01-15, 数物学会第48回京都支部常会講演 3.
「古典電気力学の基礎について」. YHAL[F08 020 II-4].
read 44-07-15 数物学会第48回京都支部常会講演 1.
「古典電気力学の基礎について II」.
[谷川安孝・野間 進]
YHAL[N19 010 MP, N19 020 MT].
英訳 「On the Foundation of Classical Electrodynamics. I.」.
HYSW-II-4, 415-425.

Part III

- PIII1** 「Intuition and Abstraction in Scientific Thinking.」
Annals of the Japan Association for Philosophy of Science,
2/2, 94-97 (1962).
read 61-08-15~17. The 3rd Symposium on "Science and Modern
Civilization", Nikko, Japan.
- (PIII2)** 「逆旅「素粒子」」
Z06 010 A64 素粒子論研究 29/1, 51-55 (64-03-).
read 64-02-06. 素粒子の模型と構造研究会 講演(京大基研).
改題 「天地万物逆旅」
B68 01 24(『創造への飛躍』), 文庫版 370-374. [3] 24-28.
英訳 「The Wayside Inn for Wayfaring Elementary Particle」,
HYSW-III-2, 433-438.
- PIII3** 「Intuition and Abstraction in Scientific Thinking.」
Frontiers of Modern Scientific Philosophy and Humanism :
The Athens Meeting, 1964, Elsevier, 1966, 57-66.
read 64-06-05. The Hill of Pnyx, Athens.
再録 B73 -- a (*Creativity and Intuition*), 100-109.
邦訳 河辺六男訳「科学的思索における直観と抽象」.
科学 34/11, 574-595(64-11-).
B66 05 15(『創造的人間』), 228-239. [2] 147-157.
- PIII4** 「Creative Thinking in Science.」
Man and His World / Terre des Hommes : The Noranda Lecture
at Expo'67, University of Tronto Press, 1968 [B68 -- b],
327-333.
read 67-08-14. Montreal, Canada.
再録 B73 -- a (*Creativity and Intuition*), 110-122.
- PIII5** 「A Hundred Years of Science in Japan
—from a Pysicist's Point of View—」
Proceedings of the XIVth International Congress of the History of
Science, Tokyo and Kyoto, Aug.19-27, 1974, 3-15.
read 74-08-19. 第14回国際科学史会議招待講演(東京会場).
邦訳 河辺六男訳「日本の科学の100年 — 一物理学者の視点から—」
自然 30/1, 28-35(75-01-).
B76 12 20(『外的世界と内的世界』), 160-179. [1] 307-322.

U

- U01** 「核内電子の問題に対する一考察」(1939)
 YHAL[E05 080 U01]_{R(I)}.
 read 33-04-03. 数物学会昭和8年度年会(東北帝大理学部)講演54.(65.)
 [Z03 010 T33].
 [予稿講演番号は65.(数物会誌7/2, 131(1933));
 年会訂正は数物記事15/3, XII(1933).]
 MS : YHAL[E05 U01]_{R(I)}.
- U02** 「A Consistent Theory of the Nuclear Force and the β -Disintegration.」
 (1937)
 YHAL[E06 030 U02]_{R(I)}.
 [Proceedings of the Kyoto International Symposium: The Jubilee of
 the Meson Theory, Kyoto, Japan, 15-17 August 1985, Appendix
 (Prog. Theor. Phys. Suppl. No.85(1985), 308-309) に収録.]
 sent 37-01-18. submitted to the *Nature*, but was not approved.
 MS: YHAL[E06 U02]_{R(I)}.
- U03** 「Theory of Nuclear Spin.」(1929)
 YHAL[E07 010 U03, E07 020 U03]_{R(V)}.
 MS : YHAL[E07 U03]_{R(V)}.
- U04** 「Density Matrix in the Theory of Positron.」(1936)
 YHAL[E25 023 U04, E25 030,031 U04]_{R(V)}.
 read 36-04-04. 数物学会昭和11年度年会(東京帝大理学部)
 原子核及宇宙線討論会講演5.「軽粒子の理論に就て」[Z03 020 T36].
 [Cf. E08 100,110,120 U04.]
 sent 36-04-21. submitted to the *Phys. Rev.*, but not approved.
 [See the letter from John T.Tate to Yukawa dated 36-05-25(E25 021 U04).
 Cf. E25 022 U04, EDT 070.]
- U05** 「On the Theory of the New Particle in Cosmic Ray.」(1937)
 [Shoichi Sakata and Mitsuo Taketani]
 YHAL[E16 011 U05]_{R(III)}.
 [Proceedings of the Kyoto International Symposium: The Jubilee of
 the Meson Theory, Kyoto, Japan, 15-17 August, 1985, Appendix
 (Prog. Theor. Phys. Suppl. No.85(1985), 310-311) に収録.]
 sent 37-10-04. submitted to the *Phys. Rev.*, but not approved.
 [See the letter from J.W.Buchta to Yukawa of the date 37-12-02
 (E16 010 U05).]
- U06** 「Reduction of Nuclear Collision Problem.」(1936)
 YHAL[E25 104 U06]_{R(V)}.
 [Cf. E25 100 U06.]
 read 36-03-14. 数物学会第6回大阪支部常会講演1.
 「原子核衝突問題のReductionに就て」[Z03 010 T36].
 [Cf. E25 081 U06 MT.]
 MS : YHAL[E25 U06]_{R(V)}.

YHAL Abbreviation and Notations

BPMSJ	<i>Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan</i> [日本数学物理学会誌 (数物会誌)]
HYSW	<i>Hideki Yukawa Scientific Works</i> (Iwanami Shoten, Tokyo, 1979) supplemented version : 湯川秀樹著作集 10 (岩波書店, 1990)
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research (理化学研究所) (RIKEN (理研))
JPSJ	<i>Journal of Physical Society of Japan</i> [日本物理学会誌 (物理学会誌)]
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan [日本数学物理学会 (数物学会)]
PPMSJ	<i>Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan</i> [日本数学物理学会記事 (数物記事)]
PSJ	Physical Society of Japan [日本物理学会 (物理学会)]
SP-IPCR	<i>Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research</i>
AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper, essey, etc.
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MS	Manuscript in general
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
RP	Reprint
$a(+b)$	The figure a is the total number of leaves of manuscript, and $(+b)$ stands for the number of leaves on which both sides were used.
[]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation, or translation into English.

YHAL RESOURCES
HIDEKI YUKAWA (VIII)

OCTOBER 1998

Edited by
THE COMMITTEE FOR YUKAWA HALL ARCHIVAL LIBRARY

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室

YHAL Abbreviation and Notations

BPMSJ	<i>Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan</i> (日本数学物理学会誌)
HYSW	<i>Hideki Yukawa Scientific Works</i> (Iwanami Shoten, Tokyo, 1979) supplemented version : 湯川秀樹著作集 10 (岩波書店, 1990)
IPCR	Institute of Physical and Chemical Research (理化学研究所) (RIKEN (理研))
JPSJ	<i>Journal of Physical Society of Japan</i>
PMSJ	Physico-Mathematical Society of Japan
PPMSJ	<i>Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan</i>
PSJ	Physical Society of Japan
SP-IPCR	<i>Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research</i>
AT	Abstract of talk
CL	Calculation
DR	Draft of scientific paper, essey, etc.
LT	Letter
ME	Memorandum
MP	Manuscript of scientific paper
MT	Manuscript of talk
PC	Postcard
PG	Program of meeting
PS	Proof sheet
RP	Reprint
$a(+b)$	The figure a is the total number of leaves of manuscript, and ($+b$) stands for the number of leaves on which both sides were used.
[.]	The square bracket indicates the editor's addendum, annotation, or translation into English.

Z10 U07 京都帝國大学理学部物理学科卒業論文

	枚数
Fragment A 「卒業論文」	8.5'×11' 2(+1)
[目次(鉛筆書き)]	第1葉裏面
第一章 Schrödingerノ理論ノ概要	
§	
§	
§ Kepler Problem	
§ Two Center Problem	
§ Non-conservative System, Dispersion 理論	
§	
第二章	
第三章 Diracノ磁性電子論	
§	
§	
§	
第四章 Diracノ電子論ノ拡張	
第一章 Diracノ磁性電子論	第2葉
§1 点的 / 序文	
Fragment B § Broglieノ波ニツイテ	2(+1)
Fragment C [現象の物理学的認識の三構成要素(時空・実体・因果律), 等.]	3(+1)
Fragment D [Eq.(1)–Eq.(15') の部分欠 [Eq.(16)–Eq.(18'')]	11(+5)
§ 水素原子ノ問題へノ応用 [Eq.(19)–Eq.(25)]	第1~5葉 第6~11葉
Fragment E § 其ノ他ノ応用例 [Eq.(26)–Eq.(28)]	2
Fragment F	11
[二中心問題.]	第1~4葉
§ Solution of the wave equatiion	第5~11葉
Fragment G § Extension to nonconservative system	3(+1)
§ [同種粒子波動関数(未完)]	
Fragment H 「論文原稿」	18(+16)
§1 Three dimensional representation of many body problem	p.1 p.1
§2 Deduction of many dimensional equation	p.7
§3 Interpretation of symmetric and antisymmetric eigenfunction of the system with similar particles	p.9

	Helium Spectra and Broglie wave	p.10
	[多体問題].	ins(13,[14]) 藁半紙 3
	§4 Angeregte Zustand des Atoms	p.[14]
	Two Body Problem (Hydrogen atom)	p.[17]
	[計算: Hydrogen ノ問題].	ins([17],[18]) 藁半紙 4
	§ Dirac ノ理論ノ拡張	p.[19]
	[計算].	ins([31],[32])-1 藁半紙 3
	[計算].	ins([31],[32])-2 藁半紙 2
Fragment I	[Radiation と物質との相互作用の取扱]	2(+1)
Fragment J	[輻射と物質の相互作用の量子論]	藁半紙 5
Fragment K	[Dirac, the Quantum Theory of the Emission and Absorption of Radiation, PRS 114 243 抄録]	藁半紙 5
Fragment L	On the Polarization of Light-Quanta	3(+2)
	[§] Introduction	
	§1. Wave equations for a light-quantum in free space	
	§2. Light-quanta in the electromagnetic field	
Fragment M	[ME] Schrödinger Wellenmechanik	藁半紙 10
Fragment N	[ME] Methoden der Math. Physik	藁半紙 12
Fragment O	[論文筆写]	37(+36)
	Dirac, The Quantum Theory of the Electron, PRS 117 610(1928)	p.1
	Dirac, The Quantum Theory of the Electron. Part II, PRS 118 351(1928)	p.18.
	P.Jordan und O.Klein, Zum Mehrkörperproblem des Quantentheorie, ZSP 45 751	p.31.
	C.G.Darwin, The Wave Equations of the Electron, PRS 118 654(1928)	p.49.
Fragment P	[論文筆写]	12(+12)
	W.Gordon, Die Energieniveau des Wasserstoffatoms nach Diracschen Quantentheorie des Elektrons, ZSP 48 11.	p.1.
	W.Gordon, Über den Stoss zweier Punktladungen nach der Wellenmechanik, ZSP 48 180(1928)	p.5.
	W.Elsasser, Zur Theorie der Stossprozesse bei Wasserstoff ZSP 44 522(1928)	p.18.
	R.Oppenheimer, On the Quantum Theory of the Problem of the Two Bodies, PCPS 23 422(1926)	p.22.

N221-N226 文献筆写ノート群

- N221. **Quantenelektrodynamik I.** [A5 ノート]
 P.Jordan, Zur Quantenmechanik der Gasentartung, ZSP 44 473(1927).
 [欄外に昭和五年(1930)十二月十八日の日付がある.]
 P.Jordan u. E.Wigner, Über das Paulische Äquivalenzverbot, ZSP 47 631(1928).
 P.Jordan, Über Wellen und Korpuskeln in der Quantenmechanik,
 ZSP 45 766(1927).
 P.Jordan u. W.Pauli, Zur Quantenelektrodynamik ladungsfreier Felder,
 ZSP 47 151(1928). [欄外日付 十二月廿一日]
 P.A.M.Dirac, A Theory of Electrons and Protons, PRS 126 360(1928).
 J.R.Oppenheimer, On the Theory of Electrons and Protons, PR 35 562(1930)
 [欄外日付 Jan.6th,1931]
- N222. **Quantenelektrodynamik II.** [A5 ノート]
 I.Waller, Bemerkungen über die Rolle der Eigenenergie des Elektrons in der
 Quantentheorie der Strahlung, ZSP 62 673(1930).
 [欄外日付昭和五年(1930)十二月十七日. このノートは自己エネルギー文献用
 として N221 と同じ時に始められたのであろう.]
 I.Waller, Die Streuung von Strahlung durch gebundene und freie Elektronen
 nach der Diracschen relativistischen Mechanik, ZSP 61 837(1930).
 J.R.Oppenheimer, Note on the Theory of the Interaction of Field and Matter,
 PR 35 461(1930) [欄外日付 Jan.7th,1931]
 L.S.Kassel, The Equilibrium between Matter and Radiation, PR (1930)
 P.A.M.Dirac, On the Annihilation of Electrons and Protons, PCPS 26 361(1930)
 [欄外日付 一月十六日 (1931)]
 W.Heisenberg, Die Selbstenergie des Elektrons, ZSP 65 4(1930).
 [欄外日付 一月廿九日]
 L.Rosenfeld, Über die Gravitationswirkungen des Lichtes, ZSP 65,589(1930).
 A.Einstein, Über Gravitationswellen, Ber.Ber. 1918 154.
 [§1. のみ.]
 Seisi Kikuchi, Über die Fortpflanzung von Lichtwellen in der H.Pschen
 Formulierung der Quantenelektrodynamiks, ZSP 66,558(1930).
 [欄外日付 六月十六日]
 W.Heisenberg, Bemerkungen zur Strahlungstheorie, Ann.Phys. 9 338(1931).
 L.Rosenfeld, Zur korrespondenzmässigen Behandlung des Linienbreite,
 ZSP 71 273(1931).
- N223. **Quantenelektrodynamik III.** [A5 ノート]
 [Index 頁に「大阪帝国大学理学部物理学教室湯川秀樹」のゴム印押捺.]
 J.Solomon, Nullpunktenergie der Strahlung und Quantentheorie der Gravitation,
 ZSP 71 162(1931).
 A.Eddington, On the Mass of the Proton, (1931)
 L.Landau u. R.Peierls, Erweiterung des Unbestimmtheitsprinzips für die

relativistische Quatentheorie, ZSP 69 56(1931).

P.A.M.Dirac, Quantised Singularities in the Electromagnetic Field, PRS 133 60(1931)

P.A.M.Dirac, Relativistic Quantum Mechanics, PRS 136 453(1932)

C.F.Weizsäcker, Ortmessung eines Elektrons durch ein Mikroskop,
ZSP 70 114(1931). [§1 のみ]

W.Heisenberg, Über den Bau der Atomkerne. II. ZSP 78,156(1932).

[湯川所感 (鉛筆書き)。「要スルニコノ論文ノ特徴ハ核 Electron ノ問題ニ関係シタ
難点ヲ neutron 自身ニ押ツケテ了ッテ核ガ Proton, Neutron ノミヨリ構成セラレル
トイフ考ヘカラ、原子核ノ安定度ニ就イテ如何ナルコトガイヒウルカ考察シタモ
ノデアッテ、核内ニ於ル electron ノ存在ヲ否定スルコトガ果シテ当ヲ得テルカド
ウカハニワカニ判断スルコトガ出来ナイガ、核ヲ構成スル単位粒子ノ間ノ相互作用
ガモット明カニサレヌ限り、コノ論文程度ノ漠然タル推論ニ満足スル他ナイデ
アラウ。」 Cf. BPMSJ 7/3 195-196]

H.Bartlett, Nuclear Structure, Nature 110 165(1932). [部分]

P.A.M.Dirac, V.A.Fock and B.Podolsky, On Quantum Electrodynamics,
Phys.ZS.Sowj. 2 468(1932)

W.Heisenberg, Über den Bau der Atomkerne. III. ZSP 80 587(1933).

San-ichiro Mizushima, Streuung von Atomen, ZSP 32 798(1931). [抄録.]

Ettore Majorana, Über die Kertheorie, ZSP 82 137(1933). [表題だけ.]

N224. **Quantenelektrodynamik IV. 1934** [A5 ノート]

M.Born, On the Quantum Theory of the Electromagnetic Field, PRS 143 410(1934)

E.Fermi, Versuch einer Theorie der β -Strahlen I. ZSP 88 161(1934).

F.Bloch, Die physikalischen Bedeutung mehrerer Zeiten in der Quantenelektro-
dynamik, Phys.ZS.Sowj. 5 301(1934).

P.A.M.Dirac, Discussion of the Infinite Distribution of Electrons in the Theory of
the Positron, PCPS 30 150(1934). [Eq.(27) 以下省略.]

G.C.Wick, Sugli elementi radiattivi di F.Joliot e I.Curie,
Atti della Reale Accademia Nazionle dei Lincei XIX 319(1934).

N225. **Quantenelektrodynamik V. 1934** [A5 ノート]

W.Heisenberg, Bemerkungen zur Diracschen Theorie des Positrons,
ZSP 90 209(1934).

W.Pauli u. V.Weisskopf, Über die Quantisierung der skalaren relativistischen
Wellengleichung, Helv.Phys.Acta 7 709(1934). [§3. 以下省略.]

A.March, Statistische Metrik und Quantenelektrodynamik, ZSP 106. [表題だけ.]

N226. **Quantenelektrodynamik / Heisenber-Paulische Theorie** [A5 ノート]

[N226 は N221 及び N222 と同時あるいは少し前に始められたものであろう。その
内容は Heisenberg-Pauli I(1929) SS.4-30 の邦訳註解である。式番号も殆ど同じで、
乱れは Heisenberg-Pauli では無番号の式に番号をふった故である.]

abbreviations

PCPS	Proceedings of Cambridge Philosophical Society
PR	Physical Review
PRS	Proceedings of Royal Society of London
ZSP	Zeitschrift für Physik.

♣ 史料室委員会補注

史料室委員会は湯川の卒業論文の完成提出された形のものは見出していない。Z10の断片群を知るだけである。これらはrandomに見出されたもので、書かれた時期順序を確定できない。引用論文から推測するだけである。湯川の初期の原稿群に慣用であった時間的逆順、一番最近のものが一番上にくるといような事情をコード番号で示すこともならず、Z10 U07は通常のYHAL分類方式を採っていない。Fragment Aと仮称した断片に鉛筆で記された'構想' (?)に従って並べてみた。用紙は17'×11'横罫紙を二つ折にして重ねたもので、この半折を1枚と数えた。

湯川はこのreview workの執筆時に既に、「最モヨク実験ト一致スルDirac電子論...ノ上ニ一般ノ量子力学ヲ建設セントスル」計画をもっていたことが窺われる。湯川は1体のSchrödinger方程式を電子の方程式と解し、電子論の発展線上に更にDirac方程式を置くという見方をとっている。(20年代末Lorentz電子論の残映はなお鮮やかであったのか。Fragment JではLorentz電子論とBohr量子論の対比を見る)。1928年末湯川の眼に事態は(量子力学の古典的教科書は未だ刊行されていない。Heisenberg, Dirac初版は1930年、von Neumann 32年、Pauli 33年、在るはSchrödingerの論文集だけという時期である)

「今日ノ量子論ハ殆ド想像モツカヌ位急激ナ、異常ナ進歩ヲ遂ゲタニモカカハラズ、最モ簡單ナ問題サヘ完全ナ解決ヲ得テ居ラヌ状態ニアル。...況ヤ其ノ他ノ一般ノ複雑ナ問題ニツイテ見レバ、半empiricalニ一時的解釈ヲ得タトイフ感アルモノバカリデアル。」

「其ノ原因ハ那邊ニアルカトイフニ、相変ラズradiationト物質トノ相互作用トイフ問題ニ満足ナ答ヲナシ得ザル所ニアル.....」(Fragment I)

と映じていたのである。「一般ノ」は「相対論的」と読める。post-graduate第1年にHeisenberg-Pauliの論文に没頭した所以である。

Chronologicalな略図を下にスケッチする。

1926年	4月 京都帝大理学部物理学科入学
1928年	1月 Dirac eq. I.(28-01-02 受理), II.(28-02-02 受理)
1928年	3月 Laporte 京都帝大講義
1929年	3月 京都帝大卒業・同学副手 Heisenberg-Pauli I.(29-03-19 受理), II.(29-09-07 受理)
1931年	春 仁科芳雄京都帝大講義
1932年	3月 京都帝大講師(量子力学担当). 4月 結婚.
1933年	3月 数物会誌 Heisenberg の原子核模型の論文紹介 4月 数物年会講演「核内電子に関する一考察」 5月 大阪帝大講師(常勤)
1934年	1月 Fermi β 崩壊の理論(34-01-16 受理) 11月 数物常会講演「素粒子間の相互作用について」

(文責 河辺)

湯川秀樹全著作 version 3

これまでに「湯川秀樹全著作」は3回にわたり発表された。

湯川秀樹全著作 1982年 version 1、素粒子論研究 65 (1982) 271

湯川秀樹全著作 1984年 version 2、素粒子論研究 70 (1985) 307

湯川秀樹全著作 1999年 version 3、素粒子論研究 99 (1999) 115

なお、これらのほかに湯川秀樹著作集 別巻（岩波書店、1990年）に著作目録がある。これは、上記 version 2 に訂正・追補を施したものである。

1999年に作成された湯川秀樹全著作 version 3 には、それ以前の情報がすべて含まれているので、ここには version 3 だけを掲載する。

湯川秀樹全著作

version 3.

単行本の形で世に現れた湯川秀樹の著作を刊行の日時の順に並べた。内容の重複は顧慮していない。一方、雑誌・新聞などに掲載されはしたが、単行本として上梓されなかったものは含めていない(YHAL Resources (VII) 参照)。

- コード番号(発行年月日)、書名、発行所、コメントの順に示してある。
- コード番号は B + 発行年月日 を与える。発行月日または発行日が明記されていないか不明の場合は、- で代える。
- コード番号が () に入れてあるものは、再版・増補版・文庫版・翻訳である。初出のコード番号(年月日)を < > で囲んで付し、注記は最小限にとどめた。
- コード番号末に * が付けてあるものは監修書である。
- 共著者・共編者があるときは、その名前を [] に入れ、書名の後に置いた。対談者は < > に入れてある。
- 手稿・校正刷がある場合は MS m(コメント), PS n(コメント), m,n=1,2,... として付記する(ver.3 新註)。
- 他の編著者による書籍では、湯川の寄与の表題を【 】に入れて末尾に示した。
- 参考文献
 1. 湯川記念館史料室「湯川秀樹全著作(1982年7月)」
素粒子論研究 65/4, 271-281(1982).
 2. 湯川記念館史料室「湯川秀樹全著作(1984年9月)」
素粒子論研究 70/5, 307-320(1985).
 3. 「著作目録」湯川秀樹著作集別巻(岩波書店, 1990), 33-47.
 4. 湯川記念館史料室「YHAL Resources Hideki Yukawa (VII)」
素粒子論研究 94/5, 117-203; 95/6, 82-95(1997).

1999年4月

京都大学基礎物理学研究所
湯川記念館史料室



湯川秀樹全著作 version 3.

1936年（昭和11年）29歳

- B36 06 10 『ベーター線放射能の理論』
岩波書店 科学文献抄 7.
MS (400字18枚, A4×10枚, 図版8. 脱稿 36-01-)

1939年（昭和14年）32歳

- B39 01 - 『U粒子の理論梗概』
ぐろりあ工房.
[謄写印刷]
- B39 07 15 『最近の物質観』
弘文堂.
- B39 08 10 『新粒子論』
共立出版 量子物理学 7.
B39 01 - を増補.

1940年（昭和15年）33歳

- B40 06 10 『玉城先生追悼録』[水野敏之丞 ほか]
玉城先生遺稿集刊行会.
【「玉城先生を偲びて」131-132頁 (Z04 090 E40)】
- B40 07 13 『原子核及び元素の人工転換(下)』[菊池正士]
岩波書店.

1941年（昭和16年）34歳

- B41 01 24 『原子核及び宇宙線の理論』[坂田昌一]
岩波書店 岩波講座『物理学』XE 第22回配本.
【第一章 陽子及び中性子 / 第二章 原子核の定常状態 / 第三章 原子核衝突問題】
- B41 03 30 『物理学講演集(1)』学術研究会議編
丸善株式会社.
【「素粒子の問題」1-16頁 (Z04 010 A41)】

1942年（昭和17年）35歳

- B42 02 17 『極微の世界』
岩波書店.
[書簡：富山小太郎, 渡部良吉(岩波) → 湯川]
本書の構想は41年6月に始まり, 当初表題は『自然の骨格』であった.
YHAL N05 D01 の42-02-07の項に「岩波書店より『極微の世界』二月十七日発売
の由通知」とある.
- B42 11 21 『原子核及び宇宙線の理論』[坂田昌一]
岩波書店.

< B41 01 24 > を増補.

- B42 12 05 『現代の化学 第1輯』千谷利三・漆原義之編
共立出版.
【「原子核」201-240頁 (F08 040, Z04 020 A42)】

1943年(昭和18年)36歳

- B43 03 30 『物理学講演集(3)』文部省科学局・学術研究会議共編
丸善株式会社.
【「相対論的量子力学に於ける多体問題(再度量子化法)」15-36頁 (Z04 020 A43)】
- B43 07 15 『存在の理法』
岩波書店.

1944年(昭和19年)37歳

- B44 04 30 『物理学に志して』
養徳社.

1946年(昭和21年)39歳

- B46 03 20 『目に見えないもの』
甲文社.
B44 04 30 の補訂改題した第二版.
MS1 (削除・改訂・追加を行った B44 04 30)
MS2 (追加原稿:「目にみえないもの」400字3枚 / 「後記」200字3枚)
PS1 (初校. 45-11-20, 24)
PS2 (再校. 45-11-26, 45-12-08)
- B46 07 10 『理論物理学講話』
朝日新聞社.

1947年(昭和22年)40歳

- B47 02 05 『量子力学序説』
弘文堂.
MS1 (手書原稿 200字 768枚)
MS2 (序: 200字 4枚 / 第一章: 31枚 / 第二章: 32枚 / 補遺: 7枚 /
III: 29枚 / IV: 27枚 / V: 18枚)
- B47 02 25 『自然と理性』
秋田屋 新学芸叢書2.

1948年(昭和23年)41歳

- B48 05 15 『素粒子論序説(上)』
岩波書店.
「素粒子論序説下巻材料及び上巻補遺」と題する原稿群:
MS1 (「素粒子論序論」8.5×11" 3(+2)枚 (54-03-02).
「素粒子論 I」6(+4)枚 (54-04- ~ 55-03-学期 大学院一回生講義原稿).
「Construction and Analysis of S Matrix」4(+3)枚 (54-11- ~ 55-12- 講義用).
「場の量子論の相対論的定式」13(+10)枚)
MS2 (「素粒子論 I」A4×19枚. 56-04-)
- B48 05 15 『科学と人間性』

国立書院.

- B48 08 25 『物質観と世界観』
弘文堂.
MS (cf. Z04 130 E48)
- B48 11 20 『思考と観測』
アカデメイア・プレス.
Z04 020 A47 の単行本化.
- B48 12 10 『原子と人間』
甲文社.
- B48 12 25 『対話 — 人間の進歩について —』《小林秀雄》
新潮社.
[Z04 020 D48]

1949 年 (昭和 24 年) 42 歳

- B49 01 20 『対談 科学と文学』《穎原退蔵》
臼井書房 人間美学叢書.
[Z04 030 D49]
- B49 02 10 『二十世紀精神』[淡野安太郎 ほか]
鎌倉文庫 人間選書 1.
【「二十世紀科学の一断面」 259-271 頁 (Z04 010 E49)】
- B49 09 10 『物理学の方向』[伏見康治 ほか]
三一書房.
【「物理学の方向 — 序に代えて —」 3-9 頁 (Z04 020 E49) / 「科学的思考について — 物理学の対象と法則 —」 11-31 頁 (Z04 020 E49)】
- B49 09 20 『原子核論』[小林 稔]
共立出版 近代物理学全書.
- B49 10 - 『現代文学シリーズ 科学と文学』[寺田寅彦・中谷宇吉郎]
有朋堂.
【「思想の結晶」 (Z04 090 E43) / 「思索断章」 (Z04 160 E49)】
- B49 11 30 『統理論物理学講話』[鈴木 担]
朝日新聞社.

1950 年 (昭和 25 年) 43 歳

- B50 11 01 『素粒子論の研究 II』素粒子論研究会編
岩波書店.
【「非局所場の理論」[小野健一] 175-188 頁 (Z05 020 A50)】
- B50 11 10 『随想 湯川秀樹』[貝塚茂樹 ほか]
甲文社.
【「プリンストン便り」 152-160 頁 (Z04 190 E48)】
- B50 -- 『*Les Prix Nobel en 1949*』,
P.A.Norstedt and Söner, Stockholm.
【「Meson Theory in its Developments」 pp.85-90 (P28)】

1951 年 (昭和 26 年) 44 歳

- B51 01 01 『少年文学代表選集 2』日本文芸家協会編
光文社.
【「原子と人間」 (Z04 050 E47)】
- B51 03 10 『真理の場に立ちて』[坂田昌一・武谷三男]

毎日新聞社.
【「回顧と展望」】

- B51 10 30 『続わが師わが友』[長興善郎 ほか]
筑摩書房.
【「長岡半太郎先生のことなど」195-203頁 (Z05 050 E51)】
- B51 12 25 『素粒子論』[小林 稔]
共立出版 近代物理学全書.

1952年(昭和27年)45歳

- B52 01 10 『非局所場の理論』井上 健 訳・解説
朝日新聞社.
P29「Quantum Theory of Non-Local Fields, Part I」とP30「同 Part II」の邦訳と解説.
- B52 08 30 『仁科芳雄 伝記と回想』朝永振一郎・玉木英彦編
みすず書房.
【「仁科芳雄先生の思い出」51-56頁 (Z05 030 E51)】

1953年(昭和28年)46歳

- B53 03 18 『私の少年時代』読売新聞社教育部編
牧書店.
【「十代で「自由」を学ぶ」(Z05 040 E53)】

1954年(昭和29年)47歳

- B54 03 31 『現代物理学(上)』M. ボルン著 鈴木良治・金関義則訳
みすず書房.
【「マックス・ボルン博士について」(Z05 070 E54)】
- B54 05 01 『ついに太陽をとらえた』読売新聞社編
読売新聞社.
【「序」(Z05 080 E53)】
- B54 06 10 『しばしの幸』
読売新聞社.
- B54 08 — 『科学と人間 — 原子力問題と関連して —』
新日本教育協会 日本の教育選書 5.
- B54 — — 『*Proceedings of the International Conference on Theoretical Physics, 1953, Kyoto and Tokyo*』,
edited by Organizing Committee International Conference of Theoretical Physics,
Science Council of Japan.
【「An Attempt at a Unified Theory of Elementary Particles」, Part I, Field Theory A, pp.2-12 (P35)】

1955年(昭和30年)48歳

- B55 01 20 『湯川秀樹選集 第一巻 半生の記』
甲鳥書林.
- B55 02 05 『量子力学(上)』[井上 健]
岩波書店 岩波講座『現代物理学』I・D.
PS (第1~5章)
- B55 04 01 『宇宙線及び中間子論』[小林 稔・井上 健]
共立出版 近代物理学全書.

- B55 04 30 『明日をどう生きる — 戦後 10 年と日本のあり方』朝日新聞社編
朝日新聞社。
【「新しい世界と科学者」(Z05 040 E55)】
- B55 05 20 『湯川秀樹選集 第二巻 目に見えないもの』
甲鳥書林。
- B55 08 20 『湯川秀樹選集 第三巻 原子と人間』
甲鳥書林。
- B55 11 25 『言葉と生活』西尾 実編
毎日新聞社 毎日ライブラリー。
【「科学者から見た日本語の問題」83-109 頁 (Z05 110 E55)】
- B55 11 27 『物理学通論 (上)』[田村松平]
大明堂。
- B55 11 30 『湯川秀樹選集 第四巻 物理学と世界観』
甲鳥書林。
- B55 12 05 『量子力学 (下)』[井上 健・林忠四郎]
岩波書店 岩波講座『現代物理学』I・D。

1956 年 (昭和 31 年) 49 歳

- B56 03 31 『人間と科学』
中山書店 人間の科学 6。
【「科学と人間性」1-46 頁 (Z05 010 E56) / 「科学の進歩と人間の幸福」279-281 頁
(Z05 020 E56)】
- B56 04 30 『京都の仏像』京都新聞編集局編
河出書房 河出新書 203。
【「心のふるさと — 十一面千手観音像」94-95 頁 (Z05 060 E56) /
「星に祈る善意 — 延命地藏尊立像」168-169 頁 (Z05 070 E56)】
- B56 06 25 『湯川秀樹選集 第五巻 旅のたよりと歌』
甲鳥書林。

1957 年 (昭和 32 年) 50 歳

- B57 01 15 『続 京都の仏像 京都新聞編集局編
河出書房 河出新書 267。
【「よく見る顔 — 十一面観音立像 (地藏院)」168-169 頁 (Z05 040 E57)】
- B57 03 29 * 『教養原子力講座第 1 巻』[有沢広巳ほか]
中山書店。
【「はしがき」1-4 頁】
- B57 11 15 『量子力学の数学的基礎』J.v. ノイマン著 井上健・広重徹・恒藤敏彦訳
みすず書房。
MS (序文原稿: A4 横野 × 2 枚)
【「序」(Z05 140 E57)】
- B57 12 - 『アインシュタインの生涯』C. ゼーリッヒ著 広重 徹訳
東京図書。
【「アインシュタイン博士を憶う」(Z05 150 E57)】
- B57 -- 『New Frontiers of Knowledge』,
edited by M.B.Schnapper,
Public Affairs Press, Washington, D.C.
【「The Path of Wisdom」pp.95-97. (Z05 160 E57)】

1958年(昭和33年)51歳

- B58 02 15 『国民の言葉 — 百人百言集』 亀井勝一郎 ほか編
角川書店 現代国民文学全集 18.
【「美しい小石」 ほか】
- (B58 04 20) 『量子力学(上)』 [井上 健・林忠四郎]
岩波書店 岩波講座『現代物理学』第2版 I・D.
< B55 02 05 >.
- (B58 06 20) 『量子力学(中)』 [井上 健・林忠四郎]
岩波書店 岩波講座『現代物理学』第2版 I・D.
< B55 12 05 >.
- B58 07 10 『原子力の将来』 [有沢広巳 ほか]
日本原子力平和利用基金(丸善株式会社).
【「原子力の将来」(Z05 070 E58)】
- B58 11 03 『旅人 — ある物理学者の回想 —』
朝日新聞社.
[朝日新聞夕刊 58-03-18 ~ -07-08 連載.]
- B58 -- 『Proceedings of the 1958 Annual International Conference on High Energy Physics
at CERN』, edited by B.Ferreti,
CERN Scientific Information Service.
【「An Attempt at a Nonlinear Field Theory」 pp.117-118 (P42)】

1959年(昭和34年)52歳

- (B59 03 20) 『量子力学(下)』 [井上 健・林忠四郎]
岩波書店 岩波講座『現代物理学』第2版 I・D.
< B55 12 05 >.
- B59 03 23 『基礎物理学の諸問題』 湯川記念財団編
三一書房.
MT (T58 04 19 の速記録 200字 216枚)
【「6. 素粒子の統一理論」 133-191頁 (Z05 010 A59)】
- B59 05 30 『新粒子論』 [中野 董夫・野上幸久]
岩波書店 岩波講座『現代物理学』第2版 III・E.

1960年(昭和35年)53歳

- (B60 01 15) 『旅人 — ある物理学者の回想 —』
角川書店 角川文庫 1883.
< B58 11 03 >.
- B60 02 10 『京都 わが幼き日の...』 [川端弥之助・井島 勉]
中外書房.
【少年時代の読書 / 短歌に求めるもの / 書道雑感 / 京の山 / ふるさと /
祇園祭の印象 / 日本のお祭り / 鏡と写真 / 記憶 / 食べ物に関する思い出 /
伴奏曲 / 小さい心 / 今昔の感 / 一つの宿題 / 洋書にのこる思い出 / 硝石細工 /
思い出すこと / 徹底ということ / 歴史に対する興味の変遷 / 私の人生観の変遷 /
79-194頁. 和服と洋服 343-346頁. あとがき 347頁】

1961年(昭和36年)54歳

- B61 05 25 『物理学者の眼』 [石原純 ほか]
学生社 科学随筆全集 2.
【一つの宿題 / 硝石細工 / 鏡と写真 / 記憶 / 単数と複数 / 事実と法則 /

原子力と人類の転機/ 痴人の夢/ 研究者としての人間/ アインシュタイン
先生の思い出/ 過渡期の世界/ 283-336 頁】

- B61 09 20 『素粒子』[片山泰久・福留秀雄]
岩波書店 岩波新書青版 430.
MS (原稿「はしがき」200字6枚, 第Ⅲ部追補 400字2枚)
PS (再校: 第Ⅲ部 147-205頁, 61-09-05)
- B61 10 20 『世界の間人像 4』 角川書店編集部編
角川書店.
【B58 11 03『旅人』349-481頁】
- B61 10 25 『現代科学と人間』
岩波書店.
- B61 11 15 『物理学通論(中)』[田村松平]
大明堂.

1962年(昭和37年)55歳

- B62 02 09 『物理学通論(下)』[田村松平]
大明堂.
- B62 04 25 『科学と現代文化3』 末綱恕一編
創文社.
【「科学的思考における直観と抽象」10-19頁 (PⅢ1 邦文版)】
- B62 08 10 『十人百話1』[鈴木大拙ほか]
毎日新聞社.
MS (毎日新聞切抜のスクラップブック)
【「科学文明の中の人間十話」
冬日愛すべし / エックス線 / 基礎研究の重要性 / 人間と機械 /
科学者と社会 / 都会への人口集中 / 情報の整理 / 研究の大規模化 /
将来の問題 / 自然の法と人間の法 / 111-130頁 (Z06 030 E62)】
- B62 -- 『*Philosophy and Culture, East and West*』,
edited by Charles A. Moore,
University of Hawaii Press, Honolulu.
【「Modern Trend of Western Civilization and Cultural Peculiarities in Japan」
pp.188-198 (Z06 210 E62)】

1963年(昭和38年)56歳

- B63 01 25 『平和時代を創造するために — 科学者は訴える —』[朝永振一郎・坂田昌一]
岩波書店 岩波新書青版 476.
【「科学者の責任」1-23頁】
- B63 07 20 『本の中の世界』
岩波書店 岩波新書青版 493.
- B63 09 27 『素粒子の本質』 武谷三男・坂田昌一・中村誠太郎編,
岩波書店 現代科学選書.
【「切り開いてきた路I」(座談会) 1-27頁 (Z06 010 D63) /
「これからの方向についてI」(座談会) 289-312頁 (Z06 020 D63)】
- B63 -- 『*The Quantum Theory of Fields, Proceedings of the Twelfth Solvay Conference
on Physics, Bruxelles, 1961*』,
Interscience Publishers and R.Stoops.
【「Extensions and Modifications of Quantum Field Theory」 pp.235-251. (P43)】

1964年(昭和39年)57歳

- (B64 04 30) 『現代物理学』 M. ボルン著 鈴木良治・金関義則訳
みすず書房. <B54 03 31> 合本.
【「マックス・ボルン博士について」(Z05 070 E54)】
- B64 06 16 『物理の世界』[片山泰久・山田英二]
講談社 現代新書7.
MS (構想メモ: 5枚. 原稿「生きものの世界」: 200字12枚)
PS (26頁~270頁)
- B64 -- 『Nobel Lectures, Physics 1942-1962』
Elsevier Publishing Co.
【「Meson Theory in its Developments」pp.128-134. (P28)】

1965年(昭和40年)58歳

- B65 04 01 『一冊の本2』朝日新聞東京本社学芸部編
雪華社.
【「老子」(Z06 030 E64)】
- (B65 05 30) 『素粒子の探究—真理の場に立ちて—』[坂田昌一・武谷三男]
勁草書房.
<B51 03 10> 改題.
- B65 08 20 『核戦略批判』豊田利幸著
岩波書店 岩波新書青版568.
【序文「本書に寄せて」(Z06 080 E65)】
- B65 12 10 『源氏物語女性群像 第4巻 中君』曾根豊祐著
源氏物語女性群像刊行会.
MS (序文原稿: 200字4枚)
PS (2頁~250頁. 図版3枚)
【序文「不思議な物語」(Z06 140 E65)】

1966年(昭和41年)59歳

- B66 03 01 『平和への提言 百人集』毎日放送編
毎日放送.
【「人類よ自己を守れ」(Z06 020 E66)】
- B66 05 15 『創造的人間』
筑摩書房 筑摩叢書57.
MS (構想メモ: 6枚. 「はしがき」原稿: 200字6枚)
PS (再校: 目次・解説)
【新聞広告・書評の切抜多数】
- (B66 05 30) 『旅人—ある物理学者の回想—』
講談社.
<B58 11 03> に『旅人』以後(298-300頁)を追補し, 挿絵(向井久万)の一部を再録.
PS (挿絵. 題字写真版プリント)
- B66 08 -- 『炎の歌集』阿部正路ほか編
東出版.
MS (豊田清史 → 湯川書簡. 66-07-11)
【序歌 「まがつびよふたたびここにくるなかれ平和をいのる人のみぞここは」】
- B66 10 05 『現代の対話』《梅原 猛》[末川博・桑原武夫]
雄渾社.

【「湯川秀樹との対話 — 世界観 —」3-106 頁 (Z06 050 D66)】

- B66 -- a 『*Proceedings of the International Conference on Elementary Particles in Commemoration of the Thirtieth Anniversality of Meson Theory, Kyoto, 1965*』, edited by Y. Tanikawa, Publication Office Progress of Theoretical Physics.

【「Space Time Description of Elementary Particles」pp.139-158 (P49)】

- B66 -- b 『*Frontiers of Modern Scientific Philosophy and Humanism, The Athens Meeting, 1964*』, Elsevier, Amsterdam.
【「Intuition and Abstraction in Scientific Thinking」pp.57-66 (P III 2)】

1967 年 (昭和 42 年) 60 歳

- B67 01 30 『現代の物理学 量子論物語』G. ガモフ 著 中村誠太郎 訳
河出書房新社.

【「日本版序文」(Z06 010 E67)】

- B67 05 25 『人間にとって科学とはなにか』《梅棹忠夫》
中央公論社 中公新書 132.
MS (対話メモ B4×10 枚)

- B67 06 28 『量子力学の世界』片山泰久 著
講談社 講談社ブルーバックス B101.

【「序文」(Z06 070 E67)】

- B67 09 01 『生きがいの創造』《市川亀久弥》
雄渾社.

- B67 11 20 『現代人の思想 21 科学革命の世紀』丹羽小弥太 編
平凡社.

【「科学と人間性」200-238 頁 (Z05 010 E56)】

1968 年 (昭和 43 年) 61 歳

- B68 01 24 『創造への飛躍』
講談社 思想との対話 9.

MS (構想メモ: 2 枚)

PS (「対話による解説」401-452 頁. 「あとがき」453-6 頁)

[講談社 → 湯川: 書簡 5 / 依頼一覧表 B4×1 枚 / 湯川選集資料 B4×4 枚]

- B68 03 19 『追憶中村儀三郎』菊池暁輝・松本政治 編
発行人 中村儀郎.

【「親切でやさしかった先生」(Z06 170 E68)】

- B68 03 20 『日本文化の創造』《上田正昭》
雄渾社.

MS (「はしがき」原稿: 200 字 7 枚)

PS (初校 1-227 頁)

[書評 (新宗教新聞 68-05-20 号)]

- B68 05 20 『学問のすすめ』[大河内一男・吉川幸次郎]
筑摩書房 学問のすすめ 1.

【「学問と人生」《井上 健》33-62 頁 (Z06 070 D68)】

- B68 06 25 『対話・歴史と文明』[谷川徹三 ほか]
潮書房 潮新書 33.

【「思索について」《谷川徹三》5-31 頁 (Z06 080 D68)】

- B68 08 20 『核時代を超える—平和の創造をめざして—』[朝永振一郎・坂田昌一]

岩波書店 岩波新書 青版 687.

MS1 (草稿: I・一. 2-13 頁)

MS2 (草稿: II・一. 110-137 頁 / II・二. 138-166 頁 / 科学者京都会議
継続委員会規約(案))

PS (初校: 15-192 頁. 年表)

【I・一. 「核時代の次に来たるべきもの」 65-73 頁 (Z06 010 E68) / II・三. 「むすびにかえて」 167-173 頁】

B68 10 25 『平和の思想』
雄渾社.

【「まえがき」 / 「核時代の平和思想」 1-17 頁 (Z06 100 E68)】

B68 12 15 『物理学のすすめ』 井上 健編
筑摩書房 学問のすすめ 7.

【現代社会と物理学 《浅井健次郎 ほか》 (Z06 090 D68)】

B68 -- a 『L'aventure de demain, L'aventure humaine, Encyclopedie des science de l'homme』,
Editions de la Grande-Batelière, Paris et Editions Kister S.A., Geneve.

MS (タイプ原稿: 英文 8.5×11" 6 枚. 仏文 同 12 枚)

[Grande-Batelière → 湯川: 書簡 4 電報 2]

【「L'homme maitre de la matiere」 pp.191-192. (Z06 150 E68)】

B68 -- b 『Man and His World / Terre des Hommes. The Norande Lectures at Expo'67』,
University of Toronto Press.

【「Creative Thinking in Science」 pp.327-333】

1969 年 (昭和 44 年) 62 歳

(B69 03 20) 『素粒子』 第 2 版 [片山泰久・福留秀雄]
岩波書店 岩波新書 青版 710.

<B61 09 20>.

PS1 (初校: 1-17 頁 (69-01-23) / 18-49 頁 (-01-25) / 73-97 頁 (-01-27) /
98-119 頁 (-01-29) / 114-193 頁 (-01-30) / はしがき 1-4 頁 (-02-08))

PS2 (再校: 1-65 頁 (69-02-12) / 167-224 頁)

B69 04 15 『古典への道 吉川幸次郎対談集』
朝日新聞社 新訂中国古典選別巻.

【「中国の学問と科学精神」 (Z06 030 D69)】

B69 05 01 『世界連邦運動 20 年史』
世界連邦建設同盟.

【「核時代から世界連邦時代へ」 36-43 頁 (Z06 020 E69)】

B69 06 01 『物質・生命・宇宙 I』 [小谷正雄・林思四郎・波辺格共編]
共立出版.

MS (『科学と実験』 67-01-号)

PS (全頁)

【「統一的自然像とは何か」 (座談会) 227-256 頁 (Z06 050 D69)】

(B69 07 15) 『定本 創造への飛躍』
講談社.

<B68 01 24>.

B69 09 10 『基礎物理学の進展 基礎物理学研究所 15 周年シンポジウム, 1968 年 10 月
28 日-30 日』 基礎物理学研究所 15 周年シンポジウム委員会編
理論物理学刊行会.

【「記念式典式辞」 付 1-付 4 頁, (Z06 030 A69) / 「基礎物理学とは」 1-6 頁
(Z06 040 A69) / 「基研の役割・今後のあり方, 問題提起」】

B69 10 25 『随想集 心ゆたかに』

筑摩書房.

- B69 11 01 『宇宙と心の世界』《谷川徹三》
読売新聞社 読売選書.
- B69 11 05 『随想全集 9』[石原 純・朝永振一郎]
尚学図書発行 小学館発売.
【ハドソン河畔の秋 / あざみと馬 / 知魚楽 / アテネの集い / ギリシャの
自然と天才 / 源氏物語 / 読書漫録 / 自然認識の現段階 / 具象以前 /
シュレーディンガーの猫 / 科学者の創造性 / 長岡先生の休学 / 仁科先生
の思い出 / 一科学者の人生観 / 戦争のない一つの世界 / 科学と道徳】

1970年(昭和45年)63歳

- B70 04 02 『ニールス・ボーア』S.ローゼンタール編 豊田利幸訳
岩波書店.
PS (初校:1-112頁)
【「ニールス・ボーアと二十世紀の物理学」vii-xi頁 (Z07 030 E70)】
- B70 04 24 『学問の世界』《宮地伝三郎 ほか》
岩波書店.
- B70 06 20 『現代の科学 II』[井上 健]
中央公論社 世界の名著 66.
【「二十世紀の科学思想」第一部 / 第二部・三. (Z07 030 A70)】
- B70 06 25 『逆説としての現代』[芦田譲治 ほか]
みすず書房.
【「科学と人間の未来」《芦田譲治・渡辺 格・大川節夫》189-249頁 (Z07 040 D70)】
- B70 12 05 『現代学問論』《坂田昌一・武谷三男》
毎日新聞社編.
勁草書房.
MS (第27,29,30,31回のテープ起し:200字159枚. 毎日新聞切抜)
- B70 12 15 * 『アインシュタイン選集 2』
共立出版.
【「監修者のことば」(Z07 100 E70)】
- B70 -- * 『Profiles of Japanese Science and Scientists』
Kodansha, Tokyo.
MS1(PS1) (「FOREWORD」3枚. 校正刷1枚)
PS2 (「著者紹介」1枚)
MS2(PS3) (「Space-Time and Elementary Particles」22枚. 校正刷5枚)
【「Space-Time and Elementary Particles - an essay on the theory of elementary domain -」】

1971年(昭和46年)64歳

- B71 01 20 『学問と人生』
富山県教育委員会 精神開発叢書 13.
[Z07 050 T70(T70 10 -)]
- B71 01 21 『創造の視座・第4回 第2日 速記録』
日本能率協会大阪事務所.
【「創造」(Z07 020 T71)】
- B71 02 24 『半日閑談集』《梅棹忠夫 ほか》
講談社.
- B71 02 28 『湯川秀樹自選集 III 現代人の知恵』
解説 井上 健
朝日新聞社.

- B71 03 01 * 『アインシュタイン選集 1』
共立出版。
【「監修者のことば」(Z07 040 E71)】
- B71 03 20 『自然』300号記念増刊号
中央公論社。
【『自然』掲載著作集録】
- B71 03 31 『湯川秀樹自選集 IV 創造の世界』解説 市川亀久弥
朝日新聞社。
- B71 04 30a 『ヒトは救われるか、未来社会考』原 清編
ペリかん社。
【「科学と文化」《梅棹忠夫・原 清》155-184頁 (Z07 060 D70)】
- B71 04 30b 『湯川秀樹自選集 I 学問と人生』
解説 井上 健
朝日新聞社。
- B71 05 25 『物理の世界数学の世界』《北川敏男》
中央公論社 中公新書250。
- B71 05 31 『湯川秀樹自選集 II 素粒子の謎』
解説 片山泰久
朝日新聞社。
- B71 06 05 『人間の再発見』《市川亀久弥・梅原猛》
角川書店 角川選書44。
- B71 06 30 『湯川秀樹自選集 V 遍歴』解説 谷川安孝
朝日新聞社。
- (B71 06 -) 『物理学者の眼』
学生社 科学随筆選集2 新書版。
<B 61 05 25>。
- (B71 07 30) 『創造への飛躍』
講談社 講談社文庫C5。
<B68 01 24>。
- B71 08 23 『歌集 深山木』
私家本[退官記念事業返礼]
B71 06 30『湯川秀樹自選集V』421-498頁抜粋。
[cf. B56 06 25『湯川秀樹選集第五卷』第二部。]
- B71 12 20 『日本史探訪 第2集』[著者代表 海音寺潮五郎]
角川書店。
【「空海」183-200頁 (Z07 160 E71)】

1972年(昭和47年)65歳

- B72 01 25 * 『アインシュタイン選集 3』
共立出版。
【「アインシュタインの横顔」《内山竜雄・谷川安孝・井上 健》, 421-447頁。
(Z07 050 D72)】
- B72 04 12 『量子力学 I.』[井上 健・豊田利幸]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 3』。
- B72 06 12 『量子力学 II.』[井上 健・豊田利幸]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 4』。
- B72 07 12 『量子力学 III.』[井上 健・豊田利幸]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 5』。
- B72 10 10 『自己発見』

毎日新聞社.

- B72 11 29 『日本の朝鮮文化』 司馬遼太郎・上田正昭・金達寿編
中央公論社.
【「神官と神社について」《上田正昭・金達寿・司馬遼太郎》169-210頁 (Z07 150 D72) /
「仏教文化の伝来」《上田正昭・梅原猛・司馬遼太郎》211-250頁 (Z07 160 D72)】

1973年(昭和48年)66歳

- B73 01 10 『私の物理学と主張』 M. ボルン著 若松征男訳
東京図書.
【「ボルン博士を追慕して」i-iv頁 (Z07 010 E73)】
- B73 03 12 『古典物理学Ⅱ』 [豊田利幸]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎2』.
【「相対論の世界」345-372頁 (Z07 020 A73)】
- B73 03 20a 『科学と人間のゆくえ — 続半日開談集 —』《小林秀雄 ほか》
講談社.
PS (初校全章)
【書評(聖教新聞 73-04-29)】
- B73 03 20b 『歴史・科学・現代 加藤周一対談集』
平凡社.
【「科学と芸術」(Z07 110 D72)】
- B73 04 10 『天才の世界』《市川亀久弥》
小学館 100万人の創造選書6.
- B73 05 07 『現代評論集』 [谷川徹三 ほか]
筑摩書房 現代日本文学大系97.
【「科学者の創造性」(Z06 100 E64)】
- B73 07 10 『コペルニクスと現代』 [広瀬秀雄 ほか]
時事通信社.
【「コペルニクスと現代」101-119頁 (Z07 080 E73)】
- B73 09 10 『現代の科学Ⅰ』 [井上 健]
中央公論社 世界の名著65.
【「十九世紀の科学思想」第一部 (Z07 030 A73)】
- B73 10 10 * 『紅萌ゆる丘の花 (第三高等学校80年史)』 [阪倉鷲太郎]
講談社.
- B73 10 30 『長岡半太郎伝』 板倉聖宜・木村東作・八木江里著
朝日新聞社.
【「序文」(Z07 090 E73)】
- B73 12 - 『基礎物理学の展望 — 基研20周年シンポジウムの記録』
基研20周年シンポジウム実行委員会編
京都大学基礎物理学研究所.
【「コメント」】
- B73 -- a 『Creativity and Intuition — A Physicist looks at East and West』,
translated by John Bester (except III-1,-2 and IV-2,-3),
Kodansha International Ltd. Tokyo.
- B73 -- b 『Religion for Peace, Proceedings of the Kyoto Conference on Religion and Peace』
edited by Homer A. Jack,
Gandhi Peace Foundation, New Delhi.
【「The Creation of a World without Arms」pp.85-94】

1974年(昭和49年)67歳

- B74 01 10 『「もう一つの発想」』日本総合研究所編
昌平社。
【書評(村上兵衛, サンケイ新聞 74-01-28)】
【「考え方を变えること」13-30頁(Z07 010 E74)】
- B74 02 20 『人間・科学・科学者』真下信一・大谷省三編
時事通信社。
【「人間・自然・科学」29-73頁(Z07 030 E74)】
- B74 05 10 『人生学ぶこと多し 扇谷正造対談集 —マイクはなれて—』
奄美能率短期大学出版部。
【「創造の条件」285-311頁(Z07 020 D74)】
- B74 07 01 『湯川秀樹論』高内壮介著
工作舎。
【「私が歩んできた道」1-9頁(Z07 050 E74)】
- B74 07 10 『部分と全体』W.ハイゼンベルク著 山崎和夫訳
みすず書房。
【「序文」iii-v頁(Z07 060 E74)】
- B74 07 18 『宇宙と人間・七つのなぜ』
筑摩書房 ちくま少年図書館 23 科学の本。
- B74 07 30 『日本史探訪 第11集』[著者代表海音寺潮五郎]
角川書店。
【「三浦梅園—ある出会い」201-230頁(Z07 070 E74)】
- (B74 10 21) 『アインシュタインの生涯』C.ゼーリッヒ著 広重 徹訳
東京図書 改訳版。
<B57 12 ->。
【「アインシュタイン博士を憶う」(Z05 150 E57)】
- B74 10 25 『創造性への対話 江崎玲於奈対談集』
中央公論社 自然選書。
【「先輩後輩」(Z07 030 D74)】
- B74 11 10 * 『シュレーディンガー選集1』
共立出版。
【「監修者のことば」1-2頁(Z07 130 E74)】
- B74 11 10 * 『シュレーディンガー選集2』
共立出版。
【「監修者のことば」1-2頁(Z07 140 E74)】
- B74 12 12 『素粒子論』[片山泰久]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 11』
【「素粒子のひろがり」613-633頁(Z07 030 A74) / 「素粒子と時空」637-659頁
(Z07 040 A74)】

1975年(昭和50年)68歳

- B75 01 15 『この地球に生まれ合わせて』
講談社 講談社文庫 C52。
- B75 01 30 『考える愉しさ 梅原 猛対談集』
新潮社。
【「人間のおもしろさ」31-53頁(Z07 140 D72)】
- B75 03 01 『生きるということ, 七人七話』日本生産性本部編
日本生産性本部 JPC 選書。

- 【「真理と幸福」139-170頁 (Z07 070 E75)】
- B75 03 12 『古典物理学 I』
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 1』。
【「物体の運動」3-30頁 (Z07 010 A75) / 「運動と力とに関する諸法則」
31-96頁 (Z07 020 A75)】
- B75 04 01a 『物理講義』原 治編
講談社。
- B75 04 01b 『続天才の世界』《市川亀久弥》
小学館 100万人の創造選書 13。
- B75 07 20 『新しい物質観』日本物理学会編
丸善株式会社。
MS (原稿(写し): 400字 25枚)
【「15. 物質と時空」(Z07 040 A75)】
- (B75 08 - a) 『現代の対話』
雄渾社 愛蔵版。
<B66 10 05>。
- (B75 08 - b) 『生きがいの創造』
雄渾社 愛蔵版。
<B67 09 01>。
- (B75 08 - c) 『日本文化の創造』
雄渾社 愛蔵版。
< B68 03 20 >。
- B75 -- 『*Proceedings of the XIVth International Congress of the History of Science, Tokyo and Kyoto, 1974*』,
Science Council of Japan.
【「A Hundred Years of Science in Japan from a Physicist's Point of View」
Proceedings No.2, pp.3-15. (P III 3)】

1976年(昭和51年)69歳

- B76 01 16 『人間の発見』《北村四郎ほか》
講談社。
- (B76 03 20) 『心ゆたかに』
筑摩書房 筑摩叢書 226。
< B69 10 25 >。
- B76 04 20 * 『万有百科辞典 16 物理・数学』[榎永昌吉ほか]
小学館。
- B76 06 10 『歴史と文明の探求(上)』桑原武夫・中根千枝・加藤秀俊編
中央公論社。
【「科学技術と人間」についての文明問題懇談会】
- B76 09 10 『歴史と文明の探求(下)』桑原武夫・中根千枝・加藤秀俊編
中央公論社。
【「科学と現代社会」についての文明問題懇談会】
- (B76 12 10) 『目に見えないもの』
講談社 講談社学術文庫 94。
< B46 03 20 >。
- B76 12 20 『外的世界と内的世界』
岩波書店。

1977年(昭和52年)70歳

- (B77 02 10) 『最近の物質観』

- 講談社 学術文庫 116.
< B39 07 15 >.
- B77 03 20 『中国文学雑談 吉川幸次郎対談集』
朝日新聞社 朝日選書 83.
【「中国の学問と科学精神」(Z06 030 D69)(B69 04 15)】
- B77 06 20 『科学者のこころ』
朝日新聞社.
- B77 06 25 『近代科学の源流 — 物理学篇 III』
大野陽朗監修. 高村泰雄・藤井寛治・須藤喜久男編
北海道大学図書刊行会.
【素粒子の相互作用】(P01)】
- B77 08 02 『核軍縮への新しい構想』[朝永振一郎・豊田利幸]
岩波書店.
【「核廃絶への道求めて — 第二十五回パグウォッシュ・シンポジウム開会講演 —」
1-4 頁 (Z07 140 E75) / 「核軍縮についての基本的な考え方 — パグウォッシュ運動の
方向づけ —」 6-15 頁 (Z07 150 E75)】
- (B77 10 10) 『物理講義』
講談社 講談社学術文庫 195.
< B75 04 01 >.
- B77 -- 『A New Design for Nuclear Disarmament, Pugwash Symposium, Kyoto, Japan』,
edited by W.Epstein and T.Toyoda, Spokesman.
【「Thoughts on Nuclear Disarmament : Restructuring the Pugwash Movement」
(Z07 150 E75 の英訳)】

1978 年 (昭和 53 年) 71 歳

- B78 01 10 『暮らしの 365 日生活歳時記』樋口清之監修
三宝出版.
【「未来へ開かれた窓」】
- B78 01 25 『量子力学 I』[豊田利幸]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 3』第 2 版.
< B72 04 12, B72 06 12 >.
MS1 (「執筆内容」B5×8 枚)
MS2 (第 1 部第 1 章 400 字 95 枚 Xerox コピー)
【「第 2 版への序」v-vi / 「初版への序」vii-ix / 第 1 部 歴史的序論 第 1 章
「古典物理学から量子力学へ」3-42 頁】
- B78 02 15 『自然に論理をよむ』伏見康治監修
工作舎.
【「東西の思想」(B77 06 20 所載)中, 莊子 / 目に見えない鑄型 / エピクロス /
43-52 頁. 「原子論と空間・時間の分割可能性」(P50) 52-63 頁】
- (B78 02 24) 『古典物理学 I』[豊田利幸]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 1』第 2 版.
< B75 03 12 >.
- B78 03 10 『量子物理学の展望 下』江沢 洋・恒藤敏彦編
岩波書店.
【「26. 素粒子の時空的記述」(P49) / 「27. 物質と時空」(Z07 040 A75)】
- (B78 03 27) 『古典物理学 II』[豊田利幸]
岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 2』第 2 版.
< B73 03 12 >.
- B78 05 25 『量子力学 II』[豊田利幸]

- 岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 4』第2版。
 < B72 07 12 >。
 【 第Ⅷ部 第20章「観測の理論」 559-577 頁 (Z07 020 A78) / 第21章「实在論と時間論」
 579-602 頁 (Z07 030 A78) 】
- B78 06 15 『素粒子の世界』[朝永振一郎・藤岡由夫]
 学生社 科学随筆文庫 5.
- B78 09 20 『石野又吉博士の業績と回想』[石野俊夫ほか]
 私家本。
 【「石野又吉先生の思い出」 67-68 頁 (Z07 010 E78) 】
- (B78 10 05) 『ノーベル賞講演＝物理学 第6巻』中村誠太郎・小沼通二編
 講談社。
 【「発展途上の中間子論」(小沼通二訳) 187-194 頁 (P28) 】
- B78 11 12 『菊池正士 業績と追想』菊池記念事業会編集委員会編
 菊池記念事業会編集委員会。
 【「菊池正士博士の追憶」(Z07 061 E75) 】
- (B78 11 20) 『現代の科学 II』
 中央公論社 中公パックス [世界の名著] 80。
 < B70 06 20 >。
- B78 11 25 『日本の物理学史上 歴史・回想編』日本物理学会編
 東海大学出版会。
 【「素粒子論研究の思い出」 571-584 頁 (Z07 040 A78) 】
- (B78 12 22) 『素粒子論』[片山泰久]
 岩波書店 岩波講座『現代物理学の基礎 10』第2版。
 < B74 12 12 >。
 MS (改訂メモ: B4×2枚. 改訂案: 200字4枚)

1979年(昭和54年)72歳

- (B79 01 20) 『秩序と混沌(湯川秀樹論)』高内壮介著
 工作舎。
 < B74 07 01 >。
- B79 01 25 『日付のある対話 江藤淳対話集』
 北洋社。
 【「戦後日本の逆説」(Z07 010 D79) 】
- B79 02 08 『昭和万葉集 卷六 昭和十六年～二十年』
 講談社。
 【「あかだもの葉末ゆすりて吹く風の涼しき夏にまた逢へるかも」
 (B71 08 23 『深山木』15頁) 】
- B79 03 08 『Hideki Yukawa, Scientific Works』
 edited by Y. Tanikawa,
 Iwanami Shoten Publishers, Tokyo.
 【 P1 ~ P52, P II 1 ~ P II 4, P III 1 ~ P III 5. 】
- B79 04 18 『昭和万葉集 卷七 昭和二十年～二十二年』
 講談社。
 【「弟がもしやゐるかど復員の兵の隊伍にそひて歩みし」『深山木』34頁】
- B79 06 28 『昭和万葉集 卷五 昭和十五年～十六年』
 講談社。
 【「旅に病んで秋深き日の札幌のこもりゐにきく馬の鈴の音」『深山木』8頁】
- (B79 07 20) 『現代の科学 I』
 中央公論社 中公パックス「世界の名著」79。

< B73 09 10 >.

- B79 07 25 『新訂小林秀雄全集 別巻Ⅰ 人間の建設』
新潮社.
【「人間の進歩について」(B48 12 25)】
- B79 07 28 『昭和万葉集 卷八 昭和二十三年～二十四年』
講談社.
【「スカンセン古き小さき教会の暗きに蠟の火ともし歌へる」『深山木』40頁】
- B79 08 10 『続々 天才の世界』《市川亀久弥》
小学館 小学館創造選書 28.
- (B79 08 15) 『自己発見』
講談社 講談社文庫 C113.
< B72 10 10 >.
- B79 11 28 『昭和万葉集 卷十一 昭和三十年～三十一年』
講談社.
【「春あさみ藪かげの路おほかたは透きとほりつつ消えのこる雪」『深山木』54頁】
- B79 12 28 『昭和万葉集 卷十二 昭和三十一年～三十四年』
講談社.
【「わぎもこが匂ひをめづる木屋の庭にかがやく秋はきにけり」『深山木』64頁】

1980年(昭和55年)73歳

- B80 01 10 『新SS経営語録』日本リサーチセンター制作
トヨタ自動車販売株式会社鉱油部.
【「専門バカに徹することは本当はたいへんにむつかしい」】
- B80 01 28 『昭和万葉集 卷十三 昭和三十五年～三十八年』
講談社.
【「長きみち高みゆく極み空に消へし大先達を悼みおろがむ」『心の花』64-04号】
- B80 03 25 『巻頭随筆Ⅱ』文芸春秋編
文芸春秋社 文春文庫 217-2.
【「長岡先生の休学」(Z06 020 E67)】
- (B80 12 15) 『半日閑談集 湯川秀樹対談集Ⅰ』
講談社 講談社文庫 C131.
< B71 02 24 >.

1981年(昭和56年)74歳(9月8日没)

- (B81 01 15) 『科学と人間のゆくえ 湯川秀樹対談集Ⅱ』
講談社 講談社文庫 C132.
< B73 03 20 >.
- (B81 02 15) 『人間の発見 湯川秀樹対談集Ⅲ』
講談社 講談社文庫 C133.
< B76 01 16 >.
- B81 03 10 『アインシュタイン—科学者として人間として—』
A.P. フレンチ編 柿内賢信・石川孝夫・笠耐・星野義昭共訳
培風館.
『EINSTEIN, A Centenary Volume』(1979)の邦訳.
【「アインシュタイン」59-64頁】
【『わが世界観』・『晩年に想う』(B63 07 20『本の中の世界』145-154頁)を改題、訳書に追補。】
- B81 03 25 『人間の進歩について 小林秀雄対談集Ⅱ』
文芸春秋社 文春文庫 107-6.

< B48 12 25 >.

- B81 06 10 『田園雑感・立春の卵・ある航海』[寺田寅彦・中谷宇吉郎]
向学社 向学社教養選書2.
【「ある航海」】
- (B81 09 -) 『*Лекции по Физике*』
перевод И.И.Ивакрика,
Энергоиздат, Москва.
B75 04 01 『物理講義』の露訳.
- B81 11 25 『自然』追悼特集・湯川秀樹博士「人と学問」
中央公論社.
[『自然』掲載著作を集めた臨時増刊.]
- B81 12 15 『私の創造論 — 同定と結合』
小学館 小学館創造選書41.
- B81 -- 『*Nobelpreisträger Rundschau — Arbeiten, Daten, Tagungen, Nobelpreisträger
in Lindau 1951-1980*』,
herausgegeben von R.Schmid und W.Wessinger,
Wissenschaftliche Verlagsgesellschaft mbH. Stuttgart.
【「Versuch zu einer Einheitstheorie der Elementarteilchen」SS.616-620. P36 の独訳.】

1982 年 (昭和 57 年)

- (B82 03 10) 『日本の朝鮮文化』
中央公論社 中公文庫 M175.
< B72 11 29 >.
- (B82 10 01) 『天才の世界』
小学館 愛蔵版.
< B73 04 10 >.
- (B82 -- a) 『*Tabibito*』,
translated by R.Yoshida and M.Brown,
World Scientific Publishing Co.
B58 11 03 『旅人』の英訳.
- (B82 -- b) 『*Перспективы Квантовой Физики*』
превод И.П.Дэюба,
Наукова думка, Киев.
B78 03 10 『素粒子物理学の展望』の露訳.
【26. Пространственно-временное Описание Элементарных Частиц.
27. Материя и Пространство-время.】

1983 年 (昭和 58 年)

- B83 05 20 『新・核戦略批判』豊田利幸著
岩波書店 岩波新書黄版229.
【『核戦略批判』に寄せて】
B65 08 20 『核戦略批判』序文「本書に寄せて」を改題.
- B83 07 15 『湯川秀樹集』井上 健編
弥生書房 現代の随想 29.
- B83 -- 『*Experimental Essays on Chuang-Tze*』,
edited by V.H.Mair,
University of Hawaii Press.
【「The Happy Fish」pp.69-72 (Z06 110 E66, B73 -- a)】

1984 年（昭和 59 年）

- B84 02 27 『千百五十年ご遠忌記念 弘法大師への道』
真言宗智山派東京東部教区宗務所。
【「空海の世界の構造とひろがり」(B76 12 20) / 「弘法大師「天才の世界」」
(B73 04 10) / 「日本文化の創造」《上田正昭》(B68 03 20) /
「日本人の原型を探る」《司馬遼太郎》(B71 02 24)】
- (B84 04 25) 『日本史探訪 4』角川書店編
角川書店 角川文庫 535-4。
<B71 12 20>。
- B84 06 18 『科学者と考える 梅原猛全対話 1』
集英社。
【「湯川秀樹との対話 — 世界観 —」(B66 10 05) / 「科学と人間と」(B71 02 24) /
「人間のおもしろさ」(B75 01 30)】
- B84 09 25 『現代日本を考える 梅原猛全対話 4』
集英社。
【「知識と知恵の差」《梅原猛・田中美知太郎》(Z07 020 D70)】
- B84 12 20 『昭和万葉秀歌 (2) 相聞と挽歌』岡井 隆編
講談社 講談社現代新書 754。
【「長きみち高みゆく極み空に消へし大先達を悼みおろがむ」(B80 01 28)】

1985 年（昭和 60 年）

- (B85 02 25) 『日本史探訪 16』角川書店編
角川書店 角川文庫 535-16。
< B74 07 30 >。
- (B85 09 20) 『天才の世界』
三笠書房 知的生き方文庫。
< B73 04 10 >。
- (B85 12 10) 『続天才の世界』
三笠書房 知的生き方文庫。
< B75 04 01 >。
- B85 -- a 『*Early History of Cosmic Ray Studies*』,
edited by Y.Sekido and H.Elliot,
D.Reidel Publishing Co., Dordrecht-Boston-London。
【「Cosmic Rays and the Beginning of Meson Theory」pp.133-135 (Z07 010 T79)】
- (B85 -- b) 『*Tabibito : Le voyageur*』
traduit par J.M.Luccioni et F.Robert,
Belin, Paris。
B581103『旅人』の仏訳 (英訳 B82 -- a より重訳)。
- (B85 -- c) 『*Tabibito : Ein Wanderer*』,
herausgegeben von Erwin Müller-Hartmann, übersetzt von Claus M. Fischer,
Wissenschaftliche Verlagsgesellschaft mbH, Stuttgart。
B58 11 03『旅人』の独訳。

1986 年（昭和 61 年）

- (B86 06 10) 『続々天才の世界』
三笠書房 知的生き方文庫。
< B79 08 10 >。

1987年(昭和62年)

- (B87 02 一) 『創造力和直覚』 周林東訳
復旦大学出版部 上海.
B73 -- a 『Creativty and Intuition』の漢訳.

1988年(昭和63年)

- B88 02 -- 『「文芸春秋」にみる昭和史(二)』 文芸春秋編・半藤一利監修
文芸春秋社.
【「偶然と必然」(Z04 120 E47)】

1989年(平成1年)

- B89 04 05 『湯川秀樹著作集 6 読書と思索』
編集・解説 小川環樹
岩波書店.
- B89 05 08 『湯川秀樹著作集 1 学問について』
編集・解説 佐藤文隆
岩波書店.
- B89 06 05 『湯川秀樹著作集 2 素粒子の探究』
編集・解説 位田正邦
岩波書店.
- B89 07 05 『湯川秀樹著作集 5 平和への希求』
編集・解説 豊田利幸
岩波書店.
- B89 08 02 『湯川秀樹著作集 3 物質と時空』
編集・解説 田中 正
岩波書店.
- B89 09 05 『湯川秀樹著作集 4 科学文明と創造性』
編集・解説 牧 二郎
岩波書店.
- B89 10 05 『湯川秀樹著作集 7 回想・和歌』
編集・解説 加藤周一
岩波書店.
- B89 11 02 『湯川秀樹著作集 8 学術篇 I』
編集・解説 位田正邦
岩波書店.
- B89 12 05 『湯川秀樹著作集 9 学術篇 II』
編集・解説 田中 正
岩波書店.
- B89 12 17 『蝉声集』
湯川秀樹作品刊行会.
私家本手書と歌集.

1990年(平成2年)

- B90 01 08 『湯川秀樹著作集 別巻 対談・年譜・著作目録』
編集・解説 渡辺慧
岩波書店.
- B90 02 05 『湯川秀樹著作集 10 欧文学術論文』
編集・解説 谷川安孝・河辺六男
岩波書店.

1995年(平成7年)

- (B95 07 10) 『「文芸春秋」にみる昭和史(二)』文芸春秋編・半藤一利監修
文芸春秋社 文春文庫 編67.
< B88 02 - >.

1997年(平成9年)

- B97 07 - 『人間の記録 33. 「旅人」』
日本図書センター.
<B58 11 03>.

湯川秀樹主要著書一覽

文庫化	刊行	書名	刊行	専門書名
77 講	39-7-	「最近の物質観」(弘文堂)	36-6-	「ベーター線放射能の理論」(岩波)
	42-2-	「極微の世界」(岩波)	42-11-	「原子核及び宇宙線の理論」(岩波)
	43-7-	「存在の理法」(岩波)		
	44-4-	「物理学に志して」(養徳社)		
76 講	46-3-	「目に見えないもの」(甲文社)		
	46-7-	「理論物理学講話」(朝日)		
	47-2-	「自然と理性」(秋田屋)	47-2-	「量子力学序説」(弘文堂)
	48-5-	「科学と人間性」(国立書院)	48-5-	「素粒子論序説」(岩波)
	-8-	「物質観と世界観」(弘文堂)	48-11-	「思考と観測」(アカデメイア・プレス)
	-12-	「原子と人間」(甲文社)		
	49-11-	「統理論物理学講話」(朝日)		
	51-3-	「真理の場に立ちて」(毎日)		
(65)		(「素粒子の探求 - II -」(65-勁草))		
	54-6-	「しばしの幸」(読売)		
	55-1,5,8,11-,56-6-	「湯川秀樹選集」(甲鳥書林, 5巻)	55-2-	「量子力学(上)」(岩波講座)
60 角川	58-11-	「旅人」(朝日)(66-講談社)	-12-	「量子力学(下)」(岩波講座)
			59-5-	「新粒子論」(岩波講座)
	[61-05-]	[「物理学者の眼」(学生社)]		
	61-10-	「現代科学と人間」(岩波)		
	63-1-	「平和時代を創造するために」(岩波)		
	-7-	「本の中の世界」(岩波)		
	66-5-	「創造的人間」(筑摩)		
71 講	68-1-	「創造への飛躍」(講談社, 69-定本)		
	-8-	「核時代を超える」(岩波)		
(76)	69-10-	「心ゆたかに」(筑摩)(76-叢書)		
	[69-11-]	[「随想全集 9」(尚学図書)]		
	70-4-	「学問の世界」(岩波)		
	70-6-	「現代の科学 II」(中公)		
81 講	71-2-	「半日閑談集」(講談社)		
	-3,5,6-	「自選集 I-V」(朝日)		
	-8-	「深山木」(私家本)		
79 講	72-10-	「自己発見」(毎日)		岩波講座
81 講	73-3-	「科学と人間のゆくえ」(講談社)	73-3-	「現代物理学の基礎 2」
85 三笠	73-4-	「天才の世界」(小学館)		
	-9-	「現代の科学 I」(中公)		
	74-7-	「宇宙と人間・七つのなぞ」(筑摩)	74-12-	「現代物理学の基礎 10」
	75-1-	「この地球に生まれあわせて」(講)	75-3-	「現代物理学の基礎 1」
85 三笠	-4-	「続天才の世界」(小学館)	-4-	「物理講義」(講談社)
81 講	76-1-	「人間の発見」(講談社)		(77-文庫本)
	-12-	「外的世界と内的世界」(岩波)	78-1,5-	「現代物理学の基礎 3,4」
86 三笠	79-8-	「続々天才の世界」(小学館)		

Creativity and Intuition, transl. by J.Bester (Kodansha International, 73-).

Hideki Yukawa Scientific Works, edited by Y.Tanikawa (Iwanami Shoten, 79-3-).

『湯川秀樹著作集』1-9(岩波書店, 89-), 10・別巻(90-).

YHAL Classification Scheme

We use nine(ten sometimes) letters and figures in total as the code number:

Sources of Materials	Order of Materials	Kinds of Materials
E □ □ Envelopes	0 1 0	A □ □ Articles & their manuscripts.
F □ □ Files	0 2 0	B □ □ Books & their manuscripts.
N □ □ Notebooks	0 3 0	C □ □ Correspondence.
Z □ □ Fragments	□ □ □	D □ □ laboratory Diaries.
.	D □ □ records of Dialogues.
.	E □ □ Essays & their manuscripts.
		L □ □ Lecture notes.
		M □ □ Miscellaneous.
		N □ □ reports to occupation forces.
		P □ □ manuscripts of scientific Papers*.
		R □ □ proceedings of Research meetings.
		T □ □ memoranda for Talks.
		U □ □ manuscripts of Unpublished articles.
		X □ □ records of collegiates.

* The item P are numbered as they are in *Hideki Yukawa Scientific Works* (Iwanami Shoten, 1979). **P i j** =(HYSW)-I-ij=ij-th paper in Part I of HYSW.

We adopt the following code numbers for materials which are edited by the Committee for YHAL :

Materials	Serial Numbers	Contents
ADT	0 1 0	Audio archives: audio-tapes of addresses, lectures, etc.
COR	A 3 9	Correspondences on a topic A in 1939.
EDT	0 2 0	Selected materials on a particular subject.
PCT	0 3 0	Visual archives : photographs, sketches, video-tapes, etc.

YHAL Abbreviation and Notations

- BPMSJ *Bulletin of Physico-Mathematical Society of Japan*
(数物会誌) (日本数学物理学会誌)
- B-IPCR *Bulletin of the Institute Physical and Chemical Research*
(理研彙報) (理化学研究所彙報)
- HYSW *Hideki Yukawa Scientific Works* (Iwanami Shoten, Tokyo, 1979)
supplemented version : 湯川秀樹著作集 10 (岩波書店, 1990)
- IPCR Institute of Physical and Chemical Research
(RIKEN) (理研. 理化学研究所)
- JPSJ *Journal of Physical Society of Japan*
- PMSJ Physico-Mathematical Society of Japan
(数物学会) (日本数学物理学会)
- PPMSJ *Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan*
(数物記事) (日本数学物理学会記事)
- PSJ Physical Society of Japan
(物理学会) (日本物理学会)
- SP-IPCR *Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research*

- AT Abstract of talk
- CL Calculation
- DR Draft of scientific paper, essey, etc.
- LT Letter
- ME Memorandum
- MP Manuscript of scientific paper
- MS Manuscript in general
- MT Manuscript of talk
- PC Postcard
- PG Program of meeting
- PS Proof sheet
- RP Reprint

- $a(+b)$ The figure a is the total number of leaves of manuscript, and
($+b$) stands for the number of leaves on which both sides were used.
- [] The square bracket indicates the editor's addendum, annotation,
or translation into-English.

A, B, D, E, P, T, U - Specification

YHAL 所蔵の湯川秀樹の著作は、二通りの分類がなされている。

コード番号限定詞 B (+ 発行年月日) による単行本方式 と、
 コード番号限定詞 A, D, E, P, T, U による個別論文方式 と
 である。両者は重複を許すとともに、互いに補完するものである。例えば前者にある物理学専門書の内容の大部分は後者に含まれていない。

湯川著作	$\left\{ \begin{array}{l} \text{B} \\ \text{P}, \text{U} \\ \text{A} \\ \text{E}, \text{D} \\ \text{T} \end{array} \right.$	「湯川秀樹全著作」素粒子論研究 65/4, 271-281(1982) 「同 version 2.」素粒子論研究 70/5, 307-320(1985) ⇒ 湯川秀樹著作集別巻(岩波書店, 1990), 33-47.
		(HYSW) I-i (\equiv P i) に、(HYSW) II-j, (HYSW) III-k (\equiv P II j, P III k) を加え、未発表論文 U を含む。 P に属さない物理学 proper な論攷、多くが日本語。 A に入らない著述。対談・鼎談・座談会も含める。 講演速記(テープ起し)・原稿・メモ。

A=Articles, B=Books, D=Dialogues, E=Essays, P=(Scientific) Papers, T=Talks, U=Unpublished Papers. (HYSW)I-i=Hideki Yukawa Scientific Works Part I の i 番目の論文。

単行本方式では、湯川著作を一編でも収録する書籍はすべて採録し、他の編著者による書物では、湯川の寄与の題名を補注した。

個別論文方式において、A, E の区別は主観的で本来的に曖昧である。その理解の下で、以下は YHAL 委員会が提案するひとつの整理用作業規則である。

I. A, E 内の配列順序。

原則. 印刷物公刊の日時に基く時間的順序に従う。

湯川は、いくつかの論攷を纏めて出版する際、それぞれの発表日時を自ら書き込んでいる。殆どが刊行の年月を記しているが、極く稀に講演日時である場合もある。印刷発表がひどく遅れたようなときである。以下ではすべて印刷公表年月で配列する。

資料を分類配列する際の優先序列を次のように定める。

1. 初出。
2. HYSW.

(HYSW) I-i は一意的に P i に分類され、邦訳はコメント行に記載される。

(HYSW) II, III には、規則 1. からは、邦文の A 項目に、英訳として注記すべき論文が含まれているが、それらも P II j, P III k の系列に容れておくことにする。

例. Z03 020 A38 「 β 崩壊の理論と U 粒子の寿命」(共著: 坂田昌一・谷川安孝)
 科学 8/6, 360-361(38-09).

英訳 「A Theory of β -Decay and Life-Time of U Particle」
 (HYSW) P II 1, 381-383.

3. 「講演・抄録 / 原稿」 \square

A-/ ε - documents への収録限度は、印刷公表が少なくとも『素粒子論研究』掲載相当であることとし、講演の記録、予稿、抄録、講演原稿/メモの段階のものは別枠 T に講演日時順に配列する。(従って \square はそれだけで湯川講演の全情報を尽くすものでなく、 \square , \square , \square , \square のコメントで補完され、時に重複する。)

II. 項目記述.

A, D, ε , T の各 item は次の順に data を記載する:

1. 「表題」
2. 共著者 (D では対談者).
3. 初出 (◆ 初出誌未確認) または講演日時.
4. [改題・再録・その他コメント.]

『湯川秀樹選集』(甲鳥書林, 1955-56) 及び『湯川秀樹自選集』(朝日新聞社, 1971) は特別の場合以外引用しない。 \square は『湯川秀樹著作集』(岩波書店, 1989-90), 第 j 巻に refer する。

III. コード番号 Z0 \heartsuit *** ε ◇◇

A-, D-, ε -document は一応 Z source materials に属するものとする。

コード番号 Z0 \heartsuit *** A(ε)◇◇ の document は、
19◇◇年に刊行された article (essay) であり、
順序詞 *** が、◇◇年内の刊行月日順を与える。

(E-, F-, N- 群では、ある source 内での 'order of materials' であった。)

P-document については、HYSW をひとつのファイルとみなし、

P i (P J k), HYSW を強調したいときには (HYSW) P i (P J k) (J=II, III)
をコード番号の特例として使うことができる。

講演日時 T◇◇(年) ○△(月) \heartsuit (日) を Z0 \heartsuit *** T◇◇ の簡略体として使用できる。

(これは \square での簡略体 C◇◇(年) ○△(月) \heartsuit (日) と同様である。)

IV. 略記

『選集一 (... 五)』 『湯川秀樹選集』第一巻 (... 第五巻).
『自選集 I (... V)』 『湯川秀樹自選集 I (... V)』.

YHAL Yukawa Hall Archival Library (湯川記念館史料室).

YITP Yukawa Institute for Theoretical Physics.

(基研 京都大学基礎物理学研究所.)

付録 1 湯川記念館史料室私記 河辺六男・小沼通二

付録 2 湯川記念館史料室委員会のこれまでの委員

索引

湯川記念館史料室私記

大阪医大・教養 河 辺 六 男
京 大・基研 小 沼 通 二

(1982年7月9日受理)

1. 湯川記念館史料室開設縁起

二十世紀前半は現代物理学の Sturm-und-Drang-Zeit であった。その Hero たち、老いた “Werther” や “Karl Mohr” の証言を記録にとどめようという気運は、60年代後半から目立ち始めたように思われる。67年5月18～19日、翌々年の同月同日と2回にわたって Brookline でもたれた free な座談会形式の核物理学の誕生と成長を語る集り¹⁾、77年5月 Minnesota における30年代核物理学回顧の symposium²⁾、79年9月の Argonne の ZGS を shutdown した際の symposium³⁾ 等々。われわれも日本物理学会創立百年を迎え(1977)、この国における物理学の定着と発展をふりかえる機会をもった⁴⁾。湯川記念館史料室 (Yukawa Hall Archival Library, YHAL) の開設もこの潮流の中にあつた。

史料室をつくる話が公式の場で始めて上つたのは、日米科学協力研究 (USJC Project): “Particle Physics in Japan, 1930 - 50” (78年8月 - 79年7月)⁵⁾ の第1回日米合同研究会の3日目(78年9月14日)、Future Program の session においてである(表1)。このとき US 側出席者、Northwestern 大学の L. M. Brown 教授から、中間子論の提唱発展に関する日本側資料の収集保存が、それらの英訳も併せて、強く要望された。席上日本側の対応は積極的なものではなかった。(研究上の問題に関する)往復書簡の保存についての東西の習慣のちがいの指摘、財源の問題の悲観的観測、等々、まったく bureaucratic に「努力する」で終った。しかし合同研究会後、基研周辺のこの project の関係者たちは次のような考えに次第に傾いていった：これまでの中間子論の歴史は創設者たちの解説・回想記が専らであった。それらは英雄譚にも似た生々の感動を与える一方、その性格上日時の齟齬や資料の裏付を欠くなど、scientific archives としての完璧を望めない。物理学の現代史の史料が、AIP の Center for History of Physics に、Berkeley の 50 万通にのぼる研究者間の往復書簡の Collection に、Copenhagen の Niels Bohr Archive に、CERN の Pauli Letter Collection に、収集保存されているとき、現代物理学へのこの国の独創的な寄与に関する史料も、散逸前に収集され伝承されるべきであり、この project はその実現に一步を進める好機ではないか、と。

翌79年2月、日本側だけの研究会で史料室の素案(付録資料1)が論ぜられ、5月の第2回日米合同研究会、第74、75回の両基研研究部員会議の諒承を得て、USJC project の終った79年8月1日より、

表 1. 湯川記念館史料室 (YHAL) 縁起

1978. 9. 14	Research Meeting of USJC Project: PARTICLE PHYSICS IN JAPAN, 1930-1950 (at RIFP; 9. 12-9. 14; US side: Prof. L. M. BROWN, Northwestern) The 1st proposition of ARCHIVAL LIBRARY.
1979. 2. 14	USJC Research Meeting (at RIFP; 2. 14-2. 15; only Japanese Side) 湯川記念館史料室案検討: 湯川記念館史料室 (仮称) 設立要綱 (案) →“Tentative Plan for the Establishment of Archival Library, Yukawa Hall, Kyoto University”
3. 2	第 74 回基研研究部員会議: 議題 13 湯川記念館史料室開設案 (第 74 回基研研究部員会議々事録, 議題 13, p. 22; [資料 1, p. 232])
5. 16	USJC Research Meeting (at RIFP; 5. 14-5. 16; US Side: BROWN, 南部) ←
6. 29	第 75 回基研研究部員会議: 議題 13-2 (第 75 回研究部員会議々事録 p. 12)
7. 31	USJC Project 終了
8. 1	史料室発足
9. 14	第 1 回史料室準備委員会 —— 牧二郎・小沼通二 (京大基研) 史料室組織・委員人選・財源 田中正・町田茂 (京大理) 史料捜査 (“在庫調べ”) 井上健・徳岡善助 (京大教養) 河辺六男 (大阪医大教養)
9. 25	第 2 回史料室準備委員会 委員追加: 川合葉子 (京大教養)
10. 26	湯川史料発見!! 中間子論第 I, II, III, IV 論文原稿計算類確認!
10. 27	第 3 回史料室準備委員会
11. 5	湯川 → 史料寄贈承諾
11. 24	第 1 回史料室会議 史料の整理・保管・閲覧方式の検討
12. 12	第 2 回史料室会議 史料閲覧に関する規定, 等
1980. 1. 26	第 3 回史料室会議 “湯川記念館史料室内規案”, “同 利用規定案” 検討 史料整理様式: File Code, Card Format, etc. 決定
2. 29	第 76 回基研研究部員会議: 議題 17-2: 湯川記念館史料室内規案
3. 3	史料室内規基研協議員会決定 (4. 1 より施行) [資料 2, p. 233] 委員追加: 佐藤文隆 (京大基研)

湯川記念館史料室を発足させる運びとなった。夏休みあけに史料室の組織・運営・財源を検討するため、基研周辺の関心のある人たちが第一回史料室準備委員会がもたれた。準備委員の人選は、財源皆無の下で、ともかく集り、実際に動いてもらえるような人たちに限られたことをお断りしておきたい（観点を変えれば、voluntary な活動を強要されたとぼやかされるかもしれない）。

第1回準備委員会の空気は御義理にも活潑と言えたものではなかった。さきに湯川先生に中間子論関係の計算・草稿の類の行方をうかがった折には、にべもなく「ない」と首をふられたし、今までに公表された日本側中間子論資料は、あらかじめ USJC project の期間中に文献カードが作製済みであり、実質的な作業として考えられるのは、史料室の運営管理に格好をつける以外、Brown 教授の要望に沿って縦のものを横にする憂鬱な仕事くらいしかないのではないかと、委員一同等しく思っていたからである。しかし湯川先生が研究資料を阪大から京大にもってこられたにはちがいないから、保存すべき資料の「在庫調べ」をとにかく試みてみよう。基研の中は当面散逸のおそれはないが、湯川先生が以前所属しておられた京大理学部物理学教室は重要捜査個所だろう、ということでお開きになった。

教室の古老たちをあたり始めた田中正氏が、図書室の慈道佐代子さんから耳寄りな話を聞きこんだ。かつて物理学教室図書室が移転したとき、各研究室からも段ボール箱が多数新図書室に運びこまれたが、未整理のまま書庫の片隅に埃をかぶっている数箱が、たしか旧湯川研からのものだったようだ、というのである。田中氏は、古い書物の間に湯川先生の私物らしい資料があることを認め、早速筆者の一人 (M. K.) に電話してきた。直ぐに図書室に行き箱をあけてみると、京都大学の蔵書印のある古い書籍の下に、中間子論第 I 論文から第 IV 論文の計算・原稿を始めとして、学会講演や研究室コロキウム報告の原稿等がぎっしり詰めこまれているではないか！

この朗報は翌日の第3回準備委員会に報告され、一同の氣勢大いにあがったことはいうまでもない、次の会合をお手盛で「第1回史料室会議」としてしまったものである。これらの原稿類は、以前に物理学教室で偶然発見され、湯川先生の下にとどけられていた「研究室日誌」(1938 - 1948) も含めて、⁶⁾ 史料室に寄贈して下さることになり、この後の「史料室会議」では、整理方法の手さぐりが続けられるのだが、それは第3節で語ることにしよう。組織面では、基研内規としての「湯川記念館史料室内規」の草案が討議され、第76回基研研究部員会議に提出された後、80年3月基研協議員会決定を見た(付録資料2)。ここに80年4月1日から基研内規に基く「湯川記念館史料室」となり、また「史料室内規」に従う、基研所長を委員長とする「史料室委員会」が、3回の準備委員会と5回の史料室会議の転生として、史料室の管理運営に当ることになった。

史料室所蔵の資料閲覧のための「利用規則」および「利用申込」の邦文・英文両様の format が、第4回史料室委員会で決定された(付録資料3 p.234 および次項目, p.240)。それらは、湯川先生御寄贈の際の「あまり宣伝しないでほしい」という御意向と、公表論文ではなくすべて原稿段階の private なものであることを、考慮に入れた結果であることに十分留意いただきたい。

scientific archives の収集保存は、この国の物理学百年にして、communication の global な拡大と迅速化を背景に、われわれが当面することになった問題といえるだろう。その利用も十分な節度をもって行われねばなるまい。場合によっては、本人の遺志や関係者への顧慮などから、われわれは次の世代に引

継ぐだけに終らねばならぬことも起ってこよう。だが禁欲的でなければならぬ。そうでなければ、自然科学史料保存という伝統の育成定着に協力を得ることはできない。故坂田昌一先生の「Physicist 三悪」に倣えば、「Historian 三悪」は

- (1) まごびき — Requoting
- (2) ふくらまし — Paraphrasing
- (3) でばがめ — Peeping

とでもなろうか。低俗な興味本位の内幕曝露を歴史的事実と強弁するのは、Historian 失格でしかない。

2. 欧米 Archives 回覧実記

これより前の1979年の夏の初め、USJC Project “Particle Physics in Japan, 1930-1950” が最終段階に近づいていたとき、筆者の一人(M.K.)は、欧米の諸研究所を歴訪する機会を得た。このときに、限られた時間であったが各地の Archives を見せてもらった。ヨーロッパでは、夏は研究所を訪ねるべき時期ではない。すでに休暇をとって留守の人たちもいた。それでも、生み出そうとしている物理学史の資料センターのイメージの構想に有益な知見を広めることができた。

訪ねた Archives は、

Salle Pauli, CERN,

Niels Bohr Archive, Niels Bohr Institute, Copenhagen,

Center for History of Physics, American Institute of Physics, New York

“History of Accelerator” Room, Library, Fermi National Accelerator Laboratory,

Office for History of Science and Technology, Univ. of California, Berkeley.

である。

CERN の図書室の近くにある Salle Pauli は、CERN 所長から事前に書面による許可を得て入室が許される。まず大版の古風なノートに記帳を求められたが、日本からの訪問者の名前もすでにいくつか記されていた。手前の部屋の耐火ロッカーの中には、手紙、講義ノート、写真、原稿などが納められ、奥の部屋の書架には Pauli の所有していた書物がならべられている。物理の本に限らず、心理学の本などもみられた。この目玉である “Pauli Letter Collection” には、Pauli が受取ったもののほか Pauli 夫人と N. Bohr, R. Kronig, V. F. Weisskopf が連名で全世界によびかけて集めた、亡き Pauli の手書きの手紙が多数含まれている。訪問時には3巻の書簡集刊行が準備されているときだったが、これまでに第1巻が刊行されている。⁷⁾

CERN 訪問は、Geneve におけるヨーロッパ物理学会高エネルギー物理国際会議の機会であったが、その後 DESY に立寄ってから Copenhagen に回った。

Niels Bohr Institute の A Building 最上階には Niels Bohr Archive がある。この資料のリストは、Thomas S. Kuhn たちがまとめた *Sources for History of Quantum Physics*⁸⁾ に含まれている。さらに Bohr の未完成原稿まで含めて全著作を刊行しようとの計画が進められており、すでに4巻まで刊行された。⁹⁾ Niels Bohr Institute を訪問中に、日本から全く予想外の Telex を受取った。「朝永先

生没……」。そこですぐに日本への弔電の準備などをしていて、翌日 New York に飛ぶ予定との関係で、N. Bohr Archive の Dr. Erik Rüdinger と会いそこなってしまったのは残念であった。

New York での訪問先の一つは、American Institute of Physics の Center for History of Physics であった。国連近くの AIP の中の Center では所長の Dr. Spencer R. Weart や副所長の Dr. Joan N. Warnow が案内してくれた。くわしい説明を聞いた上、われわれが作ろうとしている湯川記念館史料室について示唆と激励まで受けた。

この Center の中心は 1962 年 9 月に設立された Niels Bohr Library である。ここには、寄贈と購入によって約 1 万点の資料が納められている。その内容は、出版物だけでなく、物理学者の手紙・ノート・原稿など、そのほかに物理学者へのインタビューの録音テープとそれをおこした記録、写真、世界中に保存されている物理学史資料の目録などに及んでいた。この中には、さきに述べた *Sources for History of Quantum Physics*⁸⁾ のマイクロフィッシュも含まれている。

写真の収集の例として、この年 1979 年に生誕 100 年を迎えた Einstein の場合をみてみよう。AIP の Center は、600 枚を超える Einstein 関係の写真とその説明、所在と所有権の情報まで含めた冊子を発行した。¹⁰⁾ Center には、記念行事の計画者たちから、写真の提供依頼が続いている。AIP の方法は pictorial material の整理のひとつの範型となるものであろう。

さらに Center は、Princeton の Institute for Advanced Study の sponsor の下で、18 枚からなる Einstein 100 年記念展示用パネル¹¹⁾を作製し販売と貸出しをおこなっていた。当時すでに全世界の 100 か所ほどの大学、科学博物館などが購入し、60 部の貸出し用パネルが全米各地で展示されているとのことであった。

このセンターでは、所長・副所長のほかに 5 人のスタッフが働いており、その中の 2 人は Librarian, 1 人は Administrative Assistant である。(あとの 2 人についてもきいたのだが、メモが不完全でわからない)

これらの活動の財源は、AIP から年間 \$120,000、各種財団の援助、The Friends of the Center for History of Physics を通した個人からの寄付約 \$15,000 /年によってまかなわれており、そのほかに平均して年間 2～3 件の補助金が出ているとのことであった。

Weart と Warnow は、利用手続を説明してくれ、科学資料保存の重要性と方法を説明したパンフレットをくれた。¹²⁾ これは、われわれが史料室の活動方針を決めていく上で大いに役立った。

さらに、活動の規模も、人数も財源も、発足時は小さく手弁当であったが、実績をつみ上げるとともに拡大してきたことを語り、人手も予算も見通しのないわれわれを激励してくれた。

なお、ここからは不定期刊の“Newsletter”を年 2 回のペースで発刊しており、センターの活動のほか物理学史研究の情報誌の役割も果している。希望者は無料で入手することが可能である。

このあと、日米科学協力研究のため、Chicago にしばらく滞在していた間に、Fermilab の図書室の一隅にある“History of Accelerator” room も見る機会があった。ここでは、Dr. Lillian Hoddeson が中心になり、収集分析をおこなっていたが、加速器に関することはすべて、新聞のきりぬきまで完全に集めようという方針でやっていた。

次の訪問地 Berkeley では、J. L. Heilbron を中心にした Office for History of Science and Technology を訪ねた。丁度八木江里、辻哲夫の両氏も滞在中であり、たいへんお世話になった。Berkeley では、このほか、Bancroft Library にも、物理学史資料が大量に集められている。

Heilbron 氏は、史料センターの supervisor は professional であるべきだし、管理維持には Librarian が当るのが望ましいと語った。さらに coverage は、できるだけ広くとるべきこと、カタログには可能な限り簡単なコメントをつけておくのがよいこと、などを経験を含めながら忠告してくれた。

ここでの最大の collection は 6000 人の物理学者の 50 万通におよぶ手紙の情報であり、カード式のリストのほか、B. Wheaton がデータベースを作りつつあった。これだけの手紙を集めるために、staff を各地に派遣してきたが、京都・東京にもやってきた Florence Chang 女史に再会した。彼女は part time assistant として働いていた。

ここでは、冊子体の Berkeley Papers in History of Science も刊行している。最初の数冊は、代表的物理学者の non-technical writings のデータに関するものであり、M. Planck, W. H. and W. L. Bragg のものが既に刊行され、E. Rutherford¹⁾ の分が編集中であった。¹³⁾

これらの訪問を通じ、各地の Archives の歴史と現状そして将来への抱負をきくことができ、各センターの利用手続きも知ることができたのは、われわれが湯川記念館史料室の構想をまとめていく上に有形無形の影響を与えること大であった。^{*}

3. ARCHIVIST 手習い

さてわれらの「段ボール宝箱」中の湯川文書には、大別して、論文題名が墨書された大型封筒（一度用を勤めた）で仕分けされたものと、執筆年度と内容に従って分類し綴込まれた files とがあった。使われている紙の質は様々で、横野 A 4 判程度の大阪帝国大学用箋から通常原稿用紙、複写用の薄いタイプ用紙等々、はては大阪帝国大学試験用紙まであった。とりわけ計算の大部分は藁判紙が使われ、一寸乱暴に扱ったら、こなごなに碎けてしまうほどに焼けている部分もあった（思えばもはや半世紀近い昔に書かれたものである）。しかもそれが物理学史の超一級の資料ときている。そんな代物を一体どのような形で保存し、どのような scheme で整理し、またどんな具合に閲覧利用できる状態にもちこむか？ 79 年後半から 80 年初頭にかけての討議の時間の大半がこの問題に費されたといつてよい。

こういった archives の取扱いの基本の手ほどきを簡単に授けてくれそうな行き先も一寸見あたらない。加えて予算ゼロというやるせない constraint もある。どだい archivist なるものがこの国の科学史学界で完全な市民権を得ているとは思われない現状では、自らが開祖となって、「新陰流」ならぬ「新我流」を編み出すよりない。唯一のたのみは、79 年夏 AIP の物理学史センターからもらってきた一小冊子¹²⁾であった。

資料保存の上で史料室委員会が置いた原則は次のふたつである。

* Paris の International Symposium on History of Particle Physics (82 年 7 月) で得た情報では、Rome 大学物理学教室にも史料センターが開設され、E. Amaldi を中心に、量子力学の発展に対するイタリア関係資料の収集整理が始められた。(校正時追記)

〔保存則Ⅰ〕 原資料はビニール袋に入れ、紫外線と湿気とを遮断して保存する。

この処置は、80年5月の Fermi Lab の会に出席された早川幸男教授を通じて得た、AIP 物理学史センター副所長 J. N. Warnow の suggestion と一致するものであった。(この原則の具体化には市販の B4判クリア・ファイルを使うことになった。話が細くなるが、収納の際資料のゼム・クリップやホッチキス針は取除いておいた方がよい。鉄錆は湿気を招き資料を汚染する元兇である)。保存則Ⅰより

〔保存則Ⅱ〕 資料閲覧には原則として XEROX copies を当て、またその他に複数の copies を作って、別々の場所に保存する。

これは原資料への access の完全禁止を意味するものではない。一律に無表情に規格化された XEROX copies ではなく originals から受ける深く多彩な impression は、史家の想念をはばたかせる源泉のひとつだからである。保存則Ⅱの後半は、たとえ天変地異が起ろうと、何とか1 copy だけでも生き残らせようとの皮算用である。ただしそれら copies は保存用だけのもので(保管場所は史料室委員所属の研究機関から選ばれた)、閲覧用には、史料室の窓口を通じ、史料室のそれだけが供せられる。

資料の整理にあたっては、(AIPの booklet に従って)まず何よりも

〔整理則Ⅰ〕 原著者が置いた資料の順序を絶対に乱さず、かつ記録する

ことに徹した。その根拠は、原配列には原著者の何等かの意図が反映されているはずだ、というところにある。勿論、原著者の非作為的な手ちがいとか、整理を考えながらそのままにされてきた場合とかが、混在している可能性は十分考えられる。しかし手ちがいや放置が明らかと思われるときでも、それは原順序に対する整理者の注の形で付記し、資料群の配列の解釈は研究者一人一人に新しい challenge として残されるというのである。われわれの脳裏には、たとえば Keynes' Collection 中の Newton 草稿の Herivel による年代決定¹⁴⁾AIP 物理学史センター所長 Weart から聞いた、原配列を混乱させたため資料位置を失った具体例があった(一方、湯川文書の最初の整理という責任と労力とを僅かなりとも軽減したいとのひそかな願望が、amateur archivists どもの胸中に巣くっていたことは弁解しない)。

同じ精神から

〔整理則Ⅱ〕 原資料に記されていた主題名(subject)と、整理の便宜上整理者が付けたそれらとは、明確に区別する

ことにした。各資料ユニットの内容を簡潔に示す主題名は、検索上からも望ましいものであるが、原著者によるそれが、とくに計算の類では付けられていないことが多い。このような場合に付けた主題名をはじめ、英訳文その他整理者の手になる注釈は一切、角括弧に挟んで示すことにした。それらはすべて便宜上のものである。資料利用者は角括弧内はすべて白紙として検討していただきたい。そこに思いもかけぬ関連が見出され、原著者の真の心象が浮び上がることがあるかもしれない。

Classification scheme における資料の code number には、ローマ字数字混合の9個の文字を使うことにした(YHAL-Resources, HY-I Classification scheme 参照)。最初の3文字(1ローマ字2数字)のblockで資料の出所を表し、真中の3数字でつくるblockでは原著者による配列の順を示し、最後の1ローマ字2数字から成るblockによって資料の種別を語らせようとの心算である。更にその後に付加して資料の内容を示す省略記号(ローマ字2文字)を準備した(Cf. YHAL Resources, Abbreviations

and Notations)。

例: E01 100 P01 MP

封筒1番に入れてあり(E01), 上から“10番目”にあった(100), 中間子論第一論文(P01)に関する論文原稿(MP)。

[湯川史料中, 物理学に関する論文(P**)の番号は, “Hideki Yukawa, Scientific Papers”, Part I (岩波, 1979)のそれに合せた。]

例: F01 030 T02 MT

File No.1 (F01)の“3番目”に綴じ込まれていた(030), 講演第2番(T02)の, 講演原稿(MT)。

この code number の選定が, われわれがまず扱うことになった湯川文書の内容に, 少なくとも部分的には, 依存していることは否定しない。史料室が湯川史料以外の他の物理学者のそれも扱うようになったら, 最小限ローマ字2字を上の9文字の前につけて識別することが必要になる。この処方では形式的には $26^2 = 676$ 人に関する史料が仕分けできることになる。

また別の category に属する code number も準備しておかねばならない。ひとつの具体例は湯川日記である。この「研究室日誌」はB5判くらいの横野ノート15冊(第二次世界大戦中の粗悪な紙質のものも混じる)から成り, 1938年4月21日から1948年9月15日までの期間を cover する(N01 010 D01~N15 010 D15)。「研究室」とは題してあるが, これらのノートは学会その他出張の際にも常に先生と行を共にした模様で, 簡潔ながら委細を尽した記事は, 先生の細心綿密な一面をうかがわせてくれるが, private な性質の事柄から和歌の下書きまで散見され, 私的な日記の役割も兼ねている。そこで湯川先生の御諒解の下に, 日誌記事中中間子論の発展に直接関連があると史料室委員会が判断した部分だけを, copy 編集して閲覧用資料の形にまとめることにした。他の資料からも特定の主題について史料室が抜粋編集し, 閲覧の便宜をはかることは当然予期される。こういった史料室編の資料類は code number

EDT ***

を与えることにした。後半の3個の数字は編集番号である。この code number は, その与え方から推測される通り, まったく conventional なもので, 将来多数の EDT 資料ができたときには, 更に細い分類を行うことがあり得るのを予想している。

同様な性格の code number には,

PCT ***

すなわち絵画資料 (pictorial materials) に対するそれがある。81年10月の追悼講演会における展示パネル18枚はこの item の第一号である(PCT 010)。史料室は湯川家その他の御協力によって湯川先生に関係する写真約300枚を, 戦前・戦中・戦後に大別し, 撮影日時の同定までほぼ完了している。この項目には, 実験家の場合なら概略図 (sketches) や工作図 (shop drawings) なども含められるだろうし,

今後一番考慮されねばならぬ source は videotapes であろう。

また講演・講義・interview の録音 tapes は

ADT * * *

の下に整理される。

PCT及びADT資料は、その code number で特定の個人または集会を同定し、その中での資料の細分は、採録された年月日をそのまま使うことにすれば多くの情報を一時に与えるのではないかと思えるが、まだ最終的な方式の決定を見ていない。

code number の選定はどうしても取扱う資料に依存するように思える。むしろ資料に応じて最小の記号で最大の情報量を与えるような方式がそれぞれ開発されるべきでないかと思う。そして資料の整理を進めてゆくうちに、最初十分に網を張っておいたつもりでも、十中八九手なおしの必要にせまられるにちがいない。このとき根本的な改訂を行うなら、それまでの作業を今一度繰返すと同等の労力を強いられる。してみると classification scheme はできるだけ僅かな変更で不測の事態に対応できる flexibility を具えていることが肝要になる（番号づけも、後から挿入ができる、computer の programing での行番号の方式を採っておいた方がよい）。これは amateur archivists の貧しい体験からする、行を改めて書くには気恥ずかしい経験則である。

さて史料室は発足以来、まず中間子論関係の資料に集中するという strategy を採った。「段ボール宝箱」の内容は、code number の第3 block に用意した文字に見られる通り多岐にわたっていたが、第一次目標を、中間子論第I論文から第IV論文までの計算と草稿およびそれらに直接関係する資料の整理、に置いた。それが完全に達成されたとはまだまだ言い難いが、82年5月までに何とか恰好のついた分の目録を、「YHAL RESOURCES, HIDEKI YUKAWA I.」として、本号に併録することにした。

4. YHAL覚え書

1980年3月には、われわれは日本物理学会年会（早大）において「中間子論の誕生 — 湯川記念館史料室の発足に当って」と題し、物理学史分科の特別講演をおこなった。¹⁵⁾ これは湯川史料についてはじめての公表であった。国外には、早川幸男氏が Fermilab でおこなわれた素粒子物理学史国際シンポジウムで招待講演をおこなった中で、湯川史料を始めて公開した。¹⁶⁾ このシンポジウムにあわせて、Fermilab では“Memorabilia of Five Decades of Particle Physics”と題する展示会を、1980年5月から7月まで開いたが、ここに中間子論第一論文手書き原稿が出品され注目を集めた。史料室の最近までの活動は、1982年3月の日本物理学会分科会物理学史シンポジウムでも報告をおこなった。¹⁷⁾

時間は前後するが、1981年9月には湯川先生急逝という事態を迎えた。史料室は、湯川史料の散逸を防ぐため、基礎物理学研究所の先生のお部屋と御自宅の資料の保存について、湯川スミ夫人に御理解と御協力をお願いし、御快諾を得た。

基研では、10月末に追悼の講演会と展示会をおこなうことを計画したので、史料室は、多数の周辺の研究者の協力を得て、18枚のパネル「湯川秀樹 1907 - 1981」を作製した。¹⁸⁾ この際、Einstein の生誕

-232-

河辺六男, 小沼通二

素研 65-4 (1982-7)

100年に American Institute of Physics が作製し、日本でも展示されたパネルが大いに参考になった。¹²⁾ 作製したパネルは、1982年3月に基研で開かれた湯川博士追悼シンポジウムの際にも展示されたほか、各地に貸出された。

パネル作製の機会に、写真の積極的収集もおこなった。物理学史に関する写真は、すでに述べたとおり AIP の Center for History of Physics, CERN の Salle Pauli などに多数集められている。湯川記念館史料室にも、貸出し、コピーの申込みが多く、現在、約300枚の写真を所有している。

さらに昨年秋以来おこなってきた史料室の活動に、湯川秀樹著作目録の作成があげられる。書籍になっているものをとりあえず調査した結果、219冊を数えたので、これも本号に掲載することにした。 国

湯川記念館史料室は、湯川史料を中心に据えて、関係する現代物理学史の資料にも手をひろげつつある。今後東京にある、仁科・朝永資料、名古屋にある坂田資料そして諸外国の現代物理学史資料の諸センターと協力して、活動をつづけていくことになるであろう。

とくに、1978年から1年間おこなった日米科学協力研究にひきつづく共同研究を1983年からおこないたいとの希望もあり、1985年8月には、中間子論50年記念素粒子物理学史国際シンポジウムの開催も計画されはじめている。

関心をもたれる方々の御協力をぜひお願いしたい。

付録 I

資料 1

TENTATIVE PLAN FOR THE ESTABLISHMENT OF ARCHIVAL LIBRARY, YUKAWA HALL, KYOTO UNIVERSITY

- [1] NAME: ARCHIVAL LIBRARY YUKAWA HALL KYOTO UNIVERISTY
(tentative).
- [2] PURPOSE: To insure that the historical documents and sources of Japanese research works and activities in Meson Theory and others are widely collected and preserved.
To conduct, encourage and help make possible scholarly studies that will contribute to understanding of the development of 20th-century physics.
- [3] PROGRAMS: The project of the Library is as follows:
1) Program to locate and arrange for preservation of historical source materials in Japanese scientific works and activities in general.

- 2) Publication and exhibits of the catalog of arranged historical documents and the result of study on historical science.
- 3) Communication of historical information to the public by providing resources, services of recopy and other helps.
- 4) International communication.
- 5) Service for study of history of physics.
- 6) Other activities (public lectures, symposium)

[4] ORGANIZATION

- 1) Committee (~10 members, including chairman)
- 2) Researchers appointed by the committee
- 3) Advisory Committee (member appointed by the chairman)
- 4) Secretarial staffs (1-2 members)

[5] SOME BRANCHES outside Research Institute for Fundamental Physics, Kyoto, Japan

[6] FINANCIAL FUNDS (uncertain at present)

[7] (Expected) COOPERATION

With Department of Physics, Kyoto University; Yukawa Memorial Room of Osaka University, Sakata Archival Room of Nagoya University, Nishina Foundation, Library of Phys. Soc. Japan, and others.

資料 2

京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室内規

(昭和55年3月3日協議会制定)

第1条 京都大学基礎物理学研究所に、湯川記念館史料室(以下「史料室」という。)を置く。

第2条 史料室は、中間子論その他の基礎物理学の研究活動及びその成果に関する歴史的史料、図書、文献等を収集、整理保存し、学内外の研究者の利用に供する。

第3条 史料室に、その運営に関する事項を審議するため、史料室委員会(以下「委員会」という。)を置く。

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 基礎物理学研究所長(以下「所長」という。)
- 二 基礎物理学研究所の教官のうちから所長の命じた者 若干名
- 三 前2号以外の京都大学の教官のうちから所長の委嘱した者 若干名

四 学外の学識経験者のうちから所長の委嘱した者 若干名

2 前項第2号から第4号までの委員の任期は、1年とし再任を妨げない。

第5条 委員会に委員長を置き、前条第1項第1号及び第2号の委員のうちから委員会において選出する。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ、委員長の指名する委員がその職務を代行する。

第6条 前3条に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

第7条 この内規に定めるもののほか、史料室の利用その他必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、昭和55年4月1日から施行する。

資料3

京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室利用規則

第1条 この規則は、京都大学基礎物理学研究所湯川記念館史料室内規（昭和55年3月3日制定）第7条の規定に基づき、基礎物理学研究所湯川記念館史料室（以下「史料室」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

第2条 史料室において保管する資料を利用することのできる者は、次のとおりとする。

- 一 基礎物理学研究所（以下「研究所」という。）の職員
- 二 研究所の図書閲覧票の交付を受けている者
- 三 その他特に史料室委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めたる者

第3条 史料室は、次の各号に掲げる閉室日を除き、毎日9時から、16時30分まで（土曜日にあつては、12時まで）開室する。

- 一 日曜日
- 二 国民の祝日（国民の祝日が日曜日に当たるときは、その翌日）
- 三 本学創立記念日（6月18日）
- 四 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

2 史料室の運営上必要があるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に史料室の閉室又は開室時間の変更をすることがある。

第4条 資料の利用は、閲覧を原則とし、貸出しは行わない。特に複写を希望する場合には、別紙様式による申請を提出するものとする。

第5条 委員会が特別に指定する資料については、これを利用しようとする者は、予め別紙様式による特別閲覧許可願を委員長に提出し、委員会の許可を受けなければならない。

湯川記念館史料室私記

-235-

第6条 この規則に定めるもののほか、史料室の利用に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規則は、昭和55年6月28日から施行する。

湯川記念館史料室資料特別閲覧許可願

1. 申請者氏名

所属機関名・職名

所在地及び電話番号

自宅住所及び電話番号

2. 利用資料名, カード番号

3. 利用目的〔なるべく具体的に記入して下さい〕

4. 利用期間〔二週間を超えることはできません〕

年 月 日より 年 月 日まで

申請者は資料の利用に際し、史料室利用規則ならびに史料室委員会の指示に従うほか下記の条項を守ります。

- 1) 資料は学術上の目的以外には利用しない。
- 2) 史料室委員会の書面による許諾なしには、資料のいかなる部分をも他に引用しない。
- 3) 学術的見地から正確を期する必要がある場合を除き、資料の内容をいかなる形でも原典以上に敷衍しない。
- 4) 資料の複写物（手書きによる複写を含む）は、史料室委員会の許諾なしにはこれを第三者に入手せしめない。
- 5) 資料の利用によって書かれた申請者（共著者のある場合を含む）の論文あるいは著作が出版された場合には、それぞれ二部ずつを史料室に寄贈する。
- 6) 申請者は資料の保全に責任を負う。

以上の通り誓約しますので、資料の特別閲覧を許可下さるようお願いいたします。

年 月 日

申請者（自署）

㊟

湯川記念館史料室委員会委員長 殿

付録Ⅱ

湯川記念館史料室史料について書かれた論文リスト

「中間子論誕生の歴史的資料の発見」

小沼通二 自然 1980年10月号

「日本における中間子論の発展」

早川幸男 自然 1980年10月号

“Development of Meson Physics in Japan”

早川幸男 “*The Birth of Elementary Particle Physics: 1930-1950.*” Ed. by L. M.

Brown and L. Hoddeson (Cambridge Univ. Press, to be published)

「湯川史料からみた中間子論の周辺」

小沼通二 自然 1981年11月増刊号

「朝永 vs. 湯川」

亀淵迪 朝永振一郎著作集月報(2). p. 3 (みすず書房, 1982)

「中間子論と宇宙線」

早川幸男 科学 1982年2月号

「中間子論の誕生」

河辺六男・小沼通二 日本物理学会誌 1982年4月号

引用文献

- 1) Ed. C. Weiner, assisted by E. Hart, *Exploring the History of Nuclear Physics*, AIP Conference Proceedings No. 7 (AIP, 1972)
- 2) Ed. R. H. Stuewer, *Nuclear Physics in Retrospect* (Univ. of Minnesota Press, 1979)
- 3) Ed. J. S. Day, A. D. Krish & L. G. Ratner, *History of the ZGS*, AIP Conference Proceedings, No. 60 (AIP, 1980)
- 4) 日本物理学会編「日本の物理学史」(上)(下)(東海大学出版会, 1978)。また日本の科学技術全般にわたっては、日本科学史学会の輝かしい業績「日本科学技術史大系」全25巻(第一法規, 1964~1970)がある。
- 5) Ed. L. M. Brown, M. Konuma & Z. Maki; *Particle Physics in Japan, 1930-1950*, Vol. I & II (RIFP preprints, RIFP-407 & -408, Sept. 1980)
- 6) 佐藤文隆「自然」増刊追悼特集, p. 65 (中央公論社, 1981)
- 7) W. Pauli, *Wissenschaftliche Briefwechsel mit Bohr, Einstein, Heisenberg u. a.* Band I, 1919-1929, Ed. by A. Hermann, K. v. Meyenn, V. F. Weisskopf (Springer-Verlag, 1979)。〔本書のあと書きと利用者への注意(pp. 532)にSalle Pauli設立の経過も述べられている〕
- 8) T. S. Kuhn, J. L. Heilbron, P. Forman, Lini Allen, *Sources for History of Quantum Physics*, (The American Philosophical Society, 1967)

- 9) Niels Bohr, *Collected Works*. Ed. by L. Rosenfeld, Vol. 1 Early Work (1905-1911) Ed. by J. R. Nielsen (North-Holland Pub. Co., 1972) ほか。
- 10) *Images of Einstein: A Catalog* (Center for History of Physics, AIP, 1979) AIP Publication R-287
- 11) *A. Einstein, 1879-1979 A Centennial Exhibit*. (AIP, 1979)*
- 12) *Scientific Source Materials: A Note on their Preservation* (American Institute of Physics, Center for History of Physics, 1977).
- 13) *Max Planck, A Bibliography of his non-technical writings, Berkeley Papers in History of Science I* (Office for History of Science and Technology, Univ. of California, Berkeley, 1977). W. H. Bragg and W. L. Bragg, *ibid. II* (1978)
- 14) J. Herivel, *The Background to Newton's Principia*, Part I, Chap. 6 (Oxford University Press, 1965).
- 15) 河辺六男, 小沼通二, 「中間子論の誕生 — 湯川記念館史料室の発足に当って」。日本物理学会年会物理学史分科特別講演, 1980年3月29日。
- 16) S. Hayakawa, Development of Meson physics in Japan, in "*The Birth of Elementary Particle Physics: 1930-1950, Proceedings of the International Symposium, Fermi National Accelerator Laboratory, May 1980.*" (Cambridge Univ. Press, to be published)
- 17) 小沼通二, 「湯川記念館史料室」。日本物理学会物理学史分科シンポジウム講演, 横浜国立大, 1982年3月30日
- 18) パネル「湯川秀樹1907-1981」。「湯川秀樹博士を偲ぶ — 追悼行事の記録 —」京大基研・理学部「湯川秀樹博士追悼行事実行委員会」編(理論物理学刊行会, 1982) pp. 34。

*日本国内では京都市青少年科学センターが購入して、展示会を開催した。

YHAL Resources

The YHAL Resources give informations on the documents in YHAL which are compiled according to YHAL classification scheme. They are available by request for research purpose.

- | | |
|--------------------------------------|--|
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (I) | 素粒子論研究 65/4, 239-269(82-07-)
[Soryushiron Kenkyu (Kyoto) 65/4(1982),
239-269.]
E01~E06; F01~F04; EDT 010~030;
PCT 010. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (II) | 素粒子論研究 70/5, 289-306(85-02-)
E08,E15; F05; EDT 040. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (III) | 素粒子論研究 77/4, 161-202(88-07-)
E10~E14,E16,E17; F08,F15,F16,F50,F51;
EDT 050,EDT 060; PCT 020. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (IV) | 素粒子論研究 90/1, 11-35(94-10-)
F50改訂,F51改訂; N151; Z01,Z02. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (V) | 素粒子論研究 90/2, 65-93(94-11-)
E07,E18~E30; EDT 070. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (VI) | 素粒子論研究 91/5, 181-189(95-08-)
E31; EDT 080. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (VII) | 素粒子論研究 94/5, 117-203(97-02-)
Z03~Z08. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (VII統) | 素粒子論研究 95/6, 82-95(97-09-)
P**; U01~U06. |
| YHAL Resources: Hideki Yukawa (VIII) | 素粒子論研究 98/3, 200-206(98-12-)
Z10 ; N221~N226. |
| 「湯川秀樹全著作」(ver.2) | 素粒子論研究 70/5, 307-320(85-02-)
['All the Writings of Hideki Yukawa'
{ver.2}] |

付録2 湯川記念館史料室委員会のこれまでの委員

井上 健
河辺 六男
九後 太一
国友 浩
小玉 英雄
小沼 通二
佐藤 文隆
田中 正
徳岡 善助
長岡 洋介
野尻 美保子
牧 二郎
益川 敏英
町田 茂

索引

- E (Envelope)**
 (湯川が研究論文ごとにまとめておいた大型封筒に入っていた史料)
- E01~E06 (I)
 E07 (V)
 E08 (II)
 E10~E14 (III)
 E15 (II)
 E16~E17 (III)
 E18~E30 (V)
 E31 (VI)
 E31 Addendum (VI) の後ろ
- F (File)**
 (湯川が保存していたファイルの中の史料)
- F01~F04 (I)
 F05 (II)
 F08 (III)
 F15~F16 (III)
 F50~F51 (III)
 F50 改定~F51 改定 (IV)
 F52 (IV)
- P (Published Articles)**
 (発表された研究論文)
- P** (VII統)
- U (Unpublished Articles)**
 (発表されなかった研究論文)
- U01~U06 (VII統)
- N (Note)**
 (ノート)
- N151 (IV)
 N221~N226 (VIII)
- Z (Miscellaneous)**
 (断片 その他)
- Z01 財団法人湯川記念財団 付：財団法人
 読売湯川奨学会・財団法人仁科記念財
 団 (IV)
 Z02 湯川記念館創設 (IV)
 Z03 1930s Articles Essays (VII)
 Z04 1940s Articles Essays Dialogues
 (VII)
 Z05 1950s Articles Essays Dialogues
 (VII)
 Z06 1960s Articles 研究会講演記録・抄録・
 原稿 Essays Dialogues (VII)
 Z07 1970s Articles 研究会講演・抄録・原
 稿 Essays Dialogues (VII)
 Z08 1980s Essays Dialogues
 (VII)
 Z10 京都帝国大学理学部物理学科卒業論文
 (VIII)
- EDT (Edited Materials)**
 (史料室委員会が編集した資料)
- 010 理論物理コロキウム記録 大阪帝大
 1938 (I)
 020 中間子討論会 (I)
 030 2 中間子論 (I)
 040 非局所場理論 (II)
 050 湯川の 1939 年の欧米旅行
 (III)
 060 第 2 次大戦中の 1943 年に、ドイツか
 ら潜水艦によって届いた Heisenberg

の S 行列理論の論文の日本国内への
配布 (III)

070 湯川が 1936-1937 年に書いたレター
論文 (V)

080 パグウォッシュ会議資料
(VI)

ノーベル賞受賞旅行 (II)

PIC (Pictures)

(写真)

010 1981 年 (I)

020 1985 年 (III)

YHAL Resources に含まれている書簡

7 点 (I)

6 点 (III)

8 点 (IV)

7 点 (V)

5 点 (VI)

付録

E と P、U の対照表 (V)

YHAL コード番号配分表 (VII)

湯川秀樹主要図書 (VII)

限定詞 新旧対照 (VII)

補注 (VIII)

訂正 (III)、(VII)